

デジカメ写真アルバム

フォトマスターⅡ /  
フォトマスターⅡ Pro

共通マニュアル

Ver 5.10



<b>1. はじめに</b> .....	<b>5</b>
<b>2. フォトマスターⅡの概要</b> .....	<b>6</b>
<b>2-1. 製品の種類</b> .....	<b>6</b>
<b>2-2. 機能概要</b> .....	<b>6</b>
<b>2-3. 必要システム</b> .....	<b>6</b>
<b>2-4. プログラムの特徴</b> .....	<b>7</b>
<b>2-5. 「フォトマスターⅡ」と「フォトマスターⅡ Pro」の相違点</b> .....	<b>8</b>
<b>3. フォトマスターⅡの外観</b> .....	<b>9</b>
<b>3-1. 主画面</b> .....	<b>9</b>
3-1-1. 標準画面モードの構成.....	9
3-1-2. その他の画面モード.....	11
3-1-3. 各欄の表示幅の変更方法.....	13
3-1-4. 各欄の「最小化」ボタンと「元のサイズに戻す」ボタンについて.....	14
<b>3-2. サムネイル欄</b> .....	<b>17</b>
3-2-1. 表示モード.....	17
3-2-2. サムネイル欄の画面モード.....	17
<b>3-3. アルバム欄</b> .....	<b>20</b>
3-3-1. 表示モード.....	20
3-3-2. アルバム欄の画面モード.....	20
<b>3-4. ボタン配置と機能説明</b> .....	<b>28</b>
3-4-1. メインツールバーの説明.....	28
3-4-2. フォルダ欄用ツールバーのご説明.....	29
3-4-3. サムネイル欄用ツールバーのご説明.....	29
3-4-4. アルバム欄用ツールバーのご説明.....	30
3-4-5. アルバム設定コマンドの説明.....	32
3-4-6. アルバムデータ欄用コマンドの説明.....	32
<b>4. フォトマスターの使用法</b> .....	<b>33</b>
<b>4-1. インストール方法</b> .....	<b>33</b>
<b>4-2. プログラムの起動</b> .....	<b>33</b>
4-2-1. 起動方法.....	33
4-2-2. パスワードの入力(および体験版での機能制限について).....	33
<b>4-3. 基本操作</b> .....	<b>34</b>
4-3-1. サムネイル欄への写真表示.....	34
4-3-2. サムネイルの一覧を印刷する(かんたん印刷機能).....	36
4-3-3. 写真の選択方法.....	38
4-3-4. アルバムの作成.....	38
4-3-5. アルバムグループ機能について.....	48
4-3-6. 写真情報の入力.....	52
4-3-7. ページ情報の入力.....	61
4-3-8. アルバム表紙／グループタイトルを作成する.....	62
4-3-9. アルバムを保存する.....	65
4-3-10. アルバムを開く(データ読込).....	72
4-3-11. 現在のアルバムに別のデータを追加する.....	74
4-3-12. アルバムデータに関するその他のコマンド.....	74
4-3-13. アルバムを印刷する.....	76
4-3-14. アルバムを Excel 保存する.....	80
<b>4-4. 応用操作</b> .....	<b>85</b>
4-4-1. お気に入りフォルダ登録機能について.....	85
4-4-2. 単語登録機能.....	88

4-4-3. アルバム欄の編集.....	91
4-4-4. オートシェイプ等の図形描画.....	95
4-4-5. 画質調整機能(アルバム写真).....	99
4-4-6. 豆図の挿入.....	107
4-4-7. 撮影日の挿入.....	112
4-4-8. 検索と置換機能.....	114
4-4-9. レイアウトを途中で変更するには(レイアウトの複数設定).....	116
4-4-10. レイアウトのカスタマイズ機能について.....	119
4-4-11. アルバム情報欄のサイズ調整について.....	121
4-4-12. 画像ファイルとの関連付けについて.....	123
4-4-13. 写真の一括リサイズ機能.....	127
4-4-14. ファイルの一括リネーム機能.....	137
4-4-15. 災害写真作成支援機能(寸法作図等).....	142
4-4-16. 電子黒板機能(工専用黒板)について.....	155
4-4-17. 付箋/インデックス機能.....	161
4-4-18. パノラマ写真の作成機能(2点指示法).....	164
4-4-19. 撮影位置の表示機能(簡易版).....	167
4-4-20. 撮影位置図の自動作成機能(高機能版).....	169
4-4-21. ロゴマーク表示機能.....	183
4-4-22. おまかせ自動レベル補正機能.....	188
<b>5. オプション設定.....</b>	<b>193</b>
<b>5-1. 動作設定について.....</b>	<b>193</b>
5-1-1. 表示設定.....	193
5-1-2. 初期設定.....	196
5-1-3. 出力設定.....	198
5-1-4. マウス設定.....	198
5-1-5. ライセンス更新他.....	199
<b>5-2. 一時作業フォルダについて.....</b>	<b>200</b>
<b>5-3. ショートカットキーの設定について.....</b>	<b>201</b>
5-3-1. 概要.....	201
5-3-2. キーの割り当て.....	201
5-3-3. 設定一覧表.....	202
<b>5-4. 各種設定値の一括保存/読込.....</b>	<b>205</b>
<b>5-5. バックアップ機能(アルバムデータ).....</b>	<b>206</b>
5-5-1. 概要.....	206
5-5-2. 設定画面.....	206
5-5-3. 復元方法について.....	207
<b>5-6. 自動アップデート機能について.....</b>	<b>208</b>
<b>6. フォトマスタービューア(フリーソフト)の提供について.....</b>	<b>209</b>
<b>7. アルバム(写真帖)の作成例.....</b>	<b>210</b>
<b>7-1. A4縦(スタイル1)のサンプル①.....</b>	<b>211</b>
7-1-1. 豆図入り.....	211
7-1-2. 図形入り.....	212
<b>7-2. A4縦(スタイル1)のサンプル② (縦6×横2配置の場合).....</b>	<b>213</b>
<b>7-3. A4縦(スタイル3)のサンプル③ (サムネイル一覧印刷の場合、縦7×横4).....</b>	<b>214</b>
<b>7-4. A4縦(スタイル3)のサンプル④ (縦3×横2).....</b>	<b>215</b>
<b>7-5. A4縦(スタイル4)のサンプル⑤ (縦4×横3).....</b>	<b>216</b>
<b>7-6. A4横(スタイル3、横1縦1)のサンプル⑤その2.....</b>	<b>217</b>
<b>7-7. A4横(スタイル3)のサンプル⑥ (縦1×横2).....</b>	<b>218</b>
<b>7-8. A4横(スタイル2)のサンプル⑦ (縦2×横2).....</b>	<b>219</b>

7-9. A4 横(スタイル 3)のサンプル⑧ (サムネイル一覧、縦 5×横 7).....	220
7-10. A4 横(スタイル 3)のサンプル⑨ (縦 1×横 1).....	221
7-11. A4 横(スタイル 2)のサンプル⑩ (縦 3×横 3).....	222
7-12. A3 横(スタイル 3、縦 4×横 6).....	223
7-13. 災害写真作成例① A4 横(スタイル 3、縦 1×横 1) 【全景写真】 .....	224
7-14. 災害写真作成例② A4 横(スタイル 3、縦 1×横 1) 【横断写真 1】 .....	225
7-15. 災害写真作成例③ A4 横(スタイル 3、縦 1×横 1) 【横断写真 2】 .....	226
7-16. 電子黒板作成/追加例 A4 縦(スタイル 1、縦 3×横 1).....	227
8. ヘルプ.....	228
8-1. PC 基本動作環境の取得方法 .....	228
8-2. アルバムデータ圧縮保存(メール送付用).....	229
9. サポート.....	230

## 1.はじめに

このたびは、デジカメ写真アルバム「フォトマスターⅡ」「フォトマスターⅡ Pro」をご使用いただき、まことにありがとうございます。

本ソフトは、弊社が様々な業務で培ってきたノウハウを生かし、業務等で使用するうえで何が必要でどんな機能が便利なのかを徹底して考え、使う側の視点に立って開発した「簡単かつ高機能」を特長とするデジカメ写真アルバム(写真帖)作成ソフトです。

本ソフトは、見た目はシンプルでありながら、デジカメ写真のアルバム作成機能は勿論、写真の一括リサイズ機能(画素数変更等)、画像ビューア機能など多くの機能を有しております。

また ver2.06 以降のバージョンからは、CAD のように写真上に寸法線を描画したり、赤白帯(距離スケール)や傾斜文字、引き出し線を描画できる「災害写真作成支援機能」を新たに追加いたしました。これは弊社独自のオリジナル機能となります。この機能の活用により、災害査定用写真の作成や工事写真等の作成が、さらに便利になるものと思います。

さらに本ソフトの特長として、写真上への電子黒板(工事用黒板)の後付け機能や、どなたでも直感的に使い方がわかるようにデザインに様々な工夫を施しております。

ご使用前に、本マニュアルをご一読いただき、存分に業務等にご活用いただければ幸いです。また、ご使用に当たってご不満な点等がございましたら、遠慮なくご連絡下さい。可能な限りバージョンアップ等にて対応させていただく所存です。

それでは今後とも弊社ソフトウェアを何卒よろしく願いいたします。

2015/01/15

シビルワークス(civilworks)

## 2. フォトマスターⅡの概要

### 2-1. 製品の種類

2011年10月、従来の「フォトマスターⅡ」に、姉妹品となる「フォトマスターⅡ Pro」が誕生致しました。

「フォトマスターⅡ Pro」は、それまでの「フォトマスターⅡ」をベースに、より高性能・高機能を追及した製品であり、「フォトマスターⅡ」の上位版にあたります。

今後は、性能の異なる2種類の製品をご提供することにより、お客様の多様なニーズに対応できるものと確信しております。

#### 製品の種類

フォトマスターⅡ フォトマスターⅡ Pro
--------------------------

### 2-2. 機能概要

「フォトマスターⅡ」シリーズは、デジカメで撮影した写真(画像)からアルバム(写真台帳)を作成し、写真(画像)の整理・印刷・保存等をおこなうためのソフトです。

様々なレイアウトや用紙を選択でき、写真タイトルやコメントの入力や編集も簡単におこなえます。現場写真や工事写真台帳の作成など、さまざまな分野への適用が可能です。

### 2-3. 必要システム

本製品をご利用いただくには、以下のシステムが必要です。

#### 必要システム

オペレーティングシステム(OS)	WindowsXP/Vista/7/8/8.1/10
プロセッサ	Pentium4 2GHz 以上
ディスプレイ	17inch 以上 画面解像度 1,024×768 ドット以上 (モニター解像度=96dpi とし、画面拡大していないこと)
メモリ	500MB 以上
マウス	本体に対応し、日本語MicrosoftWindowsで使用可能なもの
プリンター	本体に対応し、日本語MicrosoftWindowsで使用可能なもの
必要環境	・インターネット接続環境(ADSL 以上推奨) ・.Net Framework 3.5(注1) ・Excel 保存時はMicrosoft Excel が必要です。

注1)未インストールの場合は、セットアップ時に自動的にインストールした上で、フォトマスターをインストールします。

2-4. プログラムの特徴

項目	概要	対応状況 (対応○、非対応×)		紹介 ページ	
		フォト マスターⅡ	フォト マスターⅡ Pro		
一般	 多彩な画面モード	全7種類の画面モードの中から画面構成を選択可能。高い入力操作性を実現。	○	○	9~14
	 お気に入りフォルダ登録機能	よく使うフォルダを、お気に入りフォルダとして最大20種類登録可能。	○	○	85~87
アルバム機能	 単語登録機能	単語を、最大15語×3グループ登録可能(45単語)。いつでもリストから入力可能。	△ (10単語)	○ (45単語)	88~90
	 図形・オートシェイプ描画機能	アルバム写真上に、様々な図形、オートシェイプ、テキストの貼り付けが出来ます。	×	○	95~98
	 豆図の挿入機能	コメント欄に「豆図」を挿入可能です。豆図上へのテキスト等の貼付けも可能。	×	○	107~111
	 写真上への撮影日表示機能	写真上に、Exif情報に基づく撮影日を自動挿入することが可能。	×	○	112~113
	 様々なレイアウトに対応	1つの用紙に24種類のレイアウトを設定可能。また、アルバムの表紙作成も可能です。	○	○	119~120
	 複数レイアウトの適用	一つのアルバムに、複数のレイアウトを設定できるようになりました。	×	○	116~118
	 検索と置換機能	アルバム情報内の文字検索並びに、文字の置換をおこないます。	×	○	114~115
	 自動バックアップ機能	設定時間毎にアルバムをバックアップする機能により、停電や予期せぬエラー等であっても、復元することが出来ます。	×	○	206~207
	 付箋(インデックス)の追加/編集機能	アルバム写真に付箋やインデックスを表示することができます。	×	○	161~163
	 ログマーク表示機能	ヘッダ(フッタ)欄にロゴマーク画像を表示できます。	×	○	183~187
 おまかせ自動レベル補正機能	大量の写真から「黒潰れ」や「白とび」写真を自動判定し、補正が必要な写真のみにレベル(明暗)補正を実施します。	×	○	188~192	
出力関連	 Excel出力機能	アルバムをExcelファイルとして保存可能。「袋とじ形式」や「見開き形式」での保存にも対応しました。	○	○	80~84
	 多彩な印刷機能	見開き印刷、袋とじ印刷に対応。	○	○	76~79
	 写真一括リサイズ機能	フォルダ内の写真やアルバム写真を一括してリサイズ(画素数や画質変更等)することができます。	×	○	127~137
	 ファイル一括リネーム機能	フォルダ内の写真ファイルを一括してリネーム(名称変更)することができます。	×	○	137~141
	 災害写真作成支援機能	寸法描画、赤白帯(距離スケール)描画、測量ポール描画、引き出し線描画、傾斜文字描画機能等。	×	○	142~154
	 電子黒板機能	工事用黒板を写真上に後付け配置することが可能。	×	○	155~160
	 パノラマ写真の作成機能	2点指示法により、複数の写真を1枚に合成する機能(6枚以下)	×	○	164~166
	 撮影位置図の自動作成	弊社の「Mapget Pro」と連携して撮影位置図を自動作成。本機能により、CAD(DXF)図面や国土地理院地図上に、撮影位置マーカーや写真一覧を自動作成することが出来ます。	×	○	169~182

2-5. 「フォトマスターⅡ」と「フォトマスターⅡ Pro」の相違点

「フォトマスターⅡ」と「フォトマスターⅡ Pro」の機能上の相違点は、概ね下表のとおりです。

フォトマスターⅡソフト別機能比較表

ソフト種別	一般		アルバム関連												出力関連		その他											
	画面モード	フォルダ機能	お気に入り	単語登録機能	コメント	アルバム機能	写真への挿入	豆図の表示	撮影日時	写真上への表示	複数レイアウト	写真の機能	検索と置換機能	自動バックアップ機能	付箋の追加機能	ロゴマーク機能	自動レベル補正機能	おまかせ保存機能	Exce保存機能	表紙設定	撮影位置機能	写真リサイズ機能	ファイル名機能	成支援機能	災害写真機能	電子黒板機能	自動アップ機能	
フォトマスターⅡ	7	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
		（20フォルダ）		（10単語）																								
フォトマスターⅡ Pro	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		（20フォルダ）	（15単語×3グループ=45単語）	（コメント行間隔の2種類から選択可能）	（テキスト、直線、矢印、四角、円）	（豆図上へのテキスト、直線、矢印、四角、円）	（豆図上へのテキスト、直線、矢印、四角、円）	（レイアウトを任意位置でレイアウト変更）																				
紹介ページ	P9～P14	P85～P87	P88～P90	P52	P95～P98	P107～P111	P112～P113	P116～P118	P52～P60	114～115	206～207	161～163	183～187	188～192	P80～P84	P62～P64	P169～P182	P127～P137	P137～P141	P142～P154	P155～P160					P208		

対応...○、非対応...×

### 3. フォトマスターIIの外観

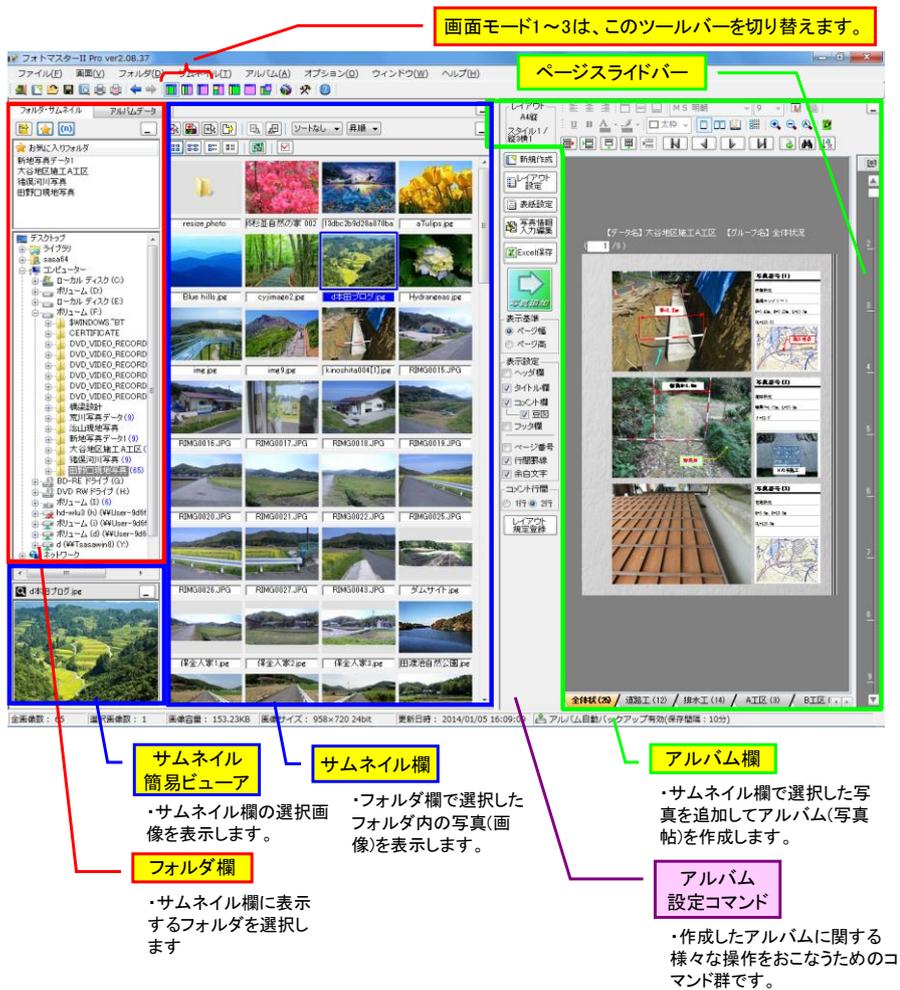
#### 3-1. 主画面

##### 3-1-1. 標準画面モードの構成

フォトマスターIIを起動した直後の「標準画面」は、基本的に下図のように「フォルダ欄」、「サムネイル欄」、「アルバム欄」の3種類の枠で構成されます。

標準画面モードは、各欄の表示比率に応じて画面モード1～3の3種類があります。各モードは、画面上部のツールボタンから選択できます。

##### ■ 「標準画面」の構成(画面モード1～3)

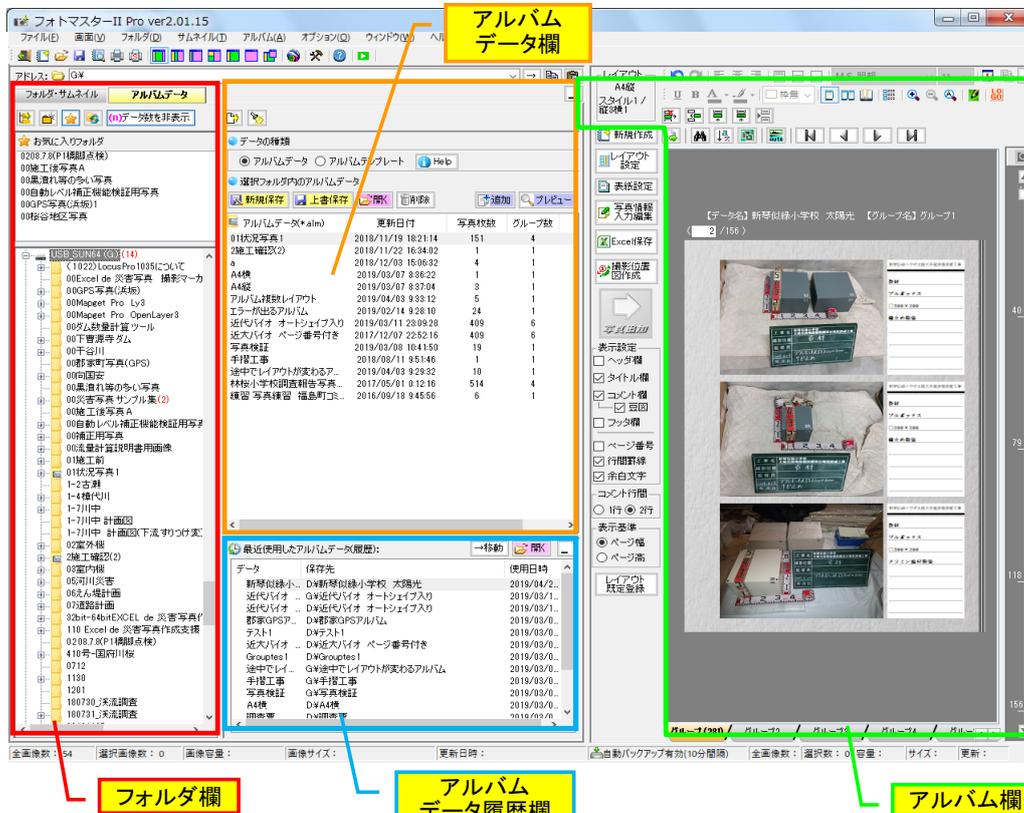


注) 上図は「フォトマスターII Pro」の画面です。「フォトマスターII」とは少し異なりますのでご了承下さいませ。

## アルバムデータ画面の構成

下図は、フォトマスターのアルバムデータを読み込んだり、作成したアルバムを保存する際に使用する画面です。

「アルバムデータ」欄は、「アルバムデータ」タブをクリックすると表示されます。



**フォルダ欄**

・アルバムデータ欄に、フォトマスターIIのアルバムデータを表示するフォルダを選択します

**アルバムデータ履歴欄**

・過去に使用したアルバムデータをリスト表示します。ダブルクリックで開くことができます。

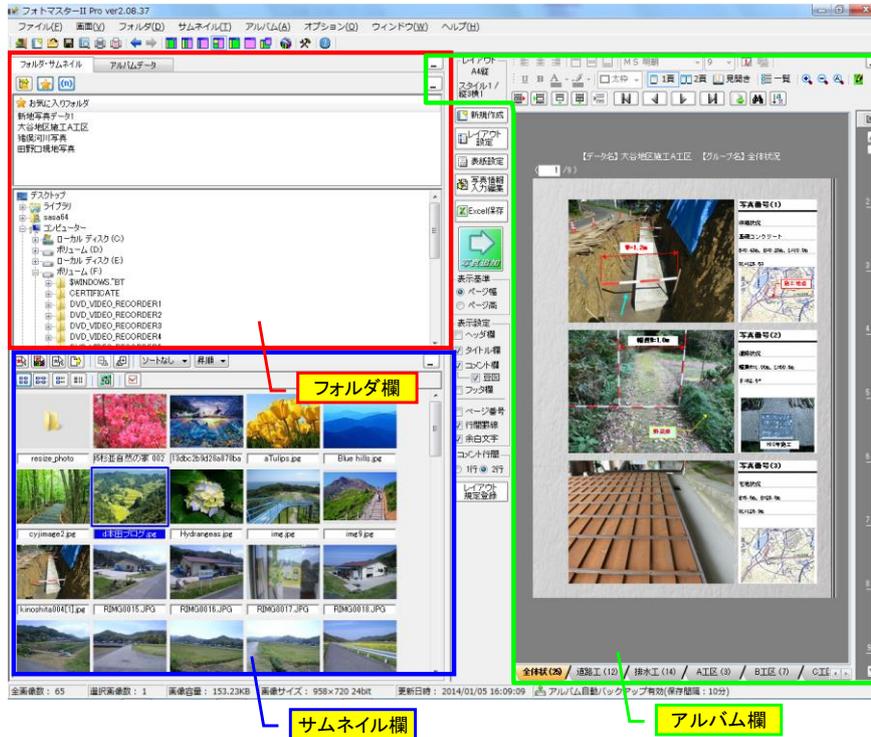
**アルバム欄**

### 3-1-2. その他の画面モード

本ソフトは、標準画面モード(画面モード1~3)以外にも、複数の画面モード(全7モード)があります。画面モードは、画面上部のアイコンを切替えることで、目的に応じた画面構成を選ぶことが出来ます。

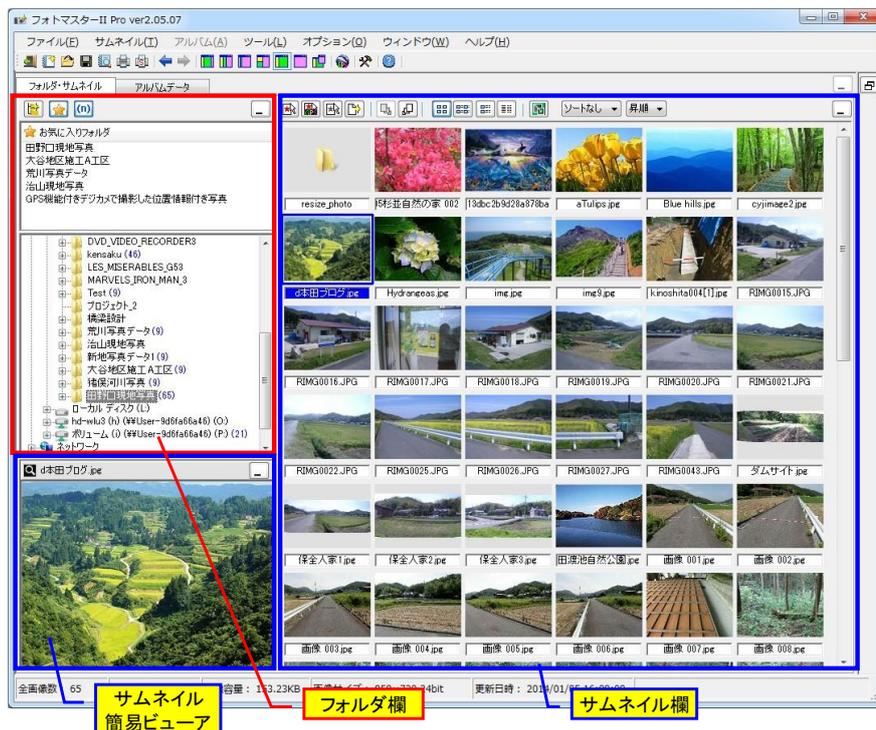
#### ■画面モード4

画面モード4は、フォルダ欄とサムネイル欄を上下に配置した画面モードです。フォルダ欄が幅広く表示されるため、多階層のフォルダ構成の場合などに便利な画面モードです。



#### ■画面モード5

画面モード5は、フォルダ欄とサムネイル欄のみを表示した画面モードです。フォルダ内にある画像ファイルの画像ビューアとして使用する場合に便利な画面モードです。

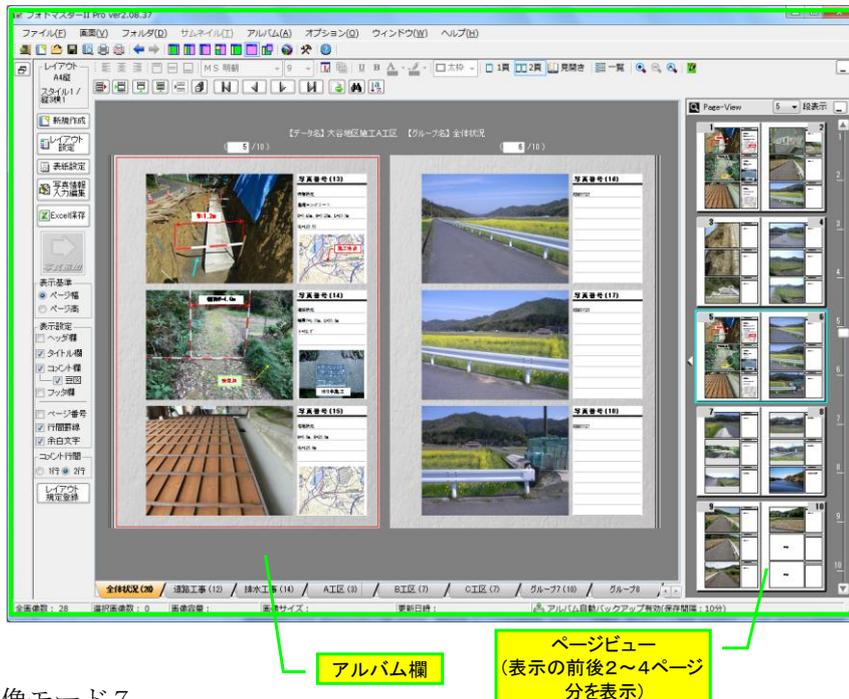


・サムネイル欄の選択画像を表示します。

## ■ 画像モード6

画面モード6は、アルバム欄のみを表示した画面モードです。操作性が高く、アルバムの編集作業等にとっても便利な画面モードです。

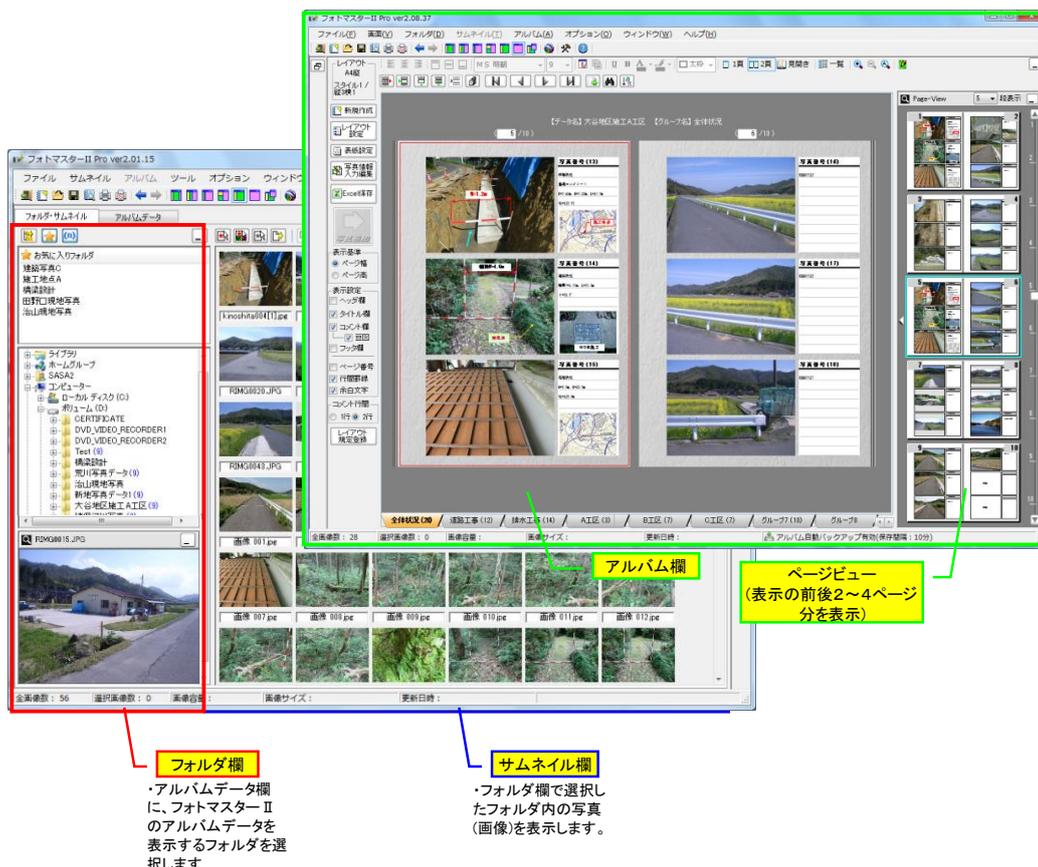
画面モード6には、画面右に、表示中のページの前後数ページ分を表示する「ページビュー」画面があり、アルバムの前後の状況を確認しながら作業がおこなえます。



## ■ 画像モード7

画面モード7は、アルバム欄を独立ウインドウとして表示した画面モードです。画面モード5と画面モード6を同時に表示した状態となり、操作性・作業性が最も高い画面モードです。特にデュアル画面などで効力を発揮するものと思われます。

画面モード7にもモード6同様、画面右に、表示中のページの前後数ページ分を表示する「ページビュー」画面があり、アルバムの前後の状況を確認しながら作業がおこなえます。

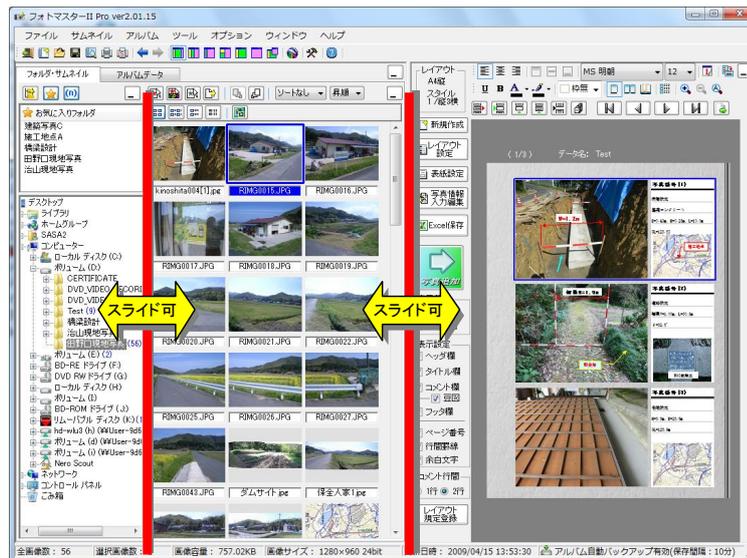


### 3-1-3. 各欄の表示幅の変更方法

前述のとおり、本プログラムの標準画面は、フォルダ欄、サムネイル欄、アルバム欄の3種類で構成されています。ユーザーの使用状況によっては、サムネイル欄の表示幅をより広くしたいケースや、あるいはアルバム欄の表示幅をより広くしたいケースなどが考えられます。

各欄の表示幅を変更したい場合は、下図のように欄の境界部をマウスで掴んでドラッグ移動することで欄幅の変更が可能です

なお、次回起動時でも変更した欄幅で表示させたい場合は、「オプション」-「動作設定」-「表示設定」-「各画面モードの画面構成比」内の「現在の画面構成比を既定登録」ボタンをクリックして記憶させてください。



### 3-1-4. 各欄の「最小化」ボタンと「元のサイズに戻す」ボタンについて

フォルダ欄、サムネイル欄、アルバム欄の各欄にはそれぞれ、非表示状態にするボタン(最小化ボタン)があります。また欄を最小化すると、再表示する(元のサイズに戻す)ボタンが表示され、そのボタンを押すと欄が再表示されます。

下図は、標準画面モード(モード1~3)においてサムネイル欄を最小化した状態の画面です。サムネイル欄を最小化することで、フォルダ選択が容易になります。

なお、サムネイル欄の「元のサイズに戻す」ボタンを押すことで、1クリックで簡単にサムネイル欄を再表示することが出来ます。

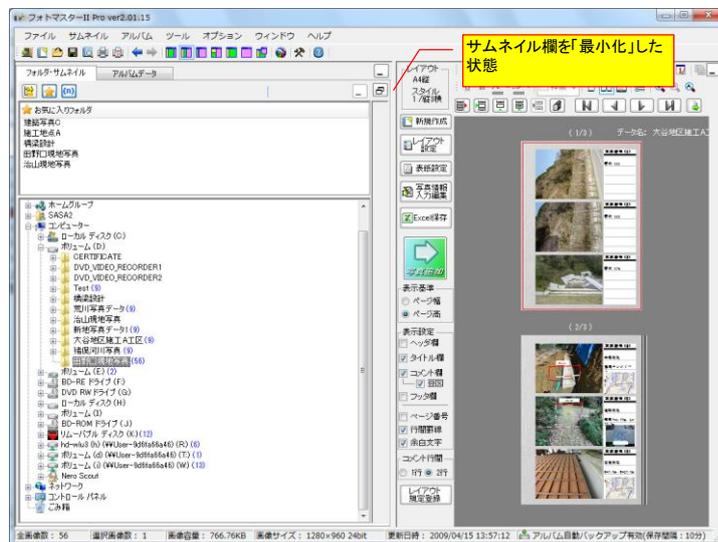


図- 標準画面モード(モード1~3)で、サムネイル欄を最小化した場合

また下図は、標準画面モード(モード1~3)においてフォルダ欄を最小化した状態の画面です。フォルダ欄を最小化することで、サムネイルの選択等が容易になります。

なお、フォルダ欄の「元のサイズに戻す」ボタンを押すことで、1クリックで簡単にフォルダ欄を再表示することが出来ます。

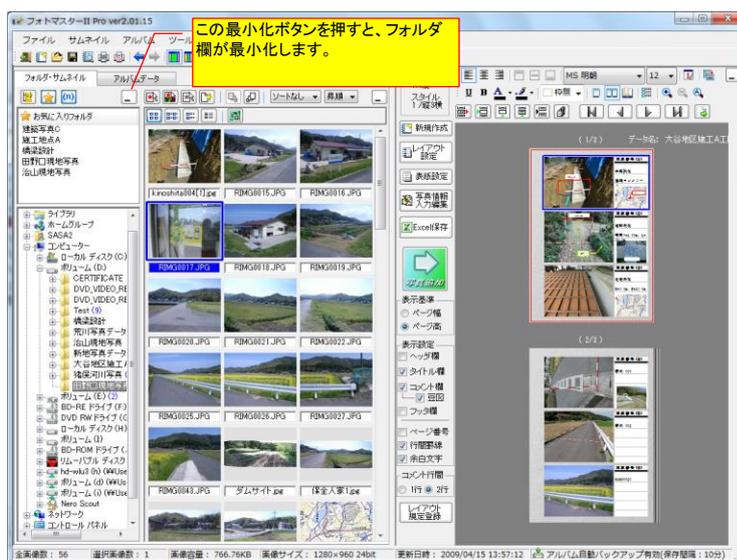
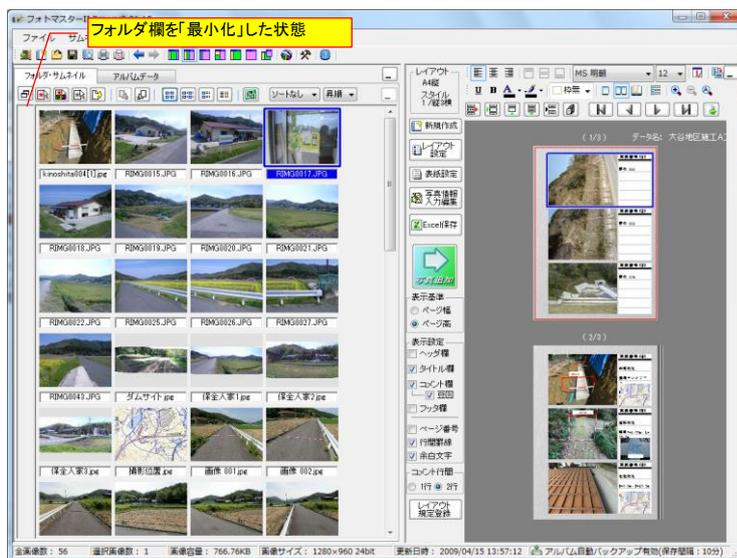


図- 標準画面モード(モード1~3)で、フォルダ欄を最小化した場合

さらに下図は、標準画面モード(モード1~3)において**アルバム欄を最小化**した状態の画面です(これは画面モード5と同じ状態です)。アルバム欄を最小化することで、フォルダ内の画像ビューアとして使用することができます。

なお、アルバム欄の「元のサイズに戻す」ボタンを押すことで、1クリックで簡単にアルバム欄を再表示することができます。

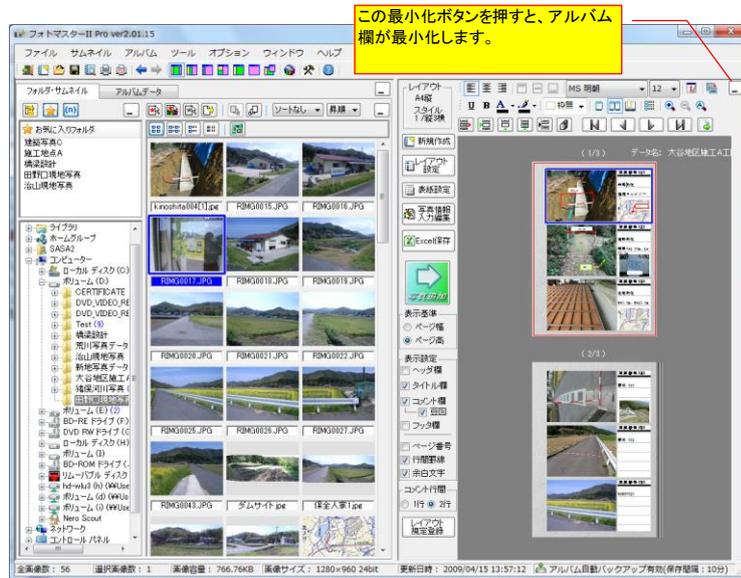


図- 標準画面モード(モード1~3)で、アルバム欄を最小化した場合

## 3-2. サムネイル欄

### 3-2-1. 表示モード

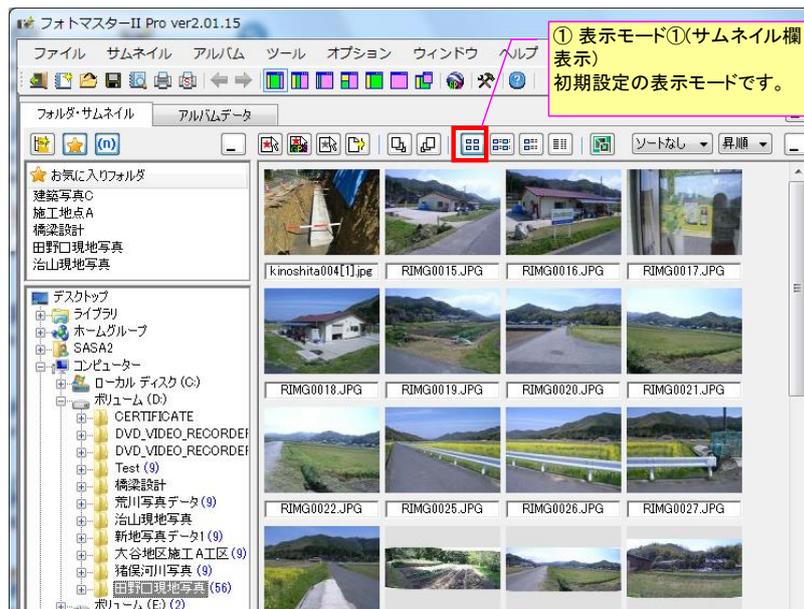
サムネイル欄の表示方法は、下記の4つの画面モードから選択できます。初期設定は「サムネイル表示」ですが、環境設定において、起動時に表示する画面モードをユーザー側で設定できます。

- ① 表示モード①(サムネイル欄表示)
- ② 表示モード②(カタログ表示1)
- ③ 表示モード③(カタログ表示2)
- ④ 表示モード④(リスト表示)

### 3-2-2. サムネイル欄の画面モード

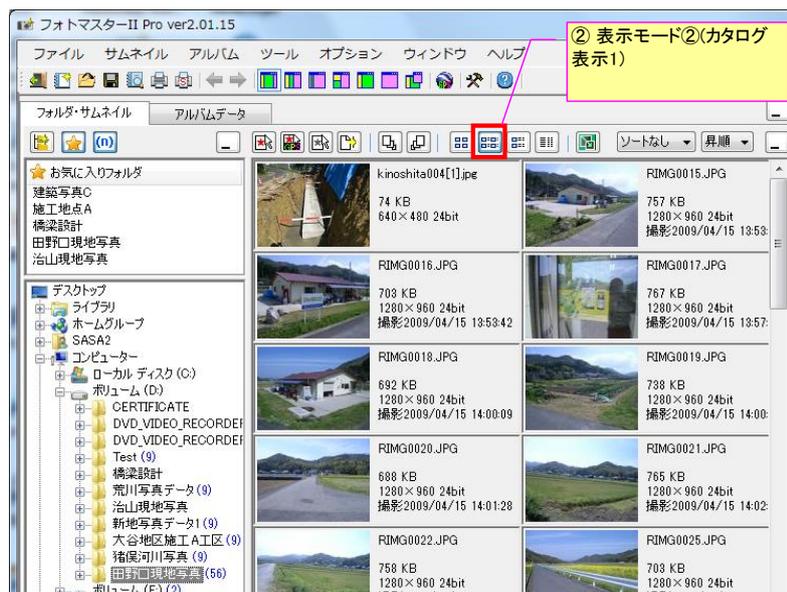
- ① 表示モード①(サムネイル欄表示)

画像を縮小したサムネイル画像を一覧表示した表示モードです。旧バージョンではこの表示モードのみでした。



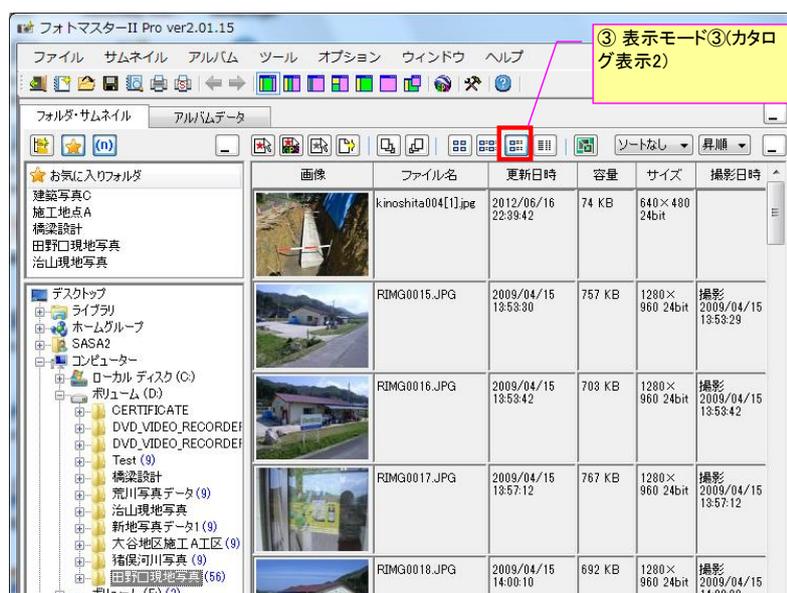
## ② 表示モード②(カタログ表示1)

画像を縮小したサムネイル画像とその画像情報を対にして一覧表示した表示モードです。



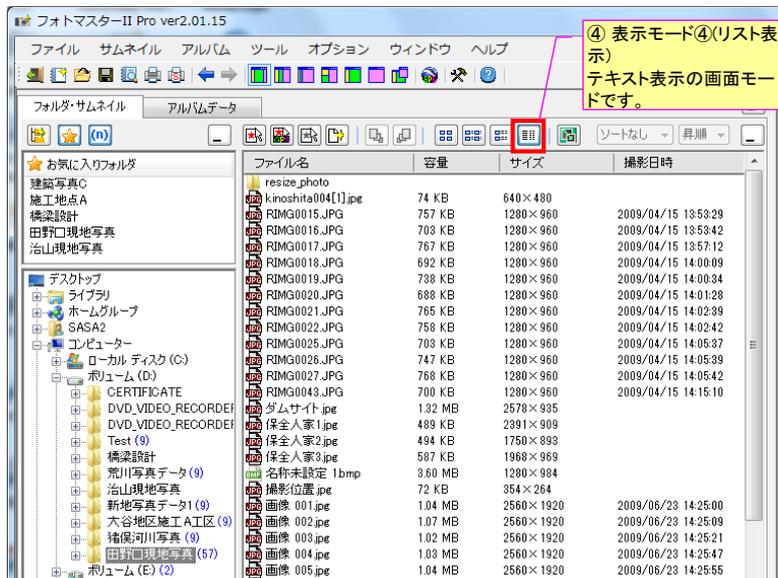
## ③ 表示モード③(カタログ表示2)

画像を縮小したサムネイル画像とその画像情報を一覧表示した表示モードです。最上部の項目名をクリックすると、昇順/降順で並び替えることが可能です。



#### ④ 表示モード④(リスト表示)

画像ファイル名と画像情報をリスト表示した表示モードです。  
最上部の項目名をクリックすると、昇順/降順で並び替えることが可能です。



### 3-3. アルバム欄

#### 3-3-1. 表示モード

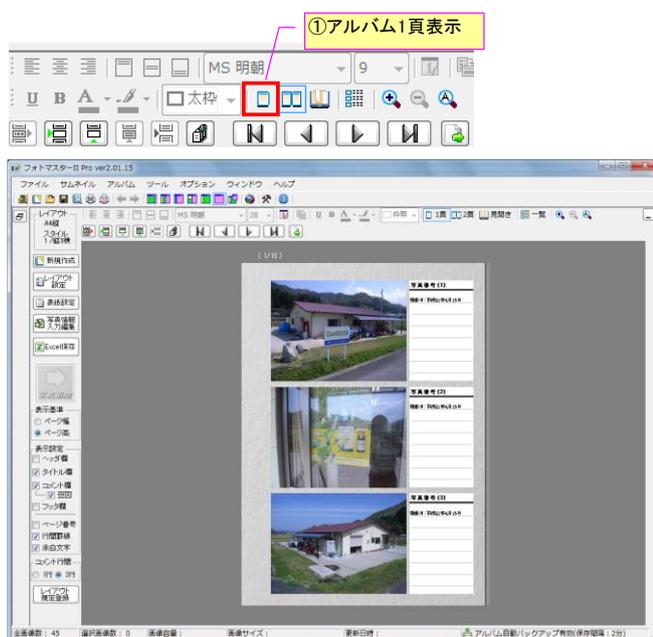
アルバム欄の画面表示は、下記の4つの画面モードから選択できます。初期設定は「アルバム2頁表示」ですが、環境設定において、起動時に表示する画面モードをユーザー側で設定できます。

- ① アルバム1頁表示
- ② アルバム2頁表示
- ③ アルバム見開き表示
- ④ アルバム一覧表示

#### 3-3-2. アルバム欄の画面モード

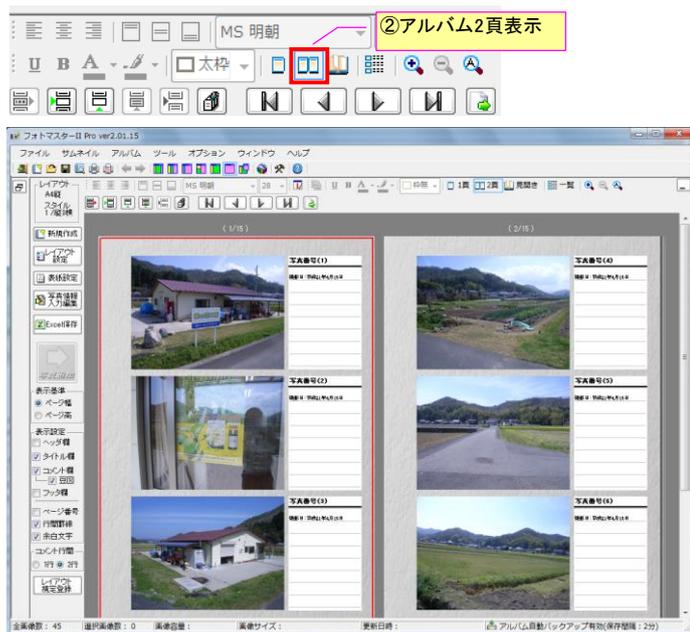
##### ①アルバム1頁表示

アルバムページを1頁ずつ表示する画面モードです。アルバムが大きく表示されるため、情報入力時等に便利な表示モードです。



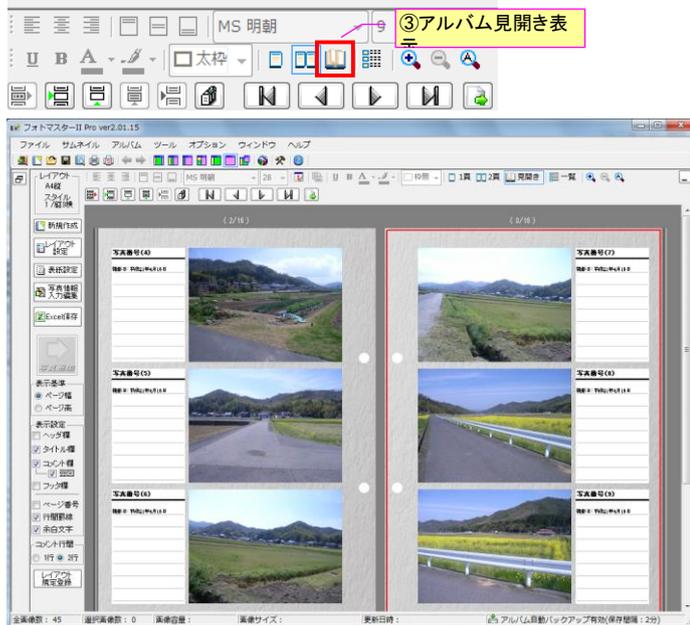
## ②アルバム2頁表示

アルバムページを2頁ずつ表示する画面モードです。アルバムを2ページずつ表示するため、前後のページ状況を確認しながら情報入力等が可能な表示モードです。



## ③アルバム見開き表示

アルバム完成時と同じ表示方法で表示する画面モードです。完成形をイメージしながらアルバムを作成することができる表示モードです。



#### ④アルバム一覧表示

アルバムの多くのページを一頁にまとめて表示することで、アルバムの全体像を把握しながらページ編集することが容易な表示モードです。ページや写真の移動や入れ替え、ページ削除などがおこないやすい表示モードです。

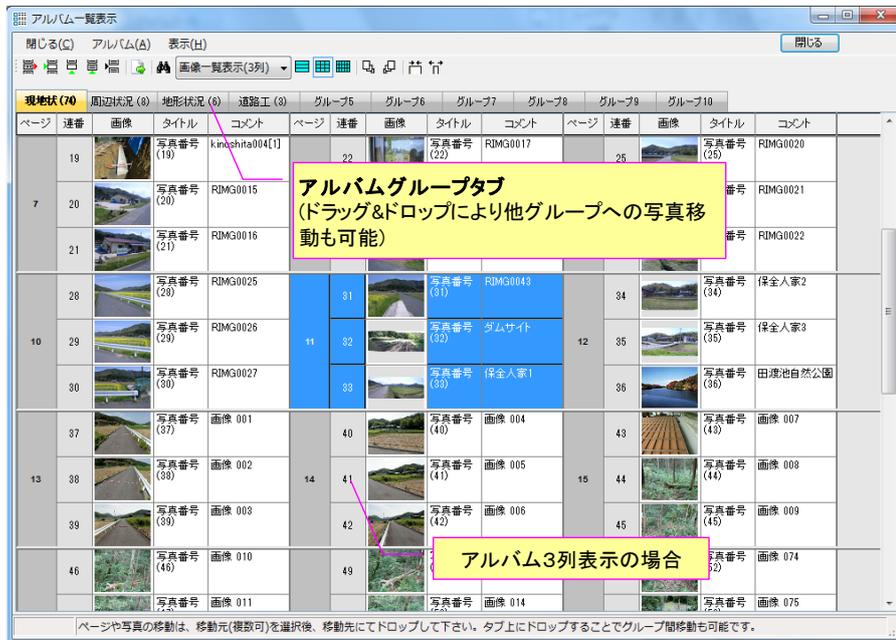


#### a) 表示モード

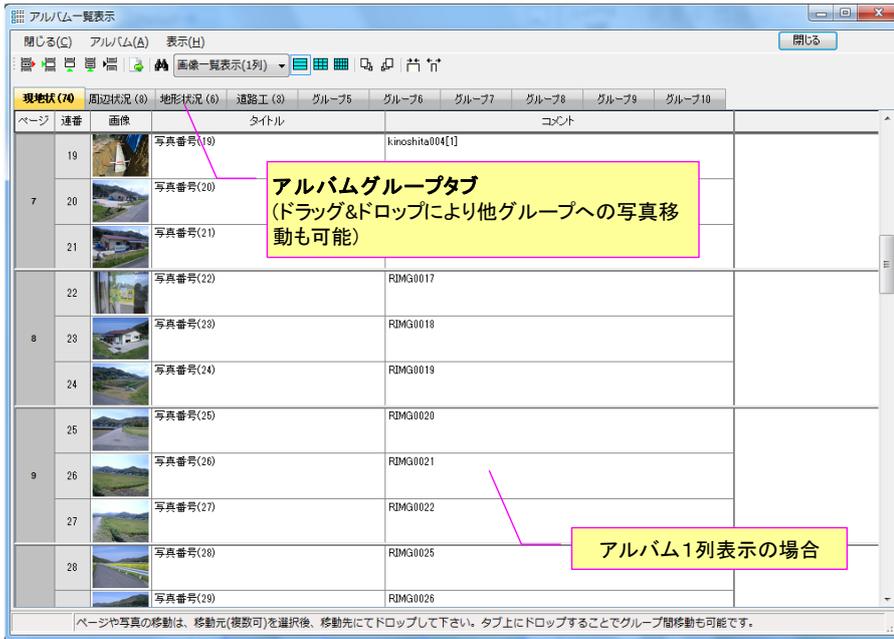
- ・ 5 列表示の場合



- ・ 3 列表示の場合



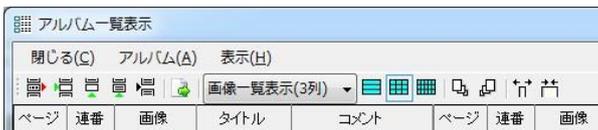
・ 1 列表示の場合



b) アルバム一覧表示画面の主なコマンド

アルバム一覧表示画面のコマンドは、基本的にアルバム欄と共通ですが、下記はページ一覧のみの主要コマンドとなります。

なお、タイトル列とコメント列の列幅調整は、最上行の列境界部をマウスで掴んで調整することも可能です。



アルバムページ一覧表示の主なコマンド

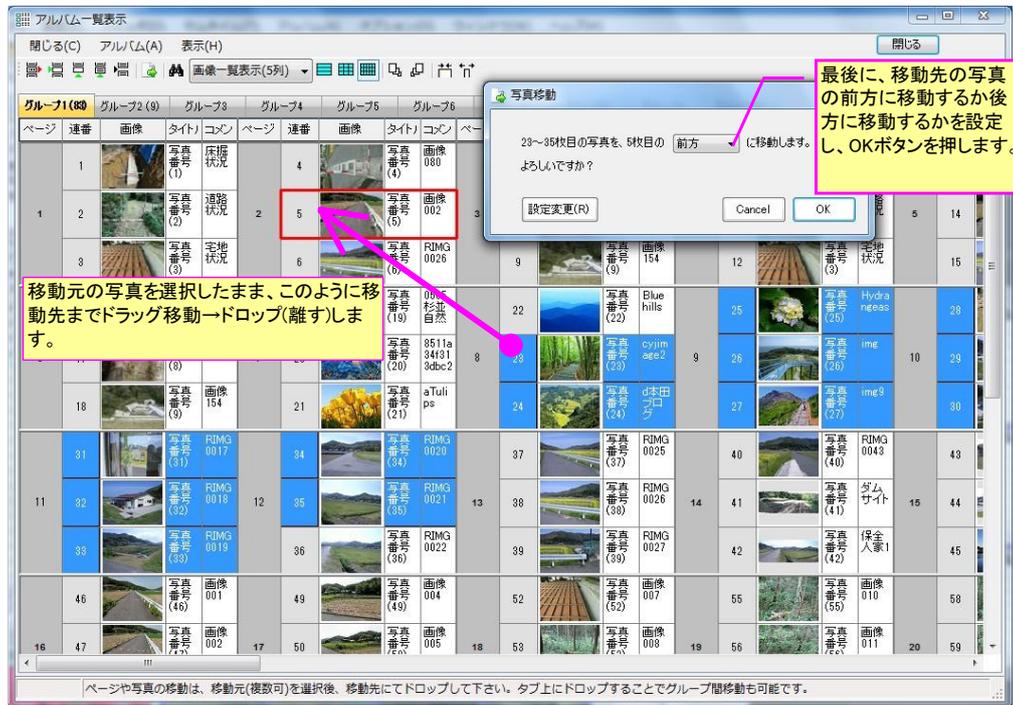
アイコン	機能
	アルバム情報の検索と置換
	画像一覧(1列表示)
	画像一覧(3列表示)
	画像一覧(5列表示)
	サムネイル縮小(1段階のみ)
	サムネイル拡大(1段階のみ)
	タイトル列とコメント列の幅を縮小
	タイトル列とコメント列の幅を拡大

### c) 複数写真の移動(入れ替え)方法

アルバムページ一覧では、複数の連続した写真を別の場所に一括移動(入れ替え)することが可能です。

方法は、下図のようにまず移動元の写真を連続選択します(Shift キーを押しながら選択すると連続選択が簡単です)。次に、移動元の写真を選択したまま、移動先の写真までドラッグ移動します。移動先の写真上でドロップ(離す)します。

すると、下図のような移動先でのドロップ位置(移動先写真の前方にドロップするか後方にドロップするか)を設定する画面が表示されますので、必要に応じて設定を変更し、最後に OK ボタンを押します。

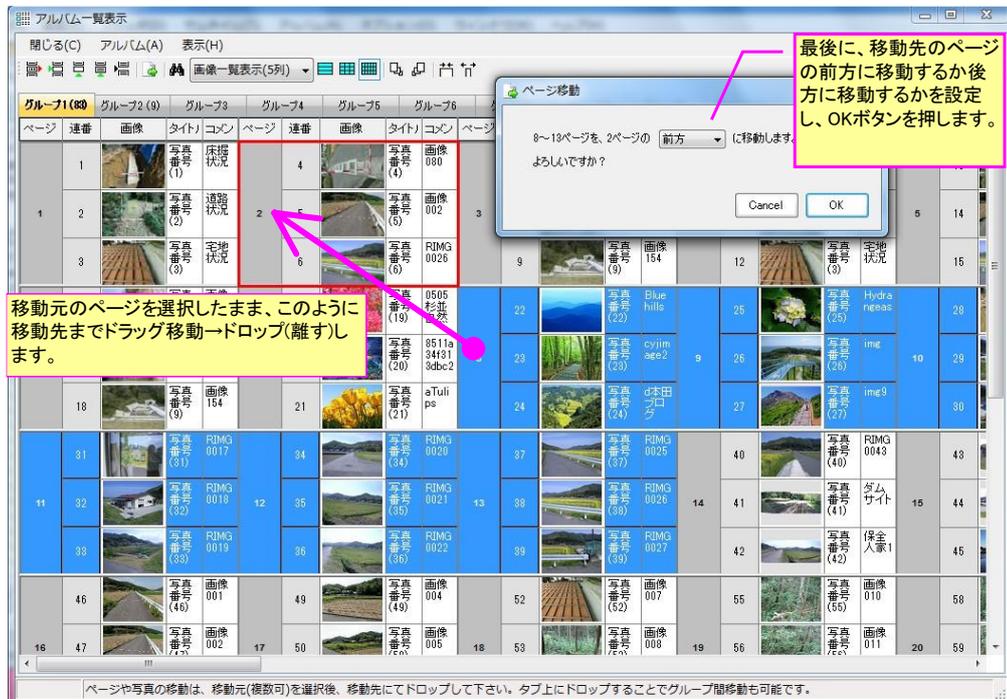


#### d) 複数ページの移動(入れ替え)方法

アルバムページ一覧では、複数の連続ページを別の場所に一括移動(入れ替え)することが可能です。

方法は、下図のようにまず移動元のページを連続選択します(Shift キーを押しながら選択すると連続選択が簡単です)。次に、移動元の複数ページを選択したまま、移動先のページまでドラッグ移動します。移動先のページ上でドロップ(離す)します。

すると、下図のような移動先でのドロップ位置(移動先ページの前方にドロップするか後方にドロップするか)を設定する画面が表示されますので、必要に応じて設定を変更し、最後に OK ボタンを押します。

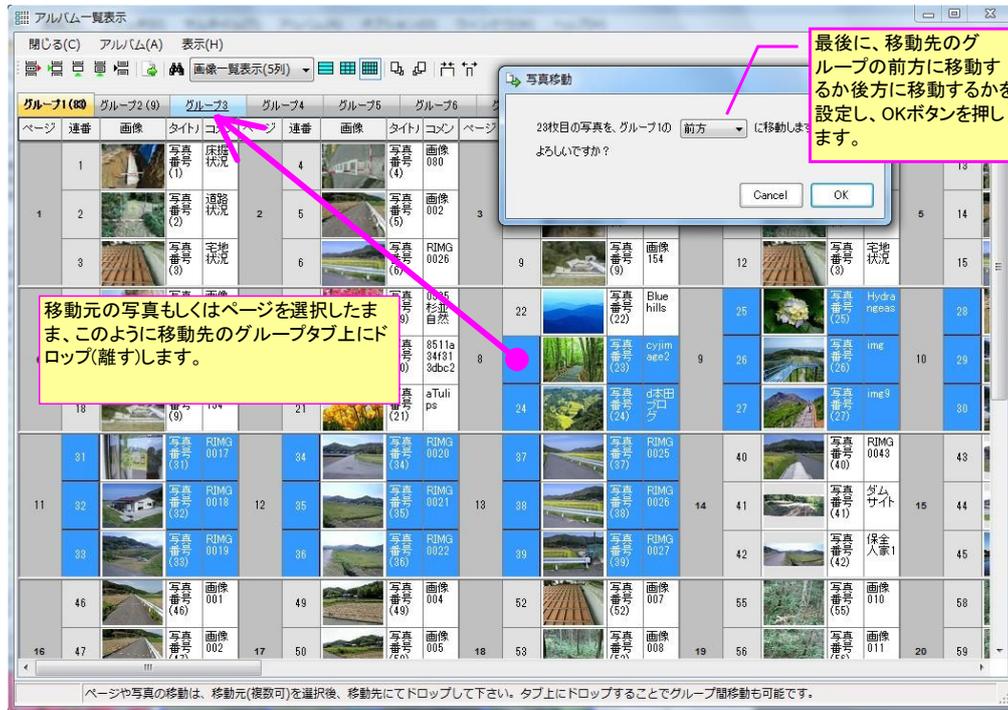


## e) アルバムグループ間の写真やページの移動方法

あるグループの写真やページを、別のグループに移動することが出来ます。

方法は、下図のようにまず移動元の写真やページを連続選択します (Shift キーを押しながら選択すると連続選択が簡単です)。

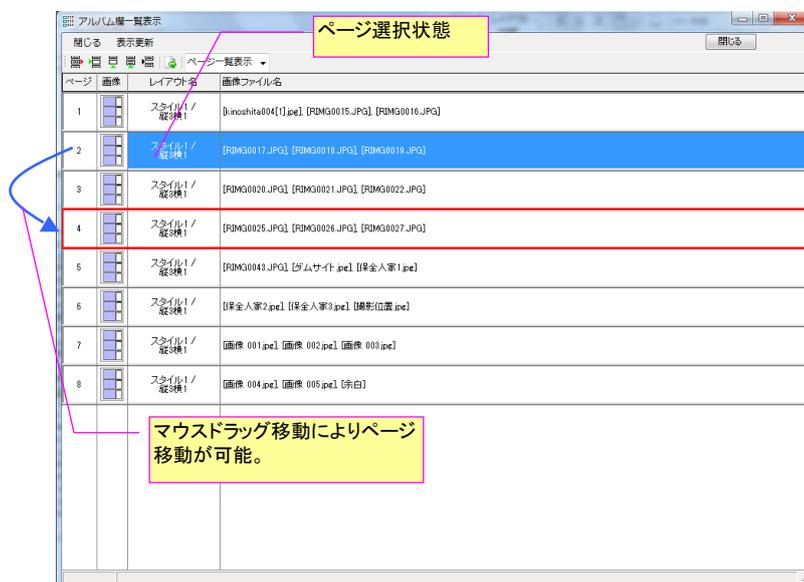
次に、移動元を選択したまま、移動先のグループタブまでドラッグ移動し、ドロップします。すると、下図のような移動先でのドロップ位置 (移動先ページの前方にドロップするか後方にドロップするか) を設定する画面が表示されますので、必要に応じて設定を変更し、最後に OK ボタンを押します。



・「ページ一覧表示」について

表示を写真一覧/ページ一覧の2種類から切り替えることが可能です。下図はページ一覧表示です。

なお、移動したいページを左クリックすると、そのページが選択されます。そしてそのままドラッグ移動して別のページ上でドロップすることで、ページを移動することが可能です。



### 3-4. ボタン配置と機能説明

#### 3-4-1. メインツールバーの説明

メニュー下のメインツールバーの機能をご説明します。

##### メインツールバーの説明

アイコン	機能説明	
ファイル	 「終了」ボタン。プログラムを終了します。	
	 「新規作成」ボタン。アルバムを新規に作成します。	
	 「開く」ボタン。フォトマスターⅡのアルバムデータ(*.alm)を開きます。	
	 「上書き保存」ボタン。アルバムデータの上書き保存を行います。未保存データの場合は保存先とデータ名を指定して保存します。	
出力関連	 「印刷プレビュー」ボタン。作成したアルバムの印刷プレビューを表示します。ただし、アルバムが未作成の場合は機能しません。また用紙の設定はここでは変更できません。	
	 「印刷」ボタン。作成したアルバムを印刷します。	
	 「サムネイル一覧印刷」ボタン。サムネイル欄に表示された画像を指定用紙に一覧印刷します。	
	 アルバムをExcel保存	
	---	アルバム写真の抜き出し保存（アルバム内の写真のみを指定フォルダ内に抜き出して保存します。写真上に貼り付けたオートシェイプなどは一体画像となります。）
	 フォトマスタービューアのダウンロード（アルバムデータの閲覧、印刷、Excel保存機能のみを有したフリーのビューアソフト。非ユーザーへのアルバムデータ提供時などにお使い下さい。）	
標準画面モード	 「画面モード1」ボタン。標準画面において、「フォルダ欄」「サムネイル欄」「アルバム欄」の各欄の構成比率(各欄の幅の比率)を画面モード1の設定に変更します。比率設定の規定値は、「オプション」-「動作設定」-「各画面モードの画面構成比」内の「現在の画面構成比を規定登録」ボタンを押すことで自由に変更することが可能です。	
	 「画面モード2」ボタン。標準画面において、「フォルダ欄」「サムネイル欄」「アルバム欄」の各欄の構成比率(各欄の幅の比率)を画面モード2の設定に変更します。比率設定の規定値は、「オプション」-「動作設定」-「各画面モードの画面構成比」内の「現在の画面構成比を規定登録」ボタンを押すことで自由に変更することが可能です。	
	 「画面モード3」ボタン。標準画面において、「フォルダ欄」「サムネイル欄」「アルバム欄」の各欄の構成比率(各欄の幅の比率)を画面モード3の設定に変更します。比率設定の規定値は、「オプション」-「動作設定」-「各画面モードの画面構成比」内の「現在の画面構成比を規定登録」ボタンを押すことで自由に変更することが可能です。	
	 「画面モード4」ボタン。フォルダ欄とサムネイル欄を上下に配置した画面構成のモード。フォルダ欄が広く表示されるため、多階層フォルダの表示に向いている。	
その他の画面モード	 「画面モード5」ボタン。フォルダ欄とサムネイル欄のみを表示した画面モード。フォルダ内の画像ビューアに適した画面モード。	
	 「画面モード6」ボタン。アルバム欄のみを表示した画面構成のモード。アルバム編集に特化した画面モード。	
	 「画面モード7」ボタン。画面モード5と画面モード6を同時に表示する画面モード。デュアルモニター等の場合に最も効果を発揮し、全7モード中、作業性、編集性に最も優れたモード。	
	 「動作設定」ボタン。表示設定や取り扱う画像形式など、様々な初期設定をおこないます。	
その他	 「撮影位置を表示」ボタン。Exif情報にGPS情報がある場合、その位置情報を読み取り、GoogleEarth、Google Map上に撮影位置を表示します。但し、フォトスター単独では位置情報は表示できません。弊社提供のフリーソフト「Sky-eye」が別途インストールされていることが必要です。(もし未インストールの場合は、自動的にダウンロードしてインストール可能です)	
	 「ヘルプ」ボタン。使用説明等のヘルプ画面を表示します。	

### 3-4-2. フォルダ欄用ツールバーのご説明

フォルダ欄の上部に配置されたフォルダ欄用のツールバーをご説明します。

フォルダ欄用ツールバーの説明

アイコン	機能説明
	「フォルダツリー表示更新」ボタン(リフレッシュボタン)。フォルダツリーの構成等を最新の状態に更新します。
	「お気に入りフォルダ欄」表示/非表示ボタン。押すたびに、フォルダ欄内に「お気に入りフォルダ欄」を表示もしくは非表示する。
	「画像枚数」表示/非表示ボタン。各フォルダ直下の画像枚数を、フォルダ名の右端に括弧書きで表示する。なお、カウントする画像形式は、「動作設定」-「表示する画像形式」に準ずる。但し、本機能はフォトマスターII Proのみとなります。

### 3-4-3. サムネイル欄用ツールバーのご説明

サムネイル欄の上部に配置されたサムネイル欄用のツールバーをご説明します。

サムネイル用ツールバーの説明

アイコン	機能説明
	1つ前のフォルダに戻る
	次のフォルダに進む
	1つ上の階層(フォルダ)に移動する
	「全選択」ボタン。すべてのサムネイル写真を選択状態にします。
	「GPS情報検索」ボタン。Exif情報にGPS位置情報のある画像を選択状態にする。
	「全選択解除」ボタン。すべてのサムネイル写真を非選択状態にします。
	「表示更新」ボタン(リフレッシュボタン)。サムネイル欄の表示を最新の状態に更新します。
	「縮小」ボタン。サムネイル画像の表示サイズを、押すたびに段階的に縮小します。
	「拡大」ボタン。サムネイル画像の表示サイズを、押すたびに段階的に拡大します。
	「サムネイル表示」ボタン。選択フォルダ内の画像をサムネイル一覧表示します。
	「カタログ表示①」ボタン。選択フォルダ内の画像について、サムネイル画像と画像情報を対にして一覧表示します。
	「カタログ表示②」ボタン。選択フォルダ内の画像について、サムネイル画像と画像情報を対にしてリスト表示します。
	「リスト表示」ボタン。選択フォルダ内の画像情報をリスト表示します。
	「一括リサイズ」ボタン。選択フォルダ内の画像を一括リサイズします。画像の画素数や画質等を小さくして容量を削減したり、サイズを統一するときに用います。
	「一括リネーム」ボタン。選択フォルダ内の画像ファイル名を一括リネーム(名称変更)します。様々なリネーム条件が設定でき、大量のファイルを簡単にリネームすることが可能です。また何度もリネームした後に、ボタン一発で初期名称に戻せる「リセット機能」も大変便利です。
	「アルバム追加済チェック」ボタン。 このボタンを押すと、現在サムネイル欄に表示されている画像のうち、既にアルバム欄に追加されている写真上にチェックマークを表示します。 この機能により、追加済写真と未追加写真が区別できるため、二重登録などを防止できます。
	「パノラマ写真(2点指示法)の作成」ボタン。 このボタンを押すと、選択写真を合成して1枚の写真にするための操作画面が表示されます。 なお本機能は自動合成ではなく、画質劣化の殆どない2点指示法により合成します。
	「おまかせ自動レベル補正」実行ボタン。 このボタンを押すと、対象写真に対して「黒潰れ」や「白とび」写真を自動判定し、補正が必要な写真に対してのみレベル補正(明暗補正)をおこなう。

### 3-4-4. アルバム欄用ツールバーのご説明

アルバム欄の上部に配置されたアルバム欄用のツールバーをご説明します。下記設定は、アルバム欄の全ページに反映されます。(欄毎に異なる設定はできません)

#### 1) 入力欄に関する設定

アルバム欄用ツールバーの説明

	アイコン	機能説明
書式設定		「左寄せ」ボタン。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄内の文字を左寄せにします。
		「中央揃え」ボタン。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄内の文字を中央に揃えます。
		「右寄せ」ボタン。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄内の文字を右寄せにします。
		「上詰め」ボタン。タイトル、ヘッダ、フッタ各欄内の文字を、欄の上方に詰めます。
		「中央揃え」ボタン。タイトル、ヘッダ、フッタ各欄内の文字を、欄の上下方向の中央に揃えます。
		「下詰め」ボタン。タイトル、ヘッダ、フッタ各欄内の文字を、欄の下方に詰めます。
		「フォント設定」欄。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄の文字フォントを設定します。
		「文字サイズ設定」欄。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄の文字サイズを設定します。
		アルバム写真上に撮影日を挿入します。Exif情報に基づいて撮影日等を自動挿入します。
		「アンダーライン(下線)設定」ボタン。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄内の文字にアンダーライン(下線)を設定します。
		「太字(強調文字)設定」ボタン。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄内の文字を太字(強調文字)に設定します。
		「文字色設定」ボタン。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄内の文字色を設定します。
		枠線の色設定ボタン。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄の枠線色を設定します。
		「欄の枠線設定」ボタン。タイトル、コメント、ヘッダ、フッタ各欄の枠線の設定をおこないます。
アルバム表示		アルバムを1ページ表示。
		アルバムを2ページ表示。
		アルバムを見開き表示。
		アルバム一覧表示。ページ一覧を表示して、内容確認やページ移動、写真移動等をおこなうことができます。
		アルバムを拡大表示。
		アルバムを縮小表示。
その他		選択中の写真のレイアウト変更ボタン。選択している写真(1枚)のレイアウトを変更します。(複数の写真のレイアウトを変更する場合は、写真上でのショーツカットメニューから実行。)
		単語登録リスト。よく使用する単語を登録しておき、リストから選択していつでも情報欄に入力できます。
		アルバム情報の検索/置換機能。アルバム内の情報からキーワードを検索したり、一括置換することができます。
		アルバム写真の並び替え(ソート)機能。アルバム内の写真を「タイトル名」「ファイル名」「撮影日時」「更新日時」により降順/昇順に並び替えることが出来ます。
		ページのヘッダ欄やフッタ欄に、企業ロゴマーク等の画像を表示します
	「おまかせ自動レベル補正」実行ボタン。 このボタンを押すと、対象写真に対して「黒潰れ」や「白とび」写真を自動判定し、補正が必要な写真に対してのみレベル補正(明暗補正)をおこなう。	

注)一部、「フォトマスターII Pro」のみに対応/実装している機能があります。ご了承下さい。

## 2) アルバムページに関する設定

アルバム欄用ツールバーの説明(アルバムページ関連)

アイコン	機能説明
	「ページ先頭移動」ボタン。アルバムの先頭ページを表示します。
	「前ページ移動」ボタン。現在表示しているページの前のページを表示します。
	「次ページ移動」ボタン。現在表示しているページの次のページを表示します。
	「最終ページ移動」ボタン。アルバムの最終ページを表示します。
	「指定ページ移動」ボタン。指定したページを表示します。
	「ページ削除」ボタン。現在表示中のページを削除します。
	「ページ挿入」ボタン。現在表示中のページの前に、空白ページを1ページ追加します。
	「ページ追加」ボタン。最終ページの後に、空白ページを1ページ追加します。
	「ページ追加(最終ページ情報複写)」ボタン。最終ページの後に、最終ページの入力情報を貼り付けした上で1ページ分追加します。但し、写真は複写されません。
	「ページ区切り」ボタン。現在選択している写真の手前でページを区切ります。
	ページ入れ替えボタン。アルバムページを入れ替えるときに使用します。

### 3-4-5. アルバム設定コマンドの説明

アルバム設定コマンドとは、サムネイル欄とアルバム欄の間に配置された、縦方向に配置されたコマンド群のことです。これらのコマンドは、アルバムに関するコマンドのうち、使用頻度の高いものを抜粋して配置したものです。コマンドの配置とその機能は下記のとおりです。

The image shows a vertical toolbar with various icons and text boxes explaining their functions. The toolbar items from top to bottom are: レイアウト (Layout), 新規作成 (New), レイアウト設定 (Layout Settings), 表紙設定 (Cover Settings), 写真情報入力編集 (Photo Information Input/Editing), Excel保存 (Excel Save), 撮影位置図作成 (Photography Position Map Creation), 写真追加 (Add Photo), 表示設定 (Display Settings), コメント行間 (Comment Line Spacing), 表示基準 (Display Standard), and レイアウト規定登録 (Layout Standard Registration).

**レイアウト** (A4縦, スタイル1 / 縦3横1): 現在選択中のアルバムの用紙サイズとレイアウトを表示します。

**新規作成**: ボタンを押すとレイアウト設定画面が表示されます。アルバム欄のレイアウトを変更したり、レイアウト設定を調整する場合に使用します。

**レイアウト設定**: アルバムを新規作成する場合に使用します。ボタンを押すと、現在のアルバムデータは消え、空白のアルバム欄が表示されます。

**表紙設定**: アルバム表紙の設定画面を開きます。

**写真情報入力編集**: 写真のタイトル欄及びコメント欄に情報を入力するためのウィンドウを表示します。(なお、タイトル欄及びコメント欄への直接入力も可能です)

**Excel保存**: 作成したアルバムをExcelファイルとして保存します。

**撮影位置図作成**: 写真のGPS情報を読み取り、地理院地図やCAD地形図、ラスター地図上に撮影位置と撮影方向を示す「撮影マーカー」を自動配置します。地図はすべて、縮尺が設定可能です。特にCAD地図の場合は、作成した撮影位置図を、DXF保存できますので、CADソフト側で編集可能です。

**写真追加**: 「写真追加」ボタンを押すと、サムネイル欄の写真のうち、選択状態にある写真をアルバムに取り込みます。(なお、ドラッグ&ドロップによる写真追加も可能です。)

**表示設定**: アルバムにページを表示するかどうか、また、写真のない写真枠内に「余白」文字を表示するかどうかを設定します。この表示設定は、レイアウト設定内にはありません。

**コメント行間**: コメント欄内の行間罫線の間隔を1行/2行間隔のいずれかに設定します。間隔を「2行」にすると、行間隔が拡がり、コメント行の内容がとて読み易くなります。

**表示基準**: アルバムのページ表示形態を切り替えます。「ページ高」は、アルバム欄の高さに合わせてページを表示し、「ページ幅」は、アルバム欄の幅に合わせてページを表示します。

**レイアウト規定登録**: 現在表示されているアルバムレイアウトを「規定レイアウト」に設定します。「規定レイアウト」に設定すると、次回起動時より、起動直後にそのレイアウトが表示されるようになります。(この設定は、レイアウト設定内の「規定に登録」ボタンと同一機能です)

なお本機能は、弊社の別ソフト「国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Magget Pro」【デラックス版】ver6.0以降が必要です。

アルバムページ内の情報入力欄の表示・非表示を設定します。この設定は、レイアウト設定内の「表示欄の設定」と連動しています。

注)一部、「フォトマスターII Pro」のみに対応/実装している機能があります。ご了承下さい。

### 3-4-6. アルバムデータ欄用コマンドの説明

アルバムデータ欄に関連する主なコマンドとその機能は下記の通りです。より詳しい機能については、「4-3-9. アルバムを保存する」を参照下さい。

アルバムデータ欄用ツールの説明	
アイコン	機能説明
	作成したアルバムに名前を付けて保存します。作成したデータは、フォトマスター専用の拡張子(*.alm)となり、写真ファイルと共に、データ名のフォルダ下に保存されます。
	アルバムデータを上書保存します。
	アルバムデータを読み込んでアルバム欄に表示します。
	アルバムデータを削除します。

## 4. フォトマスターの使用方法

### 4-1. インストール方法

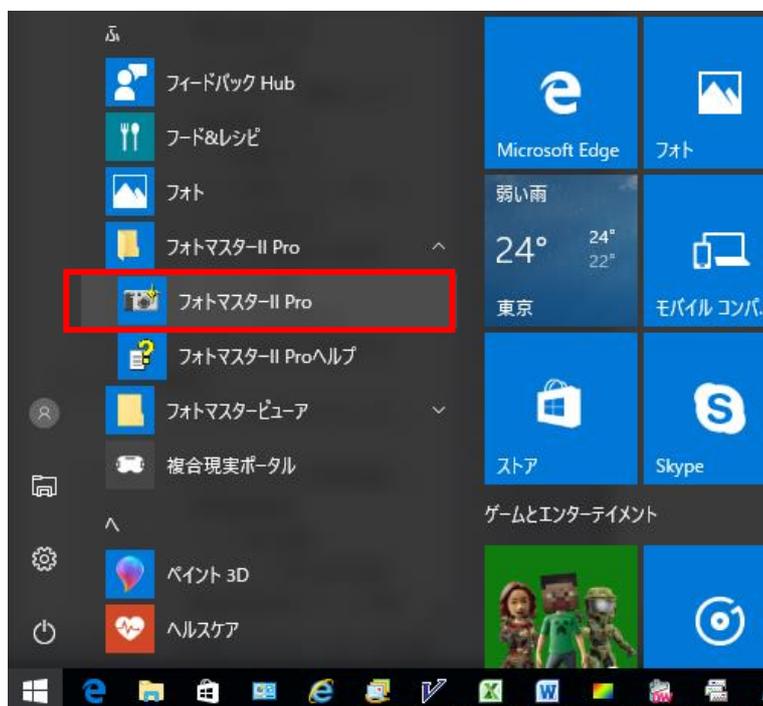
フォトマスターのインストール方法については、同梱の「[インストールガイド.pdf](#)」をご覧ください。

### 4-2. プログラムの起動

#### 4-2-1. 起動方法

フォトマスターのインストール完了後、プログラムを起動するには、[スタート] – [プログラムリスト] – [フォトマスターII Pro] – [フォトマスターII pro]の順で選択してプログラムを起動します。

なお、インストールは、ダウンロードファイル内に同梱された、`setup.exe` をダブルクリックした後、画面の指示に従ってインストールをおこないます。



#### 4-2-2. パスワードの入力(および体験版での機能制限について)

プログラムを起動すると、パスワード入力画面(下図)が表示されます。

体験版として試用する場合は、「体験版として試用」ボタンを押して下さい。ただし、体験版では以下の機能制限があります。

- ① 印刷時にページ中央に「体験版」の文字が上書きされます
- ② Excel 保存は1 ページ(かつ1 シート)のみとなります
- ③ アルバムデータを保存することが出来ません
- ④ 写真リサイズ機能において、対象に下位フォルダを含む機能は使えません。

機能制限を解除するには、ライセンス購入に伴い発行されるパスワードが必要になります。パスワードを入力欄に入力した後、「解除」ボタンを押して下さい。機能制限が解除されます。なお、ライセンスの購入方法については、ホームページ(<http://www.civilworks.jp/>)もしくはReadme.txt をご覧ください。

Password入力画面(フォトマスターII Pro)

機能制限を解除するためのパスワードを入力し、最後に「解除」ボタンを押して下さい。

パスワード(ライセンスキー)入力画面

-  -  -

 Civilworksホームページ  
(ライセンス購入・更新情報)

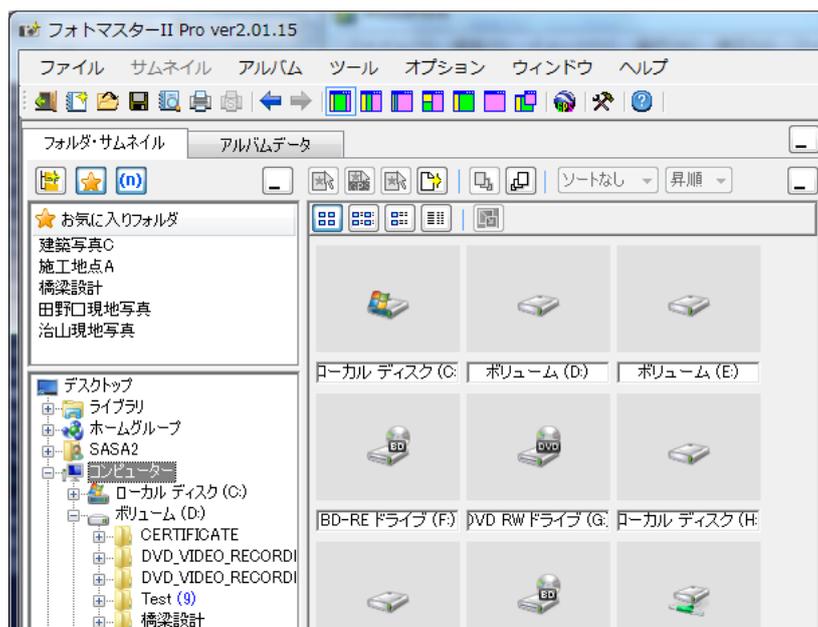
## 4-3. 基本操作

ここでは、フォトマスターの最も基本的な使用手順についてご説明いたします。

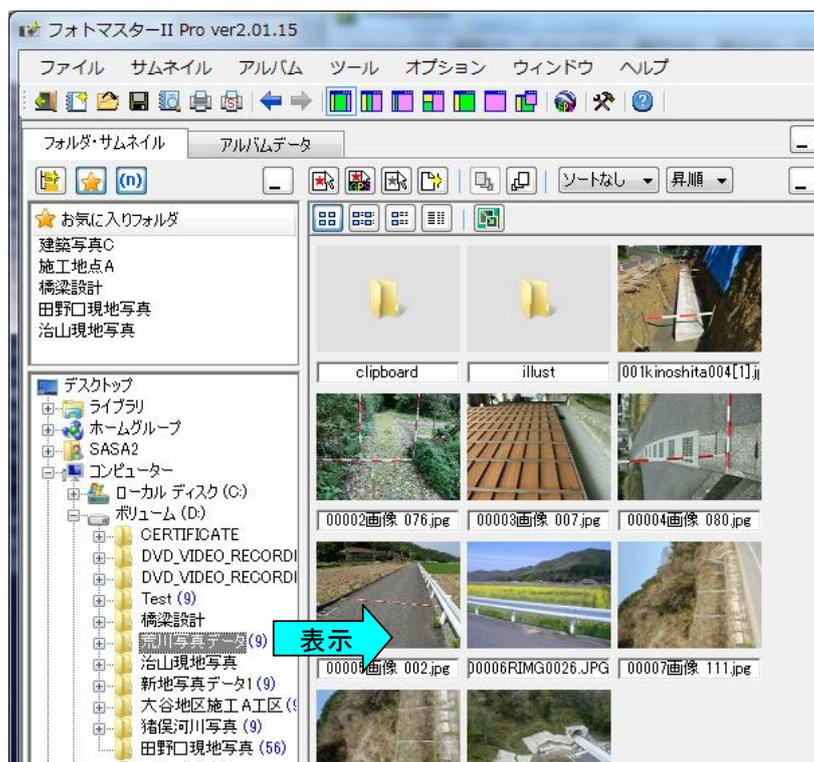
### 4-3-1. サムネイル欄への写真表示

#### 1) サムネイル欄への画像表示

フォトマスター起動後にまずおこなうことは、サムネイル欄に写真を表示することです。フォトマスター起動直後のフォルダ欄は、一般に下図のようなツリー構成となっていることが多いと思います。サムネイル欄に写真を表示するには、[+]マークをクリックして下層フォルダを表示し、写真が保存されているフォルダを指定して下さい。



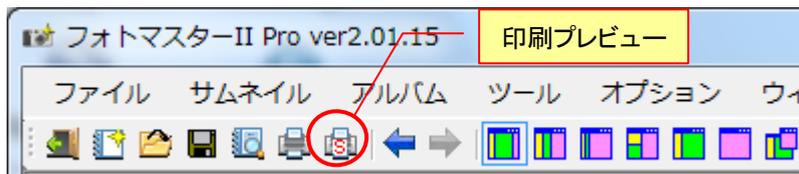
サムネイル写真  
の表示



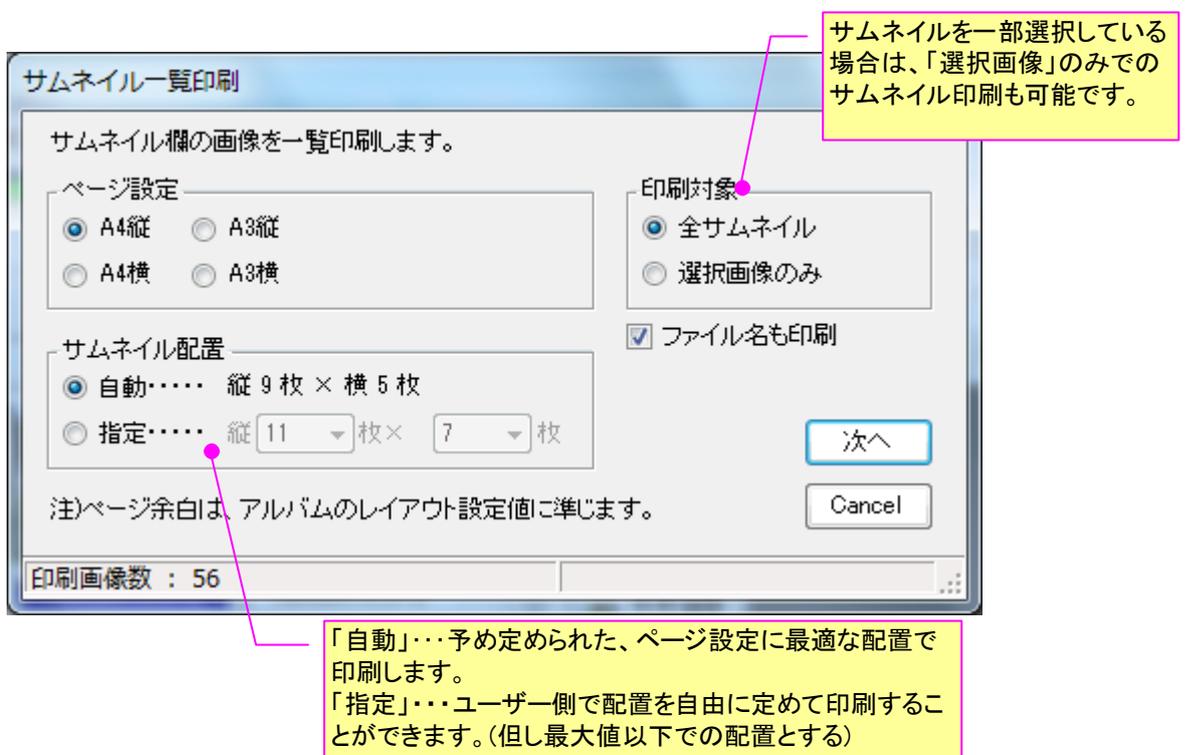


#### 4-3-2. サムネイルの一覧を印刷する (かんたん印刷機能)

サムネイルの一覧を簡単に印刷できます。



サムネイル一覧印刷ボタンを押すと、下記の「サムネイル一覧印刷」ウィンドウが表示されます。用紙サイズ、印刷対象、サムネイル配置数を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。



「次へ」ボタンを押すと、下図の「印刷基本設定」が表示されます。通常はここでの設定は必要ありませんので、そのまま「OK」ボタンを押して印刷を開始してください。

なお、「印刷基本設定」については、後述の「4-2-9. アルバムを印刷する」にて詳しくご説明します。



### 4-3-3. 写真の選択方法

サムネイル欄に写真が表示されたら、次はアルバム(写真帖)に追加する写真を選びます。写真を選択するには、下記の3種類の手法があります。

#### サムネイル写真の選択方法

選択方法	操作	説明
全選択	 ボタン	サムネイル欄の全写真が選択されます。
個別選択	[Ctrl]+[左クリック]	[Ctrl]キーを押しながらマウスで左クリックすると、クリックした写真が1枚ずつ追加選択されます。アルバムは、 <b>クリックした順番</b> で作成されます。
連続選択	[Shift]+[左クリック]	例えば2番目の写真をクリックした後、10番目の写真を[Shift]+[左クリック]すると、2番~10番目までの写真がすべて選択されます。

### 4-3-4. アルバムの作成

#### 1) 写真の追加

写真を選択した後は、いよいよアルバム(写真帖)を作成します。

アルバム(写真帖)を作成するには、選択した写真をアルバム欄に追加する必要があります。写真を追加するには下記の2種類の手法があります。

#### アルバム欄への写真の追加方法

操作	説明
 ボタンを押す	「写真追加」ボタンを押して、写真を追加します
ドラッグ&ドロップ	サムネイル欄からアルバム欄に「ドラッグ&ドロップ」で追加します。ドロップする位置は、アルバム帖の写真上もしくはページ上です。

アルバムを新規作成した直後に写真を追加した場合には、下記の「写真のアルバム追加」ウインドウが表示されます。このウインドウは、アルバムのタイトル欄とコメント欄に自動表示する情報を設定するためのものです。なお、このウインドウは、アルバム作成直後のみ表示されます。

アルバム欄に写真を追加する際、自動的にタイトル欄に入力する初期情報を設定できます。設定できる情報は、「ファイル名」「撮影日」「写真番号」のうちの1つです。

アルバム欄に写真を追加する際、自動的にコメント欄に入力する初期情報を設定できます。設定できる情報は、「ファイル名」「撮影日」「写真番号」「撮影位置(緯度経度)」「撮影方向」から複数選択可能です。なおExif情報に記録されていない情報は例え選択しても「空白」となります。

**写真のアルバム追加**

■ 選択した写真(全1枚)を、下記設定に従って、選択順にアルバムに追加します。よろしいですか?

**初期入力情報の設定**

タイトル欄に入力する初期情報

なし(N)

ファイル名(E)

撮影日(D)

写真番号(連番入力)(P)

写真の自動回転を有効にする

コメント欄に入力する初期情報

なし(M)

あり(E)

- ファイル名
- 撮影日
- 写真番号
- 撮影位置
- 撮影方向

表示順

**書式設定**

ファイル名

撮影日

写真番号

**写真のリサイズ**

追加時にリサイズする Help

【自動設定】... サイズ指定 【910×682】 設定変更(R)

品質・容量 【指定しない】

注)アルバム写真のみリサイズされます。元画像には影響ありません。

Cancel

ファイル名の表示方法を設定する場合はこのボタンを押します。拡張子の有無を設定します。

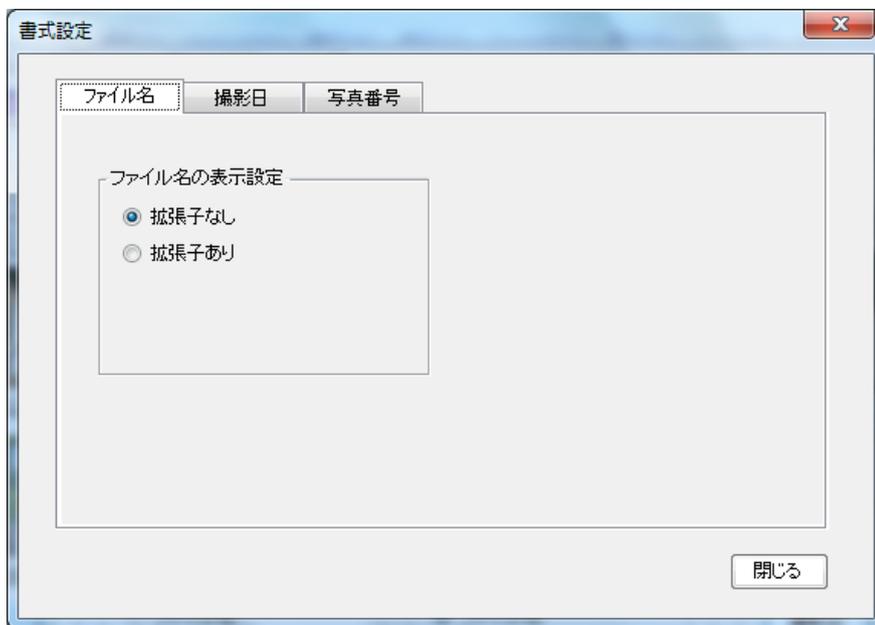
撮影日の表示形式を設定する場合はこのボタンを押します。

写真番号の表示形式を設定する場合はこのボタンを押します。

自動的にコメント欄に入力する初期情報を複数選択した場合に、コメント欄に追加する順番を変更します。

写真をリサイズしてからアルバムに追加します。リサイズとは写真の画素数や品質を変更して容量を調整(小さく)することです。  
**(元画像はリサイズされません)**

「ファイル名の表示設定ウインドウ」



「撮影日の表示設定ウインドウ」

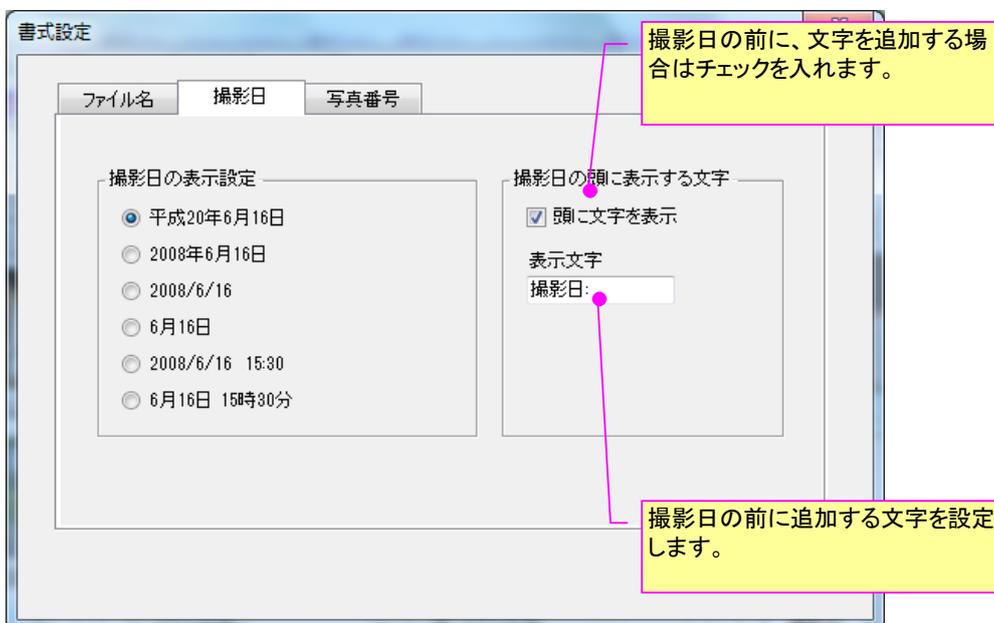
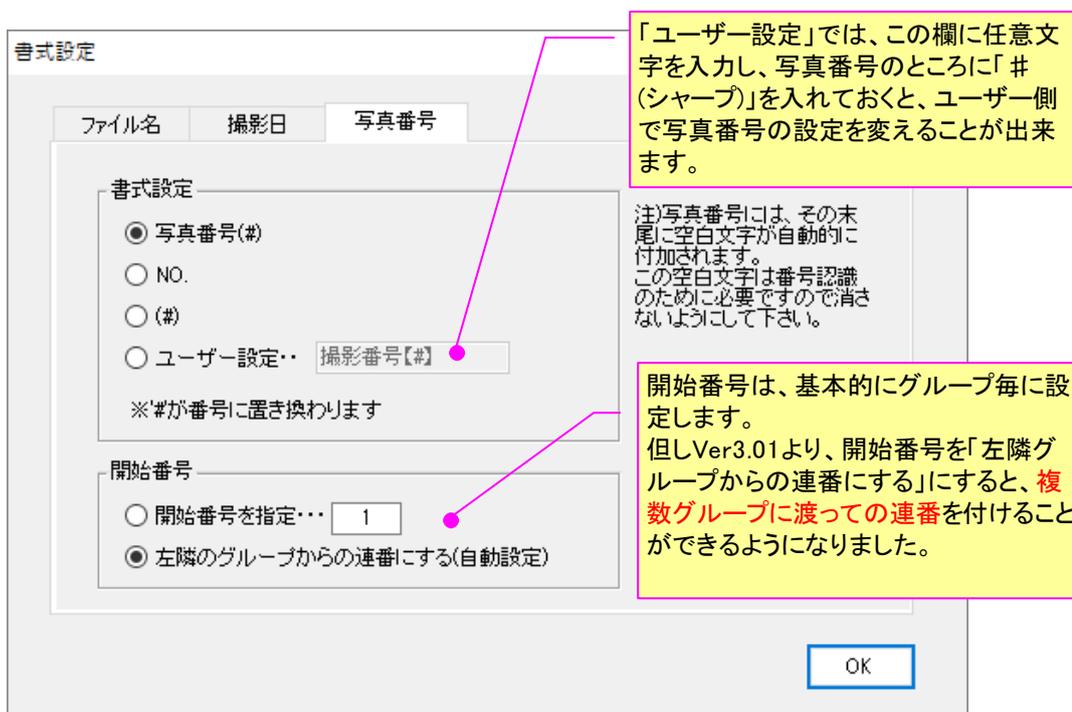


図 「写真のアルバム追加」ウインドウでの設定画面

・タイトル欄にファイル名(拡張子なし)を、そしてコメント欄(文字付)に撮影日を表示するように設定した場合の作成例



## 写真番号の入力書式の設定変更



写真番号の書式設定は、上記の画面にておこないます。

書式のうち「ユーザー設定」については、「#」が写真番号になりますので、必ず「#」の入った文字列を設定してください。

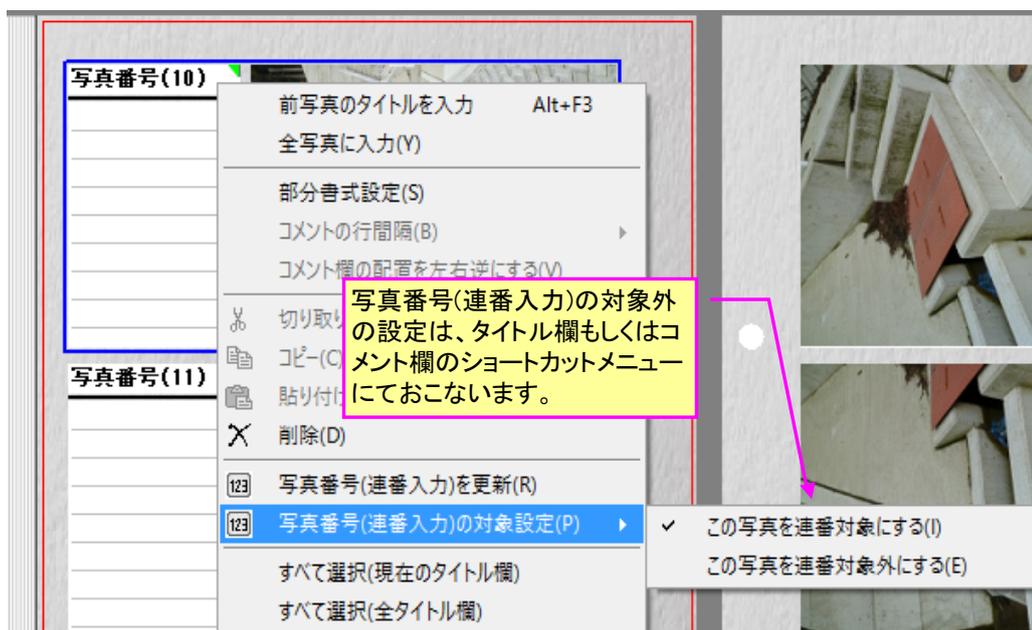
また Ver3.01 より、「開始番号」を「左隣のグループからの連番にする」の設定にすることで、複数のグループにまたがって写真番号を連番設定する機能を設けています。

なお、アルバムに追加する写真はすべて、元写真を「一時作業フォルダ」にコピーしたうえで、そのコピーした写真に対して編集を行います。こうすることで、例えばアルバム内の写真に対して画質調整やトリミングなどの編集をおこなっても元画像に影響が及ばないようにしています。

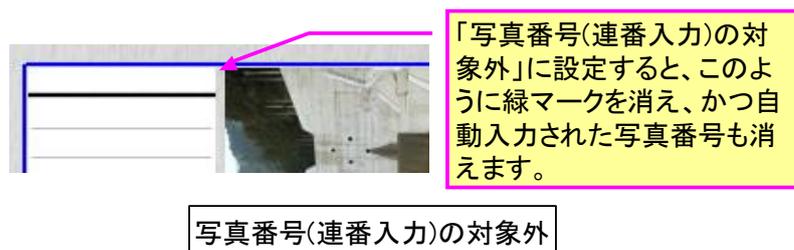
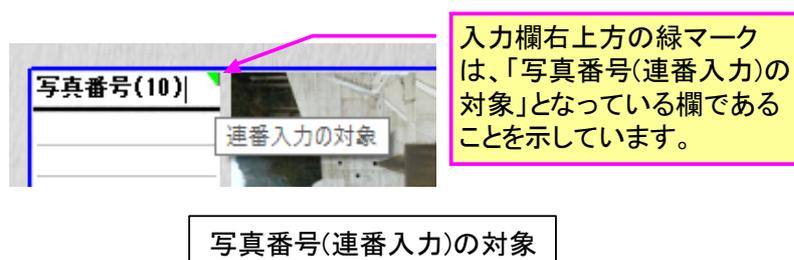
## 2) 写真番号(連番入力)の設定の一部解除について

写真番号(連番入力)の設定は、基本的に追加するアルバム写真すべてに対して実行されます。しかし場合によっては、一部の写真に対して写真番号を付けたくない場合や、自動連番とは異なる写真番号を付けたい場合もあるかと思えます。

そのような場合は、一部の写真に対して「写真番号(連番入力)の対象外にする」機能を用いて適用を除外することができます。



写真番号(連番入力)が設定されている情報欄には、下図のように欄の右上方に緑マークが表示されます。「写真番号(連番入力)の対象外」に設定すると、このように緑マークを消え、かつ自動入力された写真番号も消えます。



### 3) 写真追加時のリサイズ機能について

フォトマスターIIPro では、元写真を「一時作業フォルダ」にコピーする際に、「リサイズ処理」をおこなうことが可能となりました。

リサイズ(resize)とは、「写真のピクセル数(画素数)を変更(縮小)すること」です。

一般に、写真のピクセル数(画素数)が多いほど、大きな用紙に高品質に印刷することが可能となります。しかし、L判など比較的小さな用紙に印刷する程度であれば、以外にも、それ程大きなピクセル数(画素数)は必要ありません。

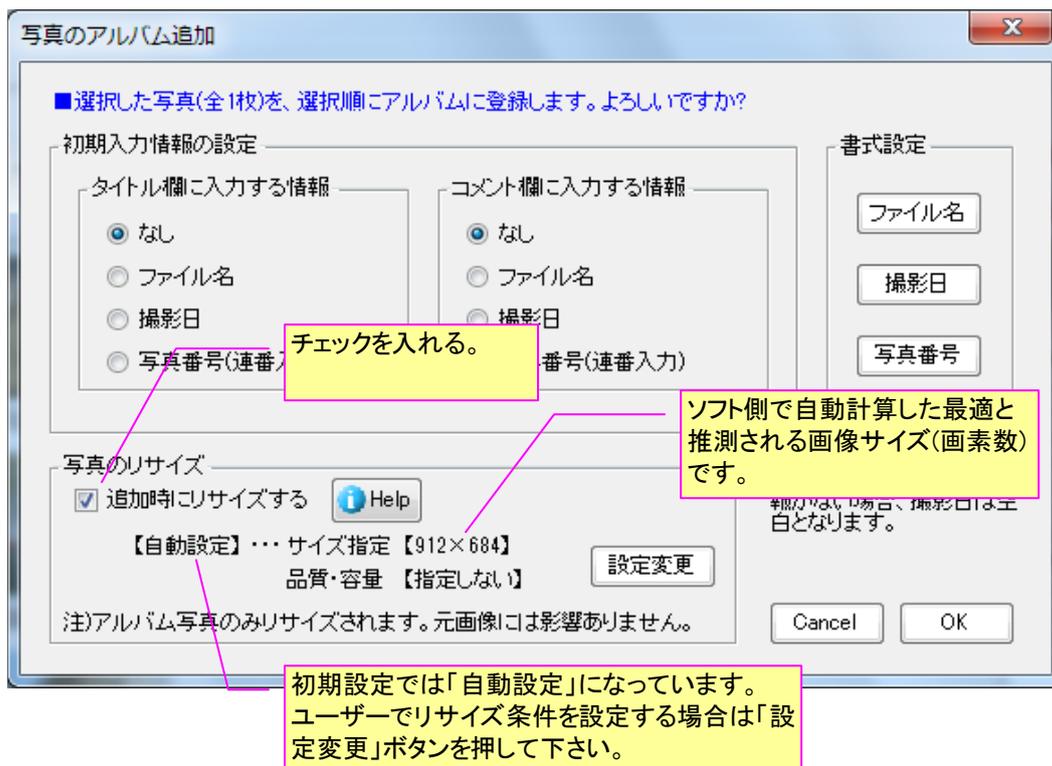
「リサイズ」は、写真のピクセル数(画素数)を、印刷サイズに適したピクセル数(画素数)に縮小することで、「画質」と「画像容量」とのバランスをとり、ハードディスク容量の無駄遣いをなくすことを目的としています。

つまり、アルバムに写真を追加する際に、アルバムレイアウトに適した画像サイズ(画素数)に変換(リサイズ)することが可能です。これにより、無駄に容量の大きな画像をデータ保存することなく、アルバムのデータ量を最小限に抑えることが可能となりました(なおフォトマスターIIProでは、大量の元写真を一括してリサイズする機能も標準装備しています。詳しくは4-3-13.を参照下さい)。

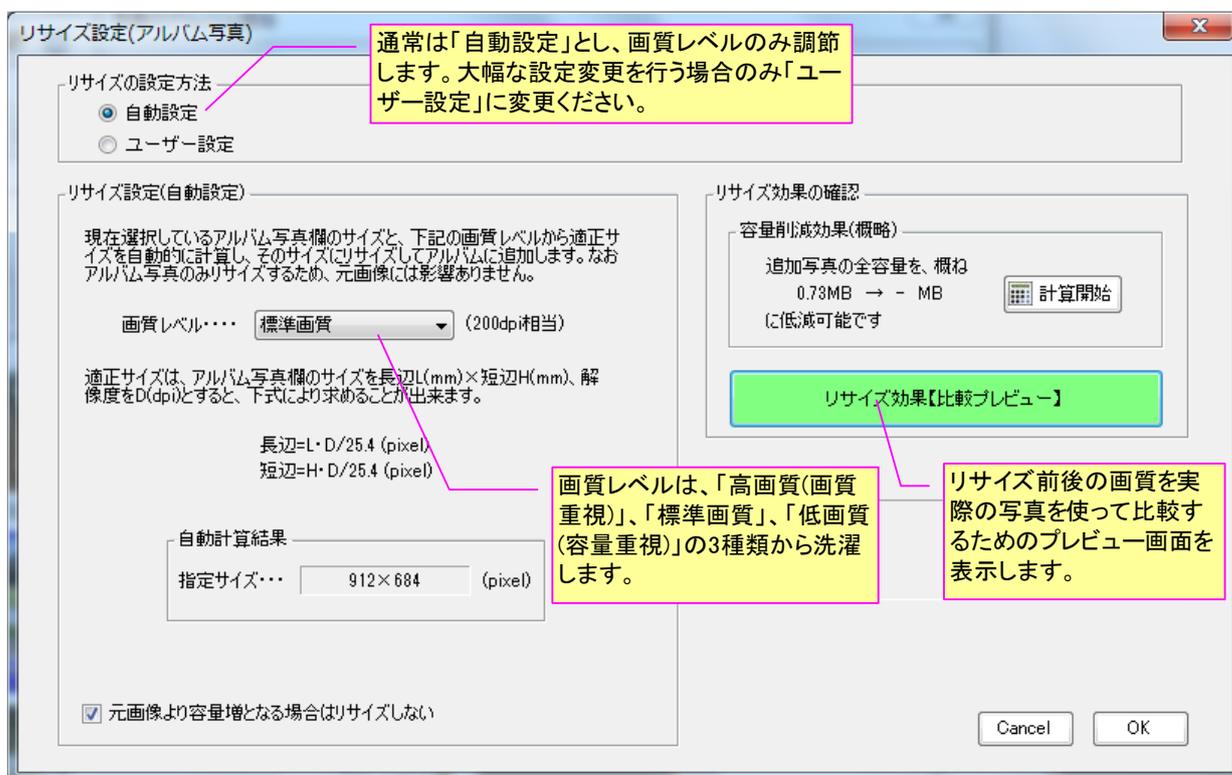


写真追加時のリサイズ設定は、下記画面内の「追加時にリサイズする」にチェックを入れます。

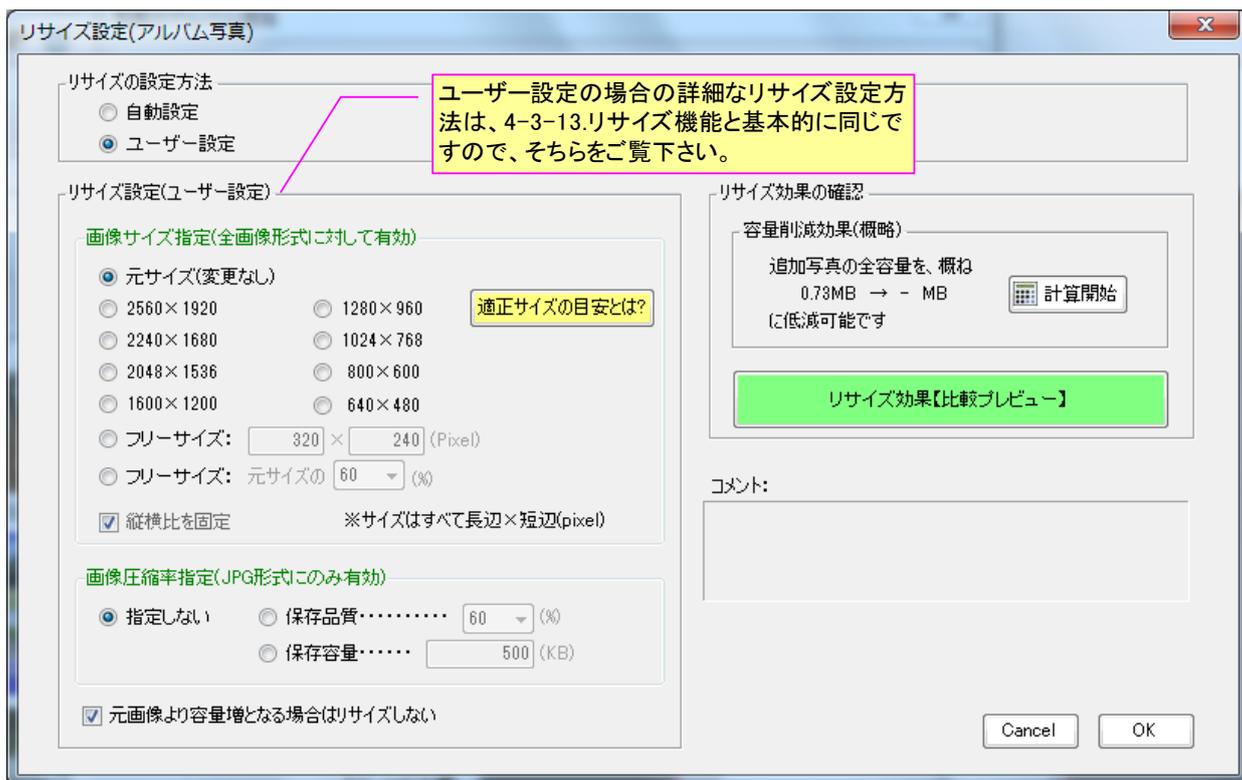
初期設定では、リサイズ条件をソフト側で自動的に設定する「自動設定」になっています。この「自動設定」は、アルバム欄にて設定されているレイアウトの写真枠の大きさと一般的な出力時の解像度(200dpi 相当)から求められる最適な画素数を、算定式より導き出して設定しているものです。



上図の「設計変更」ボタンを押すと、下記画面が表示されます。



リサイズ条件を「ユーザー設定」する場合は、「ユーザー設定」を選択することで下記画面が表示されます。



リサイズ前後の画質比較を、実際の写真を使ってシミュレーションしたうえで、左右に並べて比較することが出来ます。比較の結果、リサイズ条件を変更したい場合は、画面中央付近の「設定変更」ボタンを押すことで表示される変更画面から簡単に変更することが出来ます。



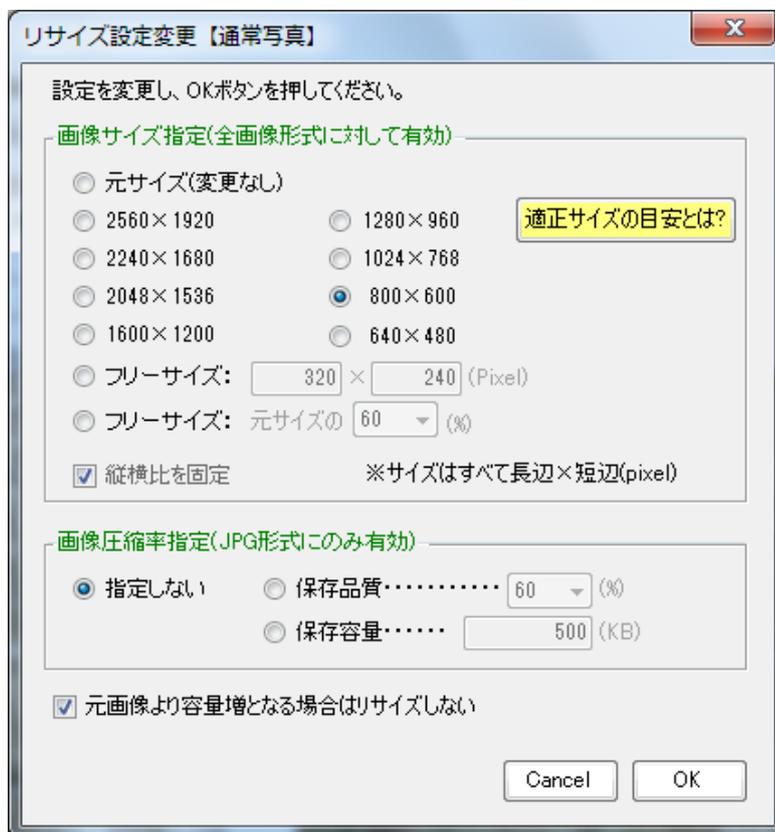
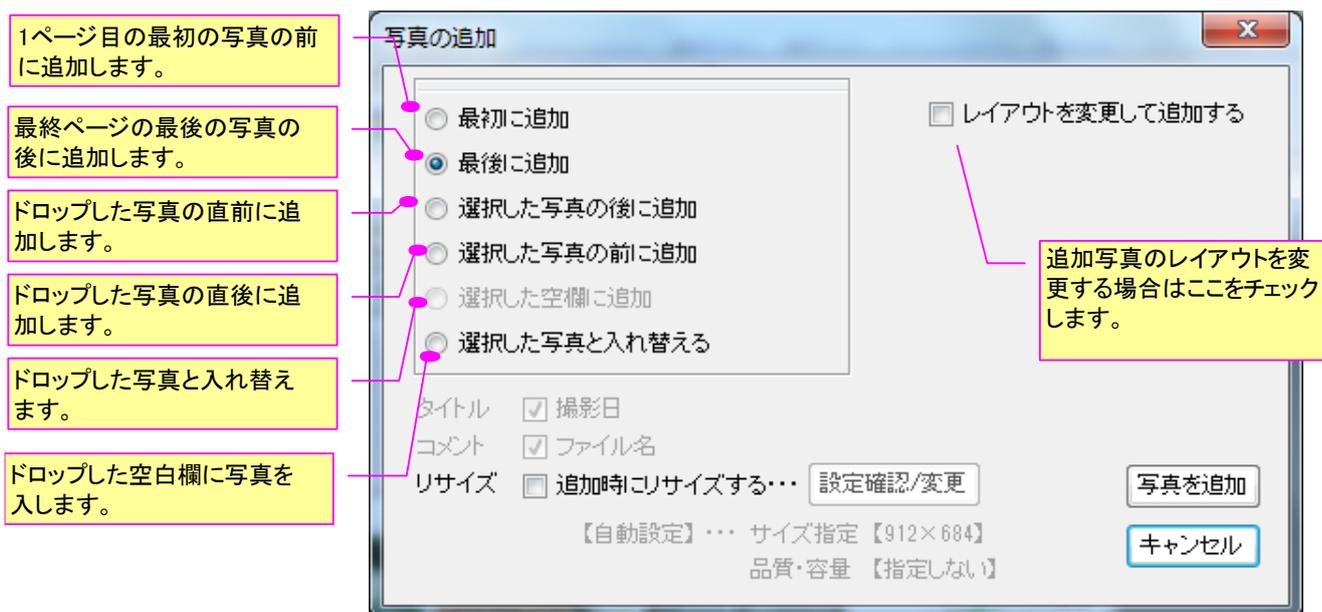


図- 設定変更画面

また、アルバムに写真を1枚でも追加した後に、さらに写真を追加した場合には、下記の「写真の追加」ウィンドウが表示されます。このウィンドウは、これから追加する写真を、既に作成されているアルバム写真のどの位置に追加(挿入)するのかを指定するためのウィンドウです。

目的に応じて写真の追加(挿入)位置を選択し、「写真を追加」ボタンを押してください。



## 4) アルバムレイアウトの選択

### a) 概要

アルバムに写真を追加した後は、アルバムレイアウトを設定(調整)します。アルバムレイアウトとは、1枚の用紙にどのように写真や情報欄を配置するかを示したページ様式(ページスタイル)のことです。

アルバムレイアウトの設定は、写真を追加する前でも後でも可能です。あるいは、タイトルやコメントなどの写真情報を入力した後も構いません。いつでもお好きなきに、レイアウトの設定や変更を行うことができます。また、アルバム作成中にどんなにレイアウトを変更しても、それまで入力された写真情報などは、ずっと保持されます。プログラムを閉じない限り、決して消えることはありませんのでご安心下さい。

さて、それではレイアウトを変更してみましょう。レイアウトを設定(変更)するには、アルバム設定コマンド内の「レイアウト設定」ボタンを押します。すると「レイアウト設定画面」が表示されます。設定画面内のボタン配置とその機能は、下図のとおりです。

レイアウトの変更(調整)は、このボタンを押しておこないます。

アルバムサイズを設定します。用紙はA4、A3、B5、B4が基本ですが、「その他」を選択すると、お使いのプリンターで印刷可能な殆どの用紙でのアルバム作成が可能です。A2やA1も可能です。

ページ番号を表示する場合はチェックします。

ページ余白とページ番号の表示を設定します。

写真を複数列に配置する場合の配置順を設定します。

コメント/タイトルと写真欄の配置を左右に切り替える。

レイアウト設定値の保存と読みをおこないます。

現在のレイアウト設定を次回以降も使用したい場合は、「規定に登録」ボタンを押します。「規定に登録」すると、次回起動時には、そのレイアウト設定が初期画面にされます。

基本スタイルはスタイル1～スタイル4の4種類。それぞれタイトル欄、コメント欄等の配置が異なります。

現在選択しているレイアウトは、赤枠で表示されます。

各レイアウトを詳細に調整する場合は「レイアウト編集」ボタンを押します。

現在選択中のレイアウト内の1枚当たりの写真サイズです。

レイアウト設定を確定する場合に押します。

レイアウト設定画面

## b) 「その他」の用紙について

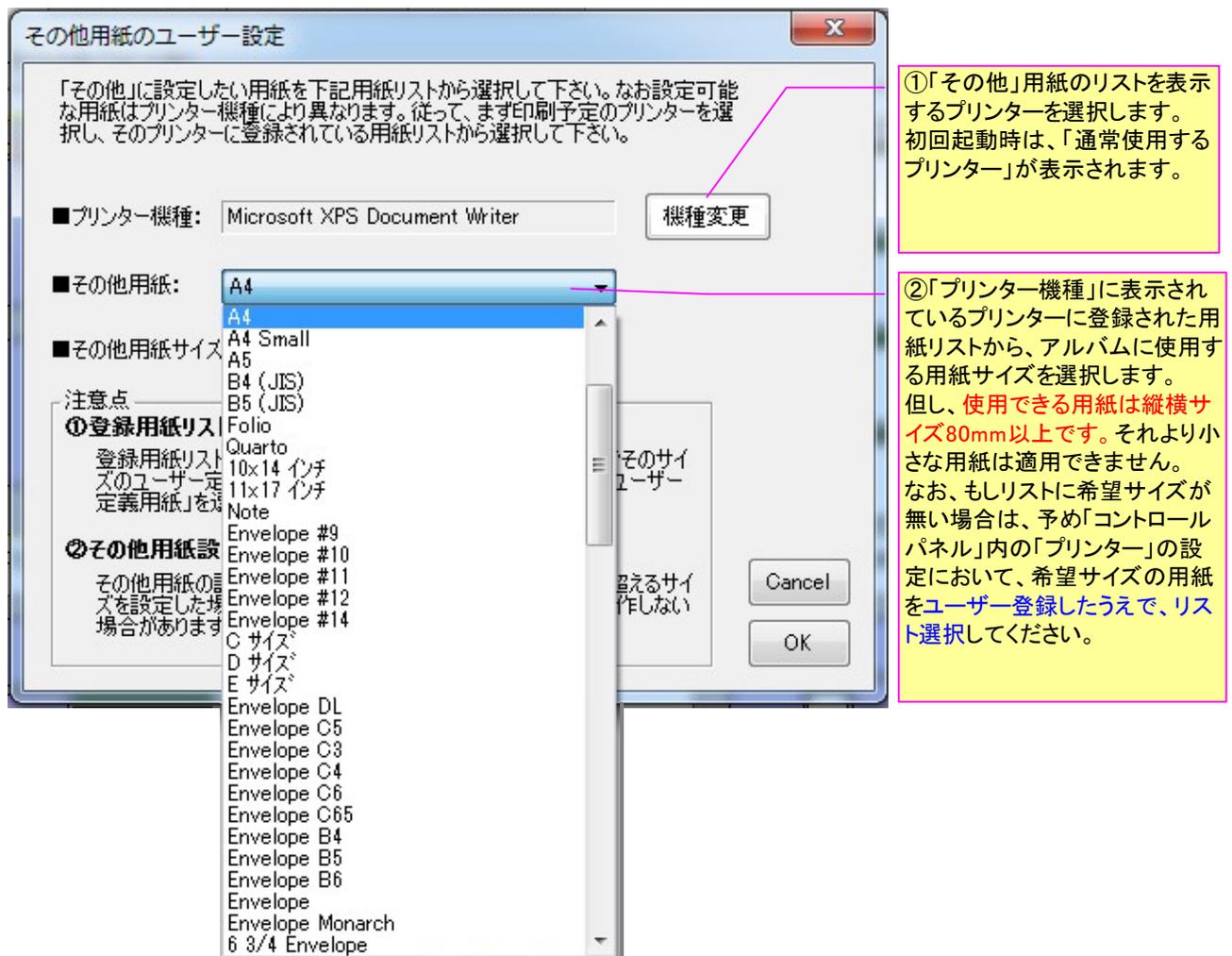
前ページのレイアウト設定画面における「用紙選択」は、下図のように「A4」「A3」「B4」「B5」「その他」の5種類からの選択となります。(フォトマスターII Proの場合)



用紙選択にて「その他」を選択すると、「その他用紙のユーザー設定」画面が表示されます(下図参照)ので、プリンターに登録されている用紙リストから「その他」用紙に適用する用紙サイズを選択して下さい。

用紙リストは、プリンター機種により異なります。従って、希望サイズの用紙が登録されているプリンターを選択した上で、用紙設定を行う必要があります。

なお、登録用紙に希望サイズが無い場合は、プリンターによっては、自由なサイズを「ユーザー定義用紙」として登録する機能がありますので、事前にプリンター側にて用紙登録をおこなったうえで、その用紙をリストから選択して下さい。「ユーザー定義用紙」の登録方法は次ページ参照。



その他用紙のユーザー設定画面

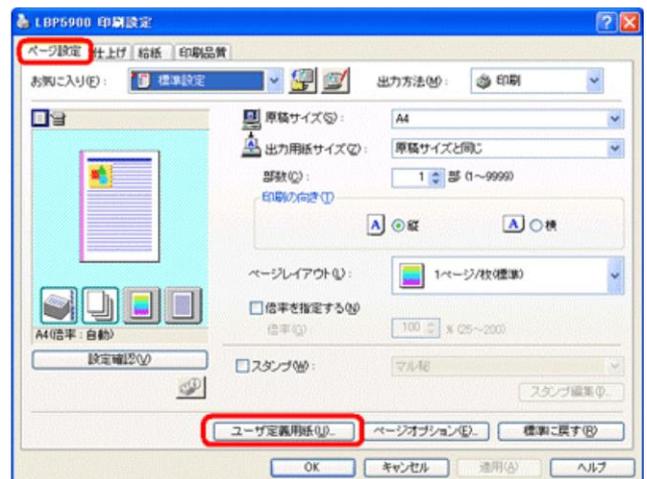
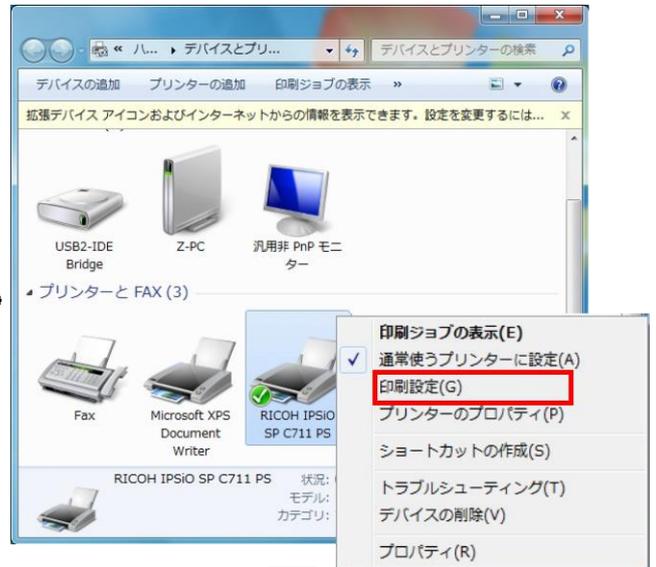
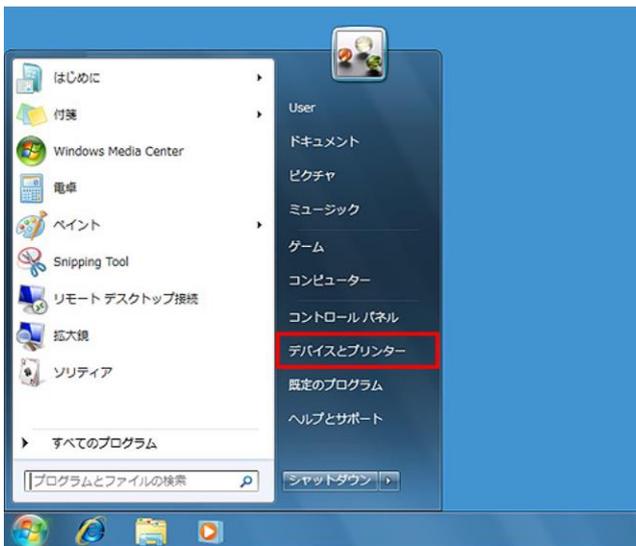
### c) ユーザー定義用紙の登録方法

「その他」用紙に自由なサイズを適用するには、プリンター側で「ユーザー定義用紙」を予め登録しておく必要があります。

その具体的な方法は、下記のとおりです。なおユーザーが登録する用紙サイズの呼称は、プリンターによって異なりますので、詳しくはご使用中のプリンターの説明書をご確認下さい。

「ユーザー定義用紙」の登録方法は下記の順で行います。

- ① 「START」 ボタン(OS により差異あり)
- ② 「デバイスとプリンター」 (OS により差異あり)
- ③ プリンターのショートカットメニューから「印刷設定」を選択
- ④ ページ設定(プリンターで差異あり)
- ⑤ ユーザー定義用紙(プリンターで差異あり)
- ⑥ 寸法入力



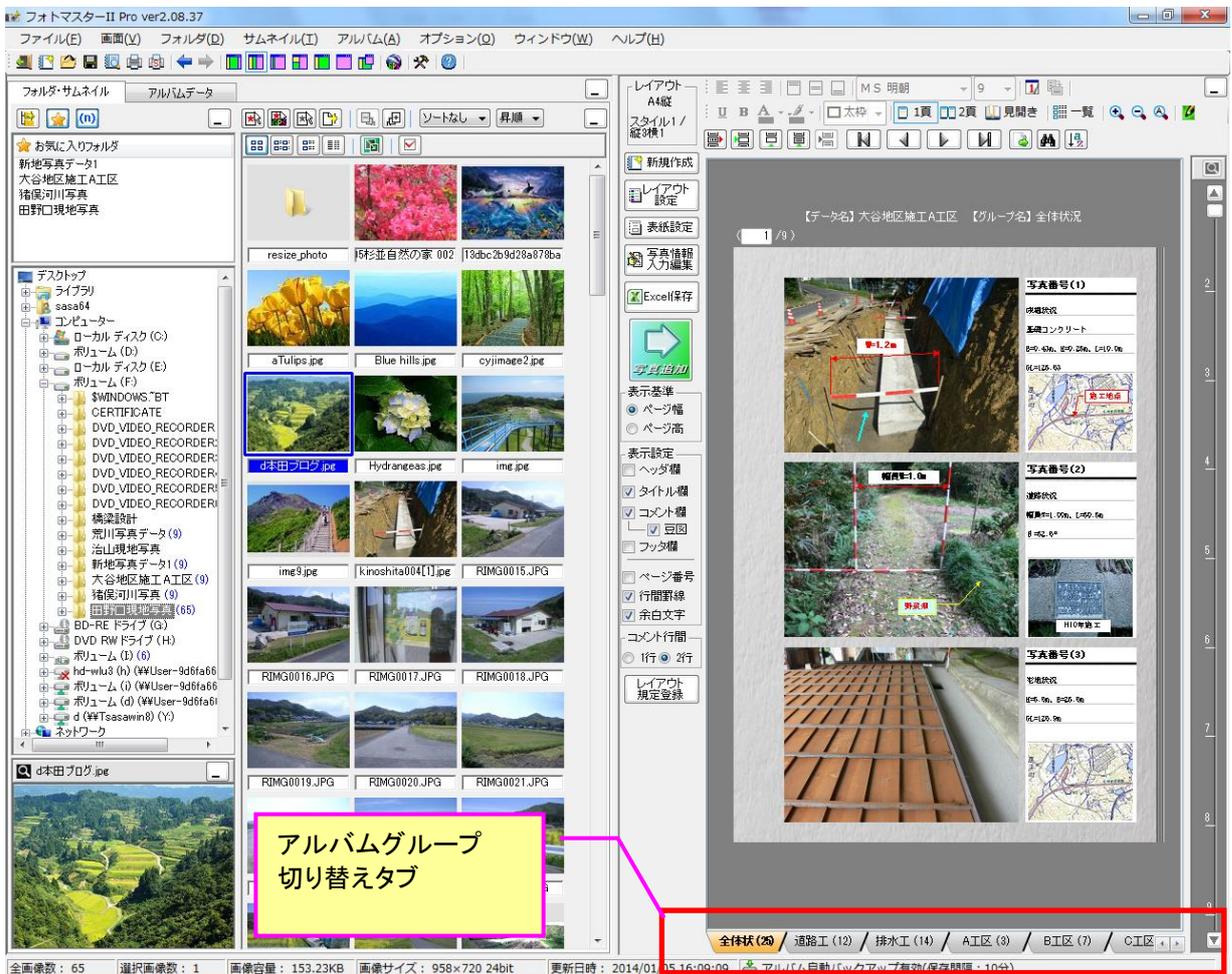
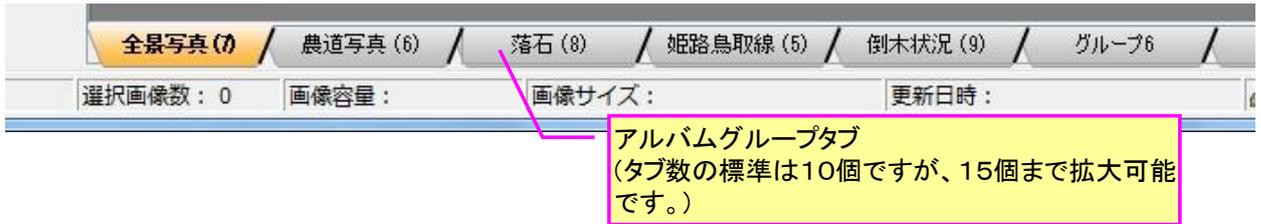
#### 4-3-5. アルバムグループ機能について

##### 1) 概要

フォトマスターII Pro ver2.09 より、複数の異なるアルバムを同時に作成できる「アルバムグループ機能」を追加しました。

同時作成できるアルバムは通常、最大 10 グループですが、ver2.11 より最大 15 グループまで拡大する機能を追加しました。用紙や各種設定の異なるアルバムを、10グループ(もしくは15グループ)同時に作成することが可能です。

この機能により、例えば建築状況の写真であれば、「造成前工事写真」「地盤改良工事写真」「排水工事写真」「外構工事写真」など、工種毎の複数のグループに分けて各アルバムを作成/編集することができ、作業の効率UPが期待できます。



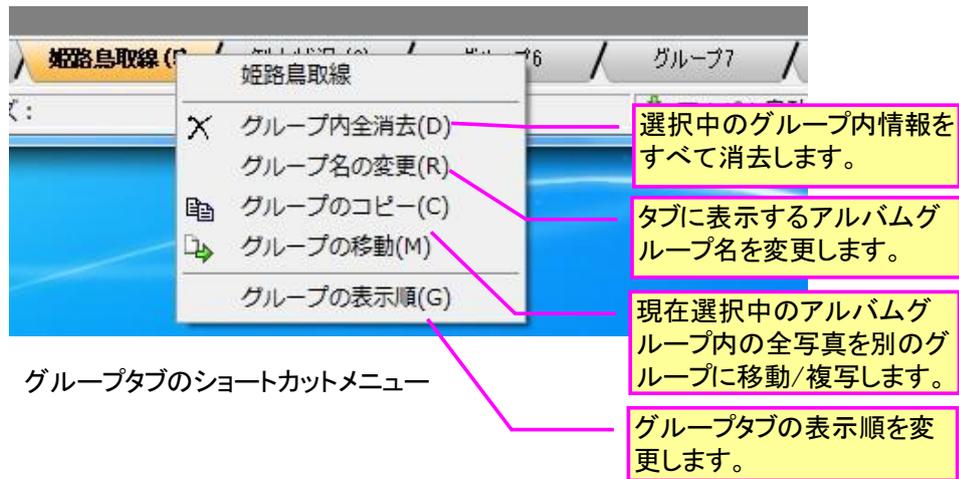
アルバムグループの表示の切り替えは、アルバム欄下方の「切り替えタブ」を押して切り替えます。

## 2) ショートカットメニュー

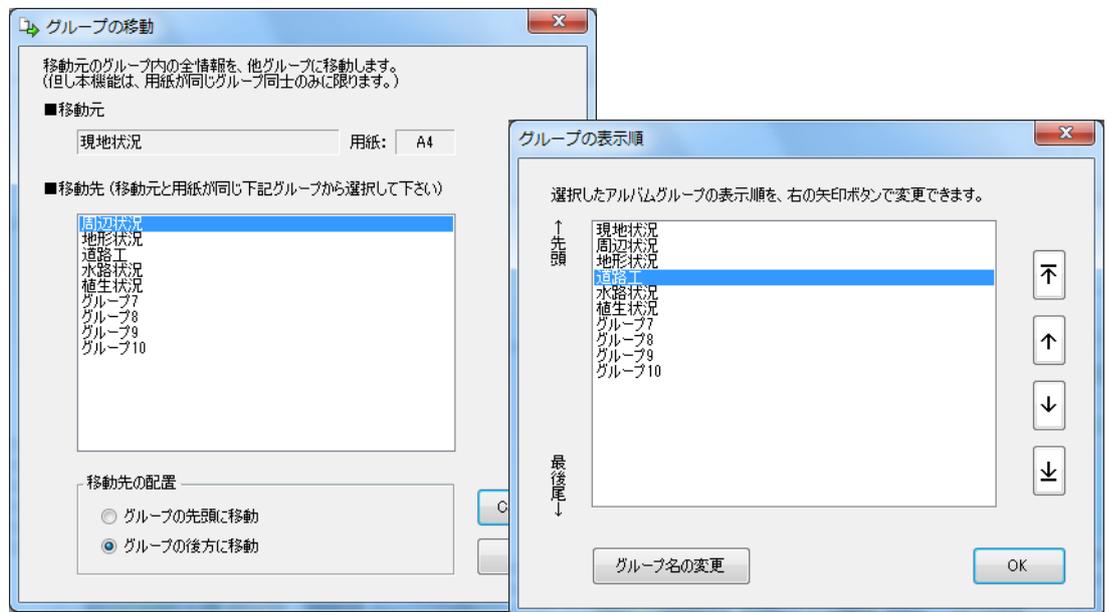
アルバムグループタブのショートカットメニューは下記のとおりです。

グループのコピーと移動は、選択グループ内の全情報に対しておこないます。

移動元を指定してのグループ間移動は、「アルバム一覧表示」にておこなってください。



グループタブのショートカットメニュー



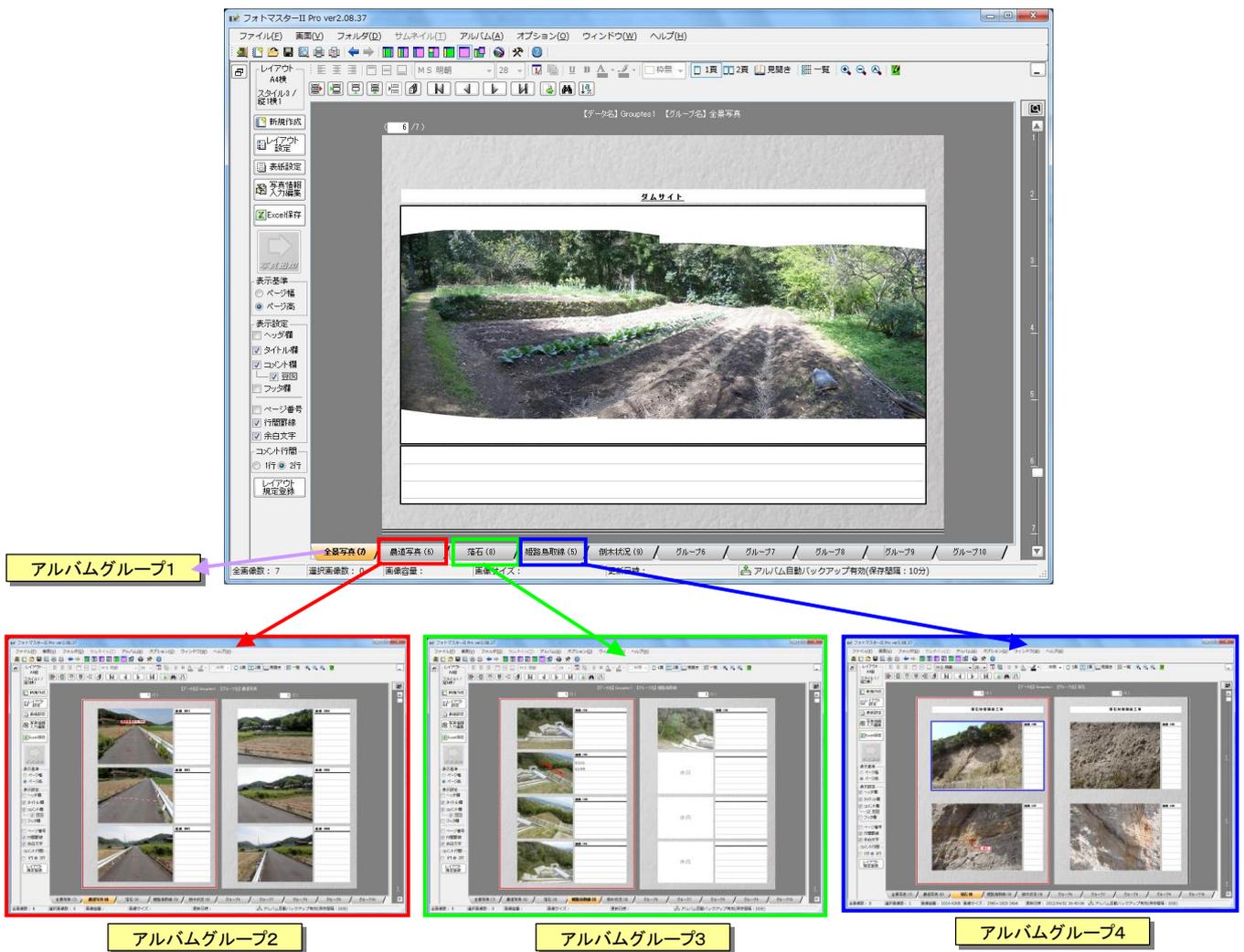
### 3) アルバムグループ構成

通常は、作成したいアルバム種別に応じて、グループ 1→グループ 10(15)の順でアルバムを作成し、作成後、必要に応じてタブの順番を入れ替えます。なお1種類しかアルバムを作成しない場合はグループ 1のみを使用してアルバムを作成してください。

複数のアルバムグループを作成する場合、各グループはレイアウト等のすべての設定が個別に設定できます。つまりグループ 1はA4横、グループ 2はA4縦、グループ 3はA3横というように異なる書式設定が可能です。

またグループタブの名称は、「グループ 1」・・・「グループ 10(15)」という名称が既定となっていますが、タブをダブルクリックすることで自由に名称変更可能です。

タブ名称は、印刷時にグループタイトルとしても使用されますので、そのことを念頭において設定してください。他のタブとの同一名称は使えません。



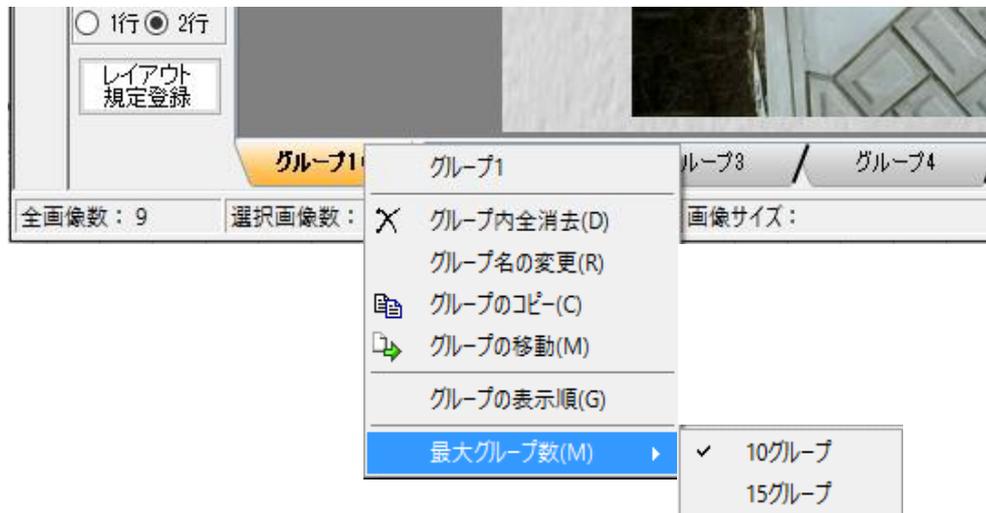
アルバムグループ構成図

#### 4) 最大グループ数の切り替え方法

アルバムの最大グループ数は、グループタブ上で右クリックにて表示されるショートカットメニュー内の「最大グループ数」の設定にて変更できます。

但し、最大グループ数を 15→10 に縮小する場合で、かつアルバムグループの表示順を変更している場合は、表示順を一旦元の順番に戻したうえでグループ数を変更して頂く必要があります。

表示順のリセットは、同じショートカットメニュー内の「グループの表示順」のコマンドにておこないます。



### 4-3-6. 写真情報の入力

レイアウトが設定できましたら、次に写真情報を入力します。フォトマスターⅡで入力可能な写真情報は以下の2種類です。

- ① タイトル欄・・・写真の題名などを入力する欄
- ② コメント欄・・・写真の詳しい説明文などを入力する欄

#### 1) 写真情報の直接入力

##### a) 情報入力

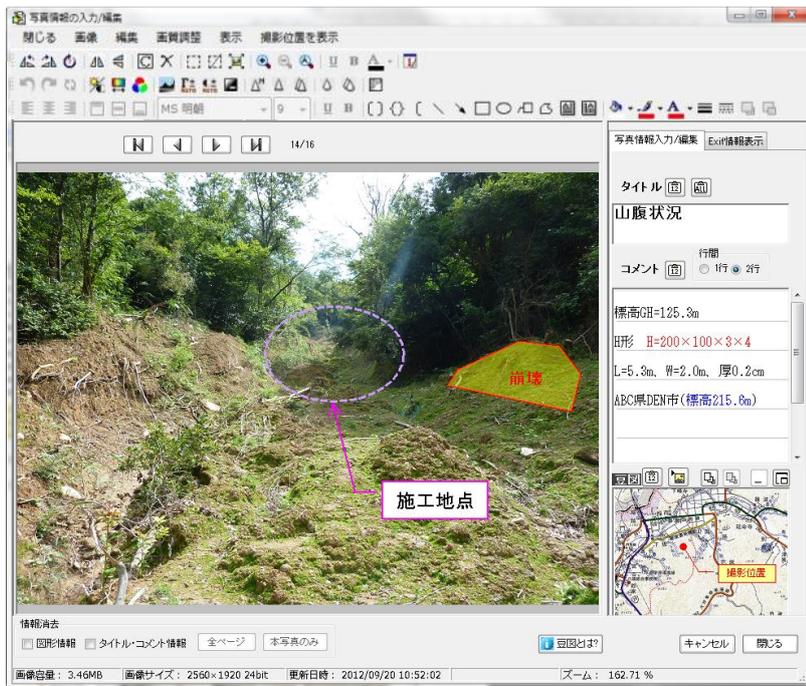
写真情報は、各情報欄に直接入力することが出来ます。入力した文字は、アルバム欄用のツールバーにて、文字高やフォント、文字位置などが調整できます。



なおタイトル欄の高さ調整等については、「4-4-11. アルバム情報欄のサイズ調整について」を参照下さい。

##### b) 部分書式設定について

フォトマスターⅡ Pro では、コメント欄についてのみ、下図のように部分書式が設定できます。設定可能な書式は、文字色、強調、下線です。書式を変更したい文字列を選択後、上部ツールバーを使用して書式変更をおこないます。なお、他の情報欄については部分書式には対応しておりません。



## 2) 写真情報の間接入力(写真情報の入力/編集ウインドウを使用した入力)

アルバム設定コマンド内の、「写真情報入力/編集」ボタンをクリックすると、「写真情報入力/編集」ウインドウが表示されます。

このウインドウ内の入力欄に情報を入力すると、間接的にアルバム欄の情報欄にも内容が反映されます。

なお、このウインドウでは、写真の回転や反転、あるいは写真の画質調整なども可能です。(角度指定による回転は、本ウインドウでのみ可能な機能です)



### 3) コメント欄の行間設定について

フォトマスターII Proでは、コメント欄内の行間に引く罫線の間隔を、1行間隔/2行間隔のいずれかに設定することが出来ます。

罫線間隔を2行間隔に設定することで、コメント欄の内容を、より判りやすくすることができます。



コメント欄の行間隔は、このサイドメニューから設定可能です。

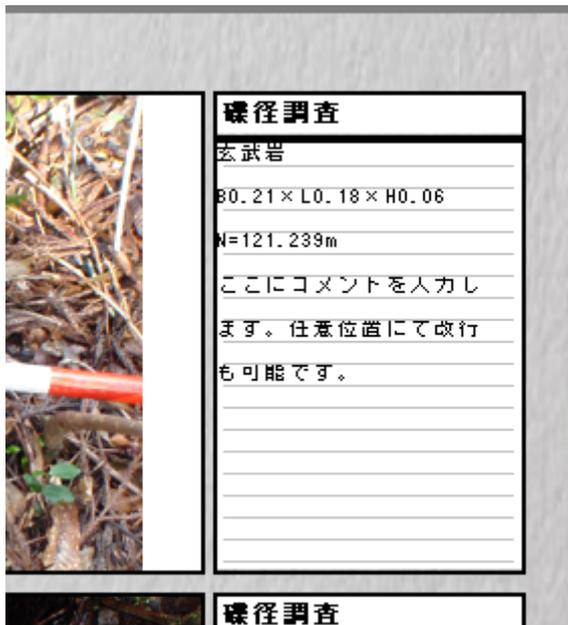


図- 1行間隔の場合

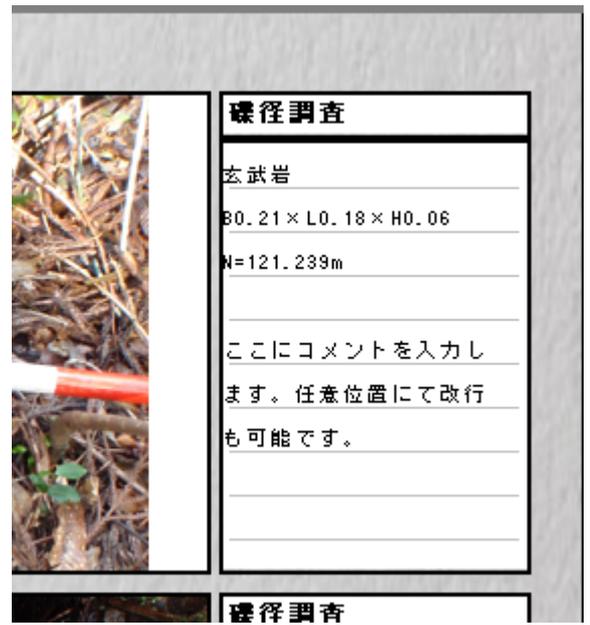


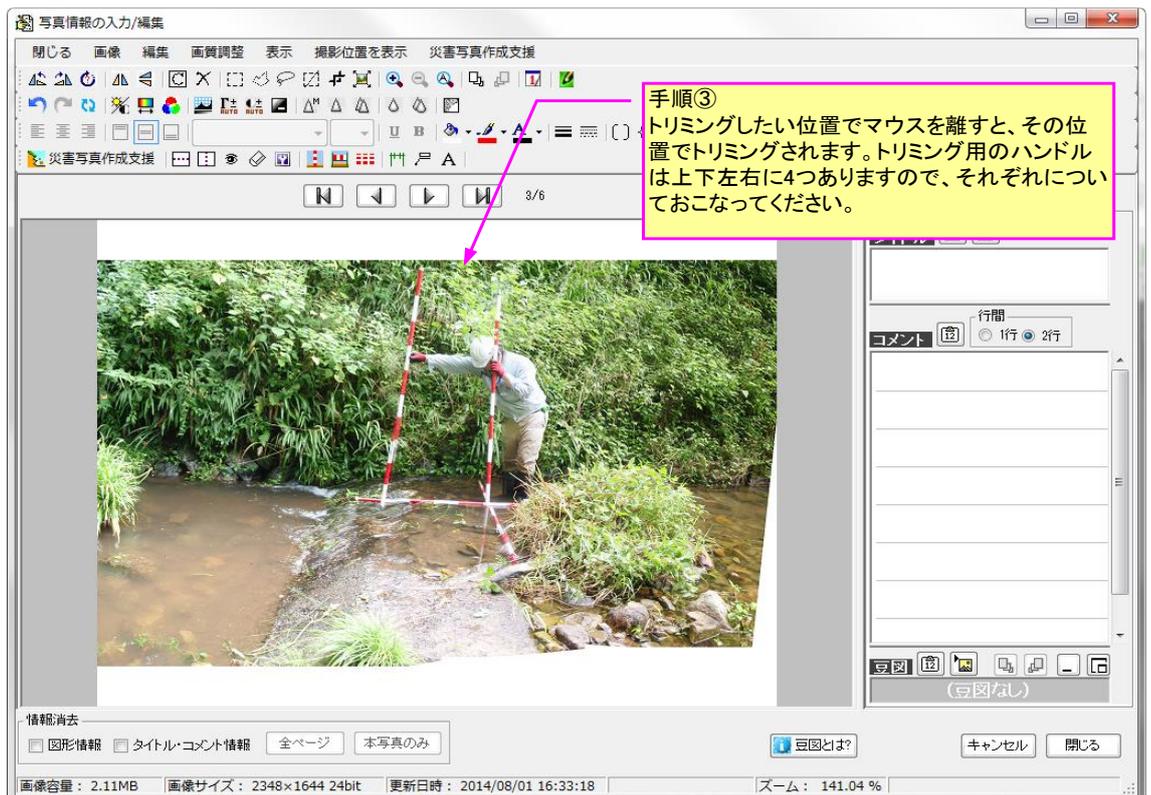
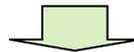
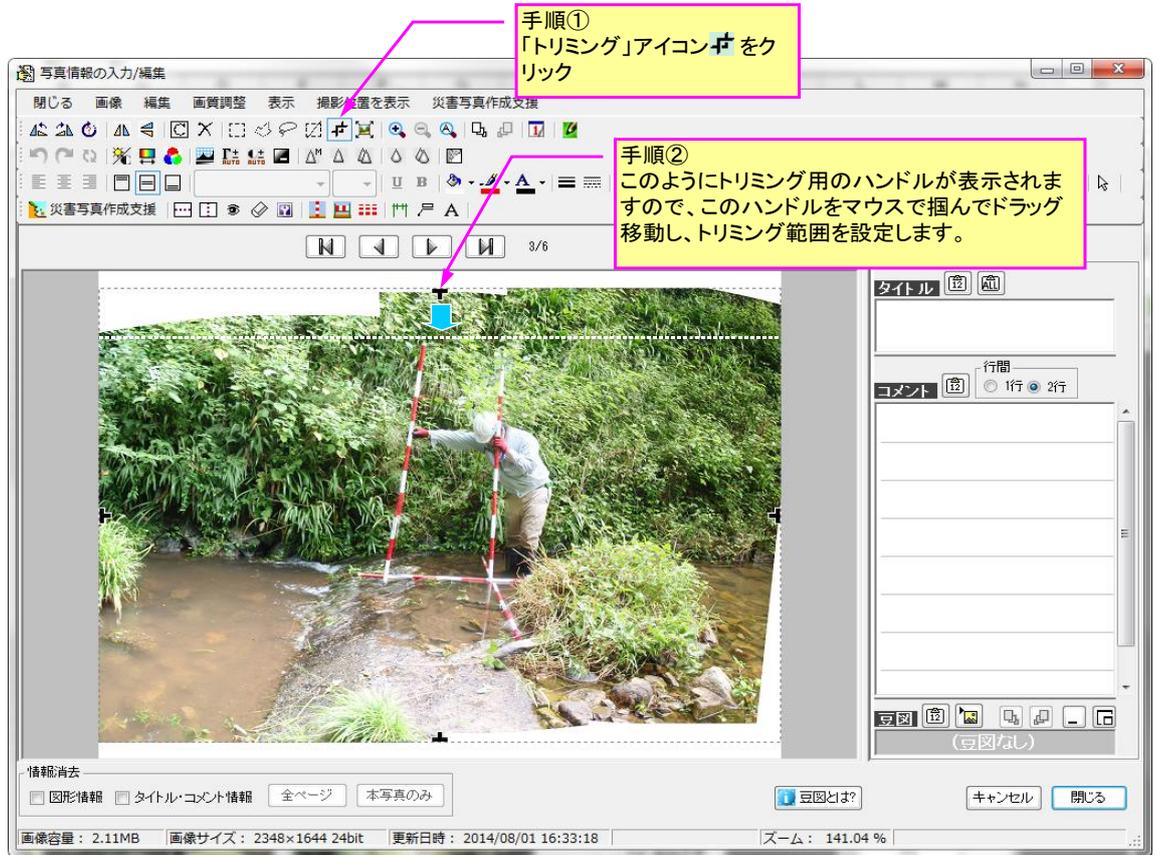
図- 2行間隔の場合

注)一部、「フォトマスターII Pro」のみに対応/実装している機能があります。ご了承下さい。

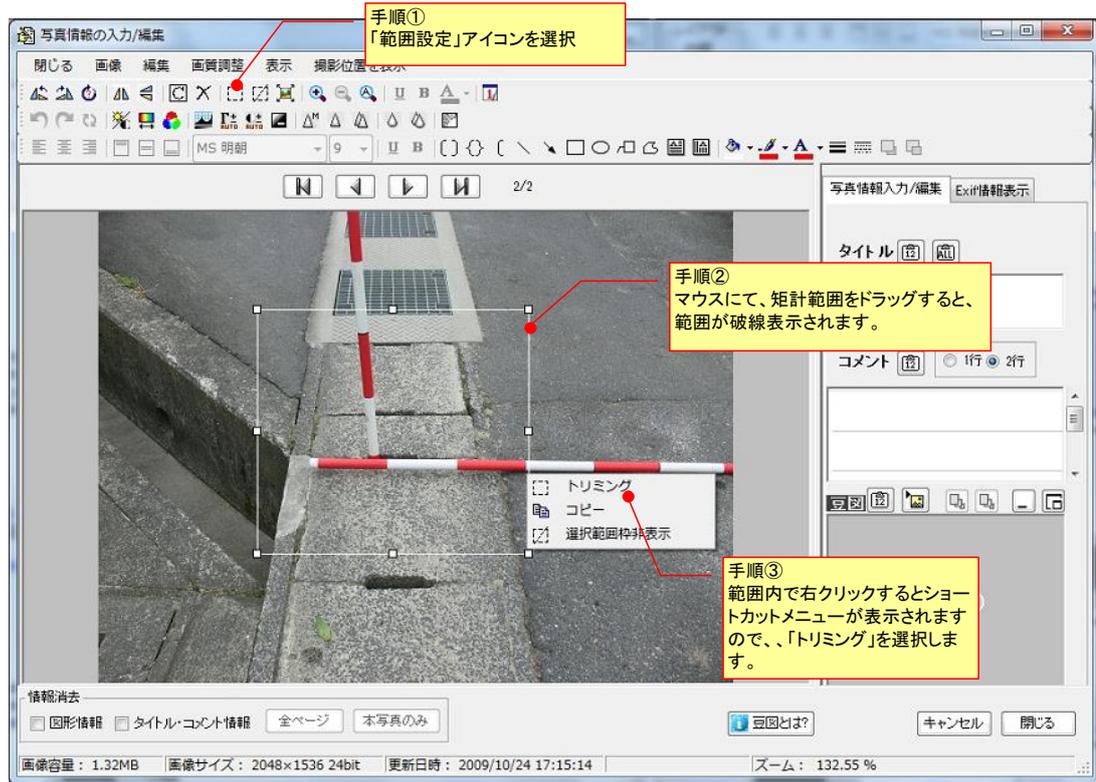
#### 4) 写真のトリミングの方法

フォトマスターII Proでは、写真のトリミングが可能です。  
トリミングの方法には2つの方法があります。

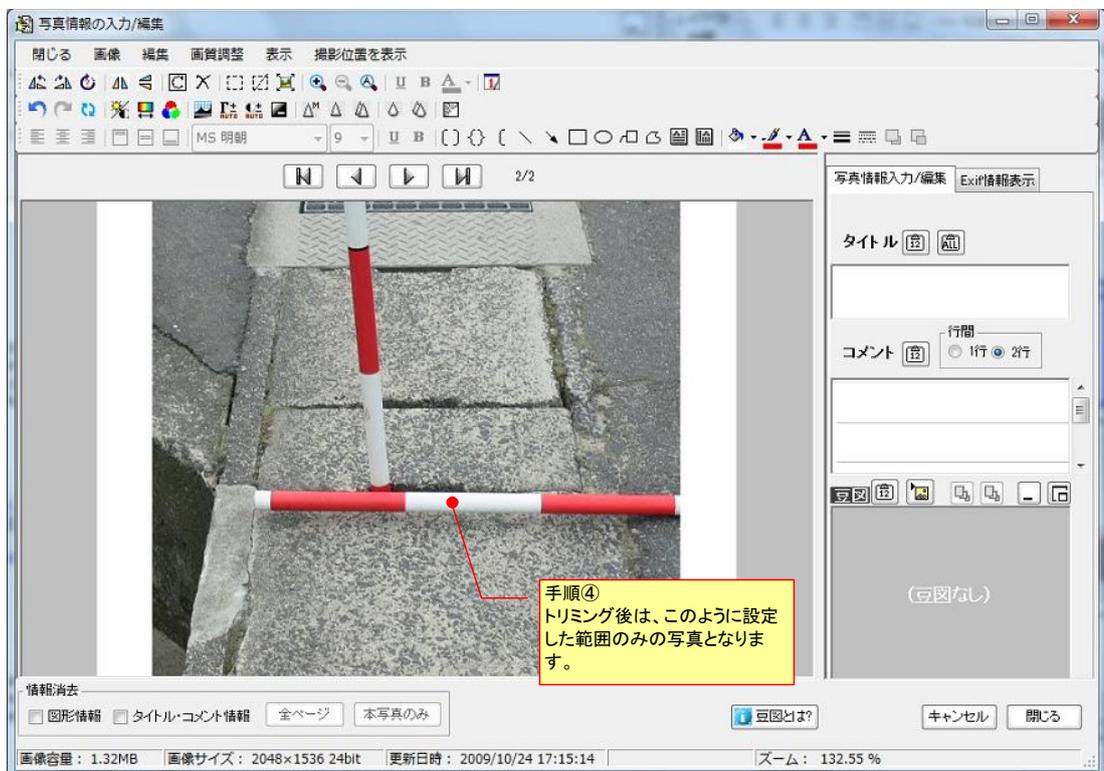
①直接トリミング・・・ツールバーの「トリミング」コマンドを使用して直接トリミングする方法です。



②範囲設定によるトリミング・・・ツールバーの「範囲設定」コマンドを使用してトリミングする方法です。



トリミング後



枠一杯に表示

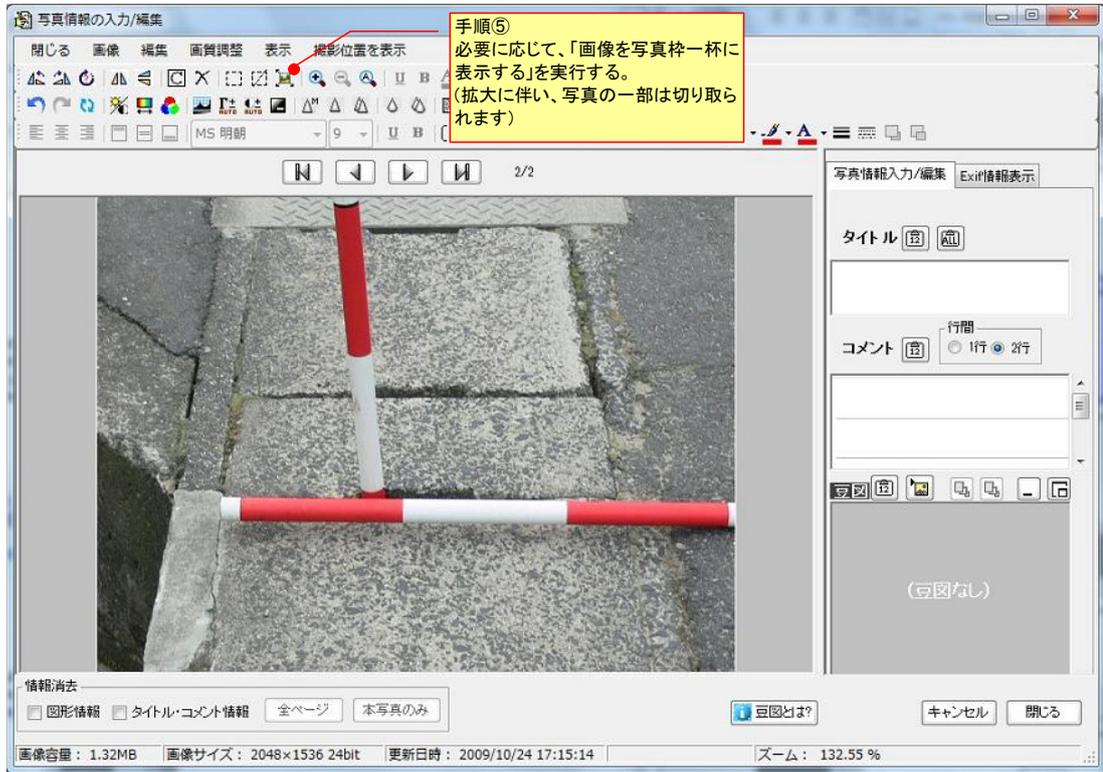
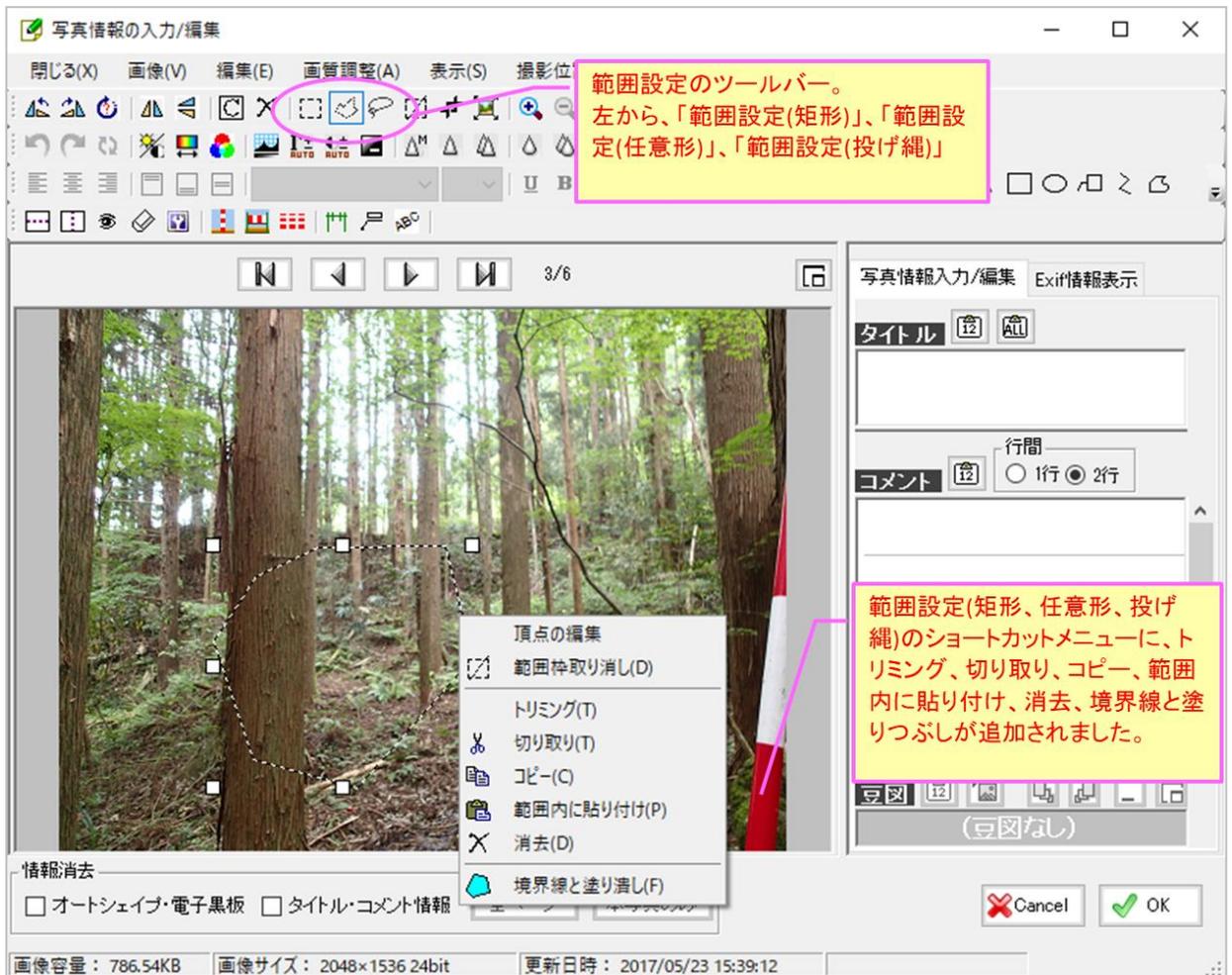


図- アルバム写真のトリミング方法

## 5) 範囲設定のショートカットメニューについて

範囲設定には、「矩形」、「任意形」、「投げ縄」の3種類がありますが、それぞれの共通ショートカットメニューは下記となります。



頂点の編集	範囲設定(矩形、任意形、投げ縄)の形状でトリミングします。
範囲枠取り消し(D)	
トリミング(T)	範囲設定(矩形、任意形、投げ縄)の形状で切り取ります。切り取った部分は白色になります。
切り取り(T)	
コピー(C)	範囲設定(矩形、任意形、投げ縄)の形状でコピーします。
範囲内に貼り付け(P)	
消去(D)	クリップボードの図形を、範囲設定(矩形、任意形、投げ縄)の形状で貼り付けます。
境界線と塗り直し(F)	
境界線と塗り直し(F)	範囲設定(矩形、任意形、投げ縄)の外周線と内部領域を任意の色で塗ります。

「範囲設定」のショートカットメニュー(矩形、任意形、投げ縄共通)

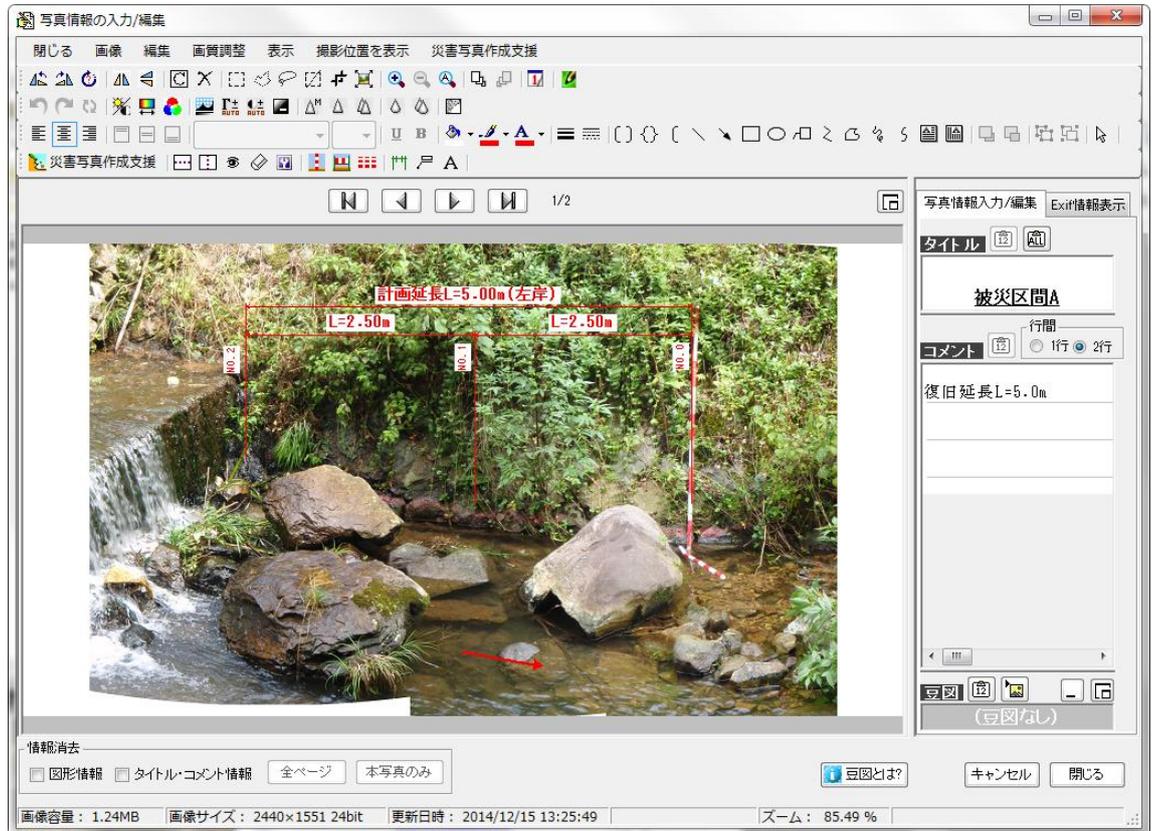
境界線の色を、画像からマウスで指示して取得します。

塗りつぶしの色を、画像からマウスで指示して取得します。

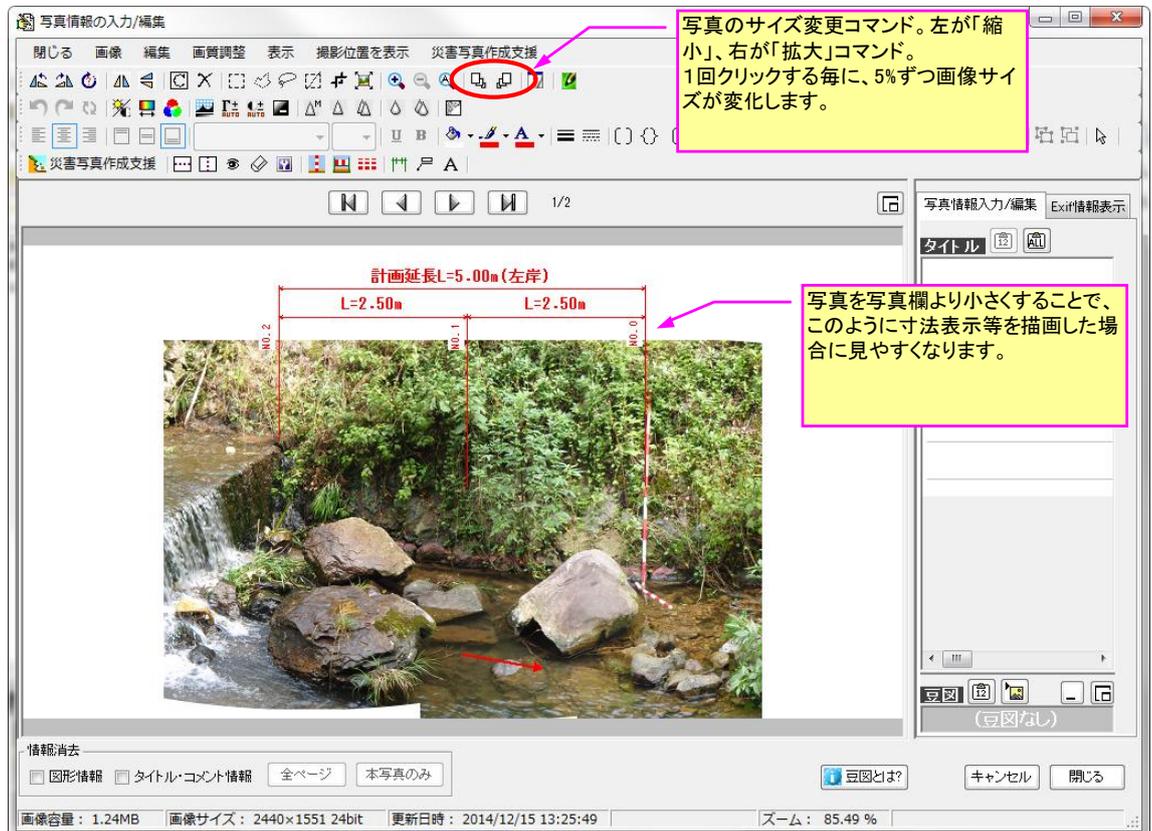
「範囲設定」の境界線と塗りつぶしの機能

## 6) 写真のサイズ変更機能について

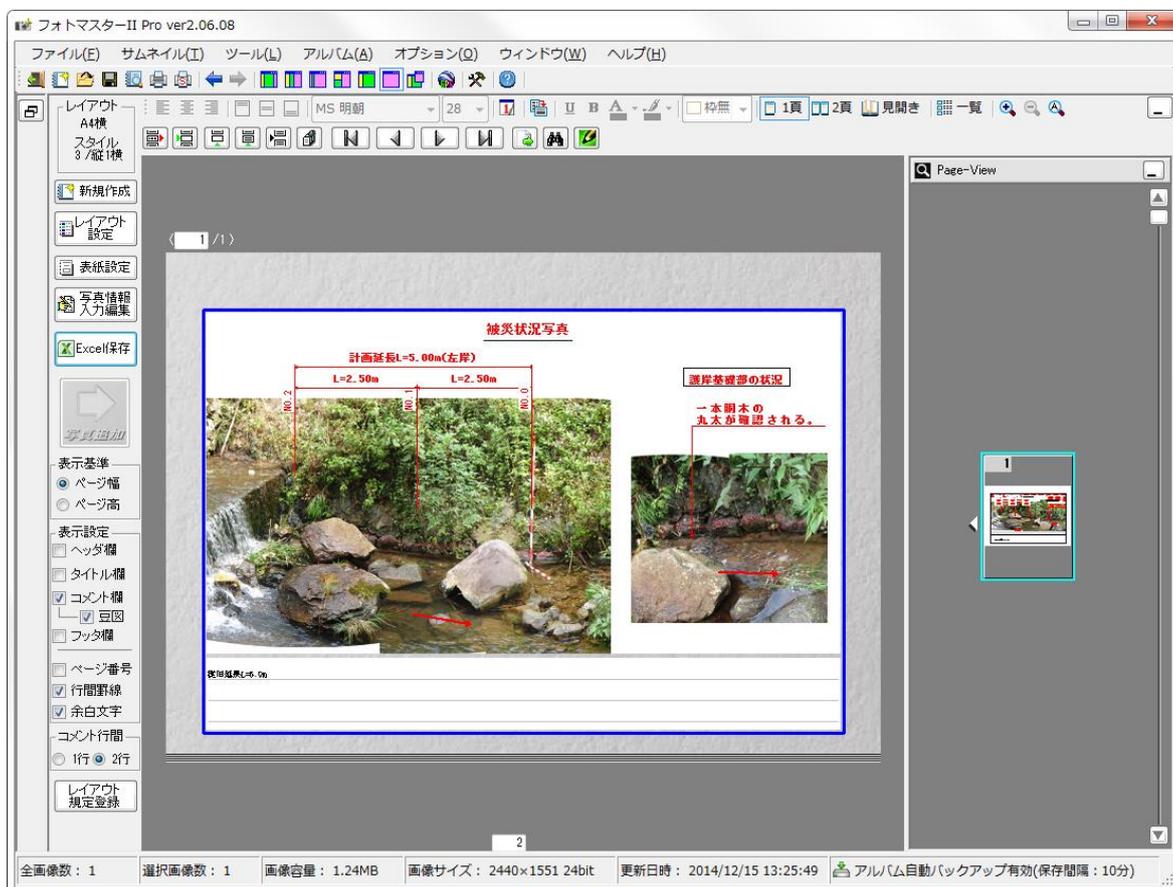
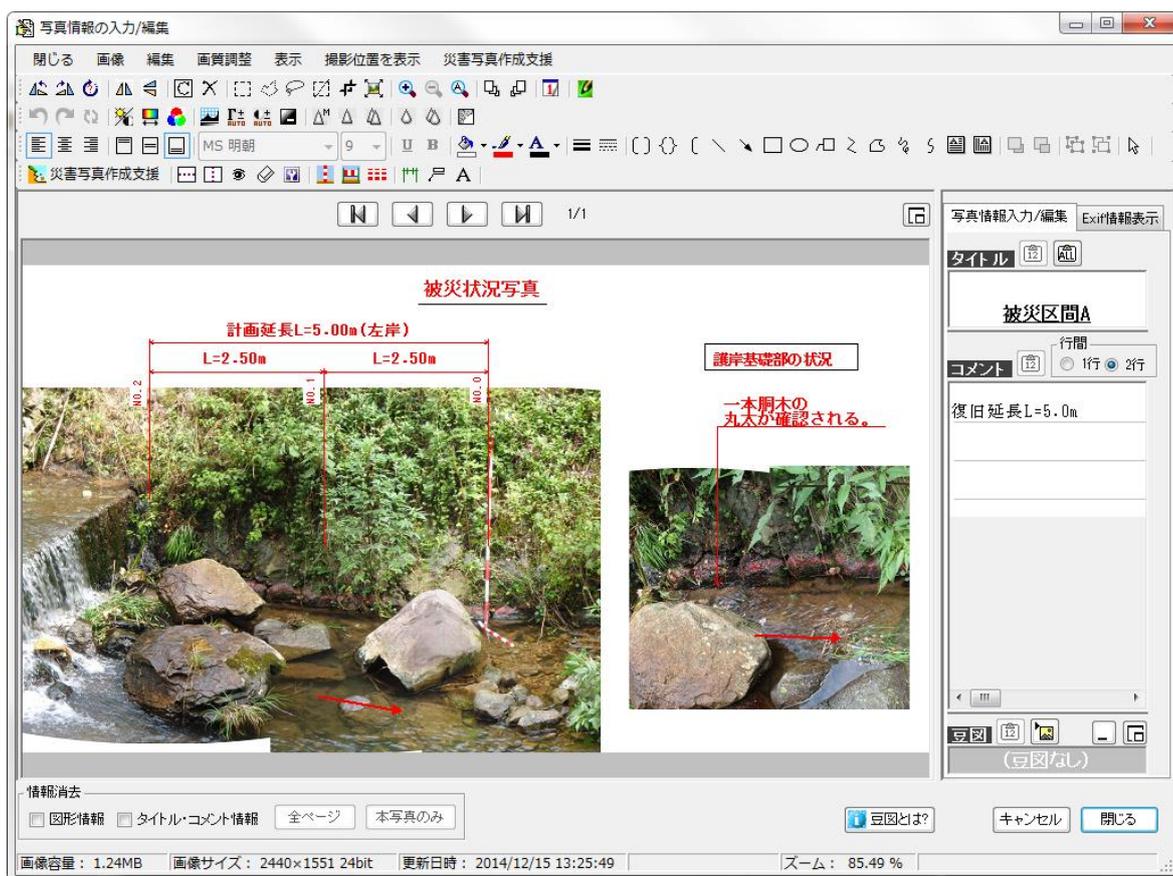
フォトマスターII Pro ver2.06 より、アルバム欄の写真サイズを変更できる機能を追加しました。この機能により、写真欄より写真サイズを小さくすることが可能になるため、写真欄の中に写真を複数配置したり、寸法を写真外に描画することなどが可能になります。



サイズ変更後



また、下図のように写真を縮小することで、空白部に別の画像を貼りつけることも可能となります。なお縮小した画像は、上下左右の表示位置を変更可能です。下図は画像を「左寄せ」かつ「下付き」表示しています。



#### 4-3-7. ページ情報の入力

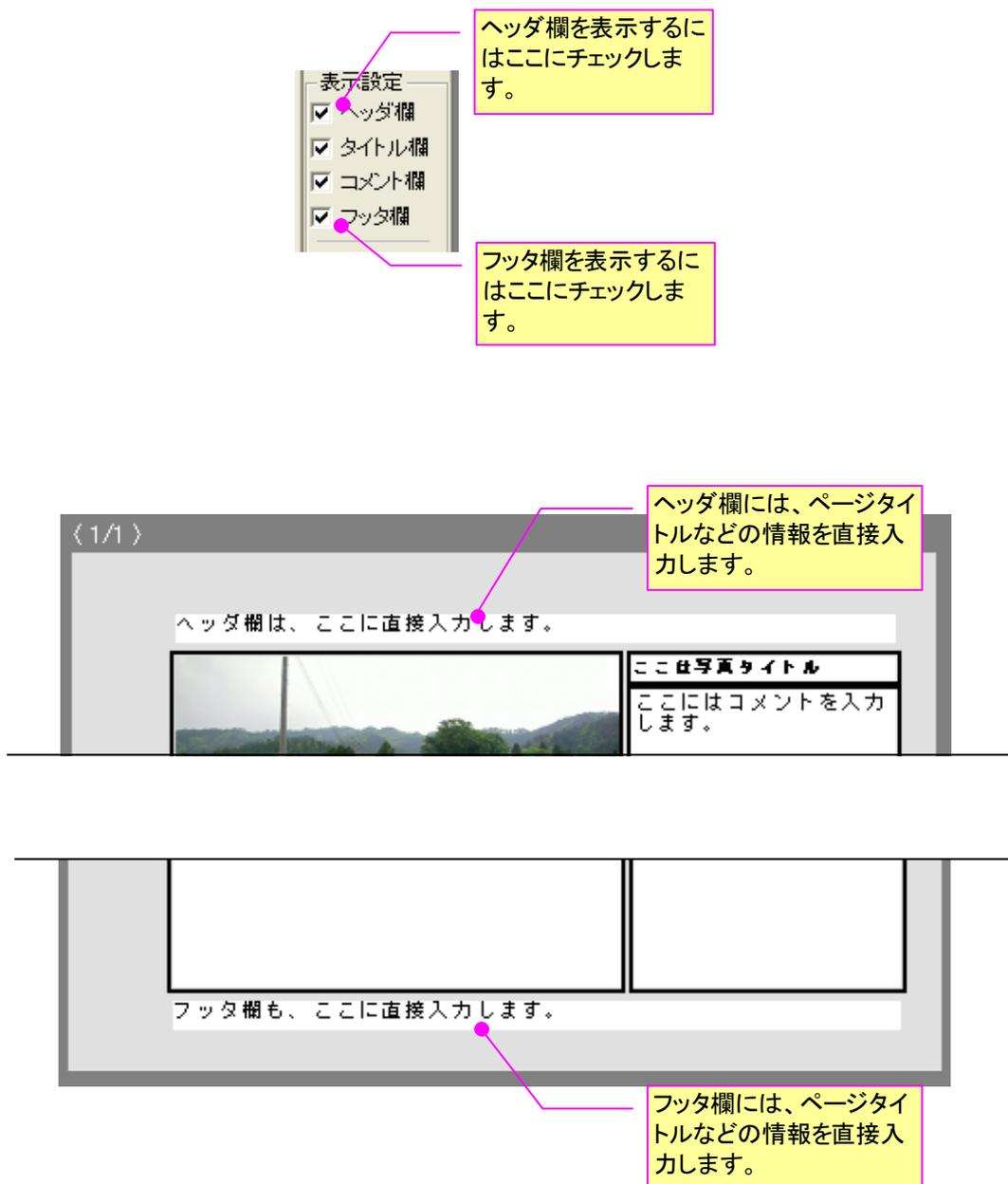
アルバムページに関する情報欄としては、以下の2種類を設けています。

- ① ヘッダ欄・・・ページの主題や見出し等の情報を入力する欄
- ② フッタ欄・・・同上。

ヘッダ欄はページの上方、フッタ欄はページの下方に配置されます。通常は、ヘッダ欄とフッタ欄は表示されていませんが、アルバム設定コマンド内の表示設定にて、表示/非表示の切替えが可能です。

ヘッダ欄及びフッタ欄への情報入力は、アルバム欄からの直接入力のみに対応しております。

なお入力した文字は、アルバム欄用のツールバーにて、文字高やフォント、文字位置などが調整できます。

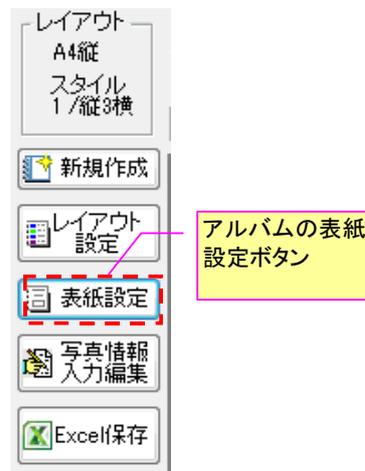


さて、写真、写真情報、ページ情報等の設定が完了しましたら、アルバム(写真帖)は完成です。つぎに完成したアルバムのデータ保存と印刷等の方法についてご説明します。

#### 4-3-8. アルバム表紙／グループタイトルを作成する

##### 1) アルバム表紙

アルバムの表紙設定は、アルバム欄左にあるアルバム設定コマンド内の「表紙設定」ボタンを押しておこないます。



「表紙設定」ボタンを押すと、下記画面が表示されます。タイトル、各項目を設定します。設定した表紙は、「表紙プレビュー」にて確認できます。

表紙設定(およびグループタイトル設定)

アルバム表紙設定    グループタイトル設定

ページ: A4縦    【表紙タイトル】 工事写真帳

【表示設定】    【項目】    【内容】    内容欄全消去

①	<input checked="" type="checkbox"/>	工事名称	ABC造成工事
②	<input checked="" type="checkbox"/>	工事箇所	A市西区
③	<input checked="" type="checkbox"/>	タイトル	現場写真帳
④	<input checked="" type="checkbox"/>	工事期間	2015.01.10~2015.02.06
⑤	<input type="checkbox"/>	(空白)	
⑥	<input type="checkbox"/>	(空白)	
⑦	<input type="checkbox"/>	(空白)	
⑧	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影場所	A市西区
⑨	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影日時	2015.01.10
⑩	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影者	東京太郎

注)チェックを外すと、その項目行は空白行となります。行間の罫線も非表示となります。

書式設定

用紙    表紙タイトル    項目    内容

表紙外枠    スタイル  
外枠あり    太線

印刷方向  
縦方向

設定値

規定に戻す    現在の設定を  
規定値にする

表紙  
表紙プレビュー

Cancel    OK

チェックを外すと、その行は空白になります。印刷されません。

項目リストから選択するか、任意文字を直接入力します。

アルバムのタイトル(任意文字可)

現在の設定を消し、規定登録に戻します。

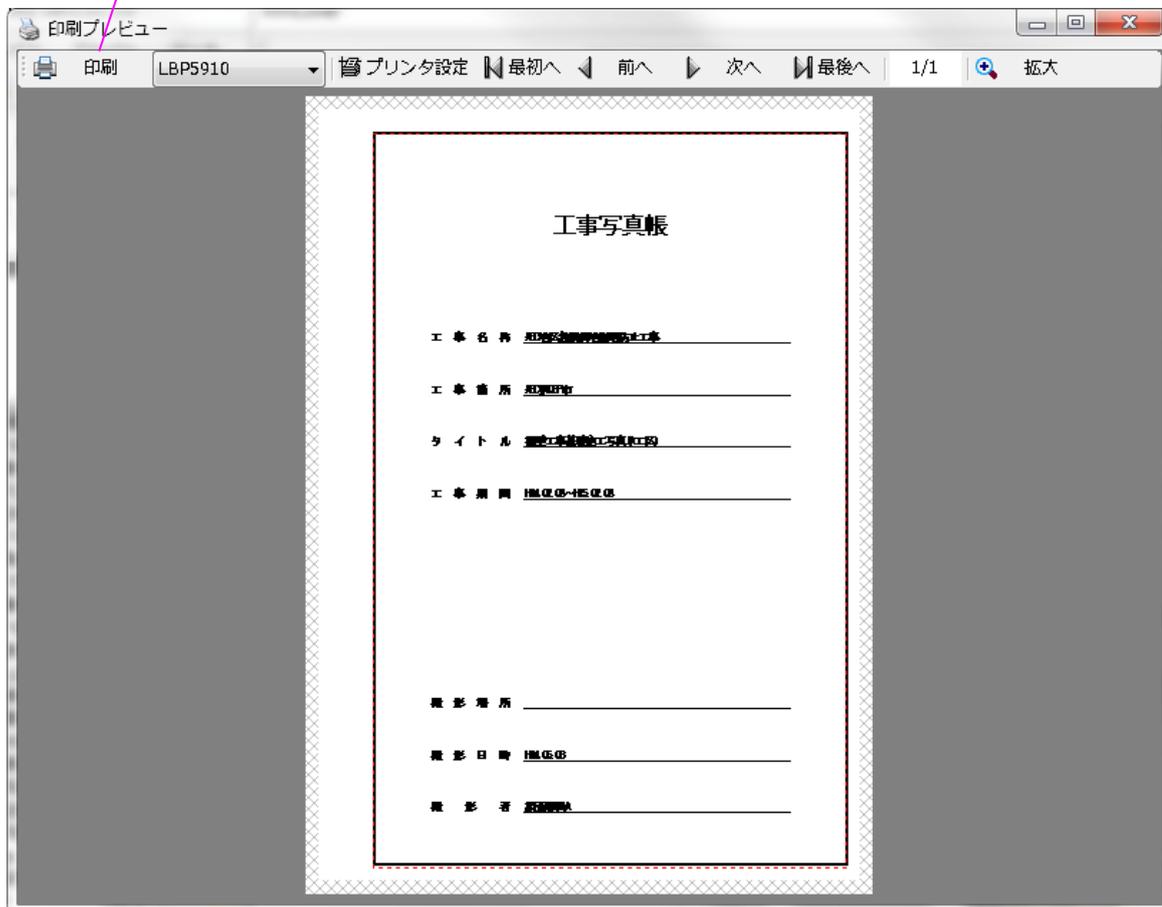
規定値に登録すると、次回以降、表紙設定設定ボタンを押したときに、登録画面が表示されます。項目リスト等も再現されます。

表紙の印刷プレビュー画面を表示します。内容を確認できます。

各設定項目の書式を設定します。

表紙の内容や書式の確認は、「表紙プレビュー」ボタンを押しておこないます。  
「印刷」ボタンを押せば、表紙印刷も可能です。

「印刷」ボタンを押すことで、表紙のみ印刷することができます。



## 2) グループタイトル

複数のアルバムグループを作成している場合は、印刷時、各グループの先頭に「グループタイトル用紙」を追加することが出来ます。

グループタイトルの名称は、基本的にグループタブに付けられている名称となります。なお下欄の各タイトルをダブルクリックすることで、名称を変更することが可能です。

■印刷のとき、各アルバムグループの巻頭にタイトルページを追加することができます。タイトル名には、基本的にアルバム欄の各グループタブの名称が自動的に割り当てられます。  
(タイトル変更は、アルバム欄のタブ名を変更するか、下記タイトルリスト内のグループ名をダブルクリックして、グループ名を変更して下さい。)

グループ名	写真枚数	用紙
現地状況	74	A4縦
周辺状況	8	A4縦
地形状況	6	A4縦
道路工	3	A4縦
水路状況	14	A4縦
植生状況	7	A4縦
グループ7	13	A4縦
グループ8	0	A4縦
グループ9	0	A4縦
グループ10	0	A4縦

グループタイトル名は、基本的にアルバム欄のグループタブ名となります。(ダブルクリックで名称変更可能)

現在の設定を消し、規定登録に戻します。

規定値に登録すると、次回以降、表紙設定ボタンを押したときに、登録された書式にて表示されます。

タイトルの書式を設定します。

設定値

規定に戻す 現在の設定を規定値にする

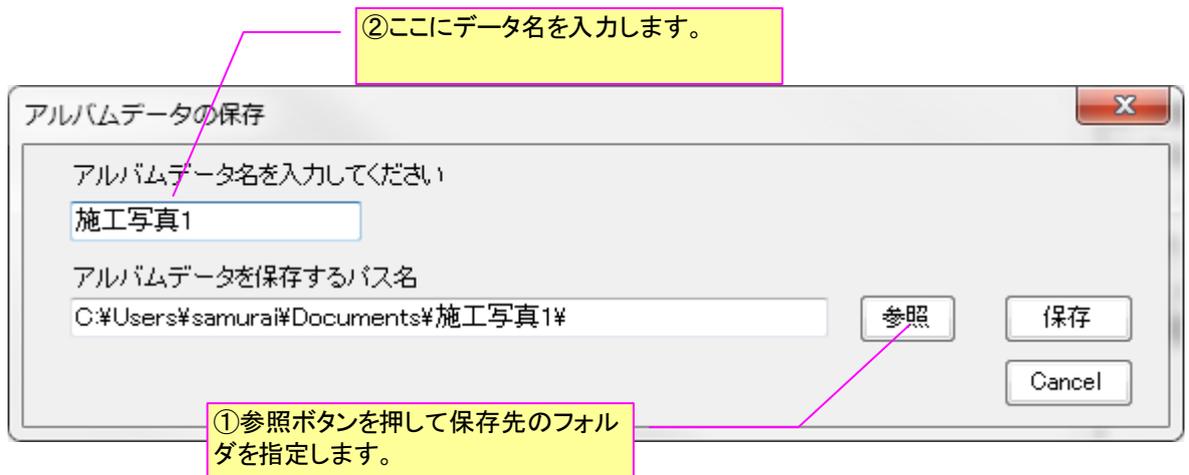
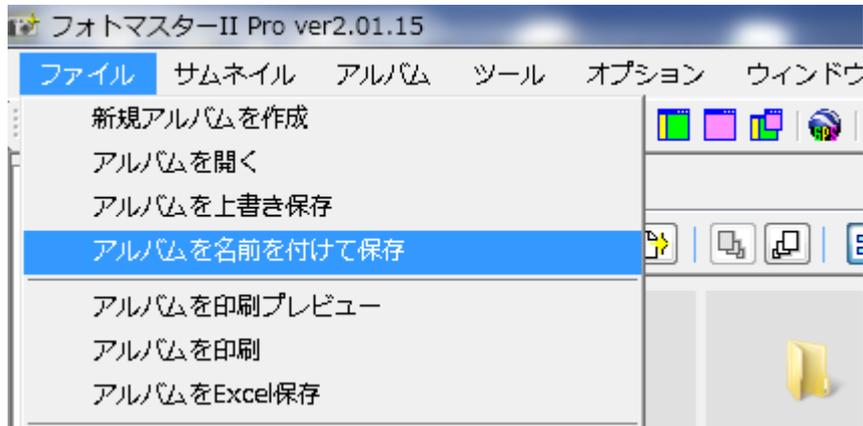
Cancel OK

#### 4-3-9. アルバムを保存する

作成したアルバムをデータ保存する方法には、複数の方法があります。

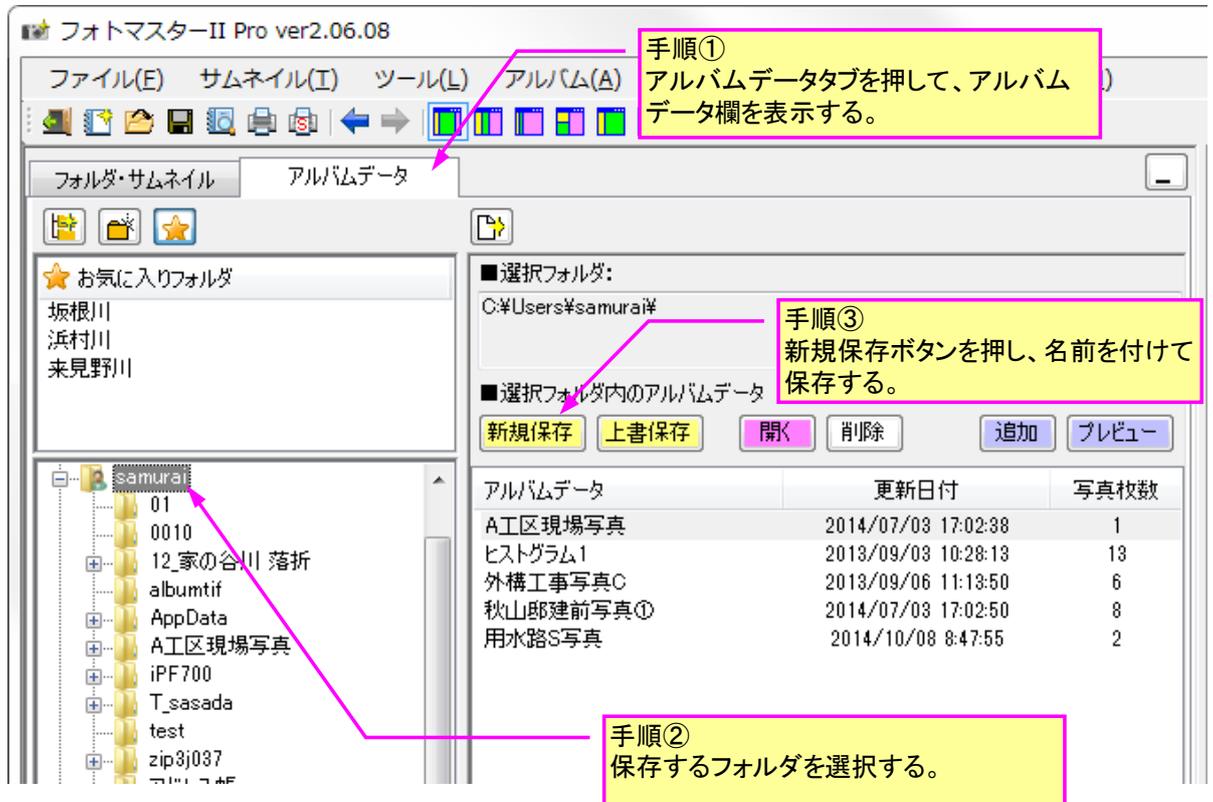
##### 1) 保存方法①

メニューより、「ファイル」-「アルバムを名前をつけて保存」の順で選択し、表示されたウインドウにおいて、保存先のフォルダとデータ名を入力して保存します。

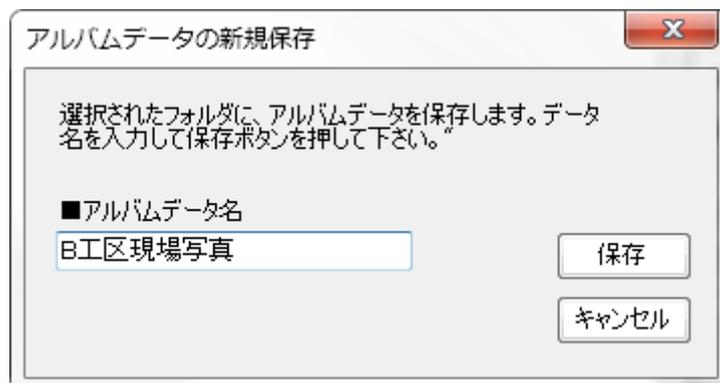


## 2) 保存方法②

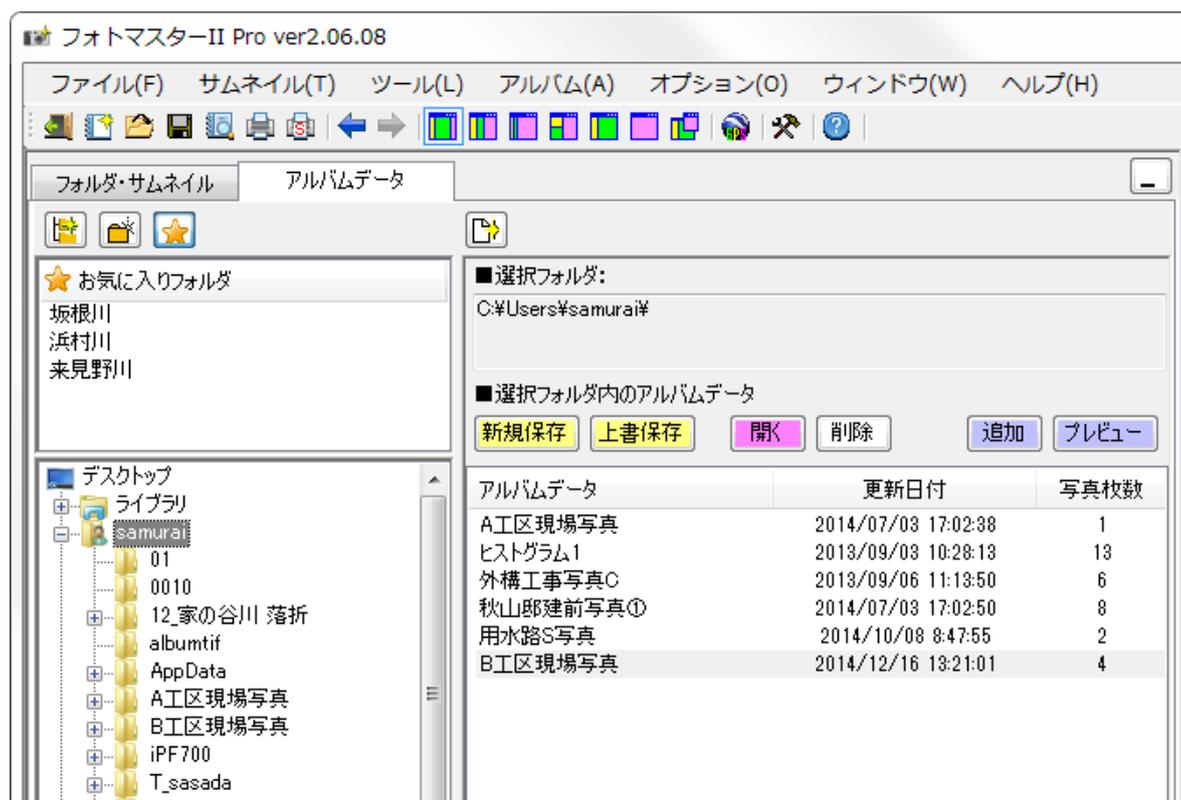
次に、アルバムデータ欄から保存する方法をご紹介します。アルバムデータ欄のタブをクリックしてアルバムデータ欄を表示した後、保存するフォルダを選択します。下図ではフォトマスターというフォルダを指定しています。このフォルダの下にアルバムデータを保存することになります。保存フォルダを指定した後に、「新規保存」ボタンを押してください。



「新規保存」ボタンを押すと、下図のような保存ウインドウが表示されますので、データ名を入力して保存ボタンを押します。



データ保存が完了しますと、下図のように、アルバムデータ欄に、データ名が表示されます。これでデータ保存は完了です。



### 3) アルバムデータの構成

ここで、フォトマスターIIおよびフォトマスターII Proのアルバムデータの構成(仕組み)についてご説明いたします。

#### a) フォトマスターIIのアルバムデータ

フォトマスターIIのアルバムデータは、以下の二種類を内包するひとつのフォルダで構成されています。

つまり、レイアウトなどのアルバム設定に関するデータファイル(\*.alm)とアルバム内の写真ファイル(複数)で構成された1つのフォルダとして保存されます。

例えば、「C:\¥フォトマスター」というフォルダの下に、5枚の写真で構成された「現場写真①」というアルバムデータを作成した場合、

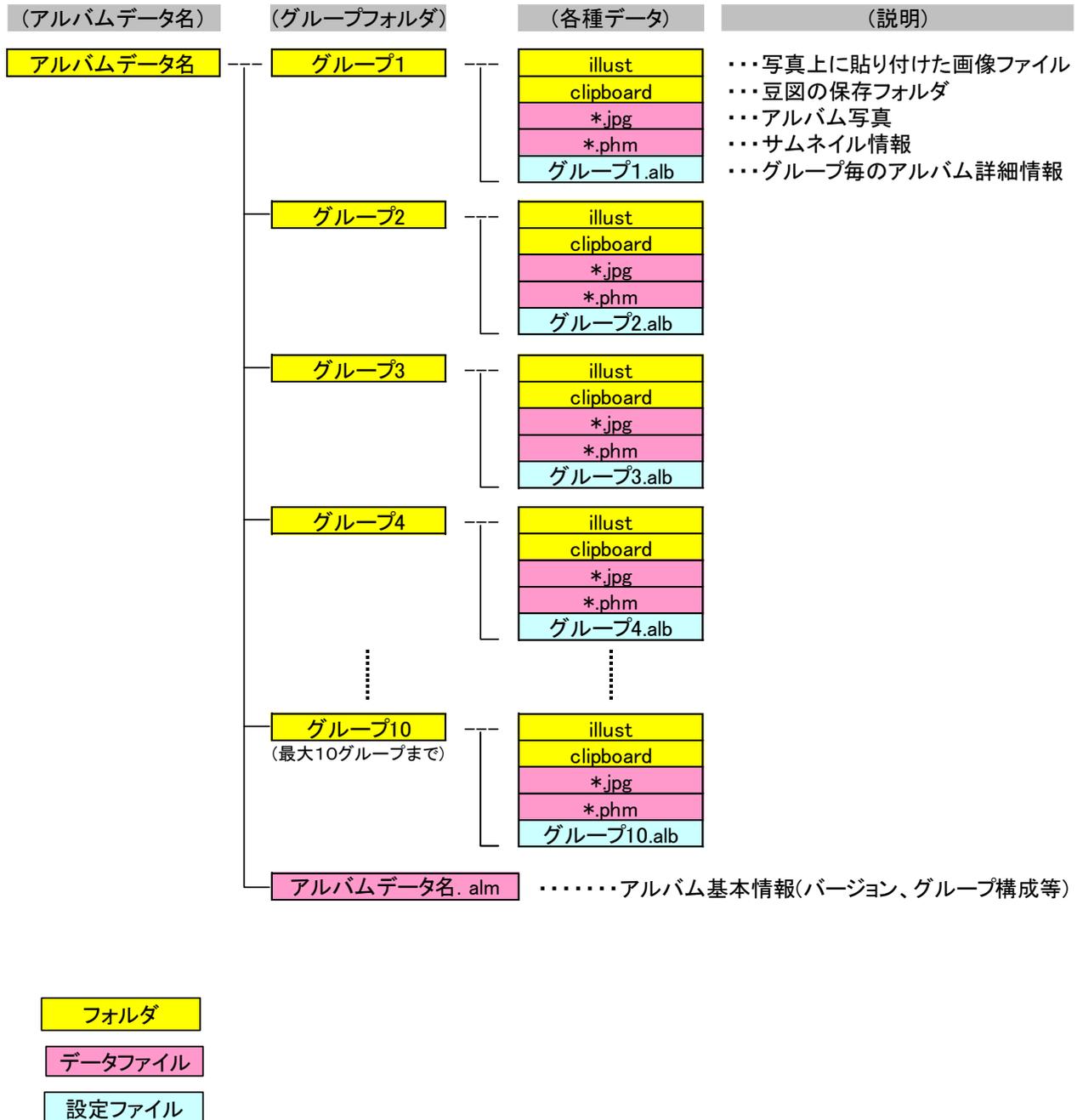
- C:\¥フォトマスター¥現場写真①¥現場写真①. alm(アルバム設定データ)
- C:\¥フォトマスター¥現場写真①¥画像名 1. jpg (写真ファイル 1)
- C:\¥フォトマスター¥現場写真①¥画像名 2. jpg (写真ファイル 2)
- C:\¥フォトマスター¥現場写真①¥画像名 3. jpg (写真ファイル 3)
- C:\¥フォトマスター¥現場写真①¥画像名 4. jpg (写真ファイル 4)
- C:\¥フォトマスター¥現場写真①¥画像名 5. jpg (写真ファイル 5)

という、6つのファイルで構成された1つのフォルダが作成されます。これらすべてが、「現場写真①」というアルバムデータとなります。

## b) フォトマスター II Pro のアルバムデータ

フォトマスター II Pro のアルバムデータは、アルバムグループ毎にデータ保存するため、下図のように複雑なデータ構成となります。

基本的に、アルバムデータ名を冠したフォルダ下にデータを保存するのはフォトマスター II と同じですが、その下層にグループフォルダを作成し、各アルバムグループのデータはそのグループフォルダ内に保存する構成となります。



フォトマスター II Pro のアルバムデータ構成図

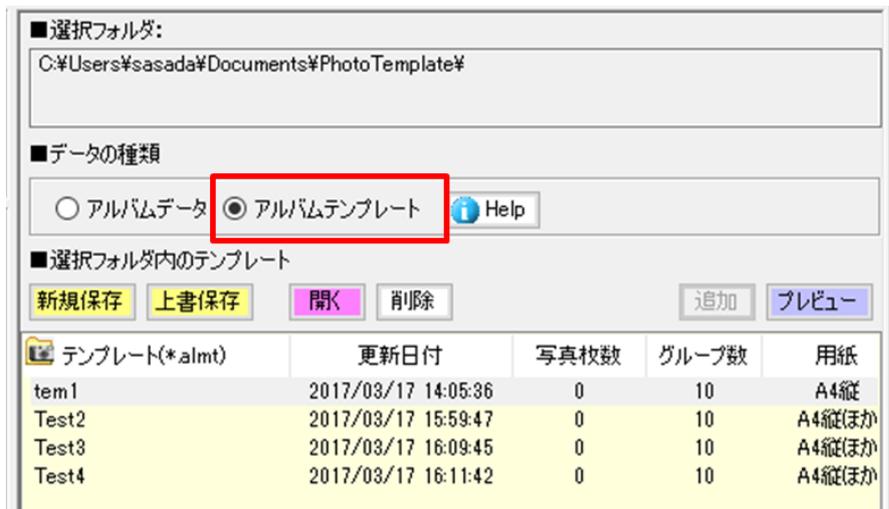
#### 4) アルバムテンプレートとして保存する

フォトマスターII Pro ver2.11 より、アルバムデータをテンプレート保存することができるようになりました。

アルバムのテンプレート保存では、写真を除くすべての設定データが保存されます。

よく使用するアルバムをテンプレート保存しておくことで、次回、同じ仕様のアルバムを1から作成する必要がないため、とても効率的にアルバムを作成できるようになります。また、社内のアルバム仕様を共通化する場合などにも有益です。

ぜひご活用ください。

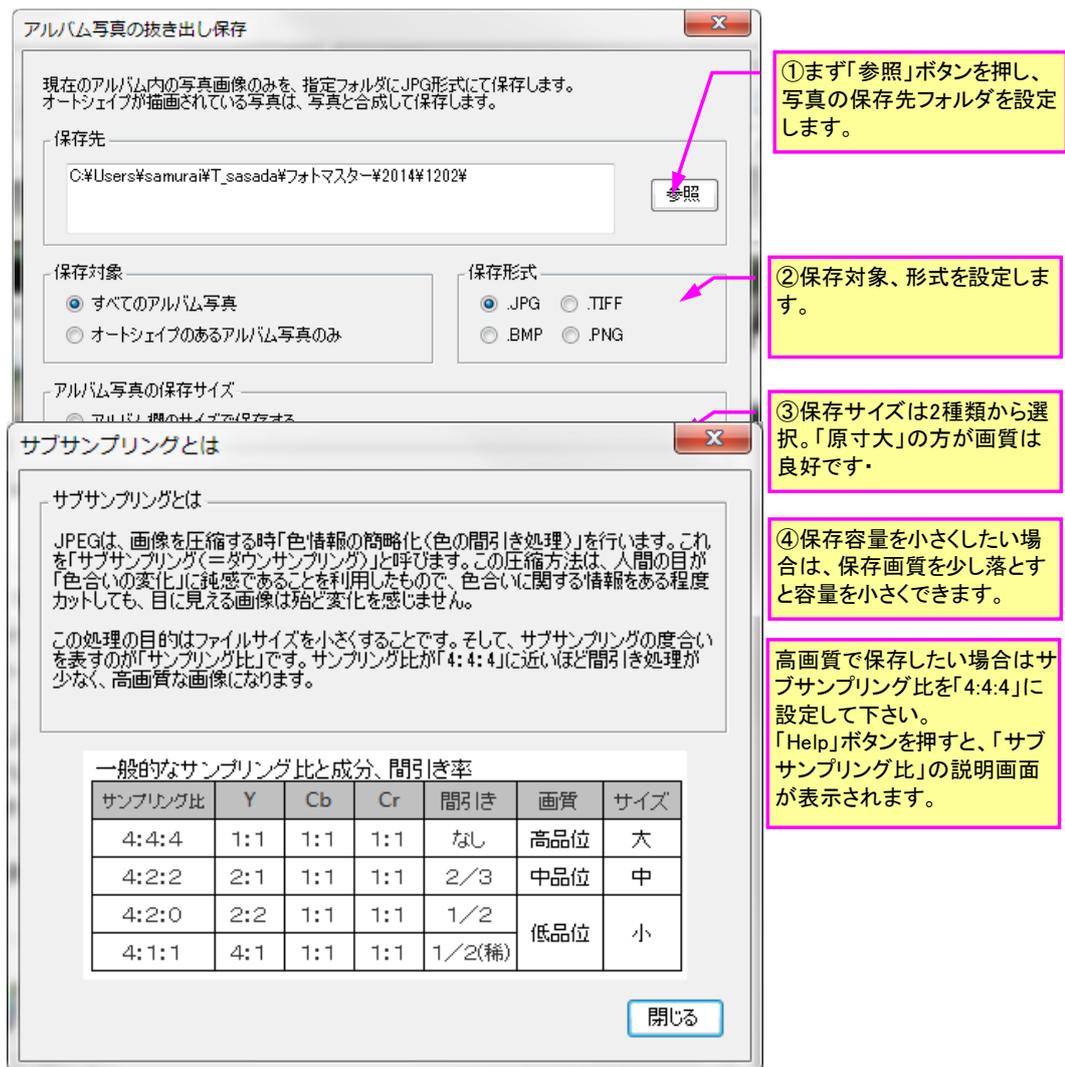
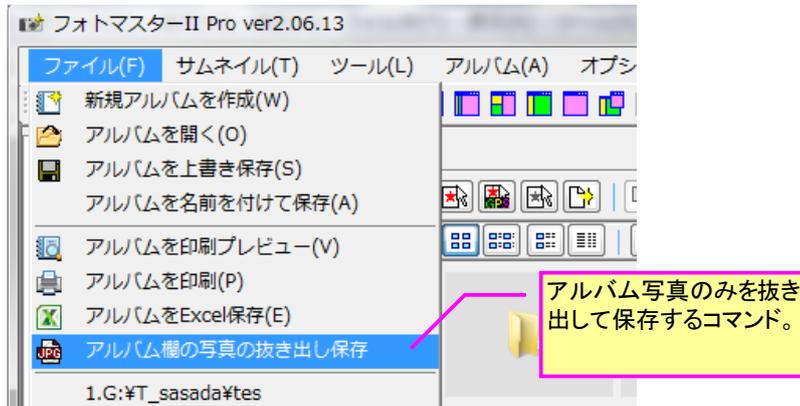


## 5) アルバム写真のみを抜き出し保存する

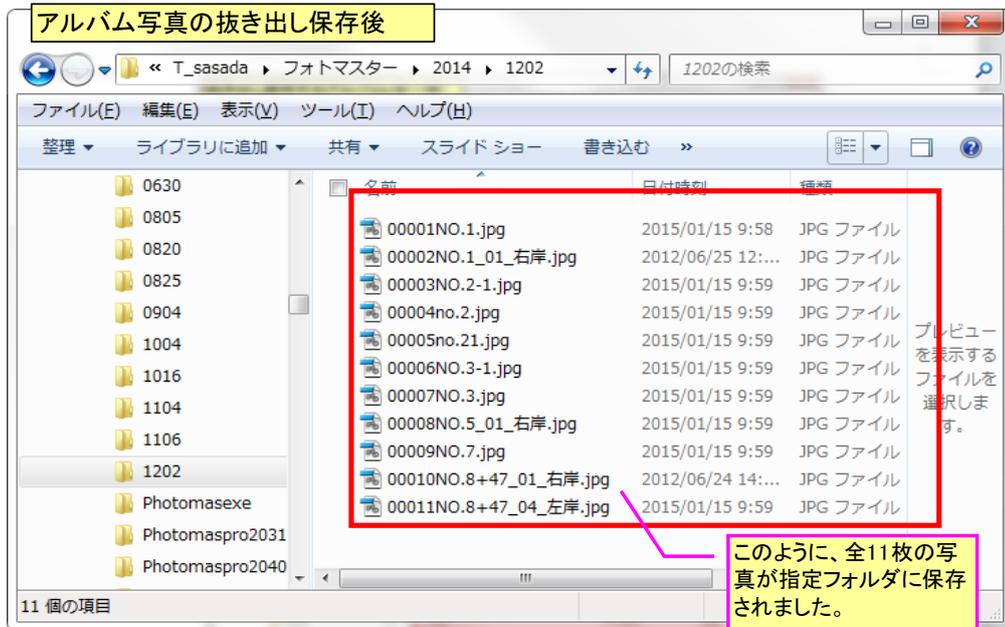
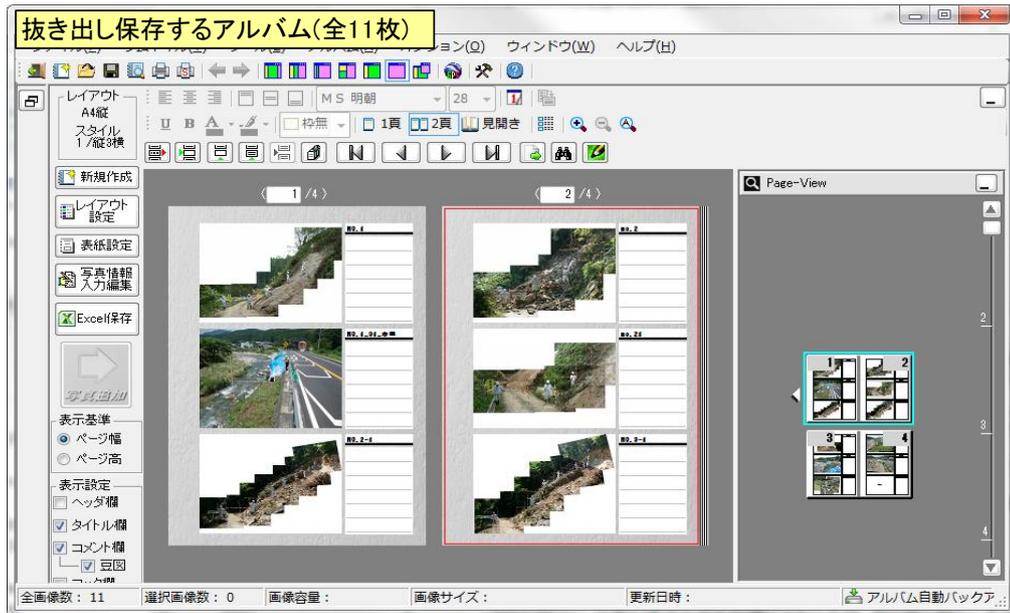
メインメニューの「ファイル」-「アルバム写真の抜き出し保存」コマンドにより、アルバム内の写真画像のみを指定フォルダに保存することが出来ます。なお写真上にオートシェイプなどが描画されている場合は、写真とオートシェイプを合成して保存します。

保存時のファイル名は、「連番」&元ファイル名となります。

例えば、元ファイル名が P110251.jpg で連番が 1 番目の場合、「0001P110251.jpg」となります。



■アルバム写真の抜き出し保存例



## 4-3-10. アルバムを開く(データ読込)

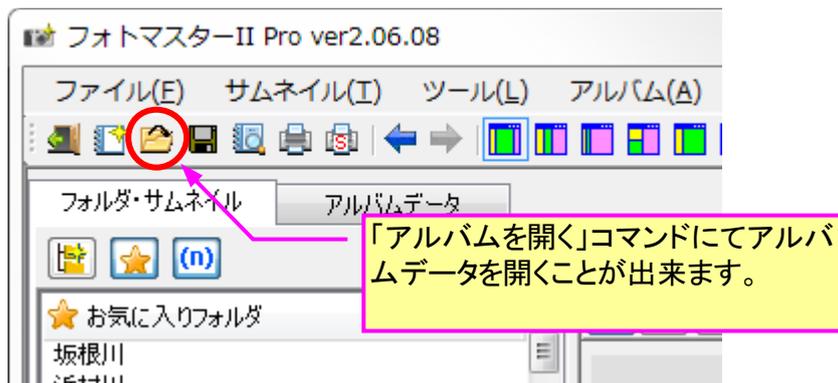
### 1) 概要

フォトマスターで作成したアルバムデータを開く方法には、下記の3つの方法があります。

- 方法1・・・ツールバーの「ファイルを開く」コマンドで直接アルバムデータを指定して開く
- 方法2・・・「アルバムデータ」タブを開き、アルバムデータリストから開く
- 方法3・・・フォルダ欄からアルバムデータを開く。(Ver3.01にて追加された方法)

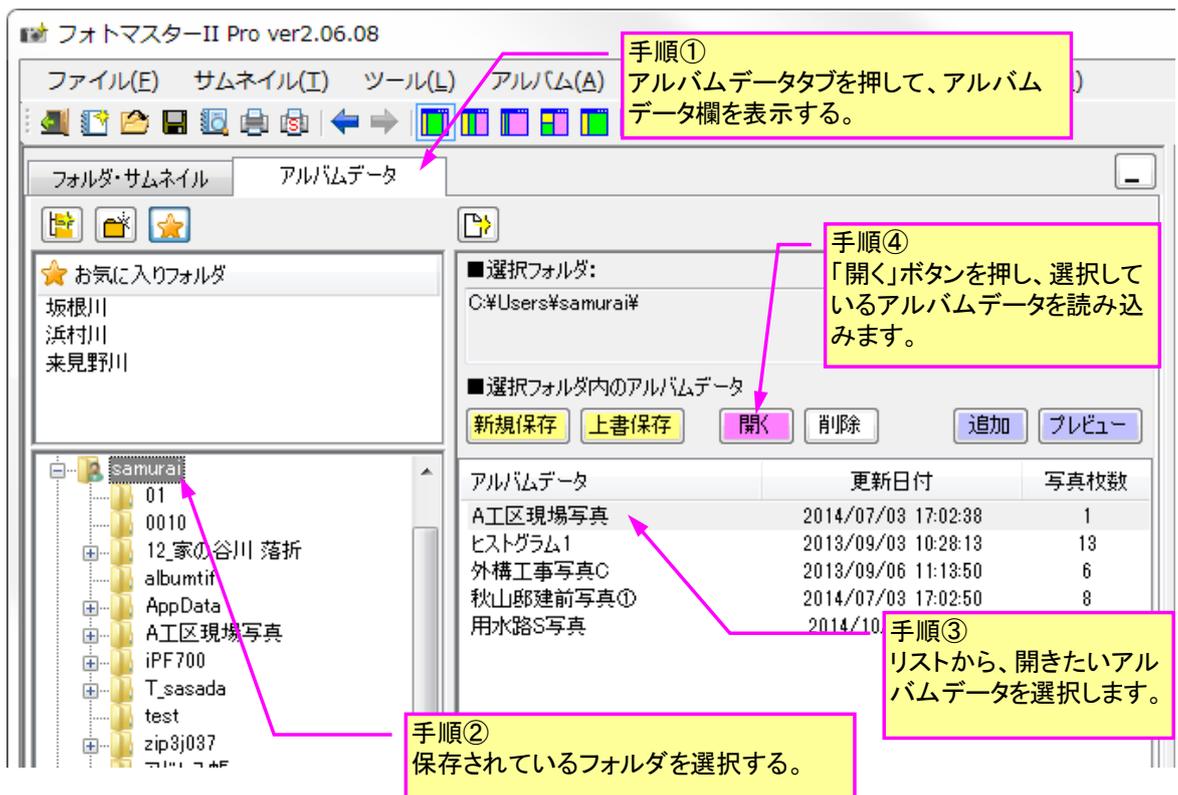
### 2) 「ファイルを開く」コマンドでデータを開く

下図のように、フォトマスターのメイン画面上部のツールバーから、「ファイルを開く」コマンドにて直接アルバムデータを指定して開きます。



### 3) 「アルバムデータ」タブからデータを開く

「アルバムデータ」タブを押し、データが含まれるフォルダを選択してデータリストを表示した後、開きたいアルバムデータを選択して開きます。

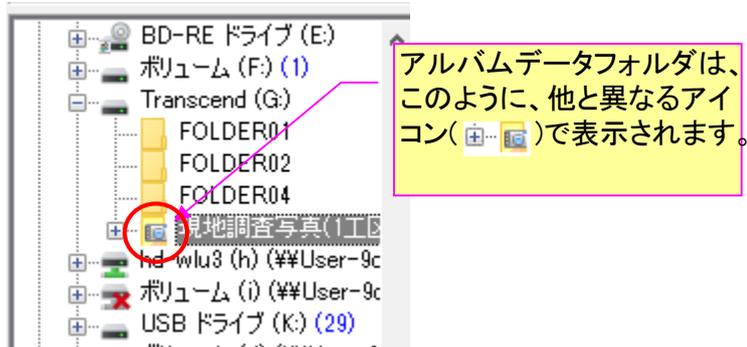


#### 4) 「フォルダ欄」からアルバムデータを開く方法

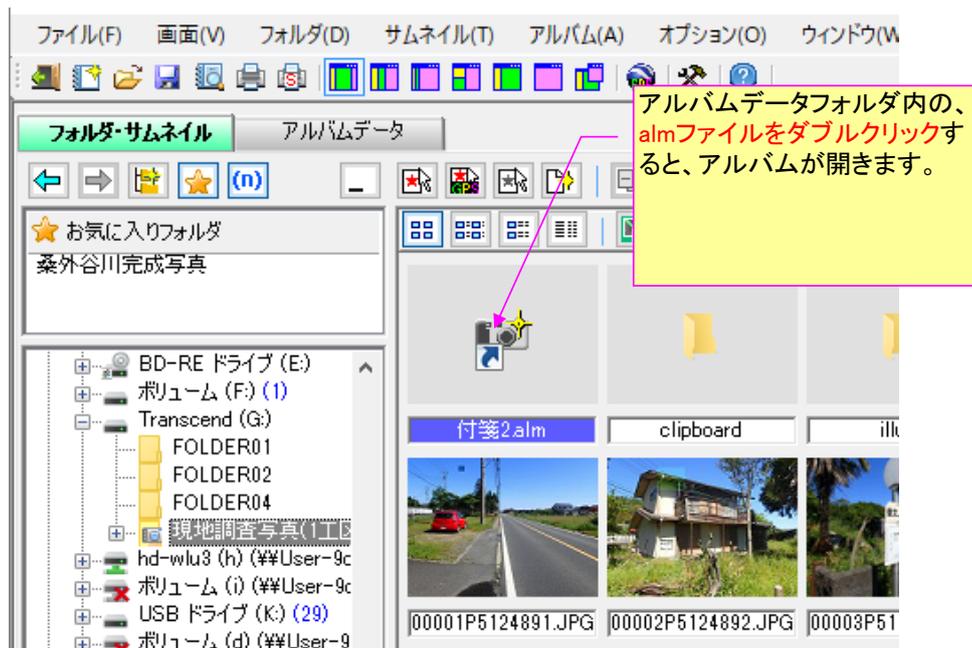
「4-3-9. アルバムを保存する」の項で既にご説明したように、フォトマスターのアルバムデータはフォルダ構造になっています。

従って、アルバムデータフォルダはフォルダ欄にも表示されます。そこで、フォルダ欄にて開きたいアルバムデータフォルダを選択し、サムネイル欄に表示されたアルバムデータファイルのうち1つである「alm」ファイルをダブルクリックすることで、アルバムデータを開くことができます。

なおアルバムデータフォルダは、他のフォルダと区別し易いように、カメラマークの付いたアイコンで表示されます。



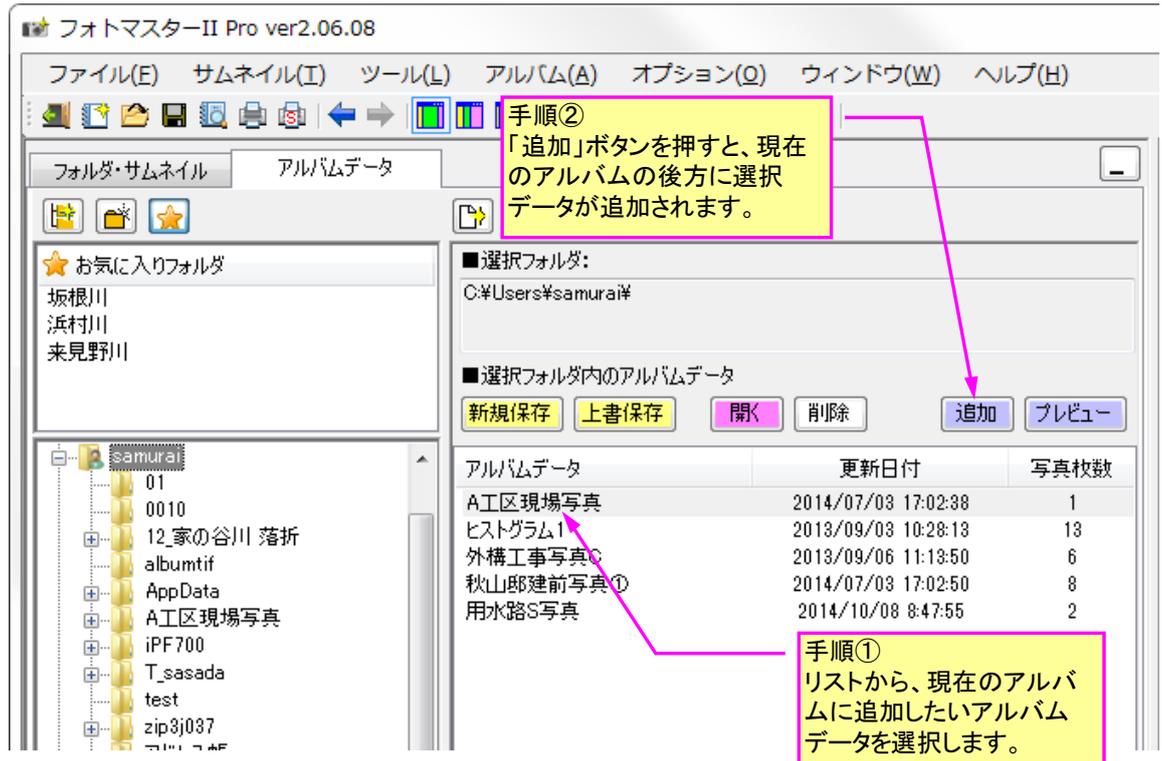
アルバムデータフォルダのアイコンデザイン



アルバムデータ内の alm ファイルをダブルクリック→データ読込

#### 4-3-1 1. 現在のアルバムに別のデータを追加する

フォトマスターII pro では、下図の方法で、現在のアルバムに別のアルバムを追加することが出来ます。

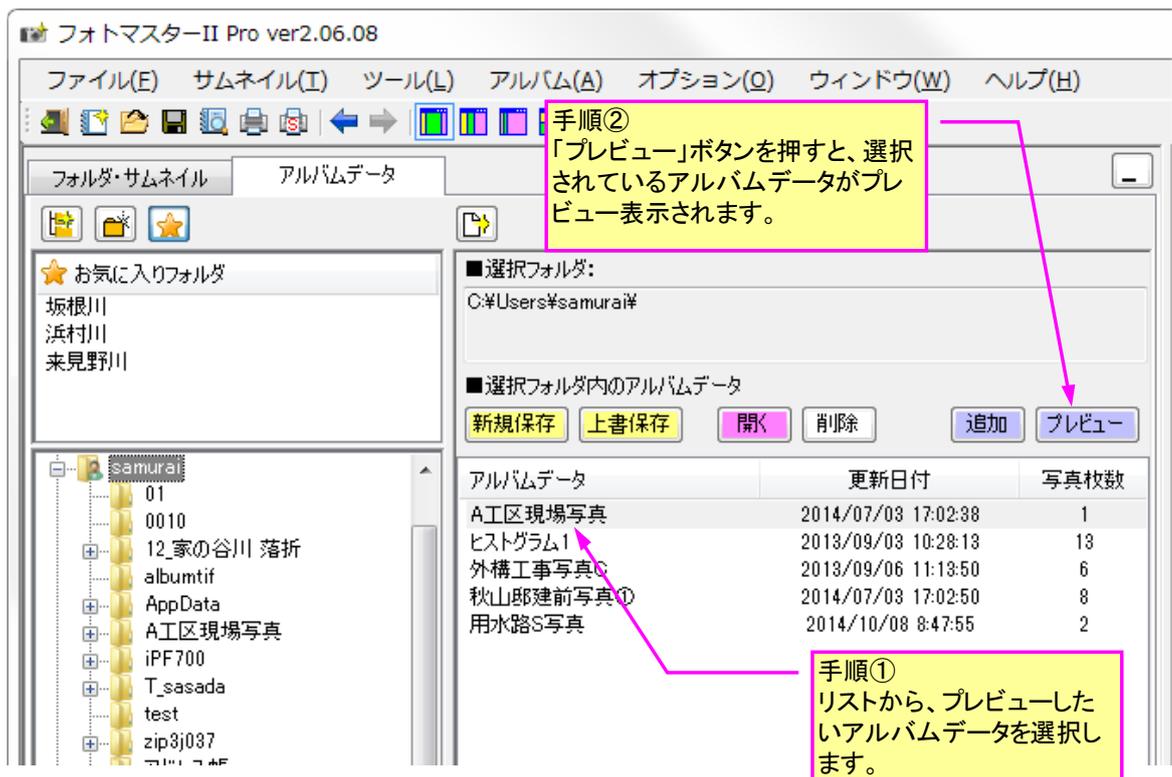


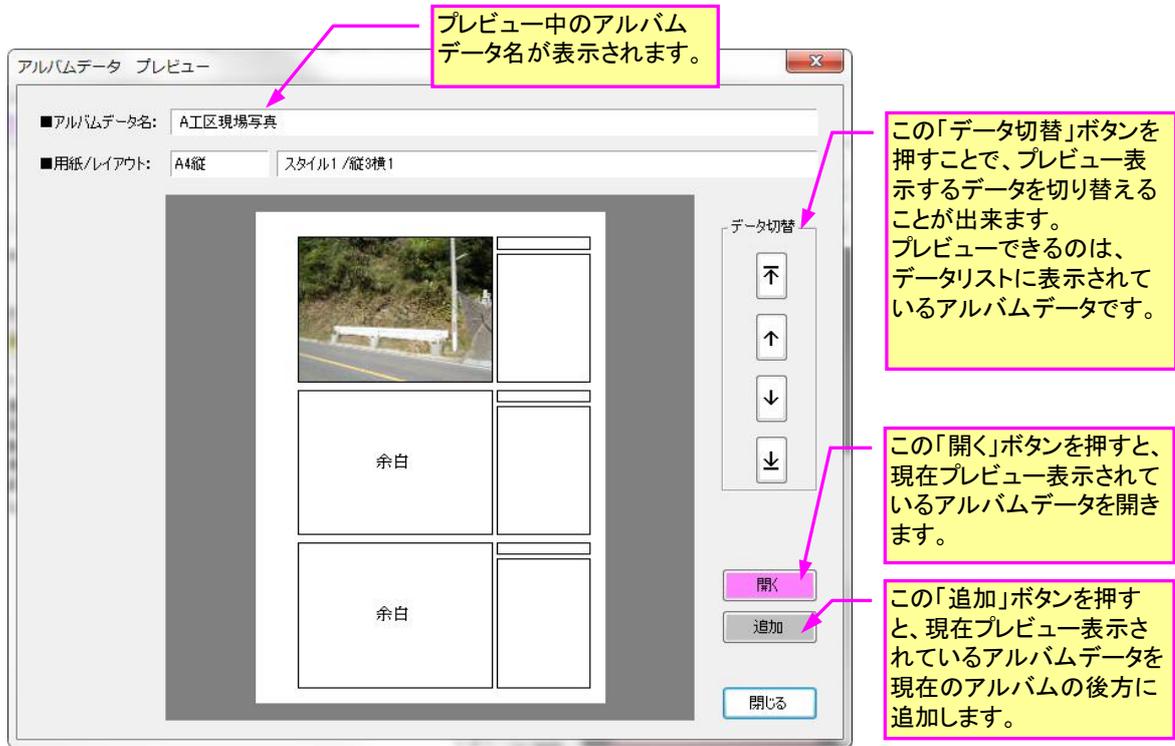
#### 4-3-1 2. アルバムデータに関するその他のコマンド

##### 1) 「アルバムデータ」のプレビュー機能

フォトマスターII pro では、下図の方法で、アルバムデータを開くことなく、別のアルバムデータをプレビュー確認することが出来ます。

開きたいアルバムデータを探したり、内容確認など場合に便利です。





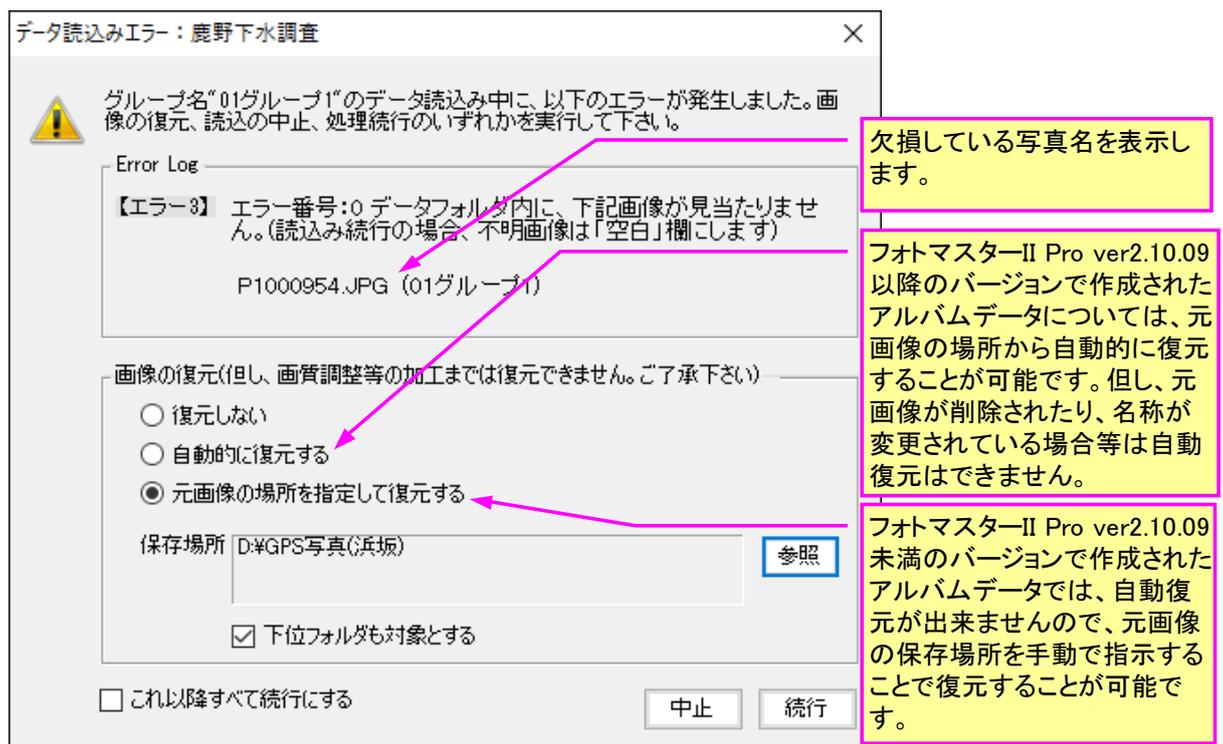
アルバムデータのプレビュー画面

なおプレビューできるのは、各アルバムの最初の1ページのみとなります。ページ送りはできませんのでご了承ください。

## 2) アルバムデータ内の画像欠損による読み込みエラー対策

データ読み込み時に画像ファイルが何らかの理由で欠損していた場合、その画像を復元することが出来ます。但し、復元できる画像はアルバム写真のみで、豆図等は復元できませんので予めご了承ください。

アルバムデータ読み込み時に画像欠損が確認された場合は下記の画面が表示されますので、復元の方法を選択し、「続行」ボタンを押して下さい。



### 4-3-13. アルバムを印刷する

#### 1) 概要

作成したアルバムの印刷方法についてご説明いたします。

印刷は、印刷プレビューボタンもしくは印刷ボタンを押しておこないます。

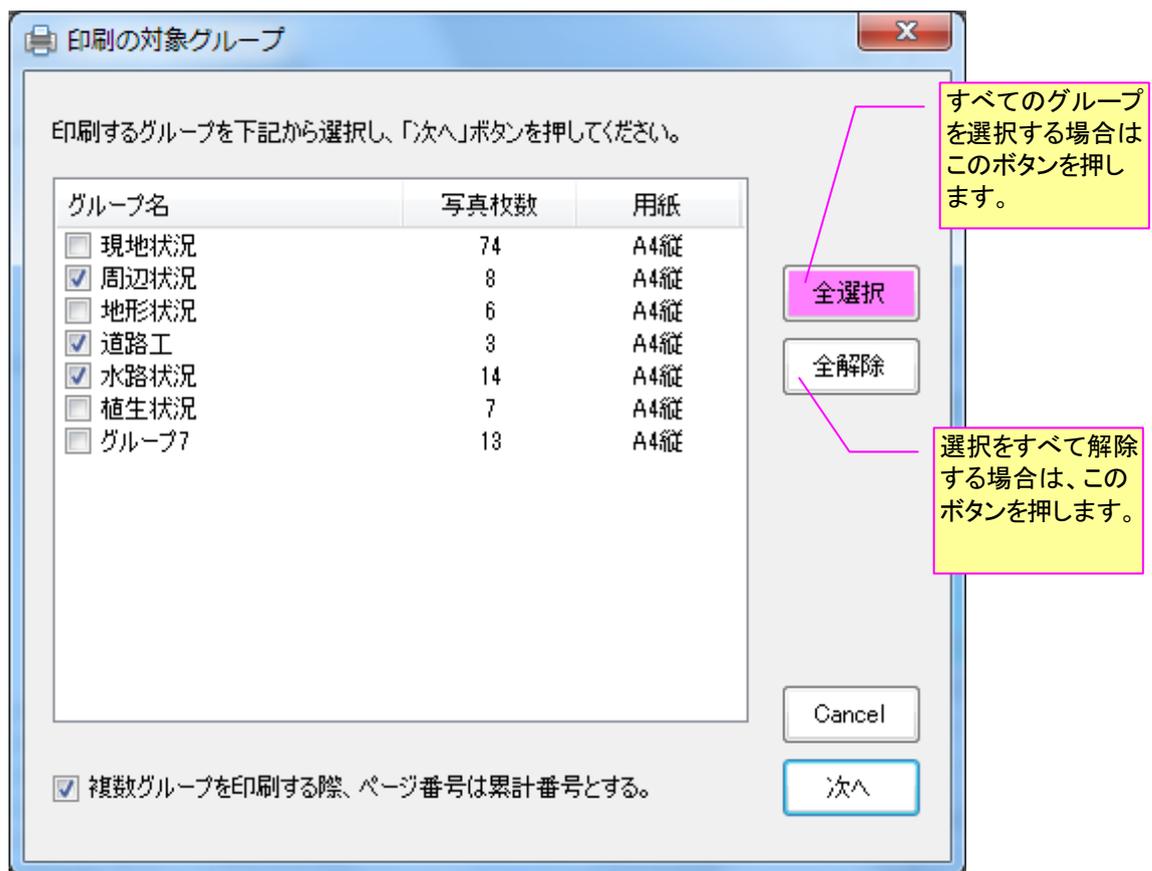


#### 2) 印刷グループの選択

アルバム欄にて複数のアルバムグループを作成している場合は、上記のボタンを押すと、まず下図の印刷グループの選択画面が表示されます。

この画面にて、印刷するグループを選択した上で「次へ」ボタンを押して下さい。

なお、アルバムグループを1つしか作成していない場合は、下図は表示されません。その場合は次の「印刷基本設定」画面が表示されます。



注)作成したアルバムが1グループのみの場合は、この画面は表示されません。

### 3) 印刷基本設定画面

#### a) 画面説明

下図は、印刷プレビューボタンもしくは印刷ボタンを押した後に表示される「印刷基本設定」画面です。印刷方法等を設定し、プリンター機種を確認後、「次へ」ボタンを押して下さい。

「次へ」ボタンを押すと「印刷プレビュー」画面もしくは「印刷の設定」画面が表示されます。

なお、複数のアルバムグループを印刷する場合は、印刷のページ指定はできません。全ページ印刷のみとなります。

印刷方法は、「通常印刷」、裏表に両面印刷する「見開き印刷」、袋とじ形式で印刷する「袋とじ印刷」の3種類から選択可能です。ただし、両面印刷に対応していないプリンターでは「見開き印刷」は選択できません。また「袋とじ印刷」は、A4ページを並べてA3用紙に印刷することになるため、A3ページのアルバムでは選択できません。  
なお、見開き印刷および袋とじ印刷の場合、基本的にプリンター側の設定は特に必要ありません。(但しすべてのプリンターでその機能を補償するものではありません)

The screenshot shows the 'Print Basic Settings' dialog box for an album. It is titled '印刷基本設定 【アルバムサイズ: A4】'. The dialog is divided into several sections:

- 印刷方法を設定して下さい:** Includes radio buttons for '通常印刷(片面印刷)', '見開き印刷(両面印刷)', and '袋とじ印刷(片面印刷)'. A preview window shows a grid of images. Paper size is set to '【用紙サイズ: A4】'.
- 表紙の印刷:** Includes radio buttons for '印刷しない' and '印刷する'. A '表紙設定/確認(S)' button is present.
- 印刷ページ:** Includes radio buttons for 'すべて(全2ページ)', '現在選択中のページ(1ページ目)', and 'ページ指定'. The 'ページ指定' section has input fields for 'ページから' and 'ページまで'.
- 印刷部数:** Includes a '印刷部数' spinner set to '2' and a checked '部単位で印刷' checkbox. A diagram shows two pages with page numbers 1, 2, 3.
- プリンター情報:** Shows '現在のプリンタ: Canon MG7100 series Printer'. Includes checkboxes for 'A3対応' and '両面印刷'. '印刷品質' is set to 'きれい' and 'カラーモード' is set to 'カラー'. A '機種変更(B)' button is present.

Callouts and notes:

- Red lines point from the '印刷方法を設定して下さい' section to the explanatory text above.
- Red lines point from the '表紙の印刷' section to the note: 'アルバムの表紙を印刷する場合は、「印刷する」を選択します。' and 'アルバムの表紙設定および確認(表紙プレビュー)が出来ます。'.
- Red lines point from the '印刷ページ' section to the note: '印刷するページを設定します。(飛び飛び印刷をおこないたい場合は、「すべて」印刷を選択し、印刷プレビューの「印刷の設定」にて印刷ページを設定して下さい)'. Another red line points from the '印刷部数' section to the note: '印刷部数を設定します。'.
- Red lines point from the '部単位で印刷' checkbox to the note: '部単位で印刷(ソート印刷)したい場合は、ここにチェックを入れます。チェックを入れると、「123」、「123」、「123」のように1部ずつまとめて印刷します。'.
- Red lines point from the '機種変更(B)' button to the note: 'プリンターの機種を変更します。'.
- Red lines point from the '印刷品質' and 'カラーモード' dropdowns to the note: '品質、カラーモードを切替えることが出来ます。'.
- Red lines point from the 'A3対応' and '両面印刷' checkboxes to the note: 'プリンターがA3印刷に対応しているか、また両面印刷に対応しているかを表示します。対応していれば「○」、未対応の場合は「×」が表示されます。'.
- Red lines point from the 'すべての印刷方法を有効にする(プリンタ情報とは非連動)' and 'プリンターの印刷設定を手動でおこなう。' checkboxes to the note: 'プリンター情報とは無関係に、3種類の印刷方法を強制的にすべて選択できるようにします。プリンター情報が正常に取得できない場合等に使用します。'.
- Red lines point from the '印刷品質' and 'カラーモード' dropdowns to the note: '通常、プリンターの用紙設定や印刷方法(見開き印刷設定など)は、当ソフトにて自動設定されます。しかし、何らかの原因で自動設定が正常に機能しない場合には、このチェックを入れ、印刷設定を手動で行って下さい。'.

## b) 印刷方法について

フォトマスターⅡでは、「通常印刷」、「見開き印刷」、「袋とじ印刷」に対応しています。

「通常印刷」とは、ページサイズのまま印刷する方法で、片面印刷となります。一方、「見開き印刷」は両面印刷されます。丁度、本をめくるような状態でアルバムを作成することが出来ます。「袋とじ印刷」は、ページサイズが A4 の場合のみに可能となります。A4 サイズのアルバムを、A3 用紙の左右もしくは上下に 2 つ並べて印刷します。印刷されたアルバムは、山折りにすることで見開き状態でのアルバム(A4 版)を作成することが出来ます。

アルバムページ設定と、印刷方法の対応表

ページ設定 印刷方法	A4	A3
通常印刷	○(A4用紙)	○(A3用紙)
見開き印刷	○(A4用紙)	○(A3用紙)
袋とじ印刷	○(A3用紙)	×

注1)○…対応、×…非対応、( )内は印刷用紙。

注2)A3ページのアルバムでは、袋とじ印刷はできません。

注3)袋とじ印刷は、A3用紙に印刷されます。

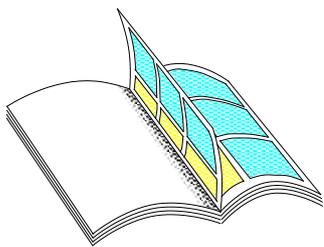
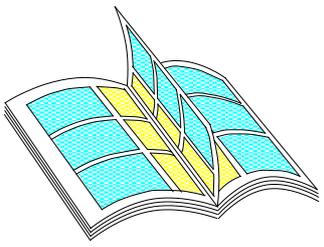
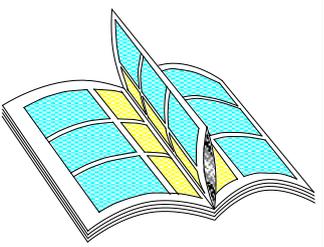
プリンター機種と印刷方法の関係表

プリンター 印刷方法	両面印刷 対応機種	両面印刷 非対応機種
通常印刷	○	○
見開き印刷	○	×
袋とじ印刷	○	○

注1)○…対応、×…非対応

注2)両面印刷ができないプリンターでは、見開き印刷はできません。

印刷方法と、製本時のイメージ

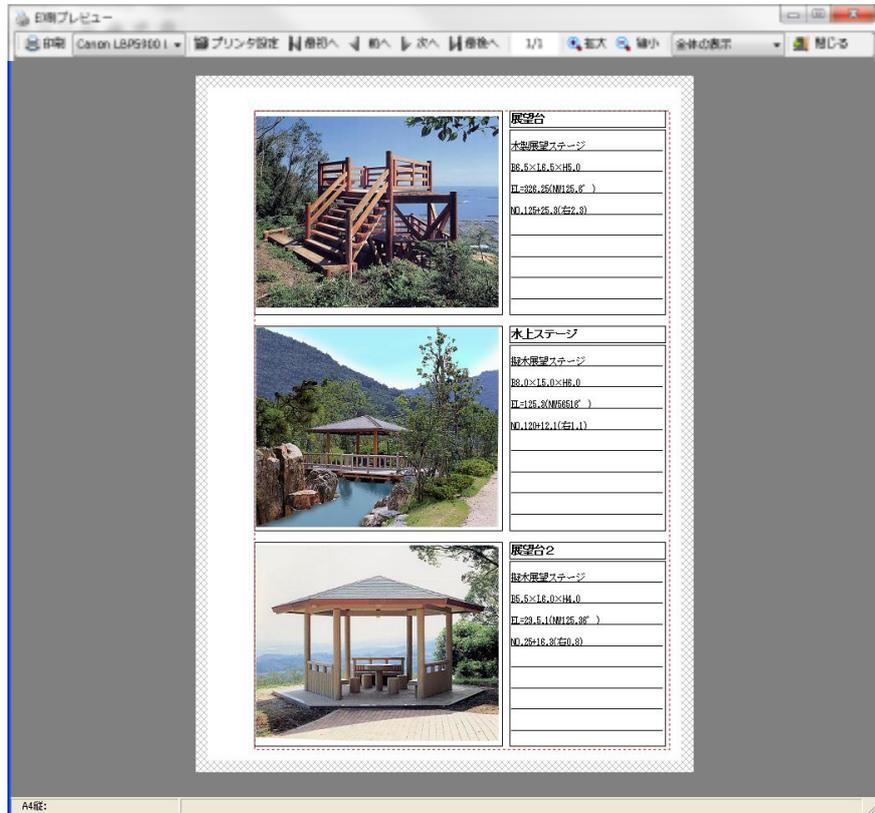
印刷方法	通常印刷(片面印刷)	見開き印刷(両面印刷)	袋とじ印刷(片面印刷)
製本時の イメージ			
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバムを片面印刷します。製本すると、上図のような状態になります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバムを見開き状態で両面印刷します。製本すると、上図のような状態になります。</li> <li>・両面印刷可能なプリンターのみで印刷が可能となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバムを袋とじ印刷します。印刷用紙はA3のみとなります。印刷後、A3用紙を山折りして製本すると、左図のような状態になります。</li> <li>・A3未対応のプリンターでは印刷できません。</li> </ul>

注)複数のレイアウトで構成されたアルバムを「Adobe PDF」にて印刷した場合、用紙方向が異なるレイアウト毎に、異なる保存ファイル名を指定して保存する必要があります。保存したPDFファイルは、必要に応じてAdobe Acrobat等にて1つに結合して下さい。

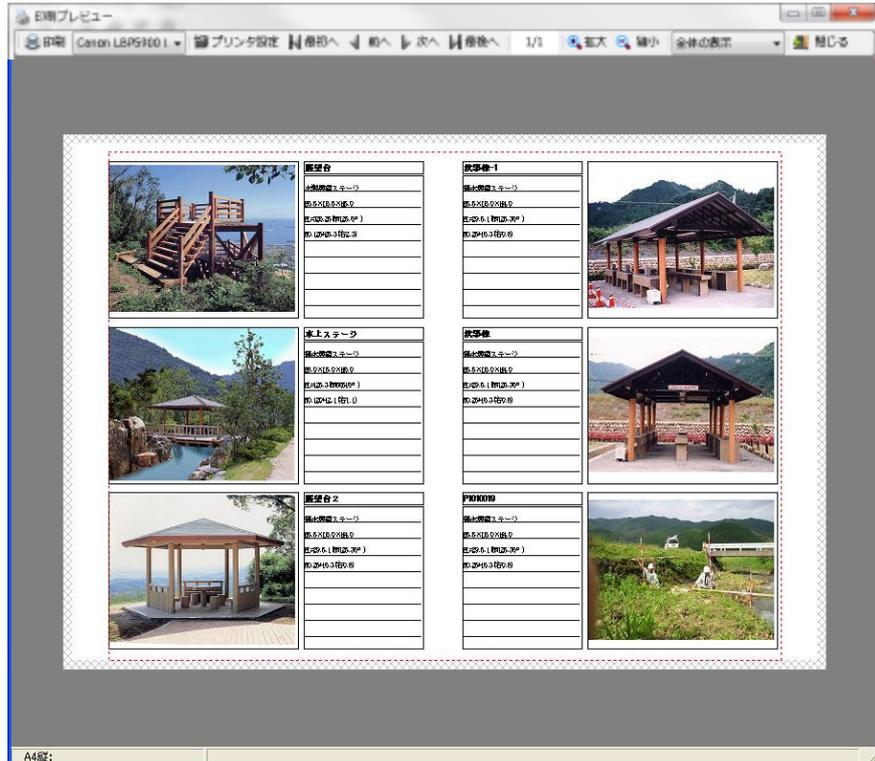
#### 4) 印刷プレビュー画面

下図は「印刷プレビュー」画面です。印刷状態を確認できます。

- ・ **通常印刷**および**見開き印刷**の場合は、下図のように単独ページで表示されます。(なお見開き印刷では通常、写真欄とタイトル/コメント欄が左右交互に配置を変えて表示しますが、レイアウト画面設定にて**左右交互にするかしないかの選択が可能**です)



- ・ **袋とじ印刷**では、A4 縦の場合、下図のように A3 用紙に左右 (A4 横では上下) に並べて印刷されます。

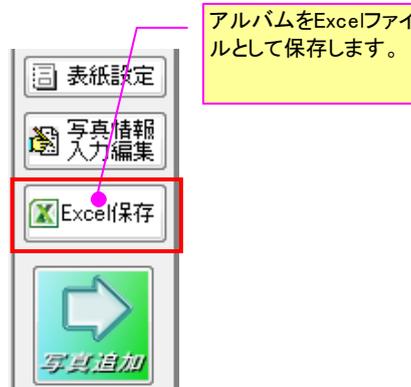


注) 写真欄と情報欄(コメント欄等)は、左右逆も可能です(レイアウト設定にて)。

## 4-3-1 4. アルバムを Excel 保存する

### 1) 概要

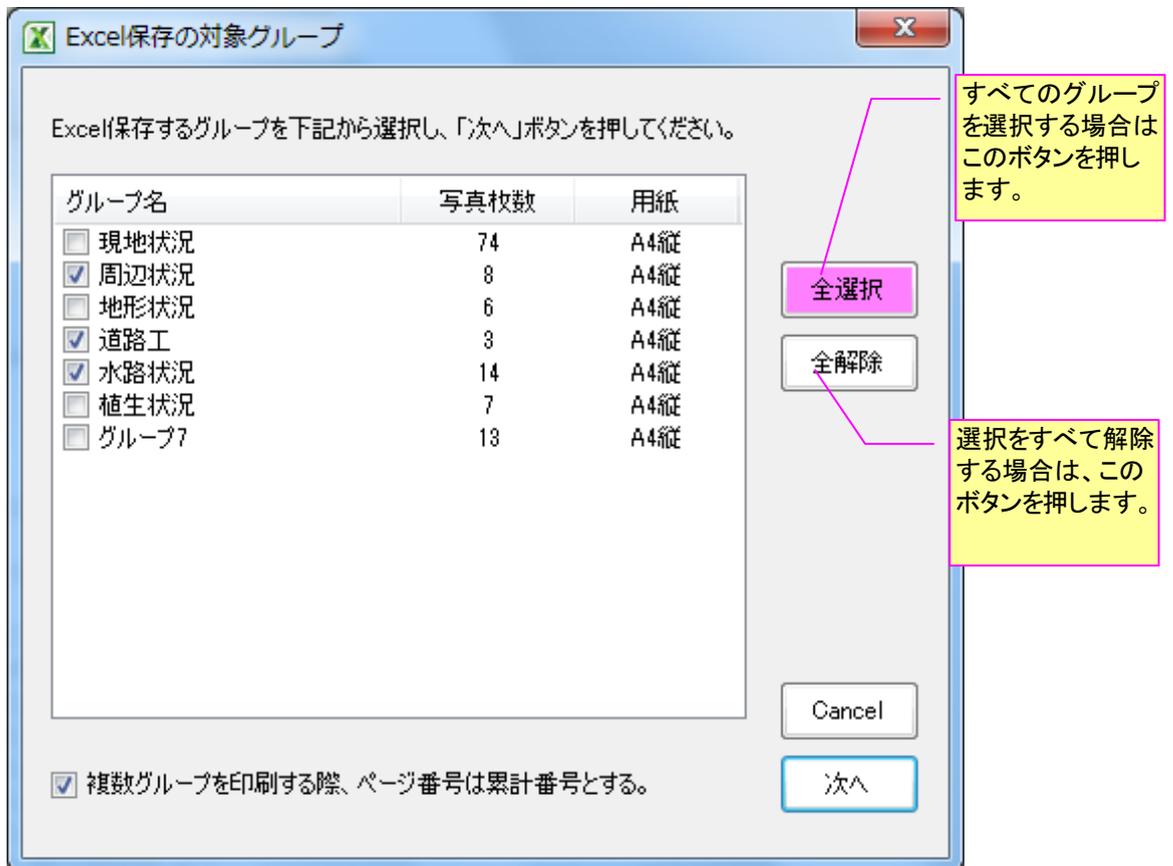
作成したアルバムを Excel に保存する場合は、アルバム設定コマンド内の「Excel 保存」ボタンを押して保存します。保存の際には、「Excel への保存方法」ウインドウが開きますので、目的に応じて設定を行ってください。



### 2) Excel 保存対象グループの選択

アルバム欄にて複数のアルバムグループを作成している場合は、上記のボタンを押すと、まず下図の保存対象グループの選択画面が表示されます。

この画面にて、Excel 保存するグループを選択した上で「次へ」ボタンを押して下さい。なお、アルバムグループを1つしか作成していない場合は、下図は表示されません。その場合はすぐに次の「Excel 保存設定」画面が表示されます。



注作成したアルバムが1グループのみの場合は、この画面は表示されません。

### 3) Excel への保存方法

Excel 保存設定は、以下の画面にておこないます。

なお設定画面は、保存するアルバムグループが 1 つの場合と複数の場合とで異なります。Excel への保存方法が少し異なるためです。

#### a) 保存するアルバムグループが 1 つの場合

アルバムの保存方法として、1 つのシートに全ページを展開する場合は「すべてのページを 1 つのシートに・・・」を選択します。一方、1 シートに 1 ページのみ展開する場合は「すべてのページを別々のシートに・・・」を選択します。

The screenshot shows the 'Excelへの保存方法' (Excel Save Method) dialog box. It contains several sections: 'アルバムの展開方法' (Album Display Method) with two radio buttons; '写真の画質' (Photo Quality) with a slider set to 85%; '保存ページ' (Save Pages) with three radio buttons and page range inputs; and checkboxes for '保存形式を変更する(袋とじ、見開き)', '表紙を保存する(アルバムとは別シート)', and 'Excel保存後にファイルを開く'. A 'Help' button and a dropdown menu for '保存形式' (Save Format) are also present. The dialog has 'Cancel' and 'OK' buttons at the bottom right.

複数ページの場合の展開方法を選定します。1つのシートに全ページを展開する場合は「すべてのページを1つのシートに・・・」を選択します。一方、1シートに1ページのみ展開する場合は「すべてのページを別々のシートに・・・」を選択します。後者の場合、例えばアルバムが3ページあれば3つのシートに1枚ずつ展開されます。

Excel保存するページを設定します。ページ指定することで、一部保存も可能です。

アルバムを袋とじ形式で保存する場合はチェックします。この機能は、アルバムがA4の場合のみに有効です。

アルバムの表紙を保存する場合はチェックしてください。(表紙は、写真とは別シートに保存されます。)

保存後、自動的にそのExcelファイルを開く場合は、ここをチェックします。

保存時の写真の画質を設定します。高画質(100%に近い値)で保存する程、ファイル容量は大きくなります。何度か保存して値を調整してください。

## b) 保存するアルバムグループが複数の場合

アルバムの保存方法として、1つのグループを1つのシートに保存し、全体を1つのファイルとして保存する方法と、1つのグループを1つのExcelファイルとして保存するかの2つの方法があり、どちらかを選択して下さい。

なお、保存するアルバムグループが複数の場合は、ページ指定保存は出来ません。全グループの全ページを保存します。

The screenshot shows the 'Excelへの保存方法' (Excel Save Method) dialog box. It contains several sections: 'アルバムの展開方法' (Album Expansion Method) with two radio buttons; '写真の画質' (Photo Quality) with a slider set to 85%; '保存ページ' (Save Pages) with three radio buttons and page number inputs; and checkboxes for '保存形式を変更する(袋とじ、見開き)', '表紙・グループタイトルも保存する', and 'Excel保存後にファイルを開く'. A 'Help' button is also present. The '袋とじ形式' (Booklet style) is selected in the dropdown menu.

**Callout 1 (Top Right):** アルバムグループが複数の場合は、1つのグループを1つのシートに保存して、全体を1つのファイルとして保存する方法と、1つのグループを1つのExcelファイルとして保存するかの2つの方法から選択します。

**Callout 2 (Left):** アルバムグループが複数の場合は、保存ページの指定はできません。全ページが保存されます。

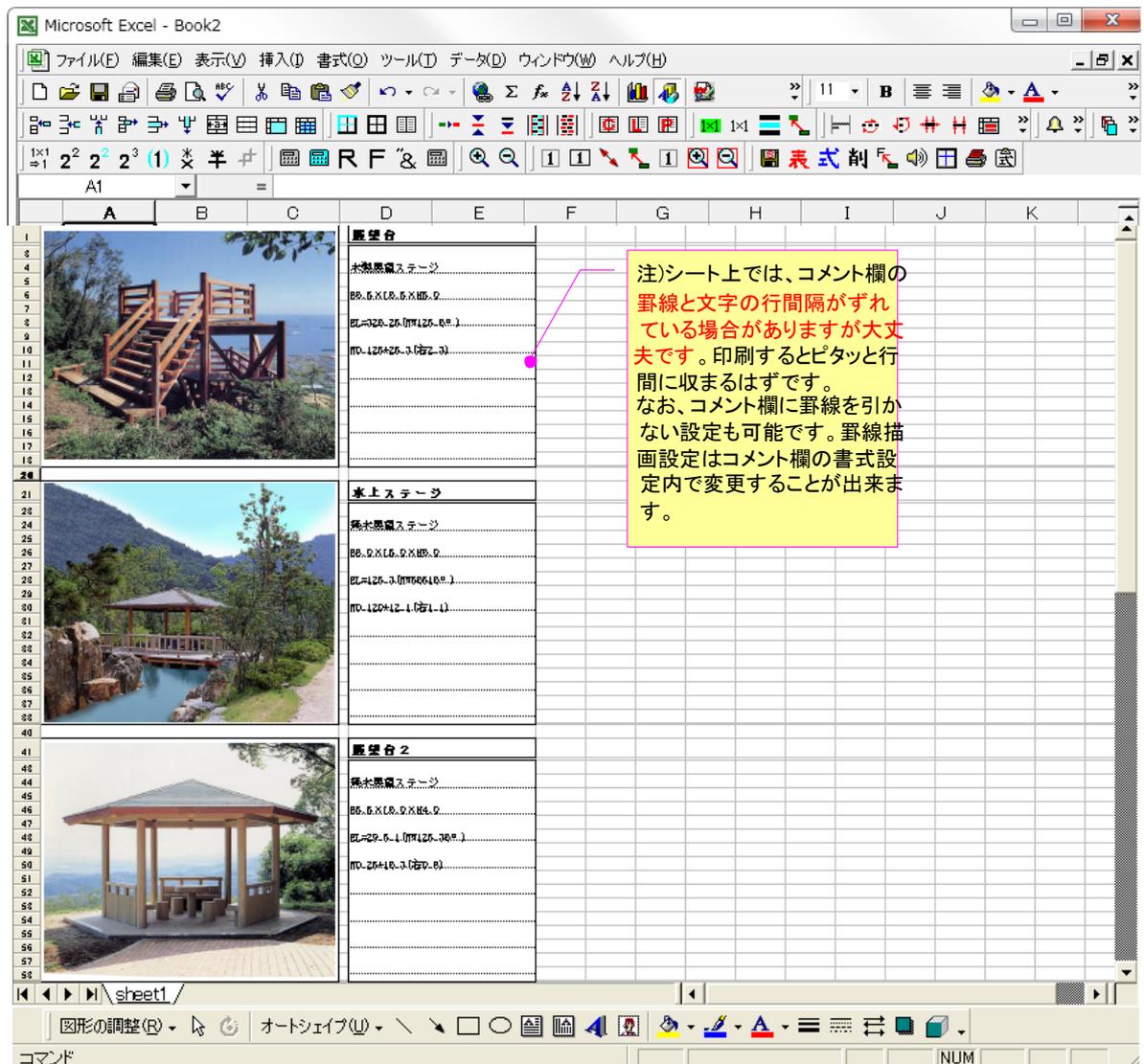
**Callout 3 (Left):** アルバムを袋とじ形式で保存する場合はチェックします。この機能は、アルバムがA4の場合のみに有効です。

**Callout 4 (Left):** アルバムの表紙を保存する場合はチェックしてください。(表紙は、写真とは別シートに保存されます。)

**Callout 5 (Left):** 保存後、自動的にそのExcelファイルを開く場合は、ここをチェックします。

#### 4) 出力例①

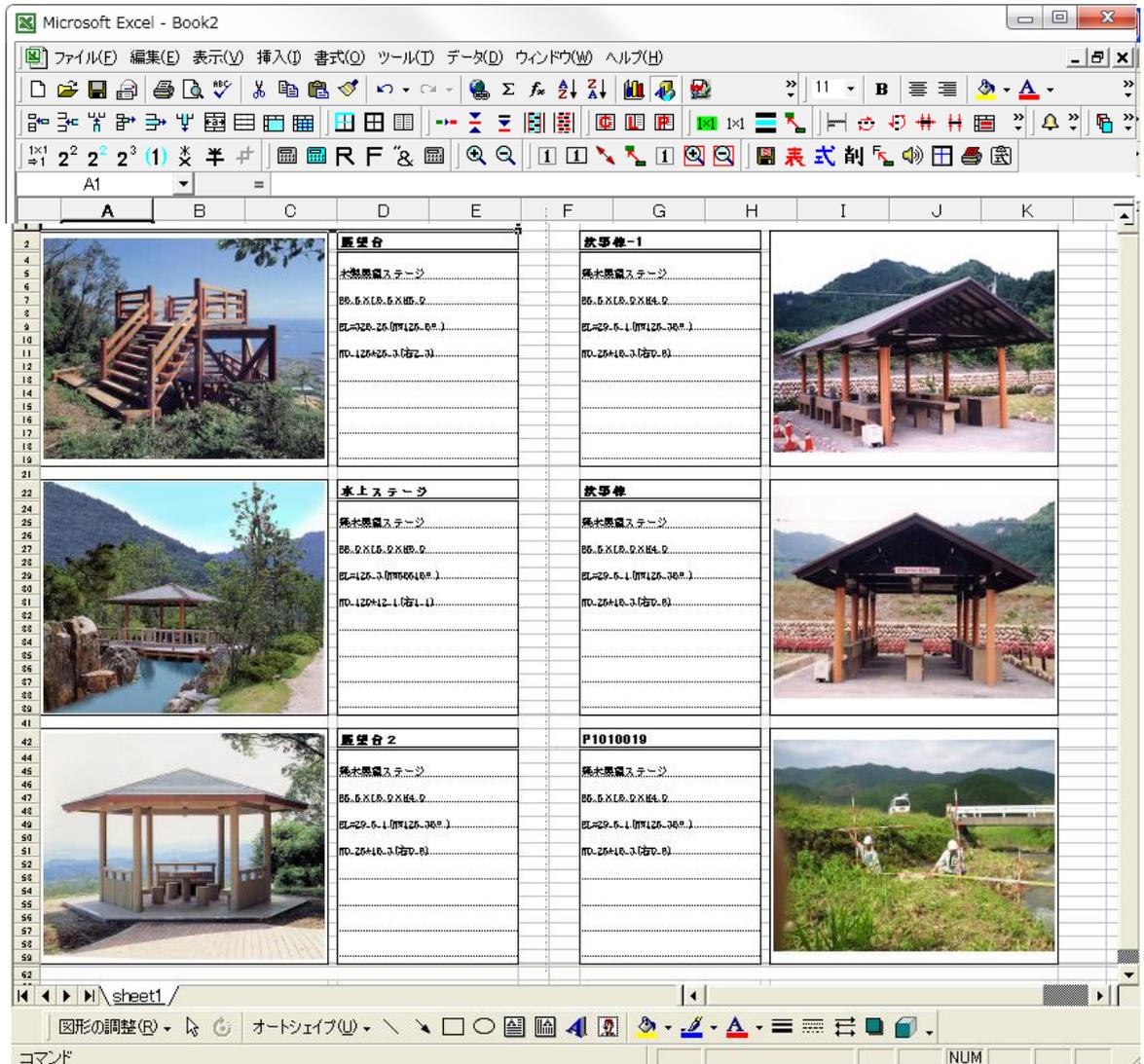
下図は、Excel 保存後の状態です(A4 縦の場合、標準)。



Excel 保存後のシート

## 5) 出力例②

下図は、Excel 保存後の状態です(A4 縦のアルバムを袋とじ形式にて保存した例)。



注)写真欄と情報欄(コメント欄等)は、左右逆も可能です(レイアウト設定にて)。

## 4-4. 応用操作

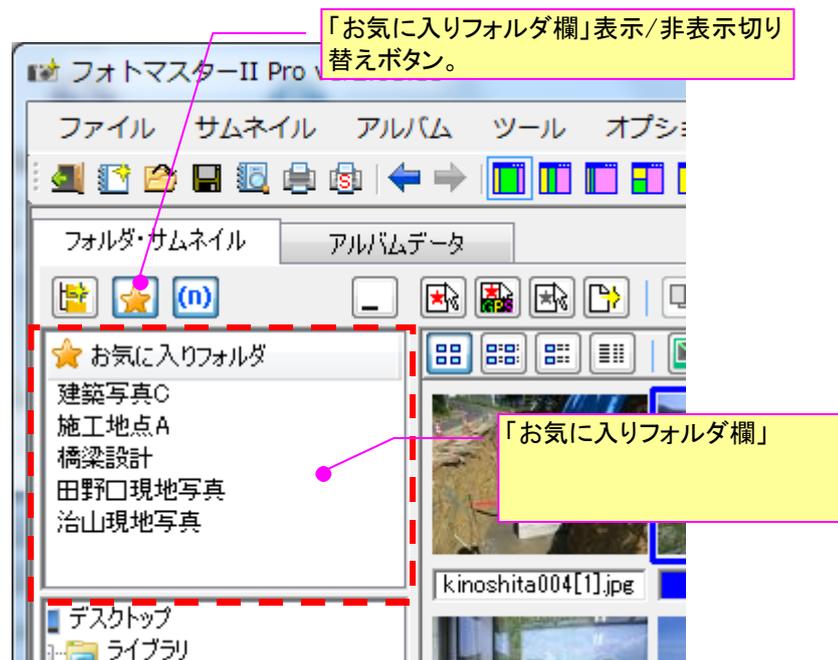
ここでは、フォトマスターの、より高度な機能についてご説明いたします。

### 4-4-1. お気に入りフォルダ登録機能について

#### 1) 概要

「お気に入りフォルダ登録機能」とは、フォルダツリーに表示されたフォルダのうち、よく使用するフォルダを「お気に入りフォルダ欄」に登録しておくことで、ワンクリックでいつでもその中の画像を表示することが出来る機能です。登録数は最大20個です。

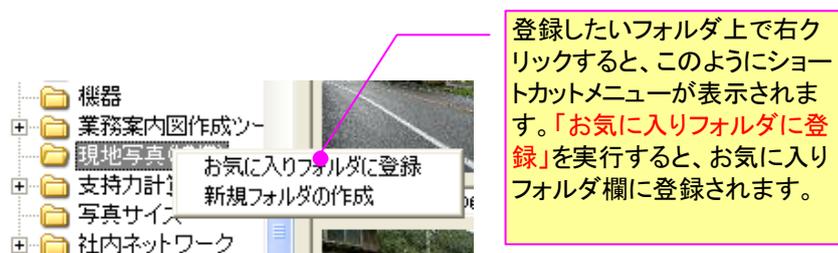
なお、登録は画像フォルダである必要はありません。すべてのフォルダが登録可能です。必要に応じて進行中のプロジェクトのフォルダを登録したり、現場フォルダを登録することが出来ます。



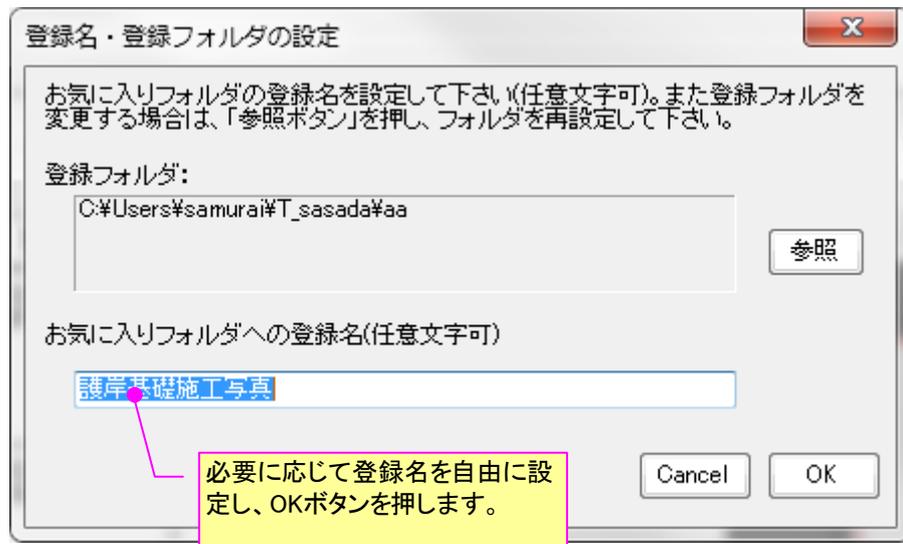
#### 2) 登録方法

「お気に入りフォルダ欄」への登録方法は、以下のとおりです。

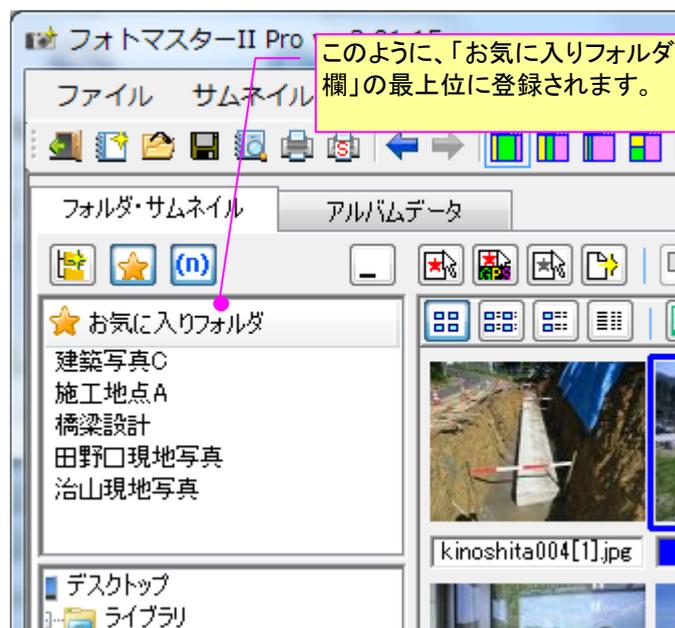
- ① フォルダツリーの中から登録したいフォルダを選択する。
- ② 右クリックによりショートカットメニューを表示します(下図)。



- ③ 「お気に入りフォルダに登録」を選択します。
- ④ 「登録名・登録フォルダの設定」ウインドウが表示されます(下図)。



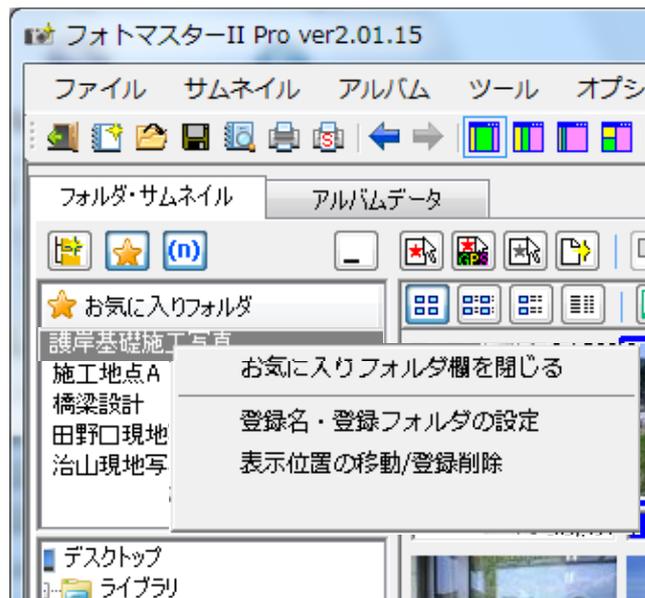
- ⑤ 登録名を設定し、OK ボタンを押します。
- ⑥ 「お気に入りフォルダ欄」の最上位に登録されます(下図)。



### 3) 編集・削除・移動の方法

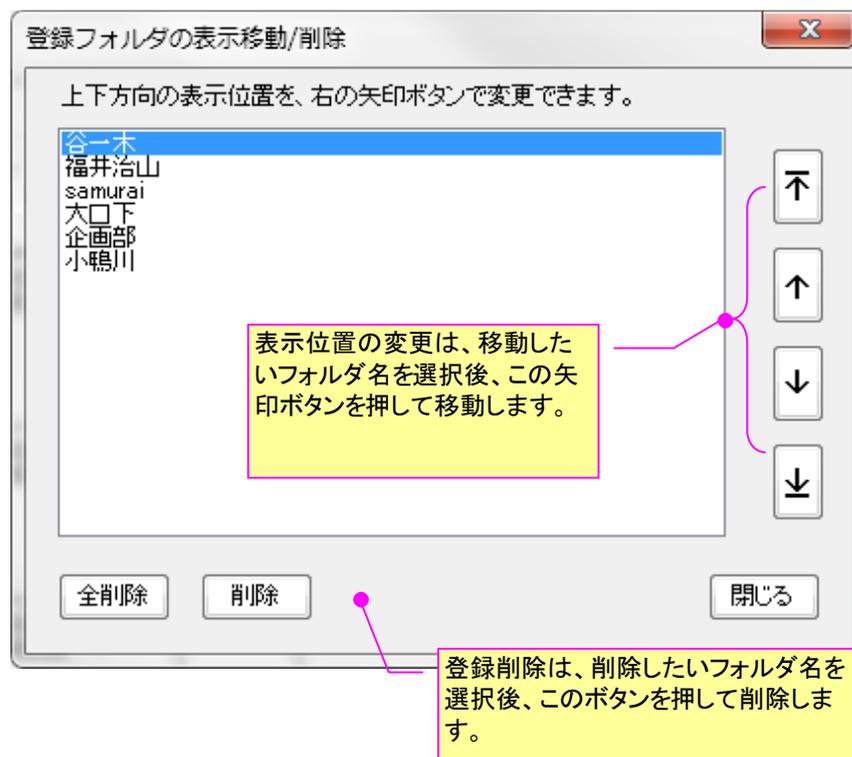
登録したお気に入りフォルダの名称変更、削除、表示位置の調整は、以下のようにおこないます。

- ① お気に入りフォルダ欄の登録名の上で右クリックしてショートカットメニュー(下図)を表示します。



お気に入りフォルダ欄の登録名の上で右クリックすると、このようにショートカットメニューが表示されます。目的に応じてコマンドを選択し、実行します。

- ② 目的に応じてコマンドを選択し、実行します。
- ③ 登録名の変更は「登録名・登録フォルダの設定」を実行して下さい。前ページの「登録名・登録フォルダの設定」ウインドウが表示されますので、直接、名称を変更して下さい。
- ④ 登録データの表示位置の変更や削除は「表示位置の移動/登録削除」を実行して下さい。下記の「登録フォルダの表示移動/削除」ウインドウが表示されますので、必要なコマンドを実行して下さい。

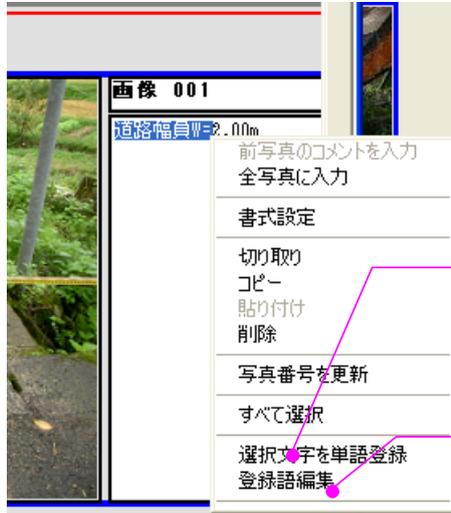


## 4-4-2. 単語登録機能

### 1) 単語登録および編集画面

フォトマスターでは、タイトル欄やコメント欄への情報入力を簡便にするため、よく使用する単語(任意)を登録しておき、いつでも呼び出せる機能があります。

登録できる語句は、フォトマスターⅡは最大 10 語、フォトマスターⅡ Pro は最大 15×3 グループ=45 単語です。登録した語句は、ショートカットメニューにリスト表示され、選択するだけで情報欄に入力できます。



登録したい文字列をドラッグ選択し、ショートカットメニューを表示します。「選択文字を単語登録」を選択することで単語登録できます。

「登録語編集」を選択すると、「登録語編集」画面が表示されます。この「登録語編集」画面では、登録語の直接入力による登録、登録削除等がおこなえます。

登録単語は、A、B、Cの3グループに分けて登録可能です。

必要に応じて単語を編集し、OKボタンを押してください。単語は、下記ABCの各グループ毎に個別に登録可能です。

登録単語の編集

グループA    登録単語リスト表示    空欄への直接入力も可能です。    規定に登録

NO	登録単語
▶1	花崗岩
2	玄武岩
3	カンラン岩
4	砂岩
5	泥岩
6	千枚岩
7	安山岩
8	深成岩
9	火成岩
10	堆積岩
11	
12	
13	
14	
15	

登録した単語リスト表を表示します。リストは常時表示され、単語を選択すればいつでも情報欄に入力できます。

既定に登録しておく、次回起動時以降、登録リストが表示されます。

登録語データ(\*.tan)    登録語消去

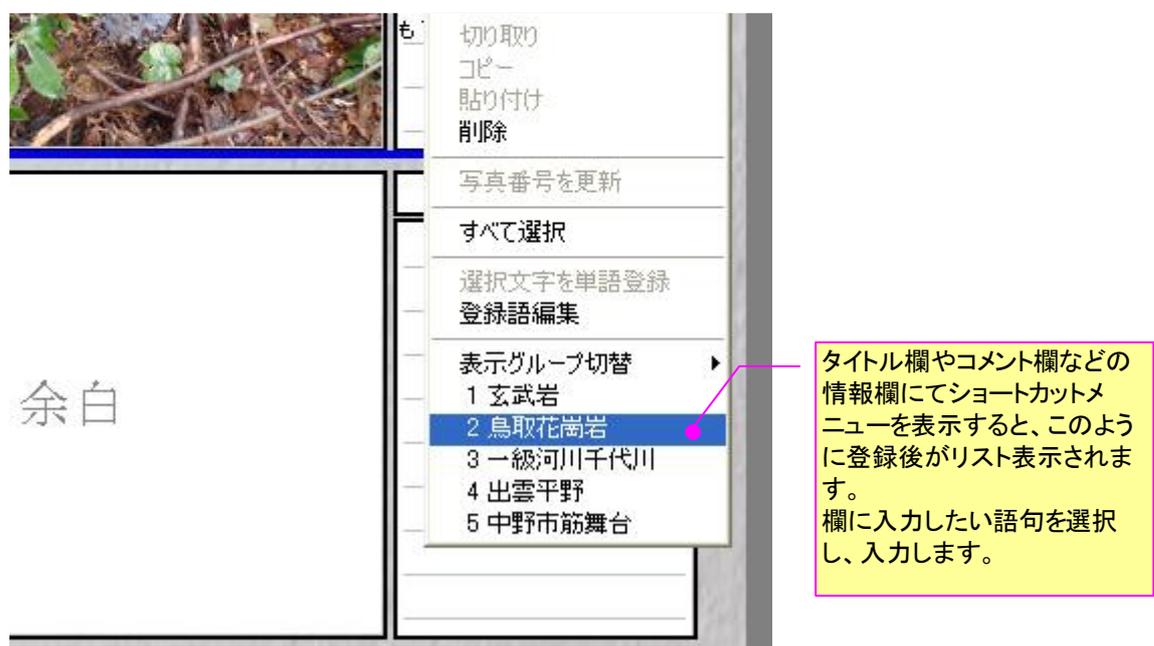
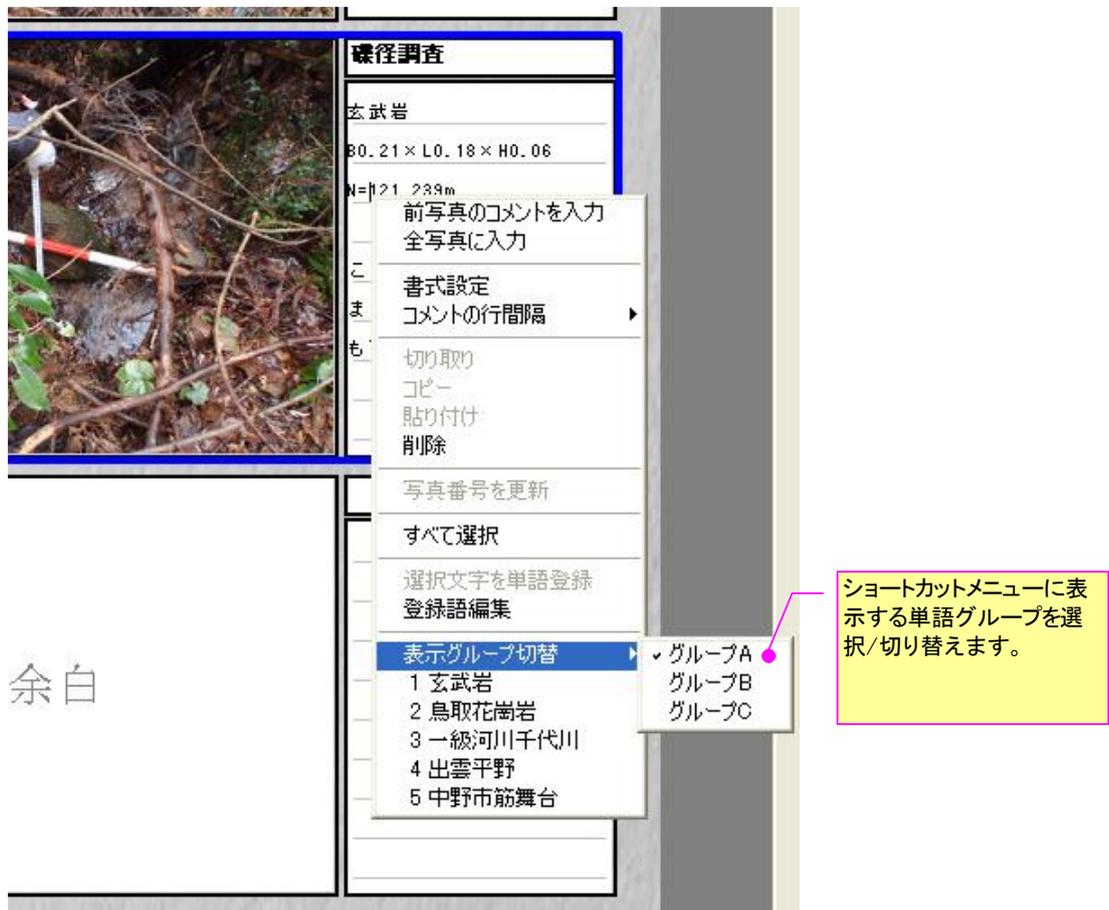
保存    読み込    登録語消去    選択語のみ    選択グループのみ    全グループ    Cancel    OK

登録単語の保存と、保存した単語データの読み込みをおこないます。

登録単語を削除します。

登録した単語を欄に入力するには、入力したい場所を選択した後、右クリックでショートカットメニューを表示します。すると、下図のようなメニューが表示されますので、メニュー下部に表示される登録リストの中から、入力したい単語を選択して入力します。

なお、単語が複数グループに登録されている場合は、下図のように、表示するグループをA、B、Cの各グループから選択したうえで単語を選択して下さい。



## 2) 単語登録リスト

前述の「登録単語の編集」画面で登録した単語リストは、下図のように「単語登録リスト」として常時表示しておくことができます。

そして、単語をダブルクリックもしくは「選択後入力」ボタンを押すことで、いつでも写真情報欄に単語入力することができます。



NO	A	B	C
1	花崗岩	鳥取市	コンクリート
2	玄武岩	倉吉市	型枠
3	カンラン岩	米子市	鉄筋
4	砂岩	境港市	足場工
5	泥岩	鹿野町	基礎砕石
6	千枚岩	気高町	裏込砕石
7	安山岩	青谷町	均しコンクリート
8	深成岩	智頭町	同上型枠
9	火成岩	若桜町	基面整正
10	堆積岩		法面整形
11			
12			
13			
14			
15			

「単語登録リスト」は、常時表示され、いつでも情報入力できます。

ここでは、「米子市」が入力されました。

入力したい単語を選択し、ダブルクリックもしくは「選択語入力」ボタンを押すと、カーソルのある場所に単語が入力されます。

### 4-4-3. アルバム欄の編集

#### 1) 写真欄のショートカットメニュー

写真欄上での右クリックにより表示されるショートカットメニューの機能は、以下のとおりです。

The screenshot shows a context menu for editing a photo album page. The menu items are: 写真情報(コメント等)入力/編集, 書式設定, 写真切り取り, 写真貼り付け, クリップボードから画像貼り付け, 前頁のページ情報貼り付け, 前に移動, 後に移動, 写真の回転・反転, 空白欄を挿入, 写真/空白欄の削除, 写真欄の形状(縦横比)変更, 撮影日等の挿入/削除, Exif撮影情報表示, 改ページ, ページの入れ替え, ページの切り取り, ページの貼り付け, ページの挿入(空白ページ), ページの削除, ページの追加, ページの追加(最終ページ情報複写), レイアウト変更, and 撮影位置を表示. Callout boxes provide detailed instructions for each function.

- 写真情報(コメント等)入力/編集**: 「写真情報入力/編集」ウインドウが表示されます。
- 書式設定**: 「写真欄」の書式設定画面が表示されます。
- 写真切り取り**: 選択中の写真(タイトルとコメント含む)を「切り取り」して、別の写真の前に「貼り付け」することができます。
- 写真貼り付け**: 前ページ全体の入力情報を貼り付けます。(但し写真は除く)
- クリップボードから画像貼り付け**: 写真をひとつ前(後)に移動します。(ドラッグ&ドロップでの移動も可能です)
- 前頁のページ情報貼り付け**: 写真欄の縦横比(アスペクト比)をかんたん設定します。設定画面は下図参照。
- 前に移動**: 「改ページ」...現在選択中の写真以降を次ページに移動します。
- 後に移動**: 「ページの入れ替え」...アルバムをページ指定により入れ替えます。
- 写真の回転・反転**: 「ページの切り取り」...選択ページを切り取ります。別のページに「貼り付け」可能。
- 空白欄を挿入**: 「ページの貼り付け」...切り取ったページを、別のページに貼り付けます(前方貼付け/後方貼付)。
- 写真/空白欄の削除**: 「ページの挿入」...空白(新規)ページを挿入します。
- 写真欄の形状(縦横比)変更**: 「ページの削除」...現在選択中のページを削除します。
- 撮影日等の挿入/削除**: 「ページの追加」...最終ページの後に、新規ページを追加します。
- Exif撮影情報表示**: 「ページの追加(複写)」...最終ページの後に、最終ページの情報を貼り付けた新規ページを追加します(写真除く)。
- 改ページ**: アルバムの途中でレイアウトを変更します。
- ページの入れ替え**: 写真上に、Exif情報内に記録された撮影日をテキストボックスにて貼り付けます(編集可)。
- ページの切り取り**: 写真情報(Exif情報)を表示します。ただし情報がありません。
- ページの貼り付け**: GPS位置情報を記録した写真の撮影位置を表示します。(但し表示にはフリーソフト「Sky-eye」が別途必要です)
- ページの挿入(空白ページ)**: 「ページの挿入」...空白(新規)ページを挿入します。
- ページの削除**: 「ページの削除」...現在選択中のページを削除します。
- ページの追加**: 「ページの追加」...最終ページの後に、新規ページを追加します。
- ページの追加(最終ページ情報複写)**: 「ページの追加(複写)」...最終ページの後に、最終ページの情報を貼り付けた新規ページを追加します(写真除く)。
- レイアウト変更**: アルバムの途中でレイアウトを変更します。
- 撮影位置を表示**: アルバムの途中でレイアウトを変更します。

注)一部、「フォトマスターII Pro」のみに対応/実装している機能があります。ご了承下さい。

#### 2) 写真欄の形状(縦横比)変更画面

写真欄の形状(縦横比)は、通常はレイアウト設定画面から変更しますが、上記のショートカットメニュー内の「写真欄の形状(縦横比)変更」画面からも設定可能です。

本画面を使えば、選択中の写真の縦横比(アスペクト比)にすべての写真欄の縦横比を合わせることも簡単です。

The dialog box is titled '写真欄の形状(縦横比)変更'. It contains the following elements:
 

- Header: 写真欄の縦横比を以下に設定します (同一レイアウト内の全写真に適用)
- Input field: 縦横比... with the value 1.3333.
- Section: 縦横比の選択
  - 現在選択中の写真の縦横比 (n=1.3333)
  - n=4/3=1.3333
  - 任意値(n=0.2~6.0)
- Visual preview: A photo of a beach with a palm tree. Above it is a horizontal double-headed arrow labeled 'n=1.3333'. Below it is a vertical double-headed arrow labeled '1'. Below the photo is the text '<縦横比>'. A callout box points to this area: 'OKを押すと、当該レイアウトの全写真欄の縦横比が、n値に設定されます。'
- Buttons: Cancel and OK.
- Callout box: '当該レイアウトの全写真欄に適用する縦横比(アスペクト比)'

### 3) タイトル欄(コメント欄)のショートカットメニュー

タイトル欄(コメント欄)上での右クリックにより表示されるショートカットメニューの機能は、以下のとおりです。

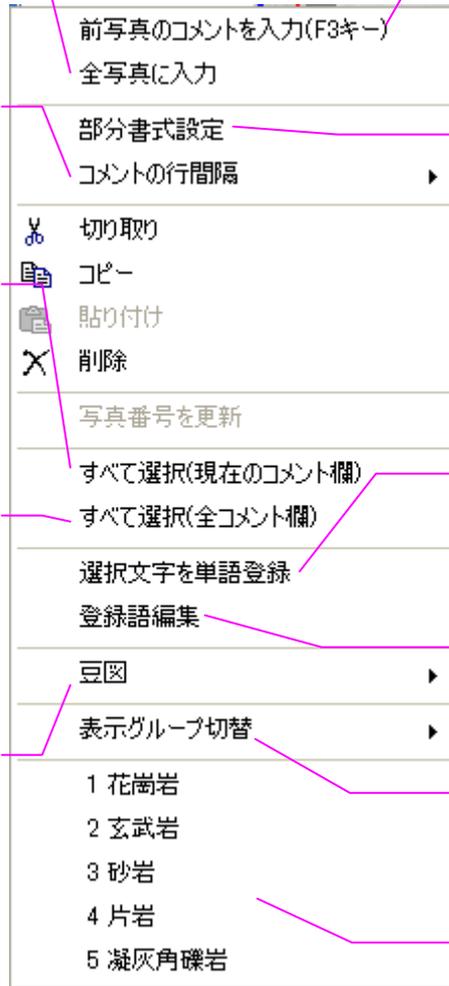
この写真のコメント(タイトル)情報を、アルバム内の全写真のコメント(タイトル)欄に入力します。

コメントの行間隔(罫線間隔)を1行/2行から選択できます。(タイトル欄ではこの機能は無効となります)

現在のコメント(タイトル)欄内の文字をすべて選択します。現在のコメント(タイトル)欄内の文字色とスタイルを変更する場合に使用します。(文字サイズやフォントは変更できません)

すべてのコメント(タイトル)欄内の文字を選択します。部分書式のあるコメント(タイトル)欄内の文字色とスタイルを元に戻したり、全コメント(タイトル)欄の書式を統一する場合などに用います。

コメント欄内に豆図を挿入することが出来ます。豆図を挿入する方法は、  
①クリップボードにコピーした画像を「貼り付け」  
②画像ファイルを指定する。  
の2つの方法があります。



1つ前の写真に入力されたコメント(タイトル)情報をコピーして入力します。ファンクションキーの「F3」キーでも入力可能。

コメント(タイトル)欄内文章の一部の文字色とスタイルを変更できます。変更するには、変更したい文字列を選択した状態でショートカットメニューを表示し、「部分書式設定」をクリック。表示された書式設定画面にて書式を変更します。(文字サイズやフォントは変更できません)

コメント(タイトル)欄内の文字列を選択し、このコマンドを実行すると、選択した文字列が単語登録されます。

「登録単語の編集」画面が開き、と登録後の編集(追加、削除、移動等)が可能となります。

「登録単語」の3つの表示グループから、ショートカットメニューに表示するグループを選択します。

ショートカットメニューに表示された「登録後」。編集は「登録後編集」コマンドにて行ってください。

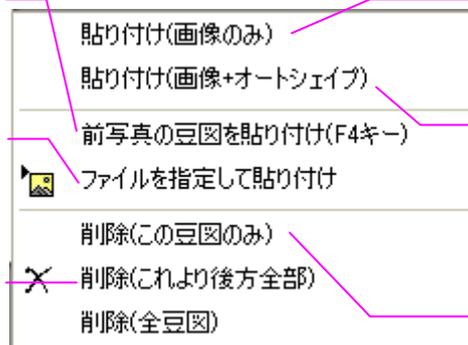
#### <豆図に関するコマンド>

上記ショートカットメニュー内の「豆図」に関するコマンドは以下のとおりとなります。

1つ前の写真の豆図をコピーします。ファンクションキーの「F4」キーでも挿入できます。

画像ファイルを指定し、豆図として貼り付けます。

この写真以降の豆図をすべて削除します。



クリップボードにコピーした画像を豆図として貼り付けます。

アルバム欄の豆図を、コピー(画像+オートシェイプ)機能にてコピーした場合のみに有効な機能。これを使うと、豆図とオートシェイプの両方が貼り付けられます。

豆図を削除します。

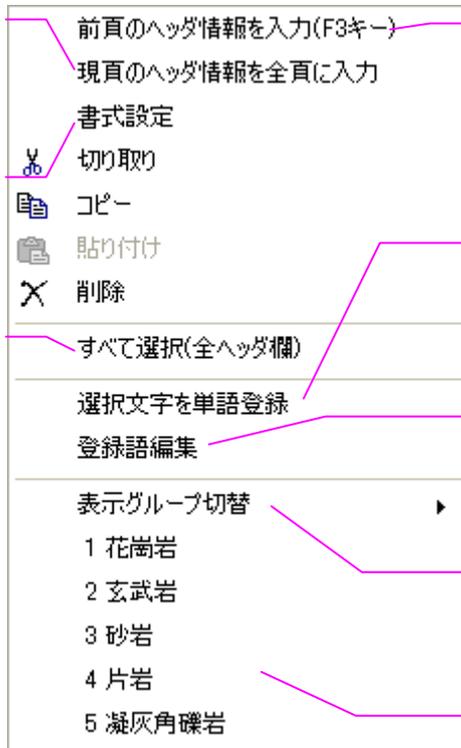
#### 4) ヘッダ欄(フッタ欄)のショートカットメニュー

ヘッダ欄(フッタ欄)上での右クリックにより表示されるショートカットメニューの機能は、以下のとおりです。

このページのヘッダ(フッタ)情報を、アルバム内の全写真のヘッダ(フッタ)欄に入力します。

ヘッダ(フッタ)の書式設定を行います。選択文字のみ書式を変える部分書式設定も可能です。

すべてのヘッダ(フッタ)欄内の文字を選択します。部分書式のあるヘッダ(フッタ)欄内の文字色とスタイルを元に戻したり、全コメント(タイトル)欄の書式を統一する場合などに用います。



1つ前のページに入力されたヘッダ(フッタ)情報をコピーして入力します。ファンクションキーの「F3」キーでも入力可能。

コメント(タイトル)欄内の文字列を選択し、このコマンドを実行すると、選択した文字列が単語登録されます。

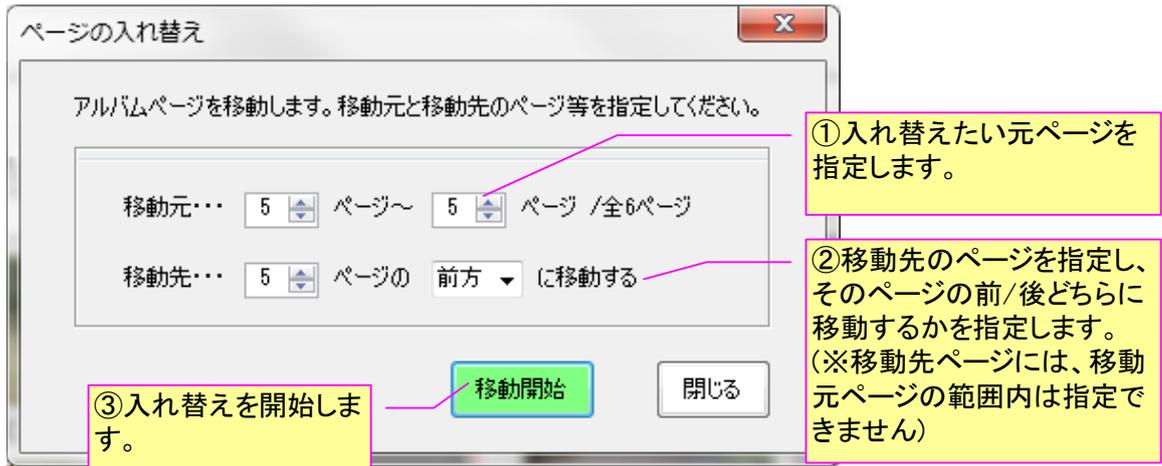
「登録単語の編集」画面が開き、と登録後の編集(追加、削除、移動等)が可能となります。

「登録単語」の3つの表示グループから、ショートカットメニューに表示するグループを選択します。

ショートカットメニューに表示された「登録後」。編集は「登録後編集」コマンドにて行ってください。

## 5) ページの入れ替え(ページ移動)

アルバム欄にて、アルバムページの入替えを行うことができます。  
なおページ入れ替えは、「アルバム欄一覧表示」画面内でも行うことが可能です。



#### 4-4-4. オートシェイプ等の図形描画

##### 1) オートシェイプの描画

「フォトマスターⅡ Pro」では、アルバム内の写真上に、テキストやオートシェイプを描画することが可能です。描画可能な図形は、基本的に Excel のオートシェイプと共通ですが、一部表が出来ないものもあります。フォトマスターⅡ Pro で対応しているテキストやオートシェイプは、下記の13種類です。

-  大括弧(両括弧)
-  中括弧(両括弧)
-  大括弧(片括弧)
-  直線
-  矢印(片矢、両矢)
-  四角形
-  円、楕円
-  吹き出し
-  連続線
-  フリーフォーム(閉合線)
-  フリーハンド
-  テキストボックス(横書き)
-  テキストボックス(縦書き)

注)本機能は「フォトマスターⅡ Pro」のみに実装している機能です。ご了承下さい。

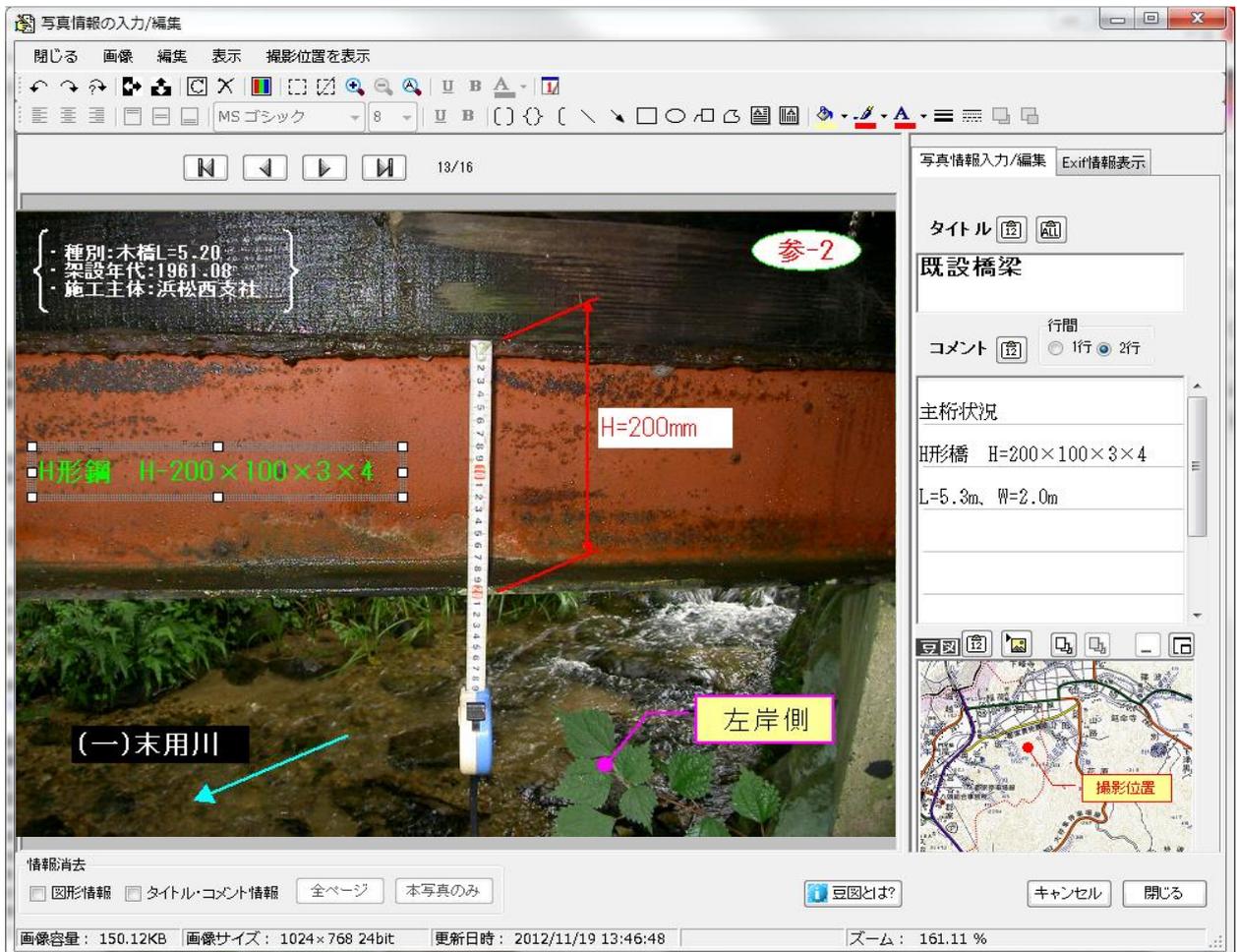
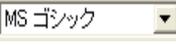


図- アルバム写真上へのオートシェイプ描画例

##### 2) オートシェイプ関連のコマンド

テキスト・オートシェイプ関連のコマンドアイコンの機能は、下表の通りとなります。

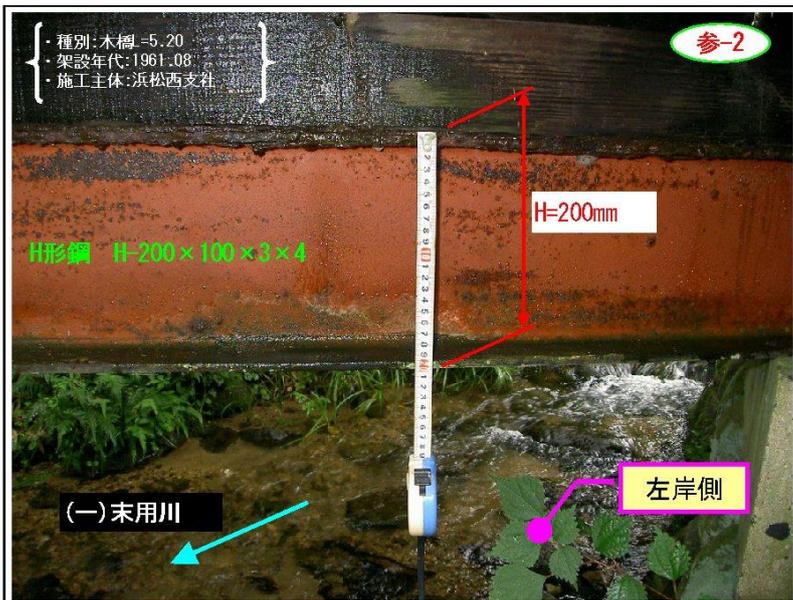
写真情報の入力/編集画面内の写真上へのオートシェイプ描画機能一覧表

アイコン	機能説明
	「左寄せ」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を左寄せにします。
	「中央揃え」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を中央に揃えます。
	「右寄せ」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を右寄せにします。
	「上詰め」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を、欄の上方に詰めます。
	「中央揃え」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を、欄の上下方向の中央に揃えます。
	「下詰め」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を、欄の下方に詰めます。
	「フォント設定」欄。オートシェイプやテキストボックス内の文字フォントを設定します。
	「文字サイズ設定」欄。オートシェイプやテキストボックス内の文字サイズを設定します。
	「アンダーライン(下線)設定」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字にアンダーライン(下線)を設定します。
	「太字(強調文字)設定」ボタン。オートシェイプやテキストボックス内の文字を太字(強調文字)に設定します。
	オートシェイプの背景色を設定します。
	オートシェイプの枠線色を設定します。
	オートシェイプ内のテキスト文字の色設定をおこないます。
	オートシェイプの枠線の太さを設定します。
	オートシェイプの枠線の線種を設定します。
	オートシェイプが重なった場合の表示順序を変更します。選択したオートシェイプを最前面(一番前)に移動します。
	オートシェイプが重なった場合の表示順序を変更します。選択したオートシェイプを最背面(一番後ろ)に移動します。
	大括弧を描画します(両括弧)。テキスト追加可能。
	中括弧を描画します(両括弧)。テキスト追加可能。
	大括弧を描画します(片括弧)。テキスト追加可能。
	単線を描画します。端部の形状変更可能。
	矢印を描画します。端部の形状変更可能。
	四角形を描画します。テキスト追加可能。
	円、楕円を描画します。テキスト追加可能。
	吹き出しを描画します。テキスト追加可能。
	連続線を描画します(折れ線)。
	フリーフォームにて多角形を描画します。閉合線となります。
	マウスの軌跡どおりに自由な連続線を描画します。
	テキストボックスを描画します。テキストは横書き。
	テキストボックスを描画します。テキストは縦書き。
	「撮影日入/削除」タン。写真上に撮影日やユーザー設定美等を入します。

注)上記は「フォトマスターⅡ Pro」のみに対応/実装している機能です。ご了承下さい。



石礫状況
玄武岩
B0. 16×H0. 15×L0. 26
N=200. 36m
RL



既設橋梁
主桁状況
H形鋼 H-200×100×3×4
L=5. 2m、W=2. 0m



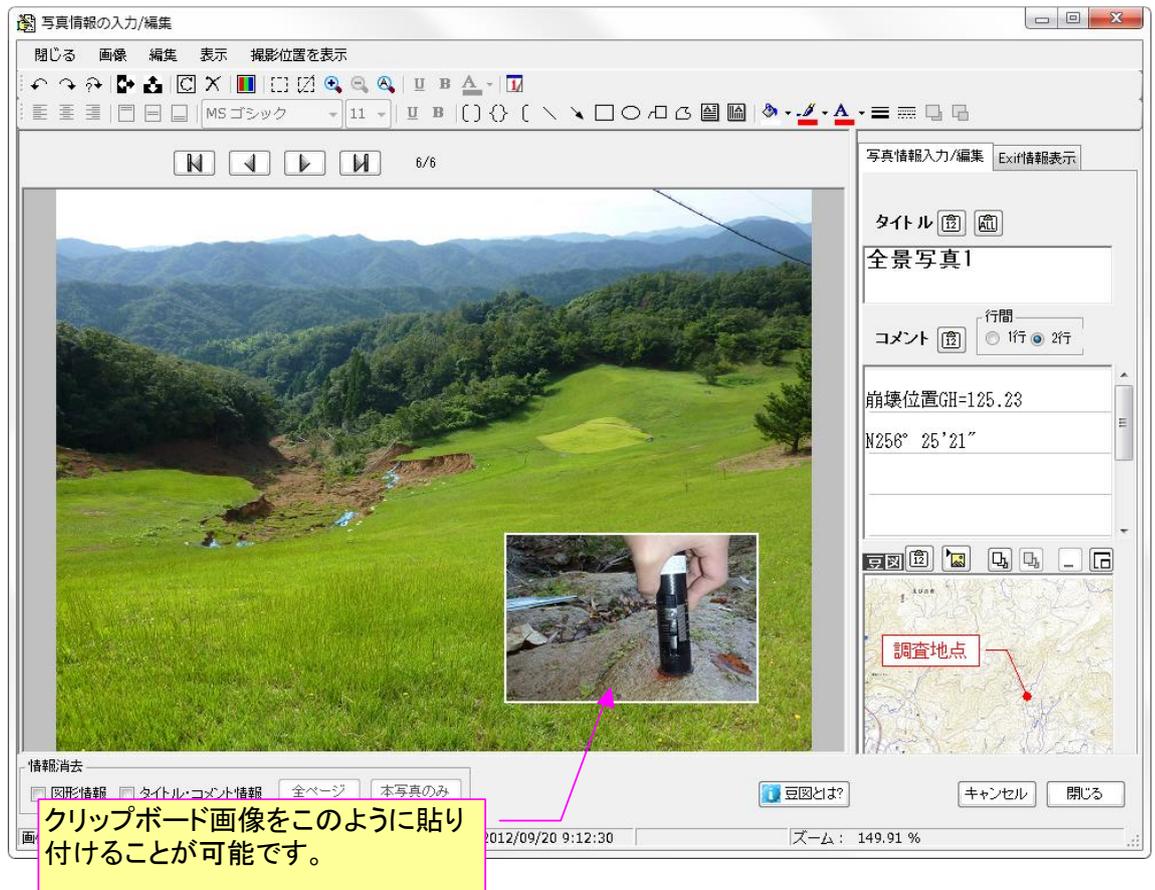
石礫状況
鳥取花崗岩
B0. 16×H0. 15×L0. 26
N=200. 10m

注)「フォトマスターII Pro」のみに対応/実装している機能です。ご了承下さい。

図- オートシェイプ描画後のアルバム写真の例

### 3) 写真上への別画像の貼り付け

「フォトマスターII Pro」では、下図のように、アルバム内の写真上にクリップボードにコピーした別画像を貼り付けることができます。



貼り付け方法は、まず別画像(豆図等の任意の画像)をクリップボードにコピーした上で、写真上で右クリックすることで表示されるショートカットメニュー(下図)内の「画像貼り付け」を選択することで貼り付けることができます。

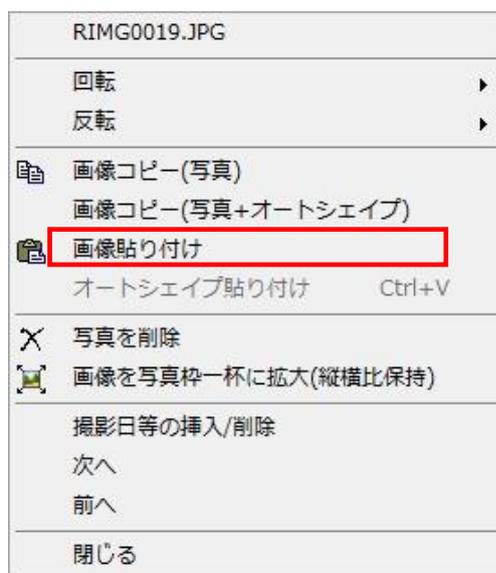
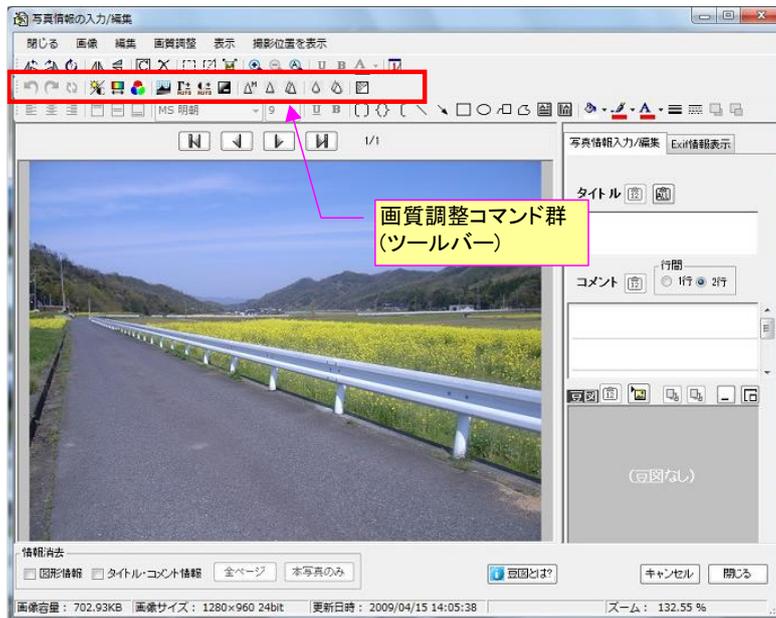


図- 写真画像のショートカットメニュー

#### 4-4-5. 画質調整機能(アルバム写真)

##### 1) 概要

「フォトマスターII Pro」では、アルバム欄の「写真情報の入力/編集」画面において、アルバム写真の高度な画質調整をおこなうことができます。



##### 画質調整コマンド(フォトマスターII Pro)

アイコン	名称	機能説明
	アンドウ	画質調整の処理を一つ前に戻します
	リドゥ	アンドゥした画質調整をやり直します
	リセット	画質調整前の状態にリセットします
	明るさ・コントラスト・ガンマ	明るさ、コントラスト、ガンマ値を調整します
	色相・明度・彩度	色の三要素である色相、明度、彩度を調整します
	カラーバランス	画像のカラーバランスを調整します
	レベル補正	各カラーチャンネルの諧調の組み合わせをコントロールすることで、画像の明るさや色調を調整します
	自動レベル調整	画像のチャンネル毎に、もっとも暗いピクセルと最も明るいピクセルを探し、それぞれを0と255に割り当てることで、画像の明るさや色調を自動的に調整する機能です。
	自動コントラスト調整	コントラストを自動調整します。
	黒つぶれ補正	明部はそのままに、暗部のみを明るく補正することで、黒潰れを軽減します。
	アンシャープマスク	画像の輪郭部分の色や明暗差を強調することで、像の鮮鋭度(シャープネス)を高める処理機能のひとつです。他の方法より、非常に柔軟にシャープネスをコントロールする事ができます。
	シャープ	画像の輪郭部分の色や明暗差を強調する補正方法です。画像全体に一律に補正を実行します。
	シャープ(強)	「シャープ」の効果を、より高めた処理を実行します。
	ぼかし	「シャープ」とは逆に、画像の輪郭部分の色や明暗差を少し曖昧に処理します。
	ぼかし(強)	「ぼかし」の効果を、より高めた処理を実行します。
	ノイズ除去	光量不足時などに発生する、ざらざらして見えるランダムノイズ等を軽減する補正です
	モザイク処理	範囲設定(矩形、任意形)にて指定した範囲内の画像を、モザイク加工します。タイルの大きさ(荒さ)は、自由に変更可能です。

## 2) 明るさ、コントラスト、ガンマ補正

写真の明るさやメリハリを調整します。まずは「ガンマ補正」により明るさ調整をおこない、その後、写真全体の「明るさ」と「コントラスト」を調整して仕上げるのが良いでしょう。



### ■ 「明るさ」補正

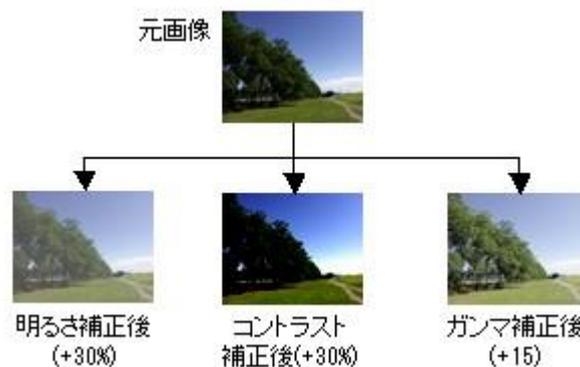
画像の「明るさ」を調整します。この補正は、画像全体を明るく(暗く)するため、明るい写真は「白飛び」を、暗い写真は「黒つぶれ」し易くなるのが欠点です。従って写真の「明るさ」補正には、「ガンマ補正」もしくは「レベル補正」がよく用いられます。

### ■ 「コントラスト」補正

写真の明暗の階調を調整します。写真の明るい部分と暗い部分との差を強調することで、全体的にメリハリのある写真に補正することが出来ます。但しコントラストをあまり上げ過ぎると、見にくい写真になるので注意が必要です。

### ■ 「ガンマ」補正

「ガンマ補正」は、「明るさ」補正とは異なり、写真の暗い部分と明るい部分は変えずに、中間の部分のみの明るさを調整する補正です。「写真」の明るさ調整に適した補正手法のひとつです。



### 3) カラーバランス調整

「カラーバランス」とは、色のバランスを調整するための機能です。

[カラーバランス] 調整画面を開くと、3つのスライダが表示されます。それぞれスライダを移動することで、ある特定色を強めます。このスライダに表示されている両端の色は、補色の関係にあります。補色とは、混ぜ合わせると無彩色になる色のことで、色かぶりを補正したい場合にはこの補色を考えながら補正します。

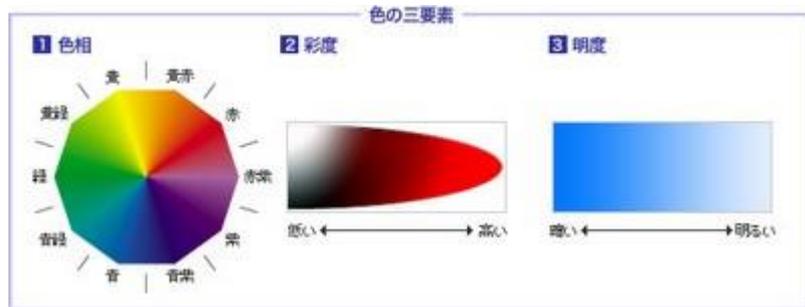
つまり、ある色かぶりをした画像を補正するには、その色とは逆方向にスライダを移動することで、補正が行われます。



#### 4) 色相・明度・彩度補正

##### ■色の三要素

色を作り出すうえで重要な要素には、色相・明度・彩度の3つがあり、これを色の三要素と呼びます。



##### ■色相・明度・彩度とは

○色相(色合い)・・・赤、黄、緑、青、紫といった色合いの違いのことです。

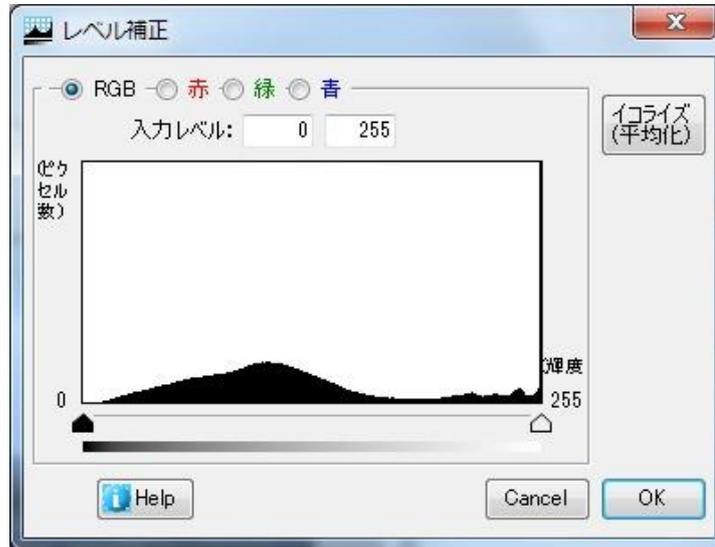
○彩度(鮮やかさ)・・・色の鮮やかさの度合いのことです。鮮やかな色ほど彩度が高く、くすんで鈍い色ほど彩度が低くなります。白～灰色～黒が最も低く、彩度0(ゼロ)となります。

○明度(明るさ)・・・色の明るさ・暗さの度合いのことです。白に近づくほど明度は高く、黒に近づくほど明度は低くなります。



## 5) レベル補正

デジタル画像の色は、各カラーチャンネルが持つ階調の組み合わせで表現されます。「レベル補正」とは、この階調をコントロールすることで画像の明るさや色を調整する機能です。「レベル補正」はトーンカーブとは異なり、スライダを使って画像のシャドウポイント（最も暗い部分）とホワイトポイント（最も白い部分）を設定できるので、明るさやコントラスト、色を直感的に補正できるのが大きなメリットです。



### ■チャンネル選択

補正するチャンネルを選択します。RGB モードでは、「RGB」「レッド」「グリーン」「ブルー」が選択できます。

### ■入力レベル設定(シャドウポイント)

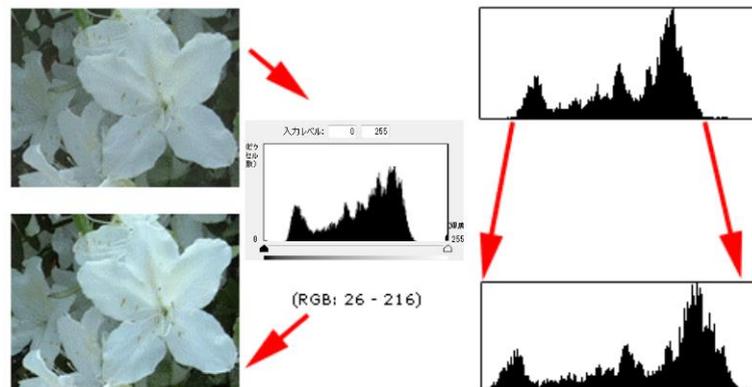
最も暗いピクセルに指定する範囲を決めます。このスライダの外側が補正後には全て同じレベル（出力レベルシャドウの値、つまり 0）になります。

### ■入力レベル設定(ホワイトポイント)

最も明るいピクセルに指定する範囲を決めます。このスライダの外側が補正後には全て同じレベル（出力レベルハイライトの値、つまり 255）になります。

### ■適切なスライダの位置

ヒストグラムの山の麓に入力レベルスライダを設定すると、グラデーションを損なわない範囲での最大のコントラストを得られます。画像によって例外はありますが、大抵の場合、この位置が最も適切です。



露出オーバーの画像は、[シャドウスライダ] を下図のように右側に移動し、ヒストグラムの端まで移動します。



一方、露出アンダーの画像は、[ハイライトスライダ] を下図のように左側に移動し、ヒストグラムの端まで移動します。



#### ■平均化（イコライズ）とは

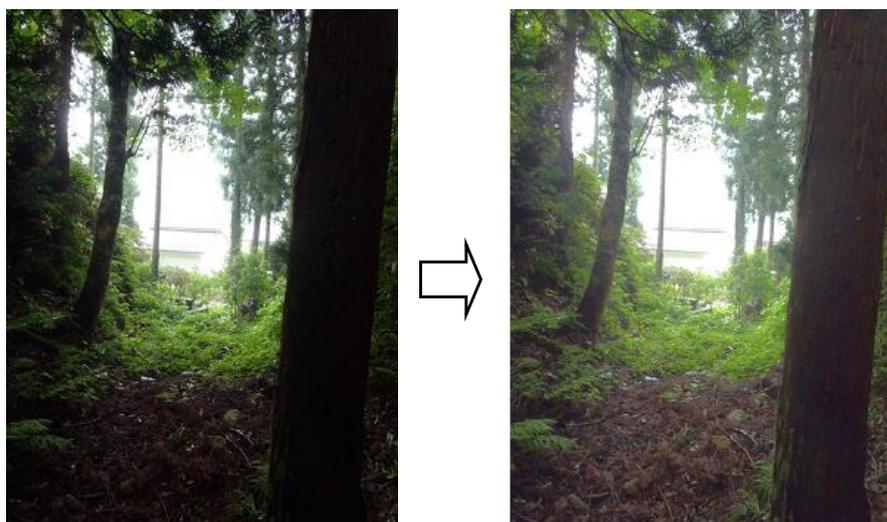
画像の明るさの分布が均等になるようにヒストグラムを調整することで、明るく見やすい画像にする補正です。

### 6) 黒つぶれ補正

「黒つぶれ写真」とは、下記写真左側のように、暗い部分が黒一色に潰れてしまい、写真情報の一部が判別できない状態となっている写真を言います。

黒つぶれ補正では、黒一色となった部分(暗部)を集中的に明るく補正することで、全体として写真内容が判別できるように補正するものです(下記写真の右側参照)。

但し本補正は、あくまで黒潰れの状態を緩和(軽減)するものであって、黒つぶれを完全に無くすものではありませんのでご了承ください。



## 7) アンシャープマスク、シャープ、シャープ(強)

### ■アンシャープマスクとは

画像の鮮鋭度(シャープネス)を高める処理機能のひとつで、画像の輪郭部分の色や明暗差が強調される補正です。いったん画像をボカシ(アンシャープ)、もとの画像とボカした画像とを比較してその差分を出し、それを調整して元画像にかけていくことからこの名前が付けられています。



この補正は、

1. 写真にもう少しメリハリをつけたい時
2. 画像サイズを印刷目的で拡大・縮小して輪郭がぼやけたものを補正する時
3. 撮影時の若干の手ぶれ、ピンぼけの補正

の場合などに使用します。

なおシャープネスの別の方法に、シャープネスやシャープネス(強)などがあります。これらのコマンドは、写真全体に同じ効果を適用するため、画像が荒れる事が多く、クオリティーの低い写真になりやすい特徴があります。

それに対してアンシャープマスクは、非常に柔軟にシャープネスをコントロールする事ができ、よりイメージ通りの写真に仕上げる事が可能になります。

### ■パラメータの設定方法

アンシャープマスクでは、「量」「半径」「しきい値」の3つのパラメータでシャープ効果をコントロールします。

#### ○「量」

シャープの強さのかり具合を示し、数値が大きいほどシャープ効果も強くなります。一般に50~200%程度に設定し、テストプリントをしながら数値を増やしたり減らしたりしてみましょう。

#### ○「半径」

シャープ処理の対象範囲(画像全体に対する範囲ではなくシャープ処理をするピクセルの範囲)のことです。

大きな半径を指定するとアンシャープマスクの効果も画像全体として強くなり、一般に1.0~1.5程度に設定します(本ソフトで1.0に固定しています)。

### ○ 「しきい値」

この項目は、どの程度のコントラスト差を強調の対象とするかを線引きします。数値が大きいほどシャープ効果が弱くなり、しきい値 "0" では、画像内のすべてのピクセルがシャープになります。

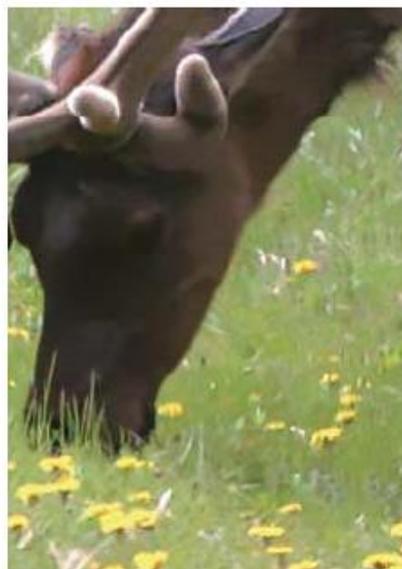
ノイズのない画像 → 1 または、0 (ゼロ)
ノイズが低い画像 → 2
少し目につく画像 → 4
ノイズが高く多い画像 → 6 以上

## 8) ノイズ除去

下記写真左側のように、光量の不足等による、ざらざらして見えるランダムノイズを軽減します。



(a) ノイズが発生した画像



(b) ノイズ除去処理を行った画像

## 4-4-6. 豆図の挿入

### 1) 概要

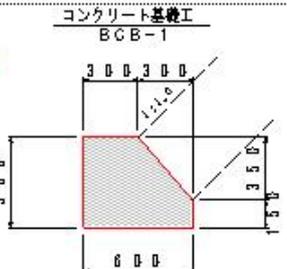
フォトマスターII Pro では、ver1.10 より、コメント欄に「豆図」を挿入することが出来るようになりました。

「豆図」とは、写真を補足するための画像のことです。写真の撮影位置図や部分拡大図、あるいは別角度から撮影した写真などを「豆図」として挿入することで、文字では表現し難い情報を、コメント欄に追加することができます。

### 2) 豆図の挿入例

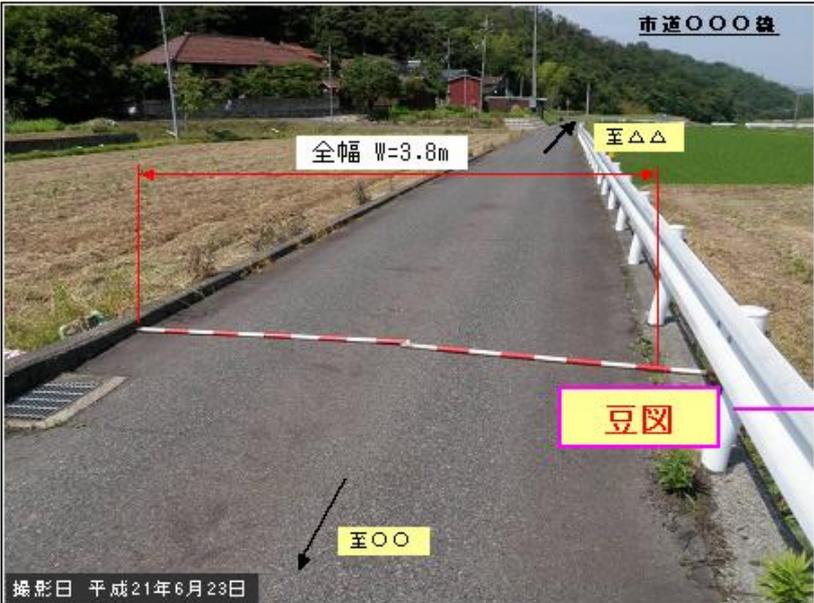
下図は、豆図の挿入例です。豆図はすべてのレイアウトのコメント欄に挿入可能です。

#### ・豆図の挿入例①(構造物の設計図面を豆図として挿入したもの)

	<b>擁壁基礎施工状況</b>
	コンクリート基礎(BCB-1) NO.135+6.25~NO.136+1.25 L=15.3m 

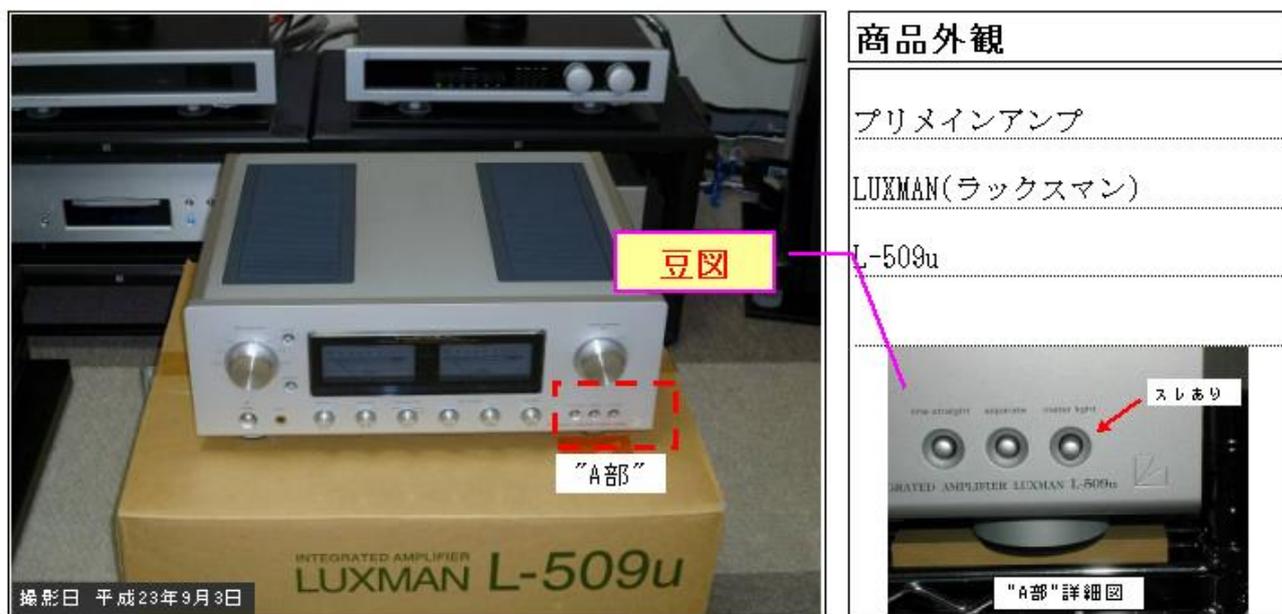
撮影日 平成21年6月23日

#### ・豆図の挿入例②(写真の撮影位置を豆図として挿入したもの)

	<b>市道幅員状況</b>
	W=3.80m(2k125.9) L=1,256.3km NO.125+5.3付近 

撮影日 平成21年6月23日

・豆図の挿入例③(写真の部分拡大図を豆図として挿入したもの)



3) 豆図の挿入方法

豆図をコメント欄に挿入するには、いくつか方法があります。

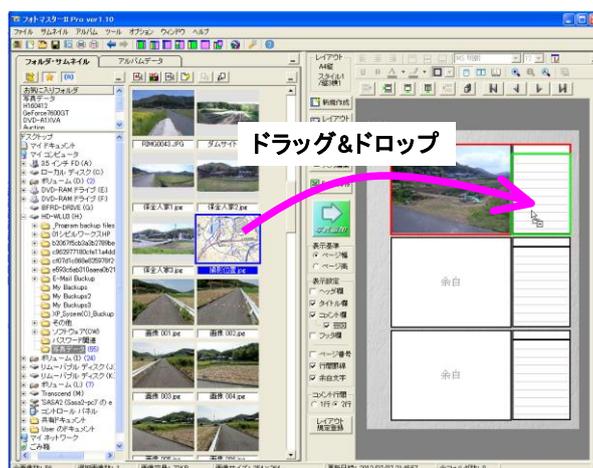
a) アルバム欄での挿入方法

① ドラッグ&ドロップによる挿入

サムネイル欄の画像を豆図として使用する場合に使う方法です。

豆図として挿入する画像をサムネイル欄から選択し、そのままドラッグ移動してアルバムのコメント欄上でドロップします。

なお、マウスがコメント欄に挿入できる位置になると、コメント欄の外枠に「緑枠」が表示されますので、枠が表示されたらドロップします。



② ファイルを指定して挿入する

アルバムのコメント欄のショートカットメニューから、「豆図」-「ファイルを指定して貼り付け」を選択すると、「豆図ファイルを開く」画面が表示されます。挿入したい画像ファイルを指定すると、コメント欄に豆図として挿入されます。



### ③ クリップボードの画像を貼り付ける(挿入する)

他のアプリケーションでクリップボードにコピーした画像を、豆図として貼り付けることができます。

アルバムのコメント欄のショートカットメニューから、「豆図」-「貼り付け(画像のみ)」を選択すると、クリップボードの画像が豆図として貼り付けられます。

なお、別の写真の豆図をクリップボードにコピーしておく、その画像を豆図として貼り付けることも可能です。



### ④ ひとつ前の写真の豆図を貼り付ける

同じアルバム内の、ひとつ前の写真の豆図をコピーしたいときは、「F4」キーを押すと、同じ豆図を挿入することができます。

## b) 「写真情報入力編集」画面での挿入方法

### ① ファイルを指定して挿入する

「ファイルを指定して貼り付け」ボタンを押すと、「豆図ファイルを開く」画面が表示されます。挿入したい画像ファイルを指定すると、コメント欄に豆図として挿入されます。

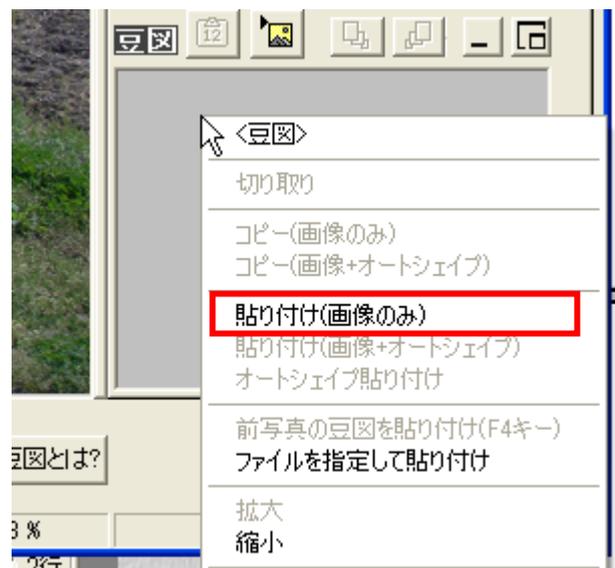


### ② クリップボードの画像を貼り付ける(挿入する)

他のアプリケーションでクリップボードにコピーした画像を、豆図として貼り付けることができます。

アルバムのコメント欄のショートカットメニューから、「豆図」-「貼り付け(画像のみ)」を選択すると、クリップボードの画像が豆図として貼り付けられます。

なお、別の写真の豆図をクリップボードにコピーしておく、その画像を豆図として貼り付けることも可能です。

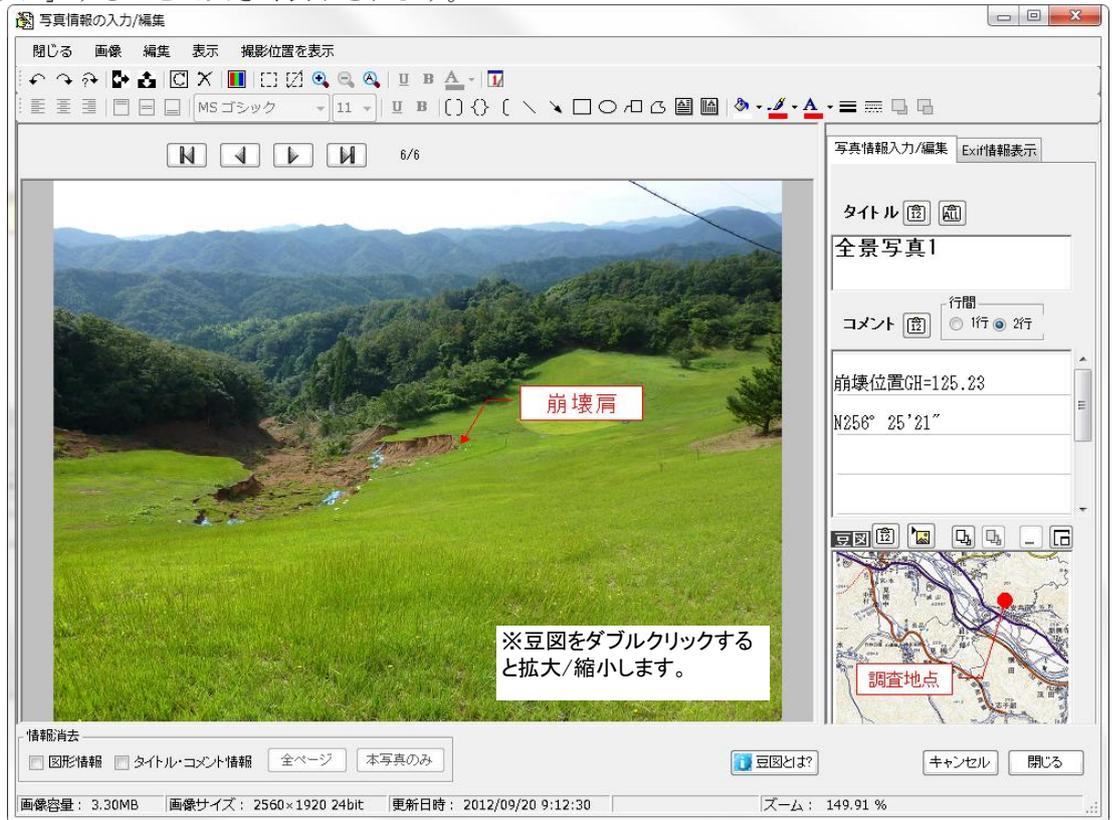


### ③ ひとつ前の写真の豆図を貼り付ける

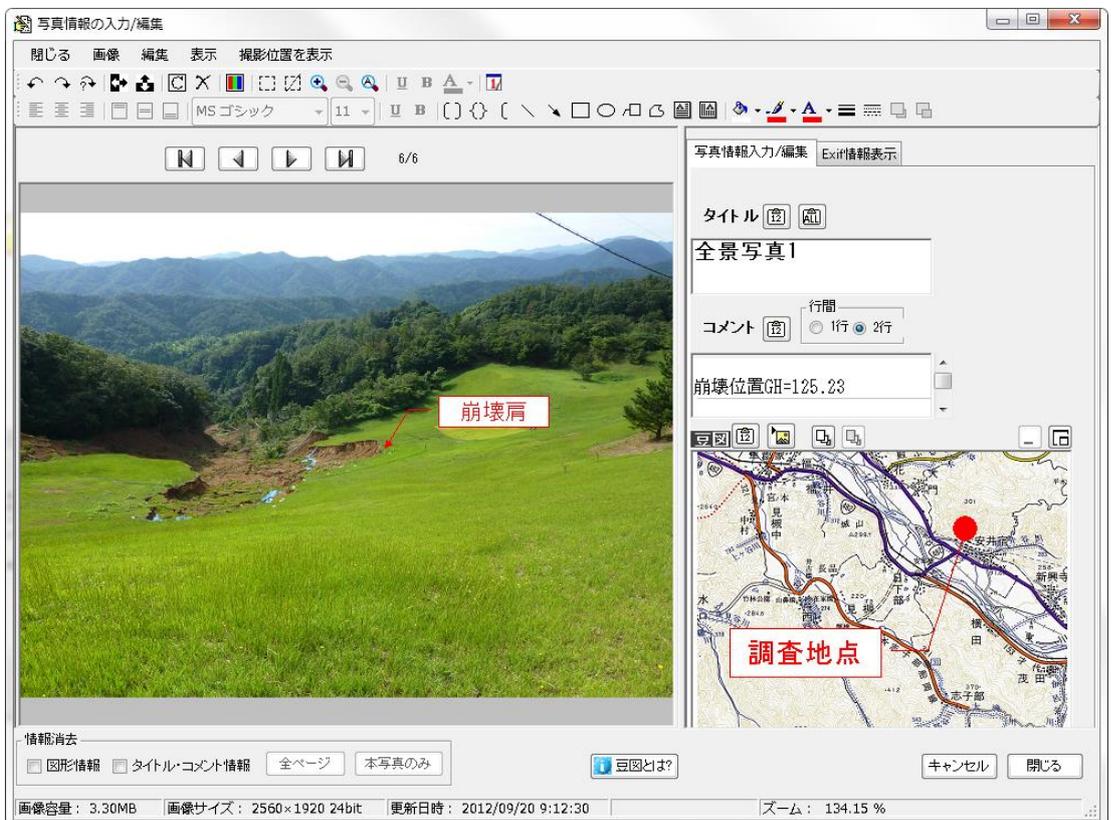
同じアルバム内の、ひとつ前の写真の豆図をコピーしたいときは、「F4」キーを押すと、同じ豆図を挿入することができます。

#### 4) 「写真情報の入力/編集」画面における豆図

豆図の編集等は、「写真情報の入力/編集」画面にておこないます。通常は下図のような構成ですが、豆図を編集する場合は、最下段の写真のように豆図を大きく表示すると便利です。豆図を「ダブルクリック」することで大きく表示されます。



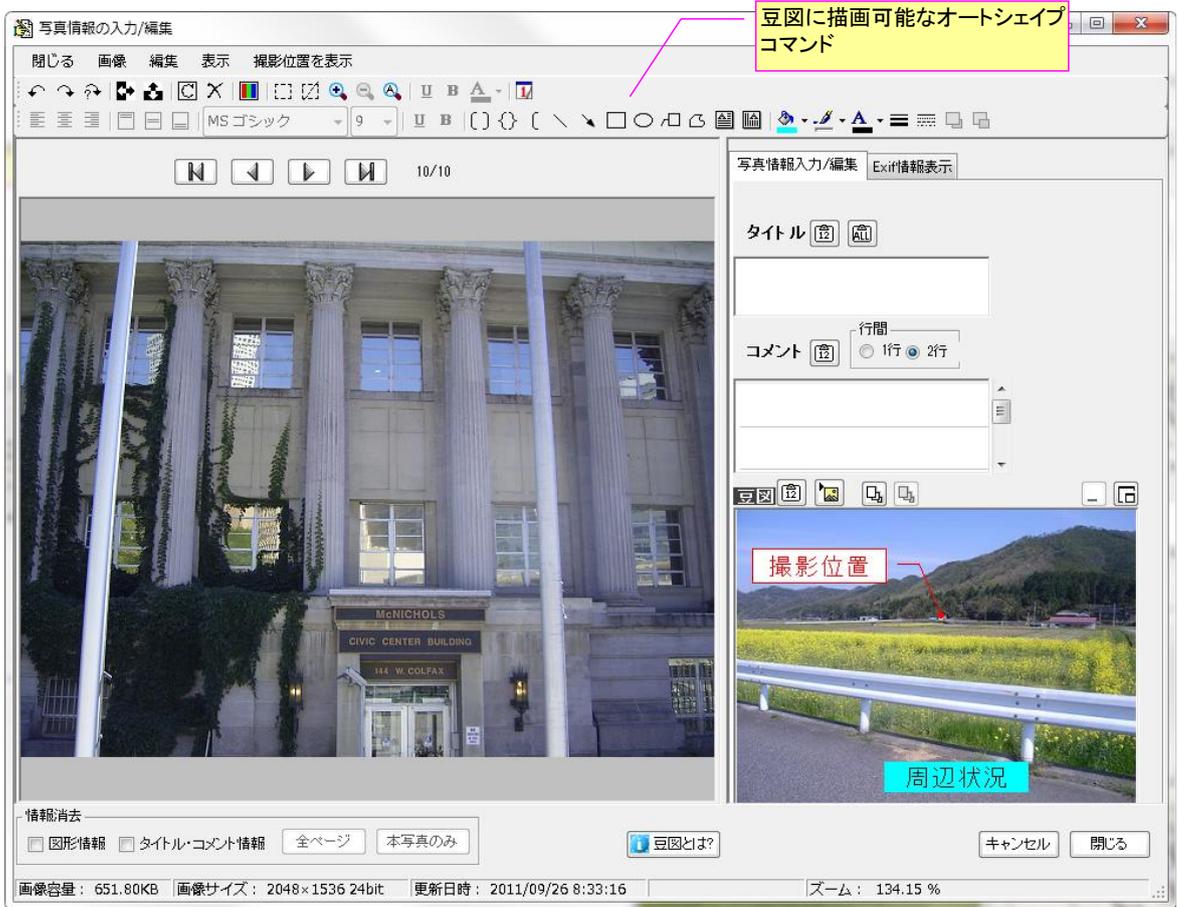
通常の画面表示状態



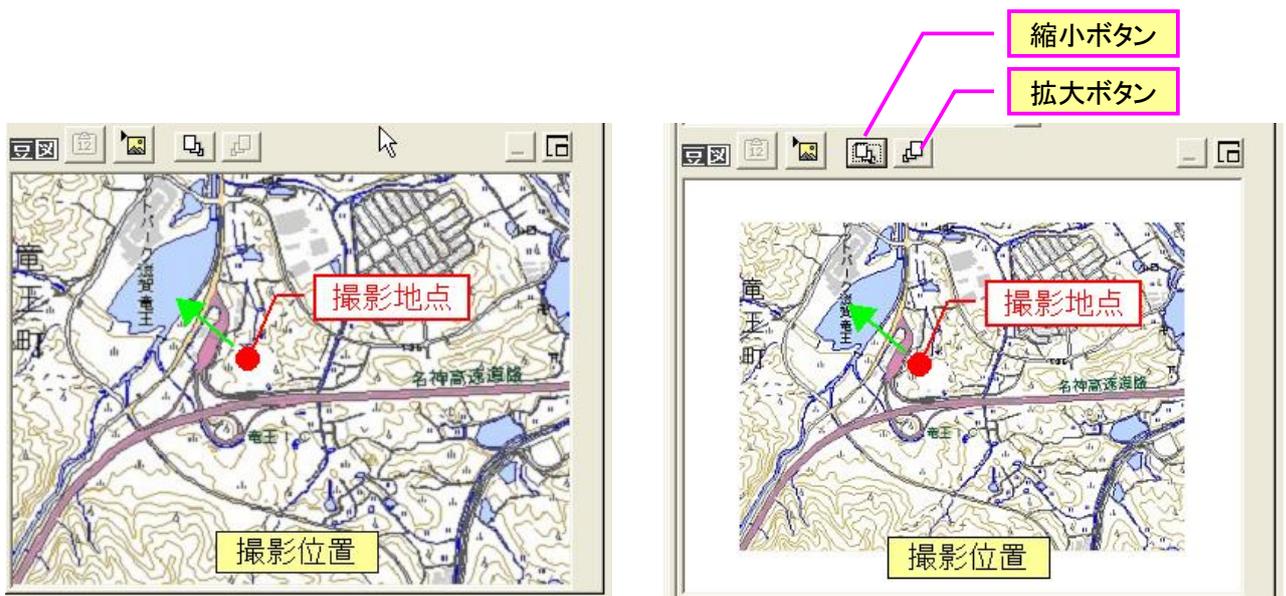
豆図最大表示時(豆図をダブルクリックで切り替え)

## 5) 豆図の編集等

豆図には、写真同様に様々なオートシェイプを描画することが可能です。下図のように、豆図のタイトルや旗揚げ等を描画して、豆図にも情報を追加することができます。



また、豆図は縮小することが可能です。(拡大はできません。コマンドの「拡大」は、元の大きさに戻すための機能です)



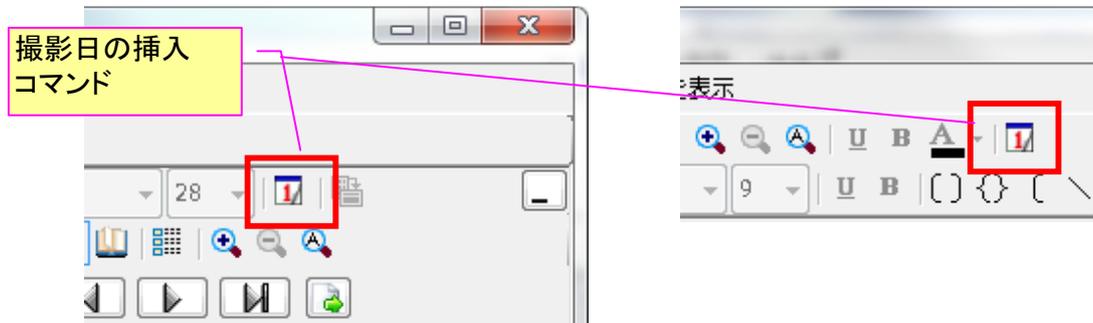
標準の状態

縮小した状態

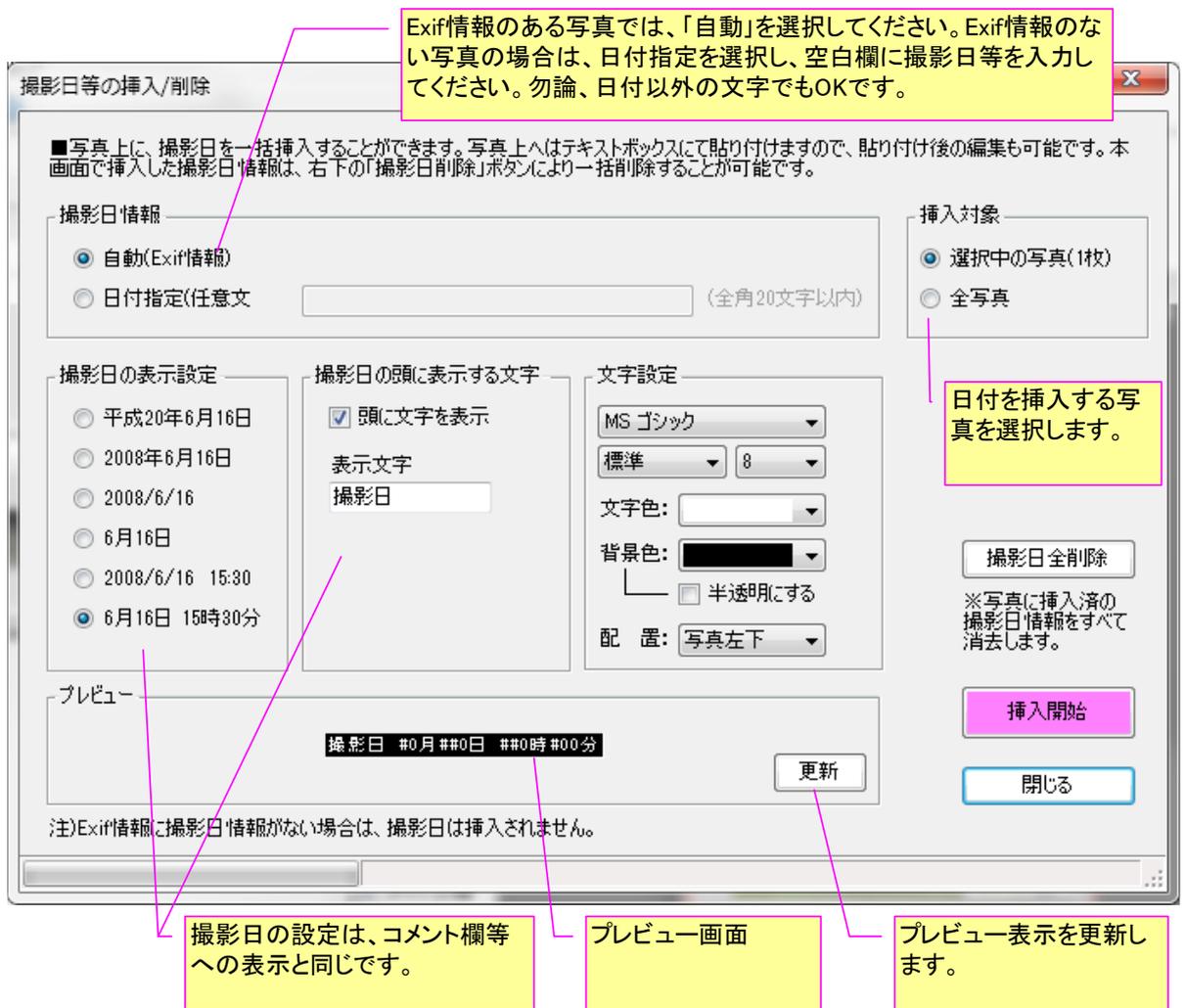
## 4-4-7. 撮影日の挿入

### 1) 概要

フォトマスターII Pro では、アルバム写真上に撮影日等を表示することができます。なお、撮影日以外の任意文字も可能です。会社名や任意の日時を表示することもできます。表示位置は、写真の「左下」「左上」「右下」「右上」から選択できます。撮影日等を入力するには、下図のツールバーから「撮影日の挿入」コマンドを実行します。



「撮影日の挿入」コマンドを実行すると、下図の「撮影日を入力/削除」画面が表示されます。各種設定を行い、「挿入開始」ボタンを押すと、挿入が開始されます。なお、撮影日情報にて「自動(Exif情報)」を選択した場合、写真に撮影日のExif情報がない場合、撮影日は挿入されません。



## 2) 表示例

### ・ 撮影日表示例



### ・ 撮影日以外の表示例



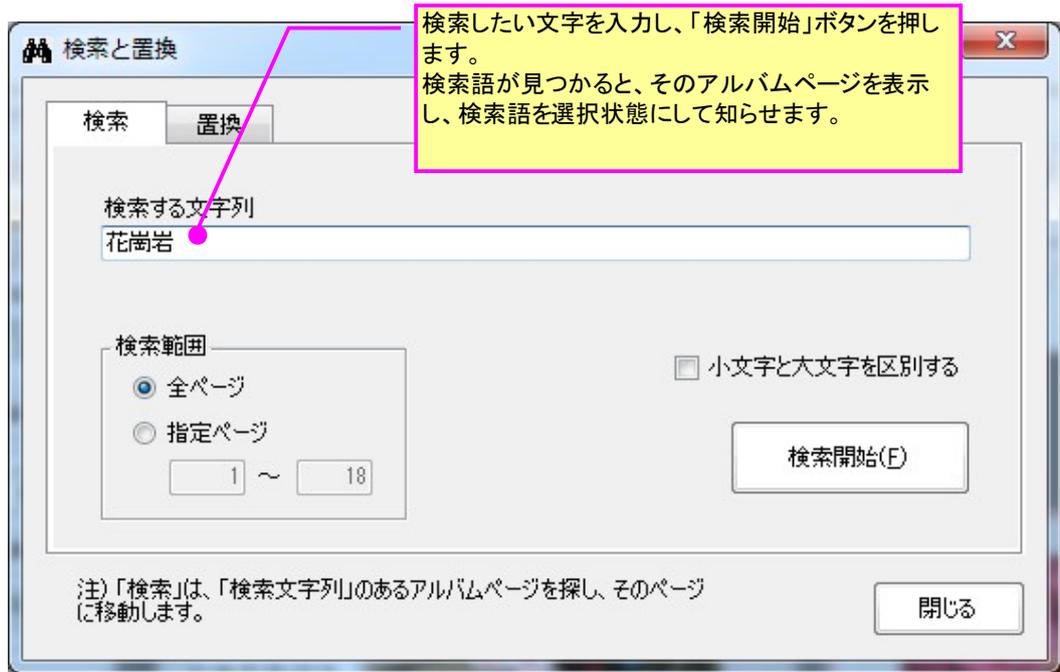
#### 4-4-8. 検索と置換機能

フォトマスターIIProでは、アルバム情報(ヘッタ、フッタ、タイトル、コメント各欄)内の文字情報を対象に、文字検索並びに置換をおこなうことができます。

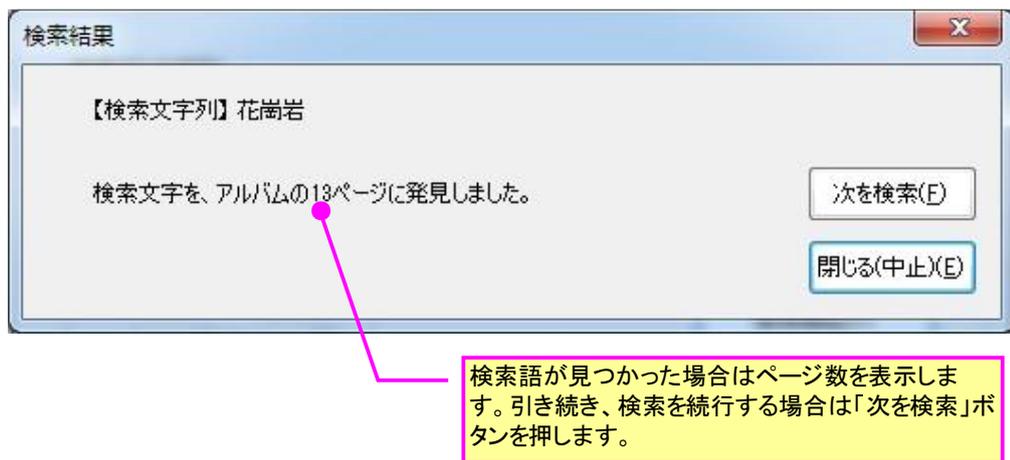
例えば、大量のアルバム写真の中から、ある文字が入力された写真を探したり、或いはアルバム作成後、語句を別の文字に置き換えたい場合に使用します。

##### 1) 検索機能

入力された「検索する文字列」を、アルバム欄の検索範囲内のページを最初から検索し、もしその文字が見つければ、ページ数を表示します。

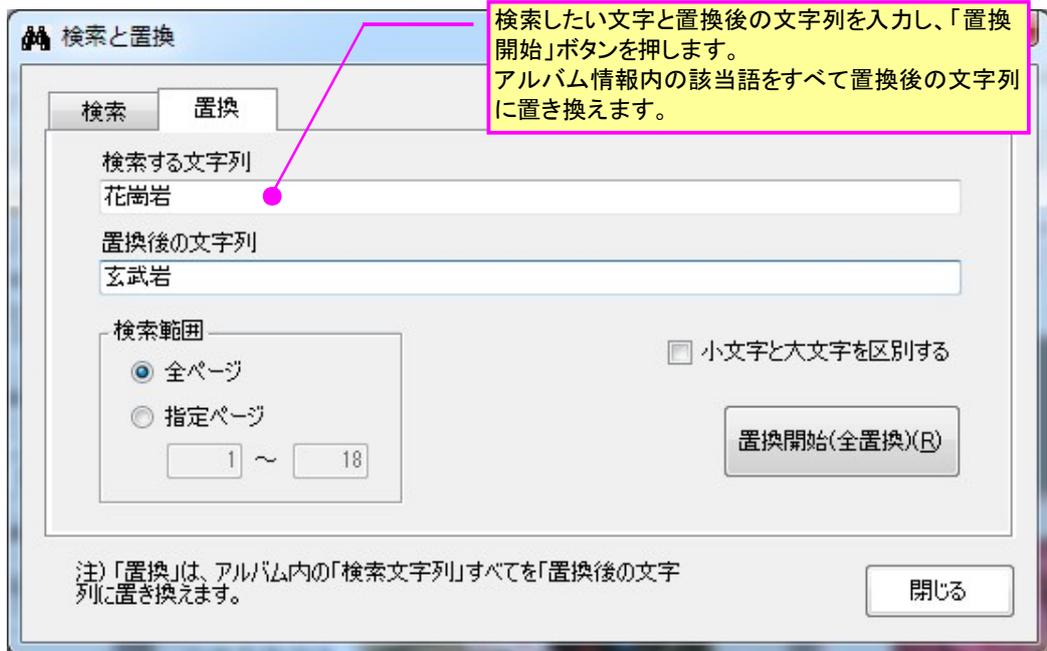


検索が完了すると、下図のような処理結果(発見ページ)が表示されます。

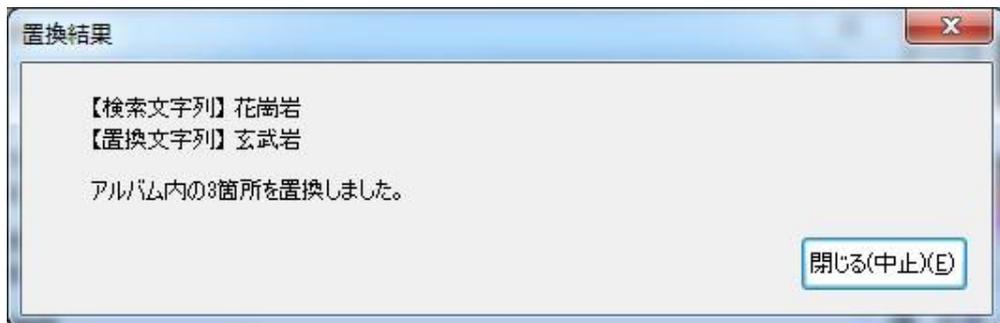


## 2) 置換機能

入力された「検索する文字列」を検索し、それをすべて置換後の文字列に置き換えます。



置換が完了すると、下図のような処理結果(置換数)が表示されます。



#### 4-4-9. レイアウトを途中で変更するには(レイアウトの複数設定)

##### 1) 変更方法

アルバム写真のレイアウトを途中で変えるには、以下の2つの方法があります。

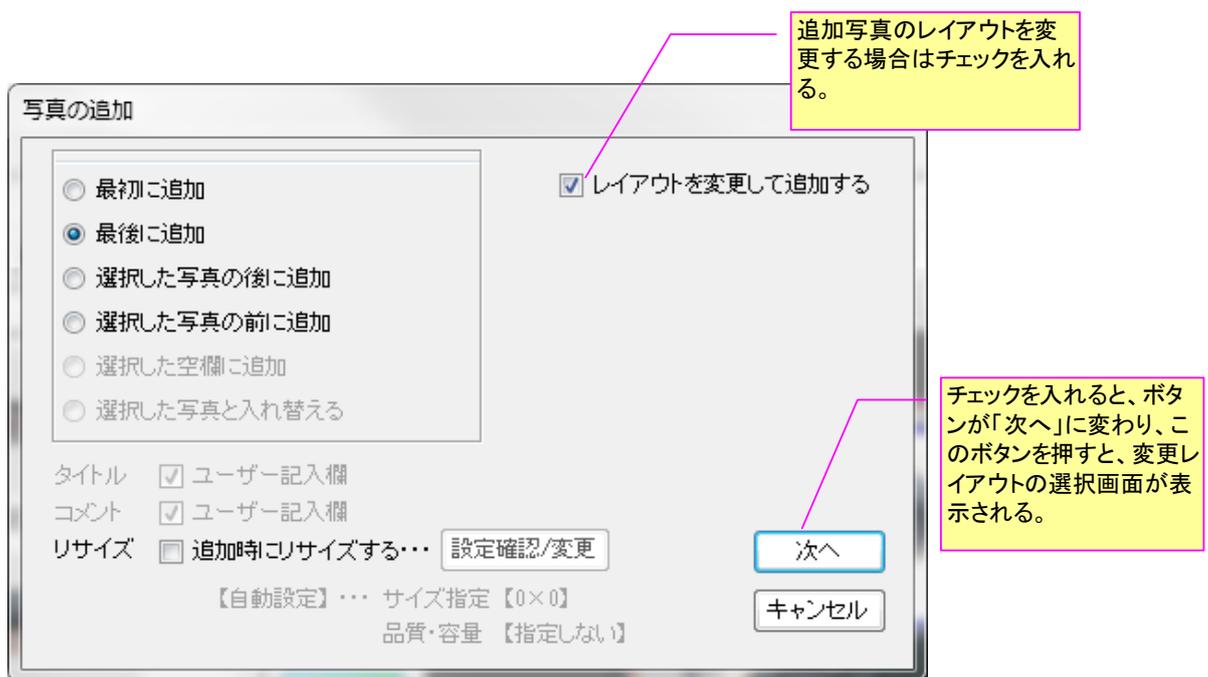
- |   |
|---|
| 方法①・・・写真追加時に、異なるレイアウトにて追加する方法<br>方法②・・・アルバム欄内の写真のレイアウトを変更する方法 |
|---|

以下、上記2つの方法についてそれぞれご説明します。

##### 2) 方法①(写真追加時に、異なるレイアウトにて追加する方法)

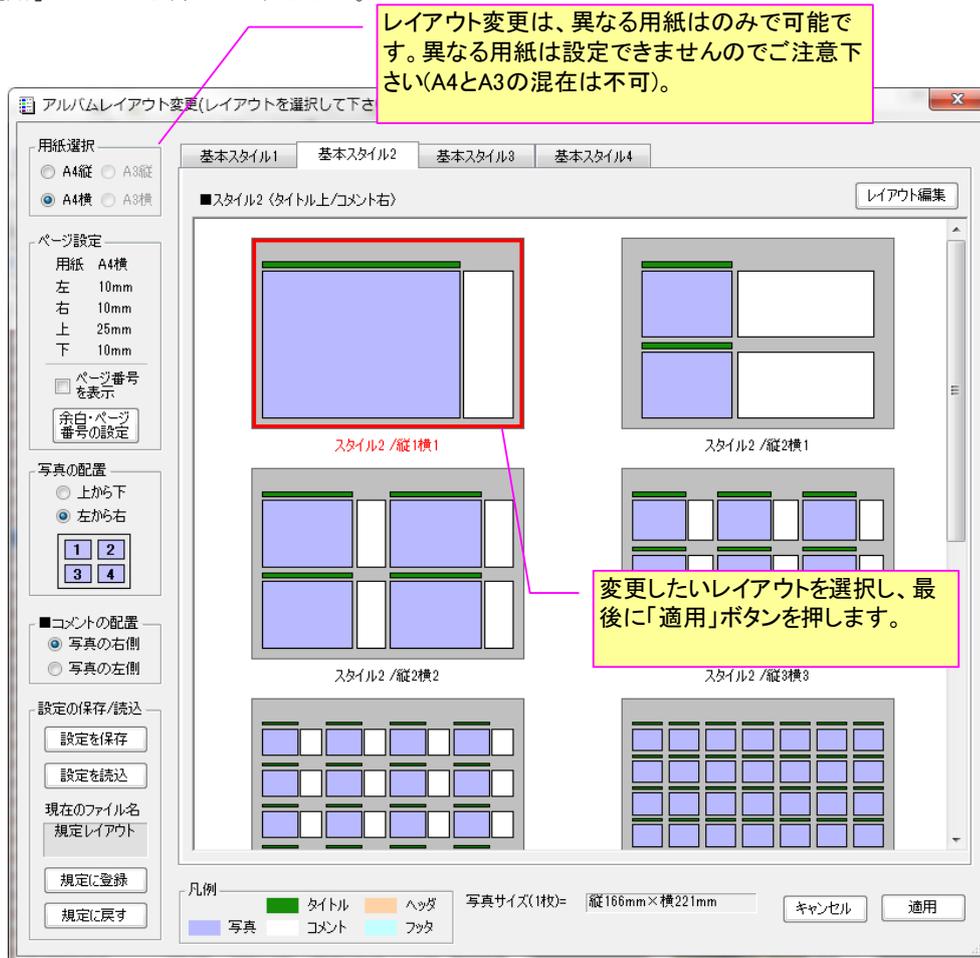
写真追加時に、異なるレイアウトにて追加する方法は、まず、写真追加時に表示される「写真の追加」画面にて「レイアウトを変更して追加する」にチェックを入れます。

すると、「写真を追加」ボタンが「次へ」ボタンに変わります。そして、「次へ」ボタンを押すと、変更したいレイアウトの選択画面が表示されます(次頁参照)。

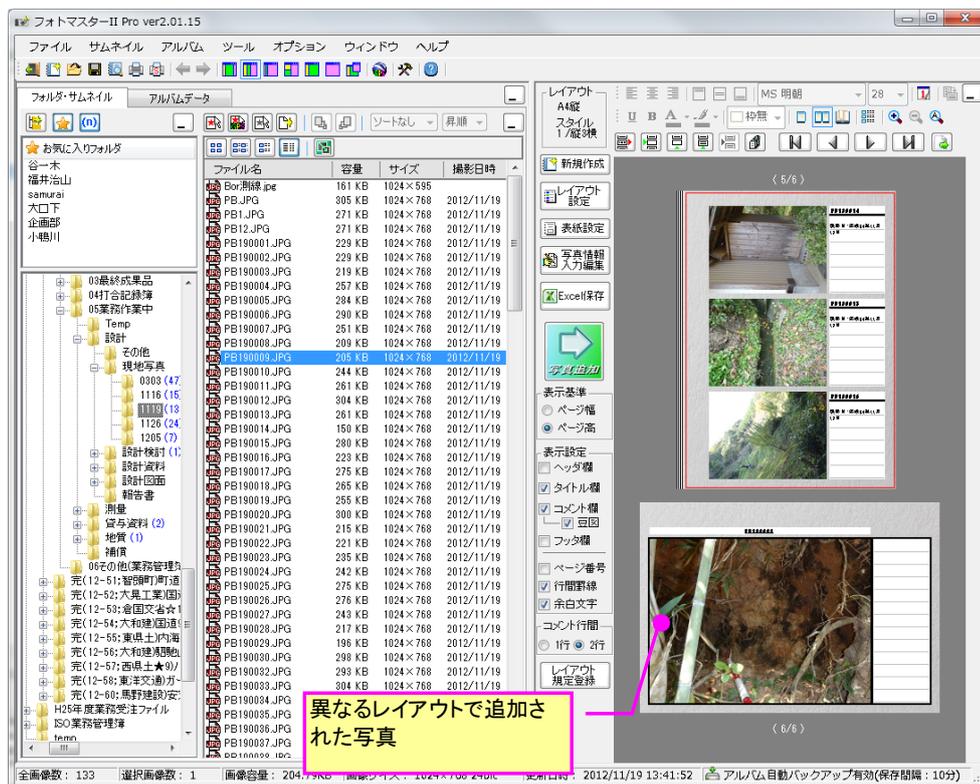


注) 「フォトマスターII Pro」のみに対応/実装している機能です。ご了承下さい。

「次へ」ボタンを押すと、下記の「レイアウト変更」設定画面が表示されます。  
 同じ用紙であれば、どのようなレイアウトでも選択できますので、変更したいレイアウトを選択し、「適用」ボタンを押してください。



「適用」ボタンを押すと、下図のとおり、異なるレイアウト「A4横 スタイル3/縦1横1」にて、写真が追加されます。



注)「フォトマスターII Pro」のみに対応/実装している機能です。ご了承下さい。

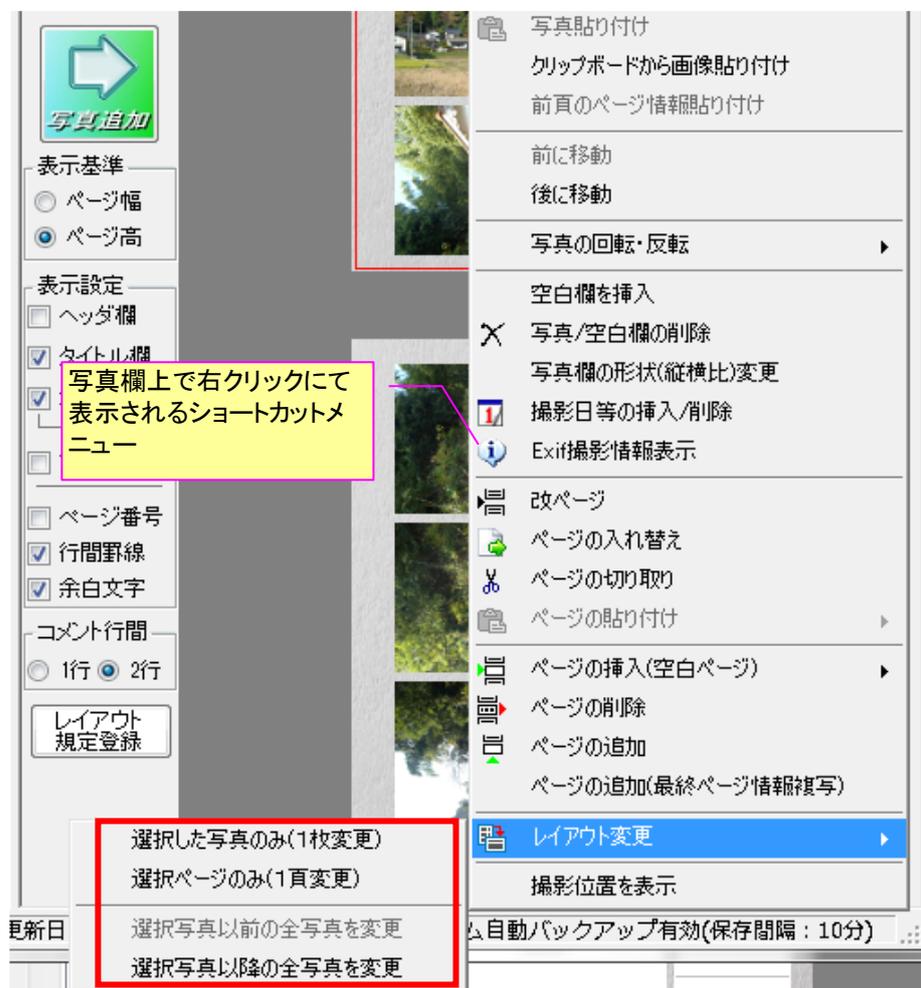
### 3) 方法②(アルバム欄内の写真のレイアウトを変更する方法)

次に、アルバム内の写真のレイアウトを変更する方法をご紹介します。

アルバム内の写真のレイアウト変更は、下図のように、写真上でのショートカットメニューから変更します。

変更の方法は、以下の4種類から選択します。

- ① 選択した写真のみ・・・選択した1枚のみレイアウトを変更する。
- ② 選択ページのみ・・・選択ページ内の全写真のレイアウトを変更する。
- ③ 選択写真以前の全写真を変更・・・選択写真の前方に位置するすべての写真のレイアウトを変更します(選択写真含む)。
- ④ 選択写真以後の全写真を変更・・・選択写真の後方に位置するすべての写真のレイアウトを変更します(選択写真含む)。



①～④のいずれかを選択すると、次に前出の「レイアウト変更」設定画面が表示されますので、変更したいレイアウトを選択して「適用」ボタンを押してください。

これで、選択写真等が異なるレイアウトに変更されます。

注)「フォトマスターII Pro」のみに対応/実装している機能です。ご了承下さい。

#### 4-4-10. レイアウトのカスタマイズ機能について

ここでは、レイアウト設定のカスタマイズ機能についてご説明いたします。

カスタマイズは、写真の縦横配置数、タイトル/コメント欄の幅及び高さなど様々です。フォトマスターⅡでは、予め1つの用紙設定当たり24種類(=6×4)のレイアウトを登録できます。また、カスタマイズしたレイアウト設定は、設定ファイルとして保存でき、いつでも自由に呼び出して適用することが可能です。

##### 1) レイアウト詳細設定の機能について

レイアウト詳細設定では、レイアウトの配置や表示内容等の設定をおこないます。

レイアウト編集(基本スタイル用)

現在選択中のレイアウトの設定を編集可能です。

選択レイアウトの基本設定値

用紙: A4縦    レイアウトスタイル: スタイル1    レイアウト番号: A4TS12

写真配置数 縦: 3 枚    横: 1 枚

レイアウト名称: スタイル1 / 縦3横1

ページに配置する縦・横の写真配置数を入力(変更)します。

レイアウトの名称を入力(変更)します。

写真の縦横比を必要に応じて入力(変更)します。サービスサイズの写真は縦横比が4/3(=1.3333)です。

写真の最小サイズを設定します。(ただし、12mm以上)

レイアウト詳細設定

レイアウトの詳細設定

タイトル欄の高さ = 7 (mm)

コメント欄の高さ = 20 (mm)

- " - 最小幅 = 30 (mm)

- " - 最大幅 = 80 (mm)

ヘッダの高さ H = 7 (mm)

フッタの高さ F = 7 (mm)

写真と写真の離れ

上下方向 t1 = 5 (mm)

左右方向 t2 = 5 (mm)

写真とコメントの離れ

上下方向 t3 = 3 (mm)

左右方向 t4 = 3 (mm)

ヘッダと写真(タイトル)の離れ

上下方向 t5 = 3 (mm)

フッタと写真(コメント)の離れ

上下方向 t6 = 3 (mm)

写真表示設定

〈標準縦横比〉

n=横/縦= 1.33333

(分数入力可、例4/3)

〈最小表示幅(高)〉

Mmin= 12 (mm)

表示欄の設定

ヘッダ欄

タイトル欄

コメント欄     豆図

フッタ欄

初期入力情報設定

タイトル    コメント

ユーザ情報入力

ファイル名

撮影日

写真番号

書式設定

編集を確認

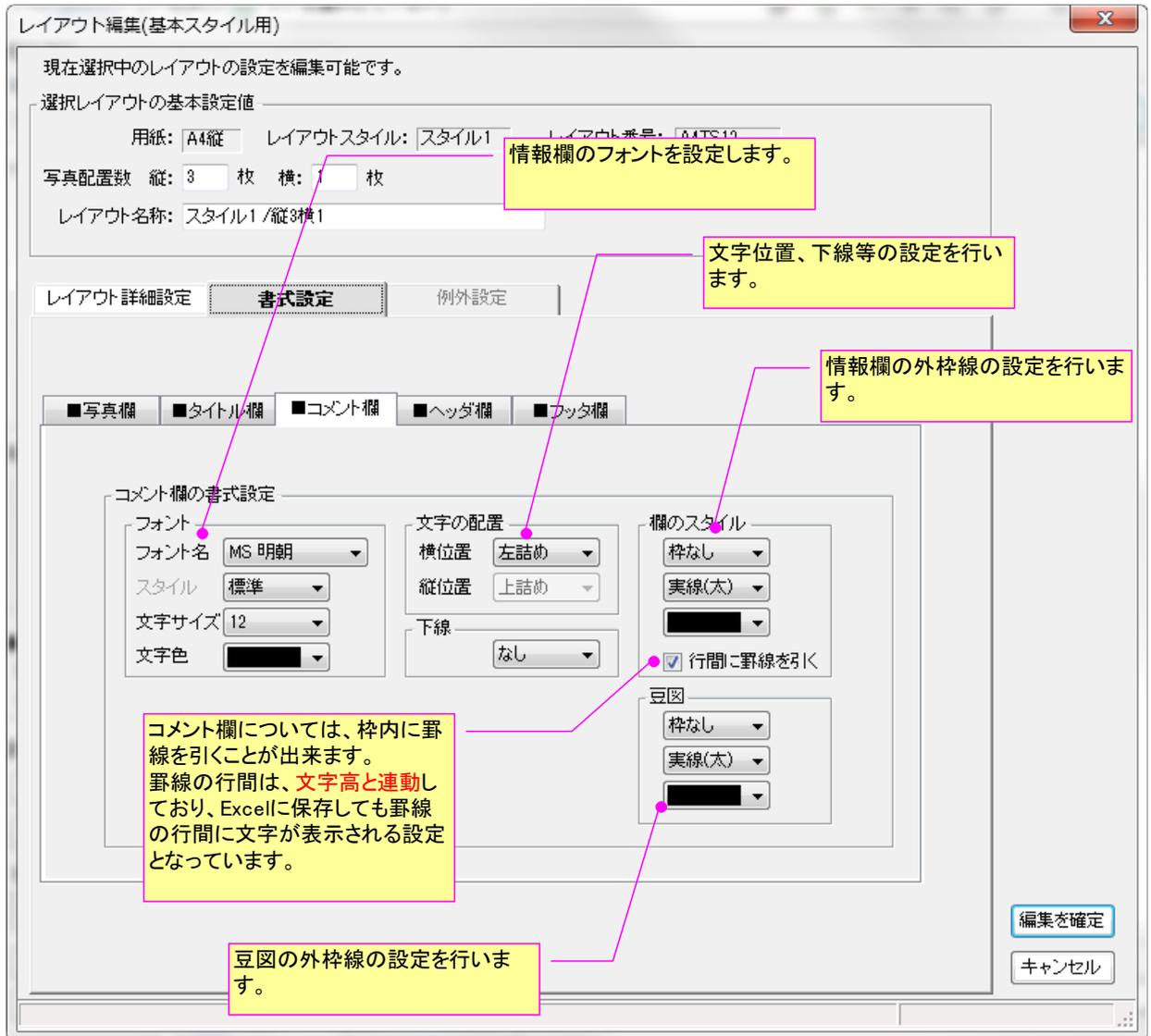
キャンセル

この表示設定は、アルバム設定コマンド内の「表示設定」と連動しています。つまりアルバム設定コマンド内の「表示設定」を変更すると、この設定も連動して変わります。

タイトルに入力する情報種別を設定します。通常は「ユーザ記入欄として表示」を選択してください。サムネール一覧のように、写真とファイル名のみを表示する場合は、「写真情報を表示」を選択します。

## 2) レイアウト書式設定

写真欄、タイトル欄、コメント欄、ヘッダ欄、フッタ欄の書式設定を一括しておこなうことができます。

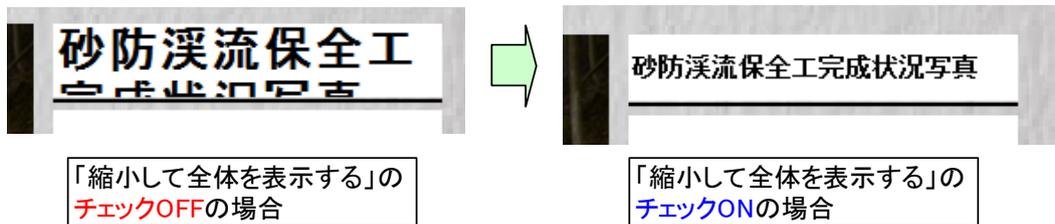
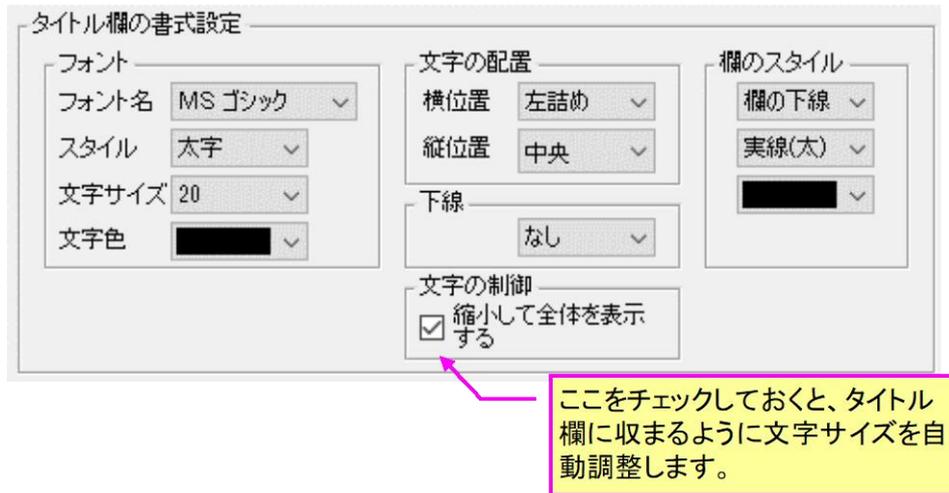


#### 4-4-1 1. アルバム情報欄のサイズ調整について

各情報欄の高さ調整は、基本的にレイアウト詳細設定にておこなってください。なお、タイトル欄については、下図のように基本的に「縮小して全体を表示する」のチェックが通常 ON となっていますので、欄幅に収まるように文字サイズが自動調整されます。

もし自動調整をしたくない場合は、チェックを外し、欄の高さを手動で変更して下さい。

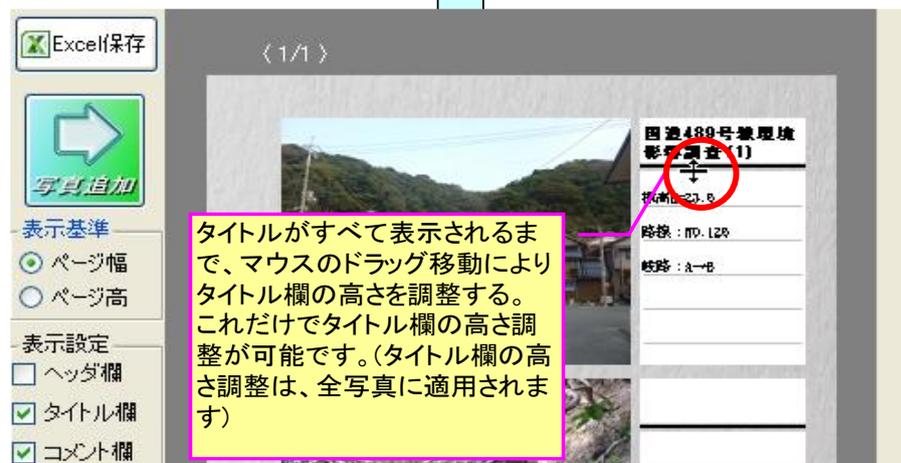
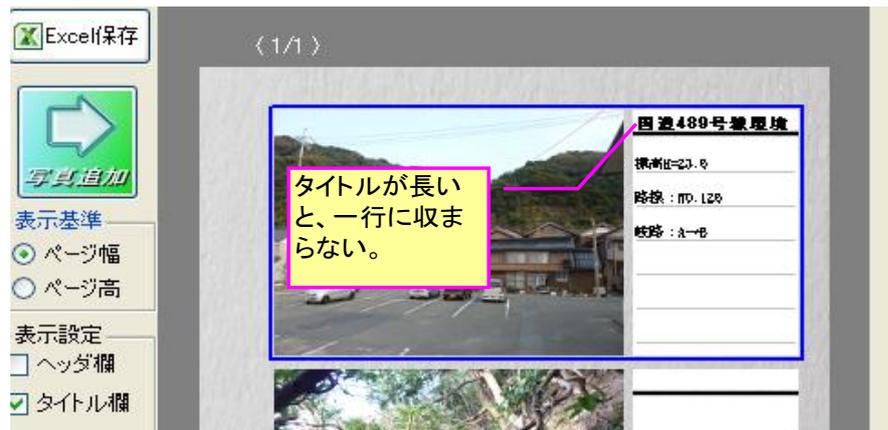
一方、タイトル欄以外の情報欄には「縮小して全体を表示する」機能はありませんので、必要に応じて次ページの方法で欄高を調整してください。



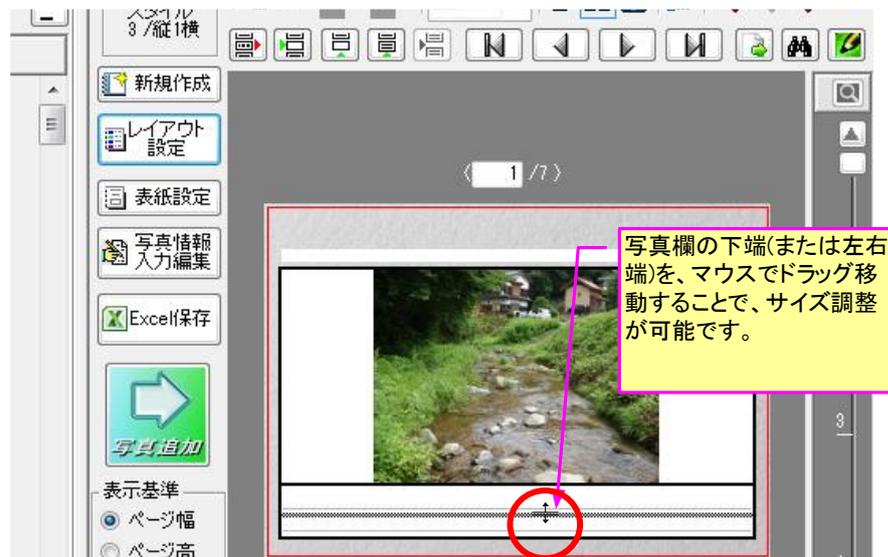
但し、写真欄、タイトル欄とスタイル 3or4 のコメント欄については、欄の高さや幅を、マウスドラックにより調整することができます。

操作は簡単です。下記説明図のように、写真欄、タイトル欄もしくはコメント欄の下辺もしくは両サイドをマウスで掴んでドラック移動するだけです。寸法調整の結果は、すべての写真のタイトルに反映されます(個別設定はできません)。

■タイトル欄高の調整例



■コメント欄高の調整例 (写真欄の場合は、写真欄の下端を掴んでドラッグ移動してください)



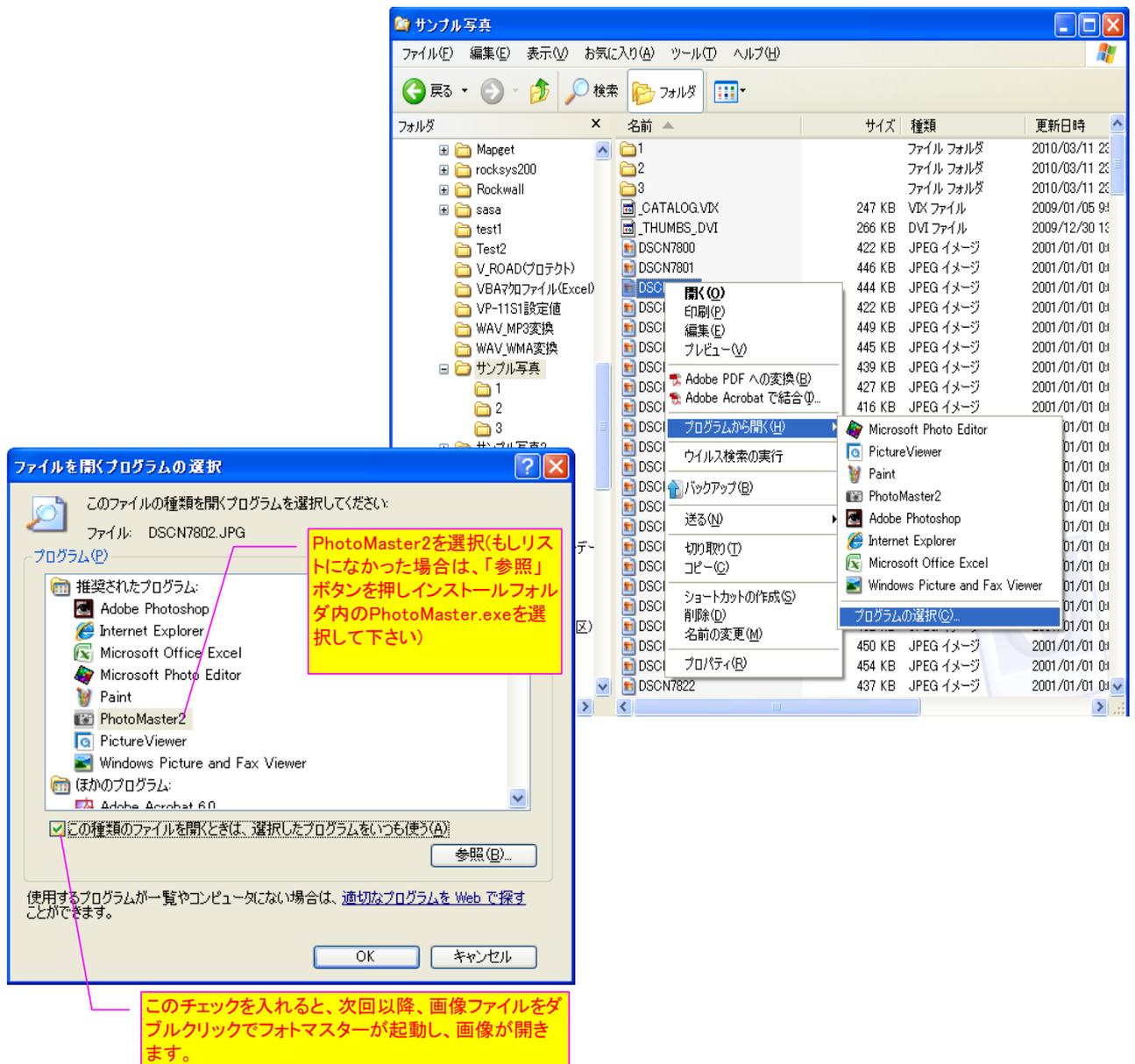
## 4-4-1 2. 画像ファイルとの関連付けについて

フォトマスターⅡは、画像ファイル(\*.jpg)と関連付けることができます。関連付けをおこなうと、エクスプローラー等から画像ファイルをダブルクリックするだけで、フォトマスターⅡが起動し、その画像をポップアップ表示してくれます(注 Windows の環境によっては関連付ができない場合があります)。

関連付けの方法は以下の通りです。

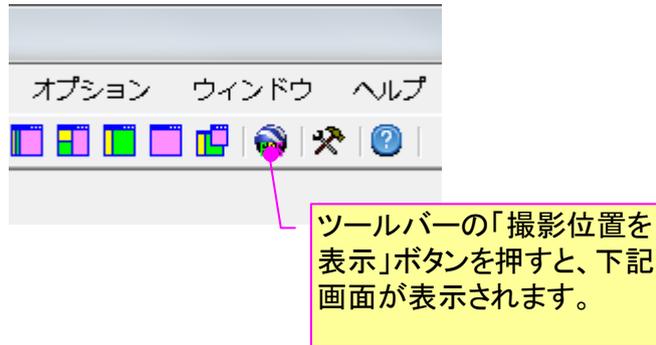
- ① エクスプローラーにて画像ファイル(\*.jpg)上で右クリックして、ショートカットメニューを表示します。
- ② ショートカットメニュー内の「プログラムから開く」-「プログラムの選択」を選択
- ③ 「プログラムの選択」画面が開きますので、「PhotoMaster2」を選択し、「この種類のファイルを開くときは、選択したプログラムをいつも使う」にチェックを入れます。なお、プログラムリストの中に「PhotoMaster2」がない場合は、「参照」ボタンを押し、インストールフォルダ内の PhotoMaster.exe を選択して下さい。
- ④ OK ボタンを押します。

これで、次回以降、関連付けたファイルをダブルクリックするだけで、フォトマスターⅡが起動し、画像を拡大表示します。



## 1) 撮影位置の表示方法

撮影位置を表示するには、ツールバーにある「撮影位置を表示」ボタン(下図)を押してください。



すると、下記の「撮影位置の表示」画面が表示されます。

あとは、表示したい写真とサービスを選択し、「表示開始」ボタンを押せば Google Earth 等が立ち上がり、撮影位置が表示されるはずですが。

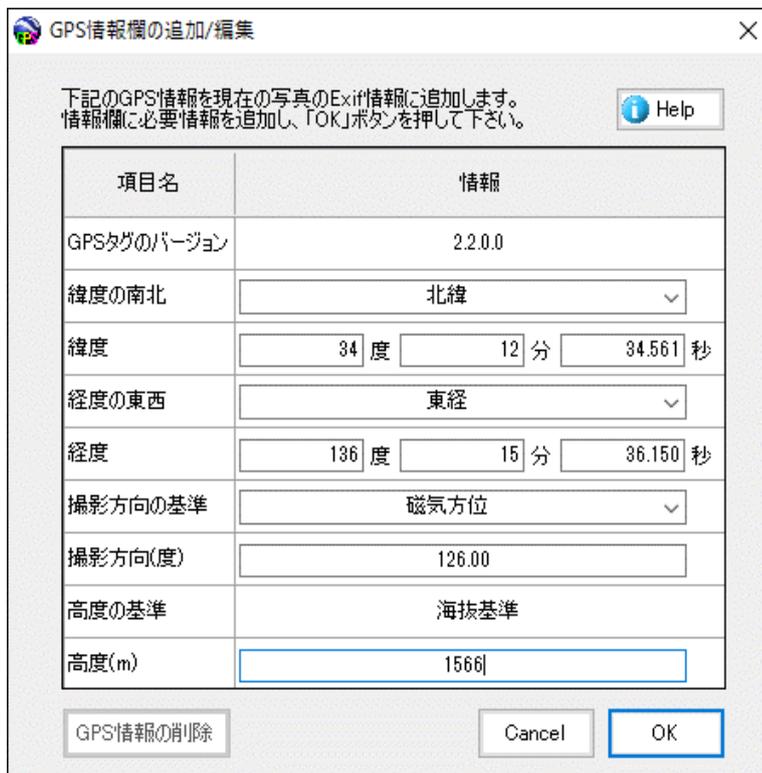
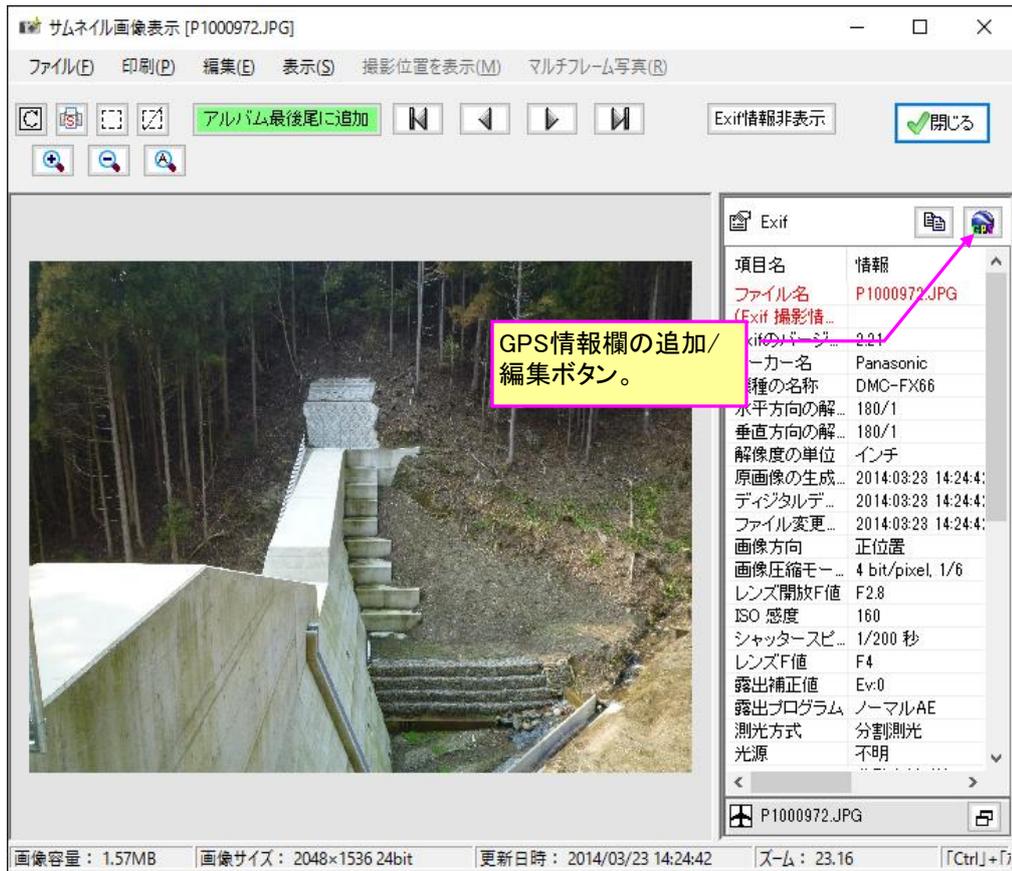
なお、フォトマスターには撮影位置を表示する機能はないため、本サービスを受けるには、予め弊社提供のフリーソフト「Ske-eye」がインストールされている必要があります。(注、本機能は Google 社のサービス等に依存しているため、PC 環境によっては、撮影位置が表示されない場合がございます。予めご了承下さい。)



撮影位置の表示対象サービスを選択し、「表示開始」ボタンを押すと、各種サービスの画面上に撮影位置が表示されます。  
なお「電子地図」は、選択が1枚の場合のみ表示可能です。

## 2) Exif 情報への GPS 情報の追加/編集機能について

Ver2.11 より、Exif 情報内に GPS 情報を持たない写真に、GPS 情報を組み込む機能を追加しました。本機能を使えば、屋内などで撮影時に GPS 情報を記録できなかった写真に、GPS の位置情報を後付けすることが出来ます。また Exif 情報内の GPS 情報を編集することも可能です。



前頁のGPS情報の追加/編集機能を使用すると、下図のようにGPS情報をExif情報に埋め込むことが出来ます。



サムネイル画像表示 [P1000972.JPG]

ファイル(F) 印刷(P) 編集(E) 表示(S) 撮影位置を表示(M) マルチフレーム写真(R)

アルバム最後に追加

Exif情報非表示  開じる

項目名	情報
撮影時の彩度	ノーマル
撮影時のシャ...	ノーマル
<b>(GPS情報)</b>	
GPSタグのバージョン...	2.2.0.0
緯度の南北	北緯
緯度	34度 12分 34.561秒
経度の東西	東経
経度	136度 15分 36.150秒
高度の基準	海拔基準
高度	1566(m)
撮影方向の基準	磁気方位
撮影方向	12600/100度
<b>(JPEGファイル情...</b>	
ファイル形式	Exif 2.21
JPEG プロセス	ベースラインDCT
画像サイズ	2048 x 1536
カラースペース	YCbCr
サブサンプリング	Y:2x1 Cb:1x1 Cr:1x1 (4:
圧縮クオリティ	96 (不正確、誤差範囲!)

「GPS情報欄の追加/編集機能」により、追加された位置情報。

画像容量 : 1.57MB 画像サイズ : 2048x1536 24bit 更新日時 : 2014/03/23 14:24:42 ズーム : 23.16 「Ctrl」+「ホイール」...

### 4-4-13. 写真の一括リサイズ機能

#### 1) リサイズとは

リサイズ(resize)とは、「写真のピクセル数(画素数)を変更(縮小)すること」です。

一般に、写真のピクセル数(画素数)が多いほど、大きな用紙に高品質に印刷することが可能となります。しかし、L判など比較的小さな用紙に印刷する程度であれば、以外にも、それ程大きなピクセル数(画素数)は必要ありません。

「リサイズ」は、写真のピクセル数(画素数)を、印刷サイズに適したピクセル数(画素数)に縮小することで、「画質」と「画像容量」とのバランスをとり、ハードディスク容量の無駄遣いをなくすことを目的としています。

なおフォトマスターII Proでは、「アルバム写真のみをリサイズする機能」と、フォルダ指定により「元画像を一括リサイズする機能(上書き保存 or 別名保存)」の2つの機能が標準装備されています。



#### 2) どのようなことが出来るのか

フォトマスターII Proでは、リサイズによって具体的に以下の変更が可能です。

- ・ピクセル(画素)数の変更・・・「BMP」「TIFF」「JPG」「PNG」「GIF」
- ・画像圧縮率の変更……………「JPG」

このリサイズ機能によって、画像の画質や容量を調整することが出来ます。下図は 2,560×1,920pixel の JPG 画像を 1,024×768pixel にリサイズした例です。

リサイズにより、実用上支障のない程度の画質劣化が生じますが、画像容量を 3.3MB⇒0.42MB(元画像の 12%)に大幅に縮小することができました。



### 3) 印刷サイズと画素数の関係について

下表は、印刷のサイズとそれに適した画像サイズの関係表です。この表から、印刷サイズに応じた適正な画像サイズを選択することが出来ます(緑色範囲)。

画像サイズ指定 (長辺×短辺) 単位:pixel	デジカメ 画素数	画像サイズに適した印刷サイズ(目安)				
		A7 (105×74mm)	A6 (148×105mm) ※はがきサイズ	A5 (210×148mm)	A4 (297×210mm)	A3 (420×297mm)
		L判 (127×89mm)	KG (152×102mm)	2L判 (178×127mm)	6切 (254×203mm)	4切 (305×254mm)
3072×2304	約700万	□	◎	◎	◎	◎
2816×2120	約600万	□	◎	◎	◎	○
2560×1920	約500万	□	◎	◎	◎	○
2240×1680	約400万	◎	◎	◎	◎	△
2048×1536	約300万	◎	◎	◎	○	△
1600×1200	約200万	◎	◎	○	○	△
1280×1024	約130万	◎	◎	○	△	△
1024×768	約80万	◎	○	△	△	△
800×600	約48万	○	△	△	△	△
640×480	約30万	○	△	△	△	△

□: 高い印刷結果が得られるが、やや画素数が多い

◎: 画素数が十分で、高い印刷結果が得られる

○: やや画素数が少ないものの、良好な印刷結果が得られる

△: 画素数が少なく、良好な印刷結果が得られない

◎ 画像サイズがやや過大

◎ 画像サイズが概ね適正

△ 画像サイズがやや過小

### 4) 適正サイズの目安について

印刷サイズと必要な解像度から、適切な画像サイズ(画素数)を求めることも可能です。

下表は、用途(目的)に応じた適正な解像度を表した表です。この解像度を「D(dpi)」、印刷サイズを横(L mm)×縦(H mm)とすると、適正な画素数 pixel=(L<sub>1</sub>×H<sub>1</sub>)は下式により表されます。

$$L_1 = \frac{L \times D}{25.4} \quad H_1 = \frac{H \times D}{25.4}$$

用途	目安となる解像度	説明
Eメール送信	96~150dpi	目安となる解像度以上に上げると、Eメールの送受信に時間がかかり、メールを受信する相手に負荷がかかります。なるべくデータが小さくなるように、解像度を設定してください。
インクジェットプリンターでの ファイン印刷	150dpi (カラー、グレー画像の場合)	目安となる解像度で十分です。それ以上に上げて印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像のスキャン/保存/読み込み/印刷などが、遅くなります。
インクジェットプリンターでの フォト/スーパーファイン印刷	300dpi (カラー、グレー画像の場合)	
レーザープリンターでの印刷	200dpi (カラー、グレー画像の場合)	
ディスプレイ表示	96dpi	通常、コンピューターの画面の解像度は、70~90dpiくらいです。そのため、例えば壁紙または、デスクトップピクチャー用の画像を150dpiでスキャンしても画面から画像がはみ出してしまいます。

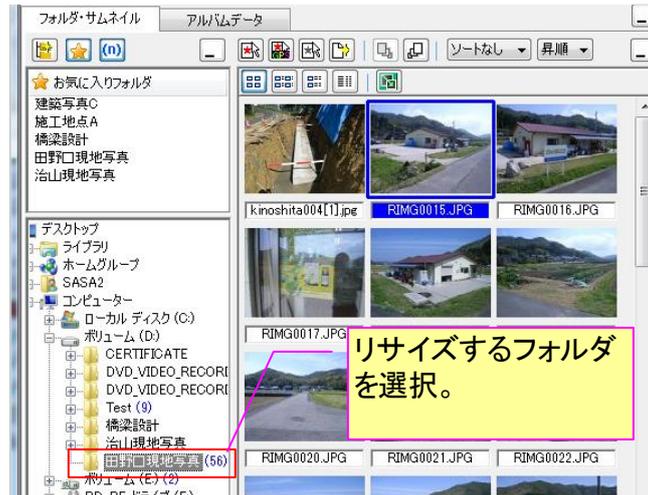
## 5) リサイズの操作方法

フォトマスターII Pro では、「フォルダ欄内の画像リサイズ」と「アルバム写真のリサイズ」が可能です。

### a) フォルダ欄内の画像リサイズ

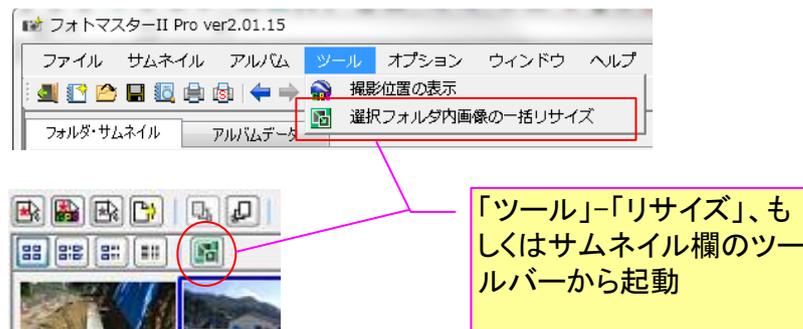
#### ■手順①・・・フォルダの指定

フォルダ欄にてリサイズする画像のあるフォルダを選択し、サムネイル欄に画像を表示します。なおフォルダ内画像の一部のみリサイズする場合は、その画像を選択状態にします。



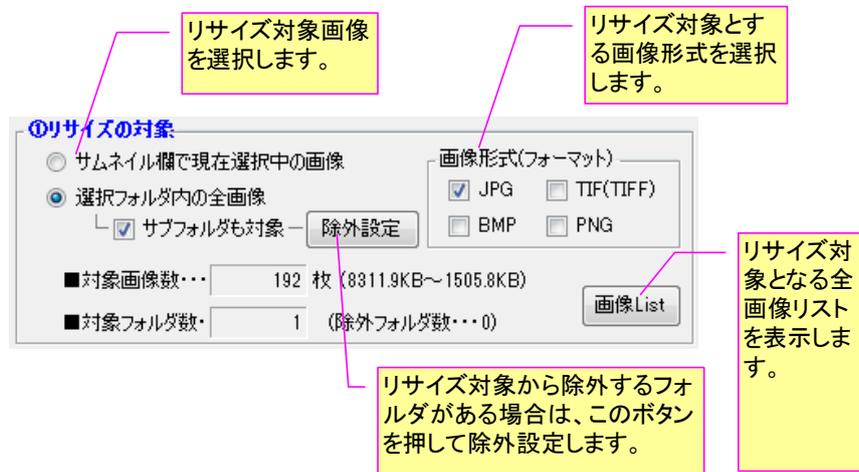
#### ■手順②・・・「フォルダ内画像の一括リサイズ」画面の表示

リサイズ設定をおこなうための「フォルダ内画像の一括リサイズ」画面を、メインメニューもしくはサムネイル欄のツールバーから起動します。



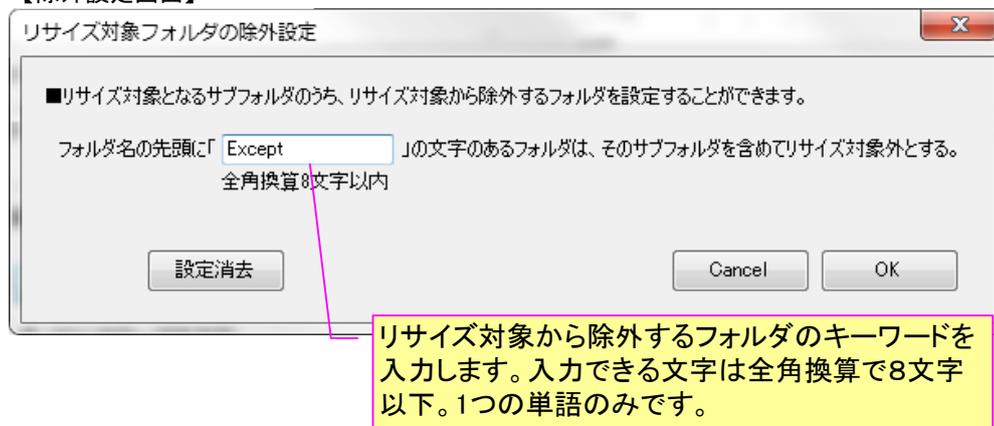
#### ■手順③・・・リサイズ対象の選択

「フォルダ内画像の一括リサイズ」画面左上の「①リサイズの対象」について、下図内容に従って設定します。



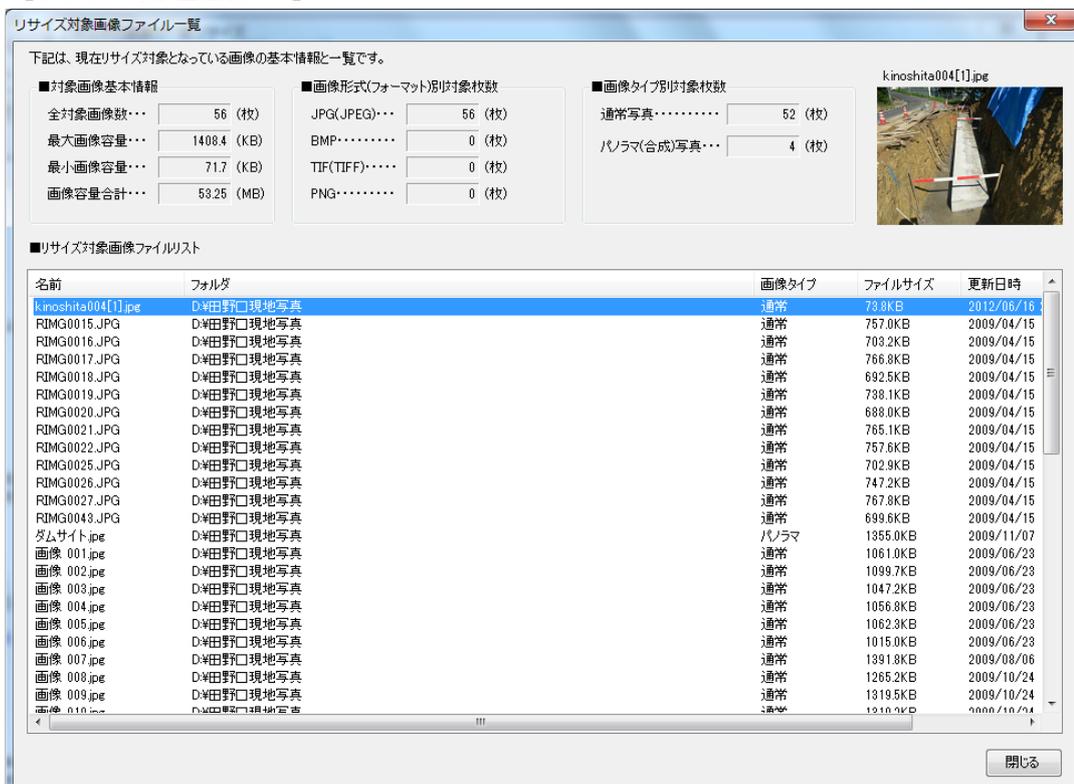
リサイズの対象から外したいフォルダがある場合は、下記画面にて設定します。

【除外設定画面】



リサイズの対象となっている画像一覧を確認することも可能です(下図)。

【リサイズ対象全画像List】



下記画面にて、具体的なリサイズ設定をおこないます。リサイズは、単体画像とパノラマ画像とで、別々に設定することも可能です。

**複数の画像を合成したパノラマ写真のリサイズを別設定にしたい場合は、ここをチェックします。**

**リサイズ後の画像数(pixel数)を設定します。設定値はアスペクト比4:3での画像数を示しています。元画像が4:3でない場合は、リサイズ後のピクセル数が、縦横のどちらも設定値を超えないようにリサイズされます(縦横比は保持されます)。注)元画像によっては、リサイズ後の画像が指定サイズと少し異なる場合がありますが不具合ではありません。**

**画像圧縮率の設定をおこないます。この設定は、JPG画像のみに有効です。保存品質もしくは画像容量の指定によって間接的に画像圧縮率を設定します。**

**ここをチェックすると、リサイズ後の画像容量が元画像を上回った場合は、リサイズせず、元画像をリサイズ後の画像として保存します。**

**適正サイズの目安とは?**

**縦横比を固定** ※サイズはすべて長

**元画像より容量増となる場合はリサイズしない**

**元サイズ(変更なし)**  
 2560×1920  
 2240×1680  
 2048×1536  
 1600×1200  
 フリーサイズ: 320 × 240 (Pixel)  
 フリーサイズ: 元サイズの 60 (%)

**1280×960**  
 1024×768  
 800×600  
 640×480

**画像サイズ指定(全画像形式に対して有効)**

**画像圧縮率指定(JPG形式このみ有効)**  
 指定しない  
 保存品質..... 80 (%)  
 保存容量..... 500 (KB)

パノラマ(合成)写真は別設定にする **Help**

・ **パノラマ(合成)写真の判定方法**

パノラマ(合成)写真とは、下図のように、複数の写真を貼り合わせて一枚にした合成写真です。一般に、使用した枚数に応じて、通常の単体画像よりも、画像サイズ、画像容量共に大きくなります。



対象写真が、パノラマ(合成)写真か通常の単体画像であるかは、写真の縦横比(アスペクト比)や画素数を調べ、一般の写真規格に合致するかどうかで判定しています。

従って稀に、単体画像であるにもかかわらずパノラマ(合成)写真と判定してしまう可能性もございます。予めご了承下さい。

・ **適正サイズの目安について(かんたん設定方法)**

リサイズ設定画面内の「適正サイズの目安とは?」ボタンを押すと、下図が表示されます。この画面から適正サイズの目安を知ることが出来ます。

適正サイズの目安とは?

印刷サイズと画像サイズとの関係 適正サイズの計算

印刷サイズから、適正な画像サイズの目安を表から読み取り、該当サイズにチェックを入れます。

下表は、印刷のサイズとそれに連した画像サイズの関係表です。この表から、印刷サイズに応じた適正な画像サイズを選択することが出来ます(緑色範囲)。

■画像サイズに適した印刷サイズ関係表(目安)

選択ボタン	画像サイズ指定 (長辺×短辺) 単位:pixel	画像サイズに適した印刷サイズ				
		A7 (105×74mm)	A6 (148×105mm) ※はがきサイズ	A5 (210×148mm)	A4 (297×210mm)	A3 (420×297mm)
		L判 (127×89mm)	KG (152×102mm)	2L判 (178×127mm)	6切 (254×203mm)	4切 (305×254mm)
<input type="radio"/>	3072×2304	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<input type="radio"/>	2816×2112	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	2560×1920	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	2240×1680	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	2048×1536	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	1600×1200	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	1280×960	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	1024×768	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	800×600	<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>	640×480	<input type="radio"/>				

〈凡例〉 □: 高い印刷結果が得られるが、やや画素数が多い  
 ◎: 画素数が十分で、高い印刷結果が得られる  
 ○: やや画素数が少ないものの、良好な印刷結果が得られる  
 △: 画素数が少なく、良好な印刷結果が得られない

〈凡例〉 : 画像サイズがやや過大  
: 画像サイズが概ね適正  
: 画像サイズがやや過小

「適用ボタン」を押すと、現在の選択(計算)サイズがリサイズ条件に設定されます。

適用 閉じる

適用ボタンを押すと、選択した画像サイズがリサイズ設定に反映されます。

適正サイズの目安とは?

印刷サイズと画像サイズとの関係 適正サイズの計算

印刷サイズと解像度から、適切な画像サイズの目安を求めることが出来ます。

印刷サイズ(L×H)

写真用紙... L判(127×89mm)

用紙... A6(148×105mm)

長辺L=127mm、短辺H=89mm

解像度

150 (dpi)

解像度の目安

ドット(点)

※解像度を示す単位として通常用いられるのがdpi[25.4mmあたりのドット数(Dot Per Inch)]という単位です。25.4mm(1インチ)当たりどれだけのドットが含まれているかを示しています。

■計算結果

適正画像サイズ(L1×H1)の目安... **750×526**

(算定式: L1=L・D/25.4、H1=H・D/25.4)

「適用ボタン」を押すと、現在の選択(計算)サイズがリサイズ条件に設定されます。

適用 閉じる

用途に応じた写真の印刷サイズを設定します。特定の印刷サイズがない場合は、用途の範囲内で最大の印刷サイズを設定します。

解像度を設定します。解像度の目安は、4-3-12.4)適正サイズの目安についてをご覧ください。

印刷サイズと解像度を設定すると、適正な画像サイズが自動計算され、ここに表示されます。但し、この値はあくまで目安とお考え下さい。

適用ボタンを押すと、自動計算された適正サイズがリサイズ設定に反映されます。

・画像圧縮率について(JPG形式)

画像は、サイズ(ピクセル数)を小さくすることで容量を小さくできますが、圧縮率を下げることで容量を小さくすることが出来ます。

但し圧縮率が高いと、データの容量が小さくなる代わりに画質のクオリティが低下します。

人間の目では判断しにくい、同系色の色の点をまとめてしまうことによって1枚画像の使われる数が少なくなります。  
そのため、画像のデータ要領も小さくなります。

このあたりの色は似てるから、同じ色にまとめよう

圧縮

1色になった

圧縮率が高くなると、同系色の点がどんどんまとめられていくため、画像から鮮明さがなくなっていきます。

圧縮

注)オリンパスHPより抜粋

■手順⑤・・・保存先の指定

リサイズ画像の保存先を指定します。元画像と同一フォルダに同名保存した場合は、元画像が上書きされますのでご注意ください。

保存先

- 元画像と同一フォルダ内の新設フォルダ「resize\_photo」
- 元画像と同一フォルダ
- 保存先指定(下記フォルダ)

参照

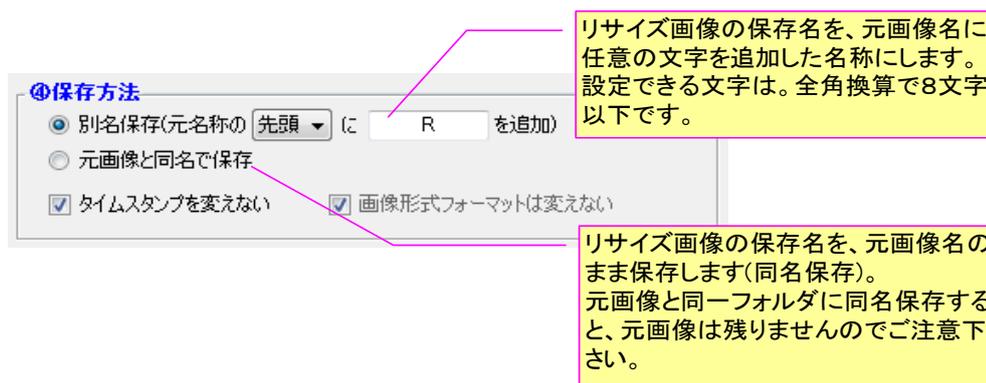
リサイズした画像を、元画像と同じフォルダ内に保存します。この際、別名保存した場合は元画像はそのまま保持されます。一方、同名保存した場合は上書き保存されるため、元画像は残りません。

リサイズした画像を、その画像フォルダの直下に新規作成した「resize\_photo」内に保存します。この場合、元画像はそのまま保持されます。

リサイズした画像を、「参照」ボタンにて指定したフォルダに保存します。元画像と異なるフォルダを指定した場合、元画像は保持されます。

## ■手順⑥・・・保存名の設定

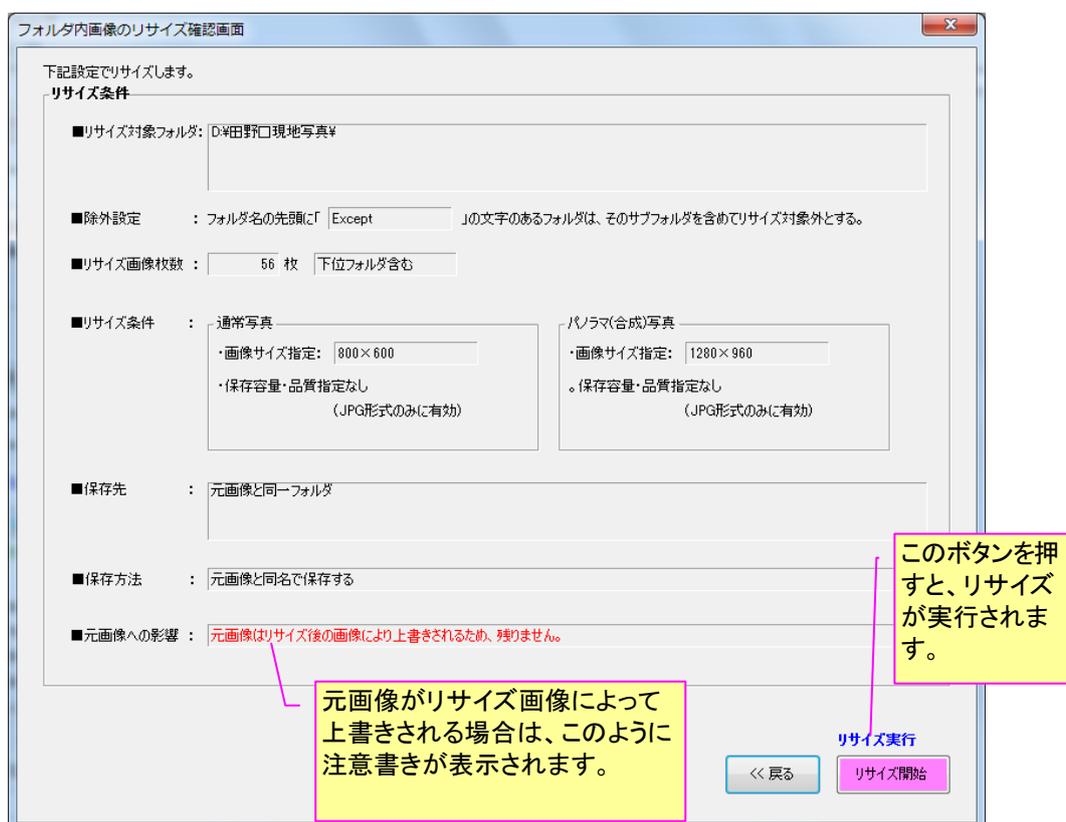
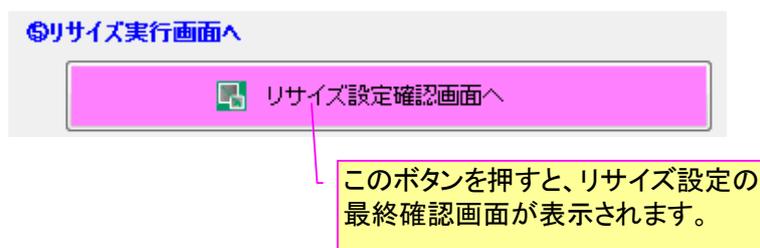
リサイズした画像の保存方法を下記画面より設定します。元画像と同一フォルダに同名保存すると、元画像が上書き保存されますのでご注意ください。



なおフォトマスターのリサイズ機能では、リサイズ後のファイルのタイムスタンプ(属性日時)は、元画像と同じ日時となります。保存時の日時とはなりませんのでご了承下さい。

## ■手順⑦・・・リサイズ設定確認画面

手順⑥で、すべてのリサイズ設定が完了しました。それでは最後に、下記ボタンを押し、リサイズ設定の最終確認画面を表示しましょう。この最終確認画面にて、改めてリサイズ条件を確認して頂き、問題が無ければ右下の「リサイズ開始」ボタンを押して下さい。リサイズが開始されます。



## ■手順⑧・・・リサイズ結果画面の表示

リサイズが完了すると、下記のようなリサイズ結果が表示されます。  
このリサイズ結果画面には、リサイズ前とリサイズ後の画像容量の双方を表示しておりますので、リサイズによってどの程度容量が削減できたかを確認することが可能です。

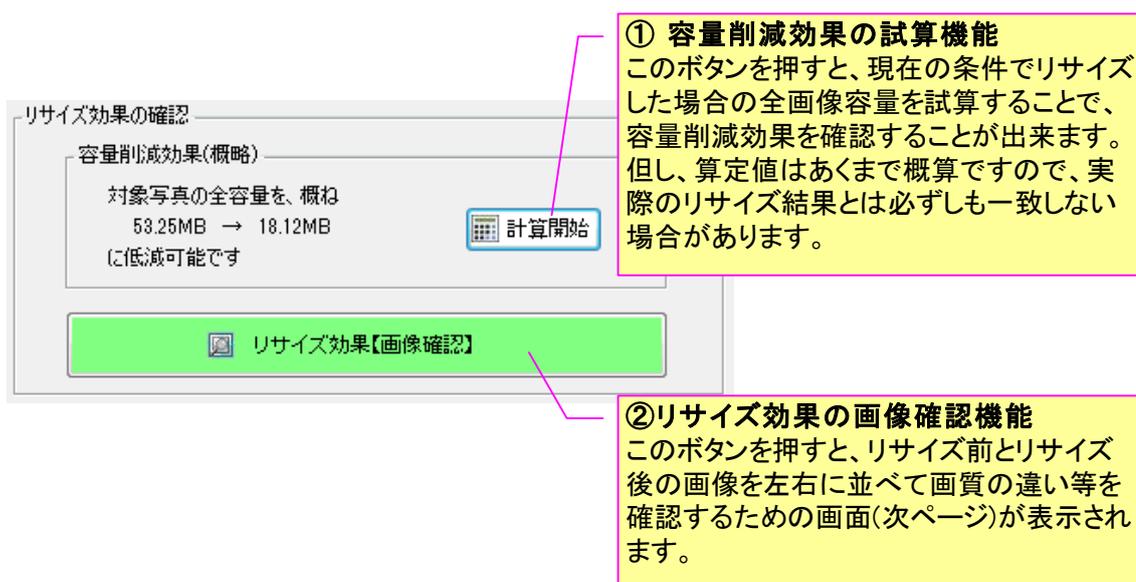


## ■その他機能(リサイズ効果の確認ツール)

フォトマスターでは、リサイズ実行前に、リサイズの効果を確認するツールを標準装備しています。  
リサイズ効果の確認ツールとしては、

- ① リサイズによる容量削減の試算機能
- ② リサイズ効果の画像確認機能(プレビュー機能)

の2種類があります。



リサイズ効果の画像確認画面は以下のとおりです。

リサイズ前とリサイズ後の画質の変化を実際の写真で事前に確認することが可能です。また、「設定変更」ボタンを使えば、その場でリサイズ条件を変更することもできます。

The screenshot shows a software window titled "リサイズ効果【画像確認】" (Resize Effect [Image Confirmation]). It displays a photo of a road with a red rectangle highlighting a specific area. Below the photo are navigation and zoom controls. The interface is split into two main sections: "リサイズ前" (Before Resize) and "リサイズ後" (After Resize). The "Before" section shows the original image with a zoom level of 78.90. The "After" section shows the resized image with a zoom level of 92.37. A callout points to a red rectangle on the original image, stating it indicates the original crop area. Another callout points to a "設定変更" (Change Settings) button, explaining it leads to a settings screen. A third callout points to navigation buttons, explaining they allow switching between the two images. A fourth callout points to a mouse wheel on the "After" image, explaining it can be used for zooming. A fifth callout points to the image size and capacity information at the bottom of the "After" image. A sixth callout points to a "開じる" (Close) button.

下段の左右2つの画像は、元画像内の赤枠範囲を表示しています(枠のマウス移動可)。

このボタンを押すと設定変更画面が表示されますので、プレビューしながらリサイズ設定を直ちに变更できます。

左右2つの画像の表示切替用のボタンです。拡大/縮小/全体表示が行えます。

リサイズする写真の切り替えボタン。

画像上でマウスホイールを回転させると、方向に応じて画像拡大/縮小することができます。またマウスによるドラック移動(表紙位置の移動)も可能です。

リサイズ前の画質

リサイズ後の画質

リサイズ後の画像サイズや容量を確認できます。

## b) アルバム写真のリサイズ

アルバム欄に追加された写真をリサイズします。

リサイズの設定等については、すべて前項の「フォルダ欄の画像リサイズ」と同じですので説明は割愛します。

## 4-4-1 4. ファイルの一括リネーム機能

### 1) 概要

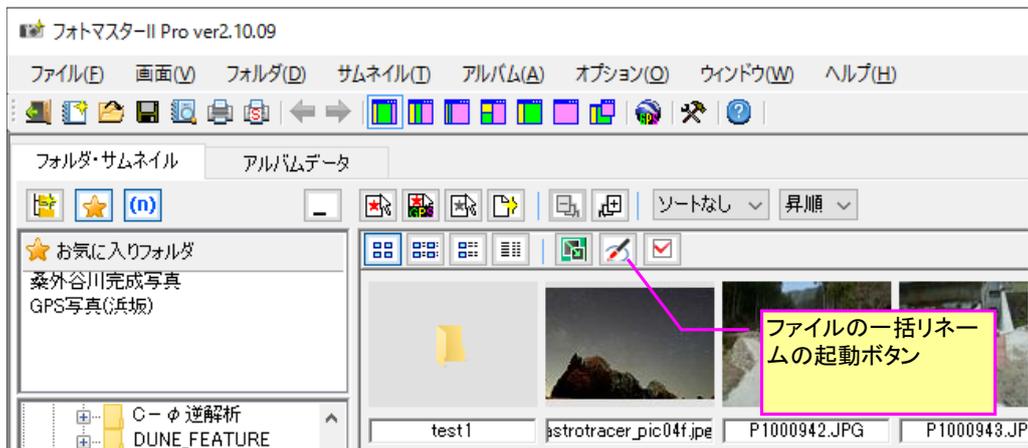
フォトマスターII Pro では、サムネイル欄に表示された多数の画像ファイルを、下記の様々な設定に基づき、簡単に一括リネーム(名称変更)することができます。

リネーム設定項目一覧

種別	リネーム設定	機能
メイン設定	連番追加	ファイル名の先頭もしくは後方に「連番」を追加します。 また連番と共に、任意の文字列も追加することができます。
	日付追加	ファイル名の先頭もしくは後方に、「日付」を追加します。日付は、「更新日」と「撮影日(原画像作成日)」から選択できます。
	文字追加	ファイル名の先頭もしくは後方に、任意文字を追加します。
	拡張子の表記統一	Jpg と JPEG など、同種類の拡張子の表記を統一します。統一できる拡張子は、「JPG」「BMP」「TIF」「PNG」「GIG」の5種類です。
その他設定	文字置換	ファイル名の一部の文字を指定した文字に置換します。
	文字削除	ファイル名の一部の文字を削除します。
	全角/半角変換	ファイル名の全角と半角の文字を変換します。
	タイムスタンプの変更	画像ファイルの日付(タイムスタンプ)を指定日時に変更します。

### 2) 一括リネームの起動方法

ファイルの一括リネームは、下記のボタンを押すことで設定画面が開きます。



### 3) 一括リネーム設定画面について

リネームの方法は、下記の画面を開いた後、まずリネームしたいファイルを選択します。その後、右側のリネーム設定欄内の「メイン設定」もしくは「その他設定」から、目的のリネームに合致する設定を選択し細部設定を調整します。リネーム設定が完了しましたら、リスト内の「変更後ファイル名(確認用)」にて、目的のリネームとなっているかを確認します。

そして問題なければ、最後に「リネーム実行」ボタンを押してリネームを実行します。

もし、リネーム実行後に元の名称に戻したい場合は、「アンドゥ」を実行するか、「全ファイル名をリセットする」を実行してください。

**リネームの対象フォルダ表示欄。**  
サムネイルに表示されているフォルダがリネームの対象フォルダとなります。

**リネーム設定欄。**  
メイン設定は、「連番追加」「日付追加」「文字追加」の3つから選択します。連番と日付の両方を追加したい場合は、リネーム実行を繰り返して下さい。

**「変更後ファイル名(確認用)」**は、現在のリネーム設定に基づいてリネームした場合のファイル名です。このファイル名はあくまで確認用です。「リネーム実行」ボタンを押すまではリネームされません。

**画像ファイルのリスト表示欄。**  
リスト表示されたファイルのうち、選択されたファイルのみがリネーム対象となります。選択の方法は、サムネイル欄と同じです。

**フィルター機能。**  
「\*(アスタリスク)」等を使用することで、リスト欄に表示するファイルを、さらに絞り込んで表示することができます。(\*で全表示)

**規定設定呼び出し。**  
リネーム設定を規定設定に戻します。

**設定の規定登録。**  
現在のリネーム設定を保存し、次回以降の起動時設定とします。

**リセット機能。**  
リネームを実行した後に、全ファイルが一番最初のファイル名に戻します。但し、リセット機能が無効の場合はリセットできません。

**本画面を起動したときのファイル選択状態を選択します。**

**リネームの実行ボタン。**  
このボタンを押して初めてファイル名を変更します。

#### リネームの主要コマンド

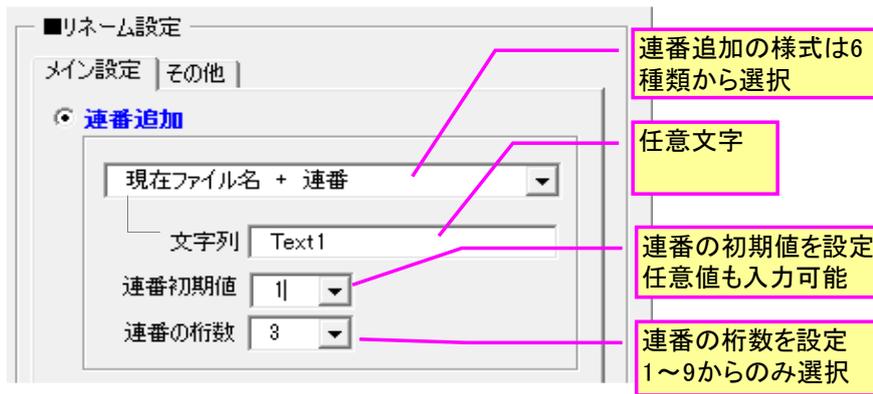
アイコン	機能
	全選択。リスト内の全ファイルを選択します。
	全選択解除。全ファイルの選択を解除します。
	リスト表示をリフレッシュします。
	選択ファイルをリストの一番上に移動します。
	選択ファイルを1つ上方に移動します。
	選択ファイルを1つ下方に移動します。
	選択ファイルを一番下に移動します。
	選択ファイルを削除します。
	フィルターをリセットして、全ファイルを表示。
	アンドゥ。1回のみ有効です。
	リドゥ。
	ファイル名のリセット機能。
	リネーム実行

**リネーム設定欄。**  
その他の設定では、「文字置換」「文字削除」「全角/半角変換」「タイムスタンプの変更」の4つから選択します。複数の設定を行いたい場合は、リネーム実行を繰り返して下さい。

#### 4) リネームの設定方法

##### a) 連番追加

選択ファイル名に、連番を追加します。また連番と併せて、任意文字列も追加可能です。

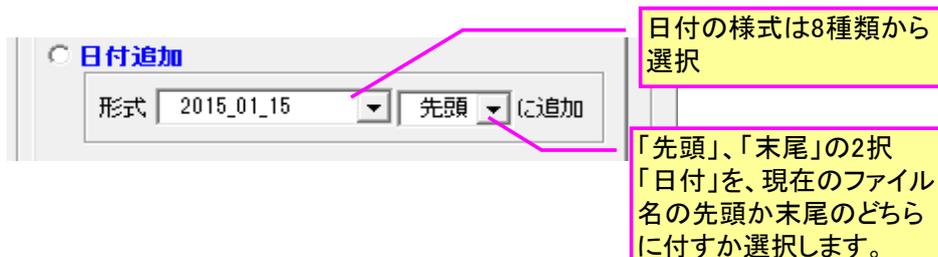


ファイル名: 山腹崩壊写真A.JPG  
 連番: 001  
 文字列: Text1

様式	リネーム結果(例)
現在ファイル名 + 連番	山腹崩壊写真A001.JPG
現在ファイル名 + 文字列 + 連番	山腹崩壊写真AText1001.JPG
連番 + 現在ファイル名	001山腹崩壊写真A.JPG
連番 + 文字列 + 現在ファイル名	001Text1山腹崩壊写真A.JPG
文字列 + 連番	Text1001.JPG
連番 + 文字列	001Text1.JPG

##### b) 日付追加

選択ファイル名に、更新日もしくは撮影日を追加できます。日付の様式は下記の8種類から選択できます。

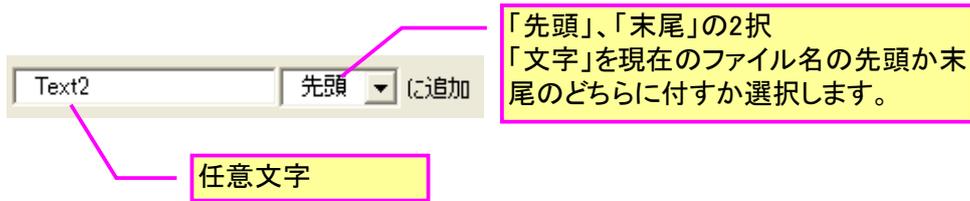


ファイル名: 山腹崩壊写真A.JPG  
 末尾

様式	リネーム結果(末尾に付けた場合)
20150115	山腹崩壊写真A20150115.JPG
2015_01_15	山腹崩壊写真A2015_01_15.JPG
2015-01-15	山腹崩壊写真A2015-01-15.JPG
2015年01月15日	山腹崩壊写真A2015年01月15日.JPG
H270115	山腹崩壊写真AH270115.JPG
H27_01_15	山腹崩壊写真AH27_01_15.JPG
H27-01-15	山腹崩壊写真AH27-01-15.JPG
H27年01月15日	山腹崩壊写真AH27年01月15日.JPG

### c) 文字追加

選択ファイル名に、任意の文字を追加できます。追加位置は、先頭もしくは末尾から選択できます。



ファイル名: 山腹崩壊写真A.JPG  
 文字列: Text2  
 末尾

リネーム結果(末尾に付けた場合)
山腹崩壊写真AText2.JPG

### d) 補助機能

「連番」 or 「日付」 or 「文字列」と現在のファイル名との間に、「\_(アンダーバー)」 or 「 (スペース)」 or 「-(ハイフン)」を挟むことでファイル名を判りやすくします。



ファイル名: 山腹崩壊写真A.JPG  
 連番: 001  
 現在ファイル名 + 連番

様式(選択肢)	リネーム結果(末尾に付けた場合)
_(アンダーバー)	山腹崩壊写真A_001.JPG
(空白)	山腹崩壊写真A 002.JPG
-(ハイフン)	山腹崩壊写真A-003.JPG

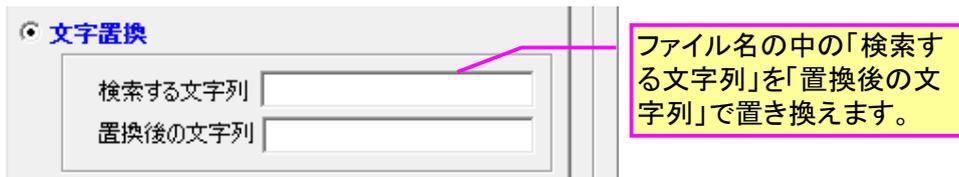
### e) 拡張子の統一表示

画像ファイルの拡張子が、例えば jpg、JPG など統一されていない場合に、表記を統一するためのものです。



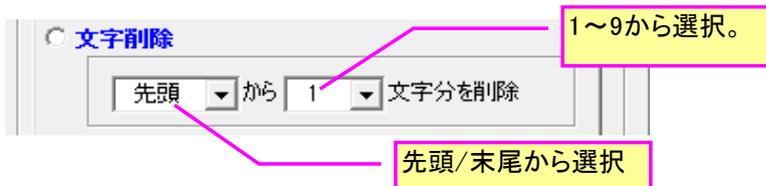
f) 文字置換

選択ファイル名の文字置換を行います。



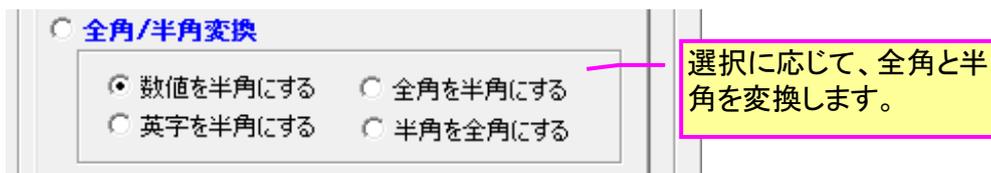
g) 文字削除

選択ファイル名の文字の一部を削除します。



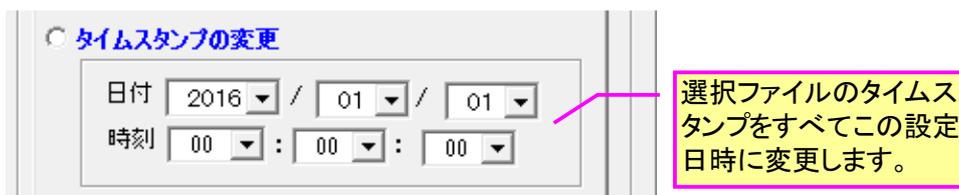
h) 全角/半角変換

選択ファイル名の全角、半角文字を設定に従って変換します。



i) タイムスタンプの変更

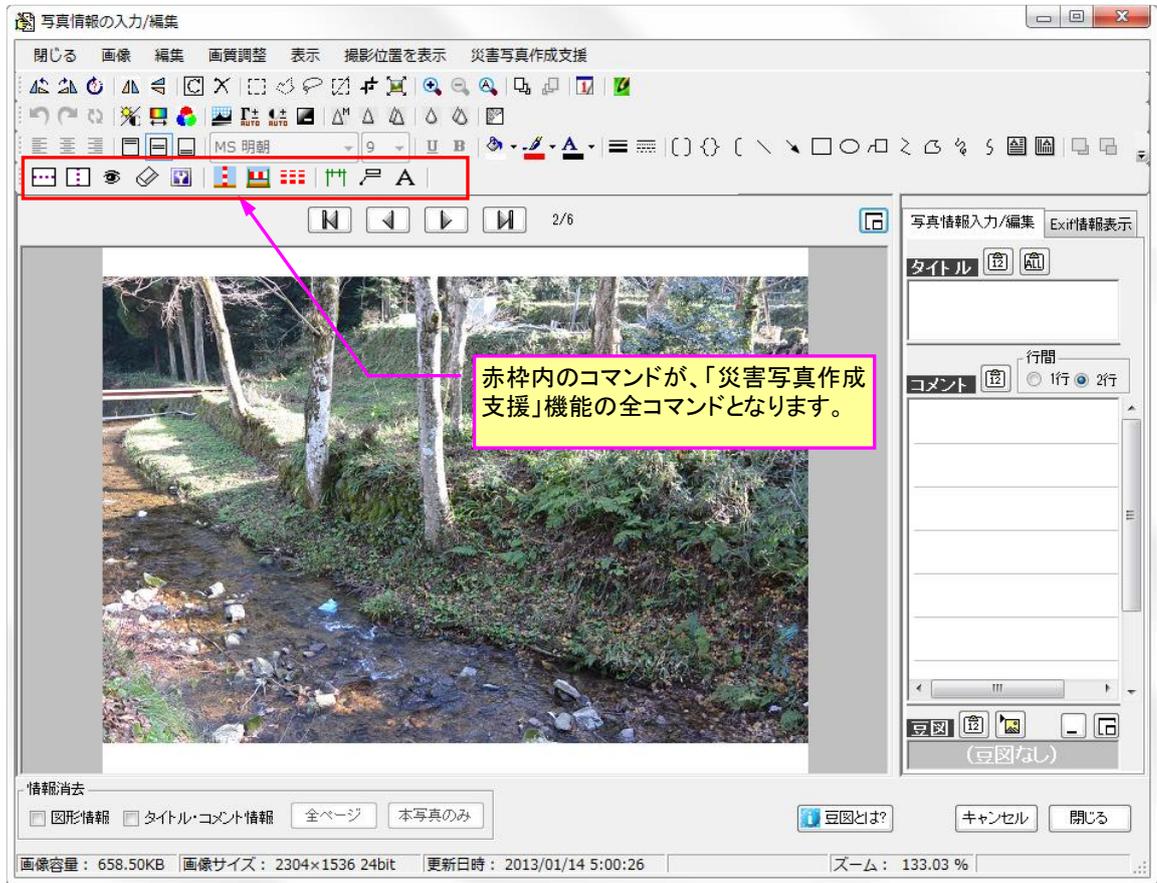
選択ファイルの更新日時を指定設定日時に変更します。



#### 4-4-15. 災害写真作成支援機能(寸法作図等)

##### 1) 概要

「災害写真作成支援機能」は、H26年より簡素化された災害査定用写真の仕様に対応したもので、CADのように写真上に寸法を描画したり、距離スケール(赤白帯)を簡単に作図することができます。なお本機能は災害査定写真の作成を主な目的としておりますが、出来高寸法を表示する際など、工事写真や建築現場写真作成時にも大変便利な機能となっています。



災害査定写真作成支援コマンド

アイコン	機能
	寸法描画コマンド。水平、垂直、斜め寸法を描画。
	引き出し線描画コマンド。文字列を引き出し線と共に描画。
	文字列描画コマンド(傾斜文字対応)。テキストボックスは水平/垂直のみですが、本コマンドはテキストの
	測量ポール描画コマンド。2m(3m)のポールを簡単に写真上に描画するコマンド。
	赤白帯(距離スケール)描画コマンド。距離スケールとなる赤白帯を写真上に描画するコマンド。
	赤白帯幅変更コマンド。赤白帯の幅を変更するコマンドです。
	水平補助線描画コマンド。寸法線を描画する際の参考線を描画するコマンド。補助線は印刷/出力されま
	垂直補助線描画コマンド。寸法線を描画する際の参考線を描画するコマンド。補助線は印刷/出力されま
	補助線の表示/非表示コマンド。
	補助線消去コマンド。補助線をすべて消去します。
	補助線設定コマンド。補助線の線種、色、太さ等を設定します。

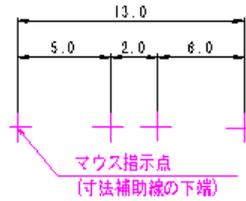
## 2) 寸法描画機能について

「災害写真作成支援機能」には、下記の3種類の寸法描画機能があります。なお通常は距離寸法を描画しますが、描画設定を変更することで寸法部に任意の「文字列」を表示することも可能です。

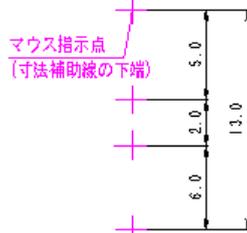


寸法描画コマンド

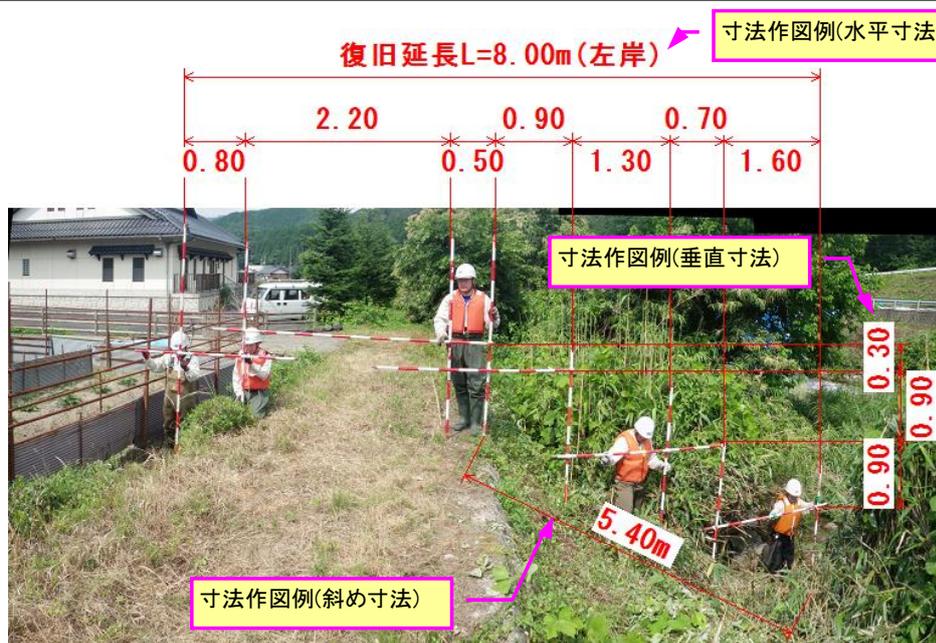
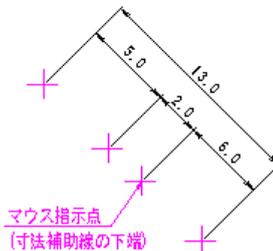
- ①水平寸法・・・寸法線が水平となるような寸法。水平方向の寸法描画に用いられます。(寸法補助線に斜角を付けることも可能です)



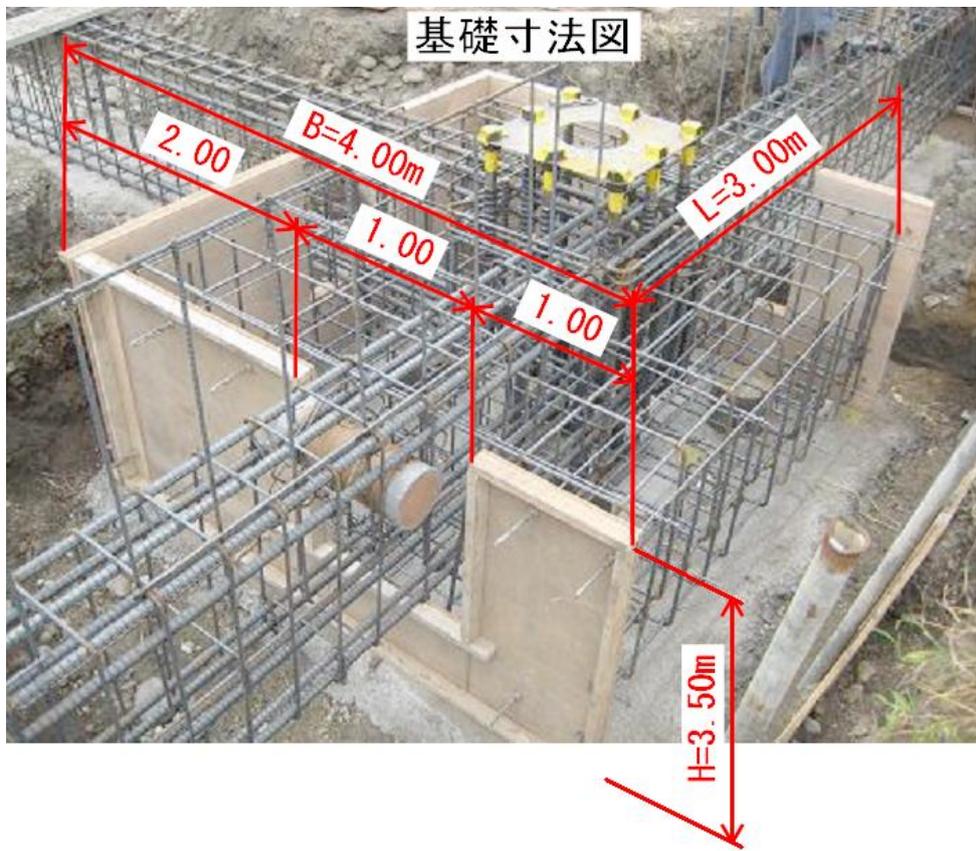
- ②垂直寸法・・・寸法線が垂直となるような寸法。縦方向の寸法描画に用いられます。(寸法補助線に斜角を付けることも可能です)



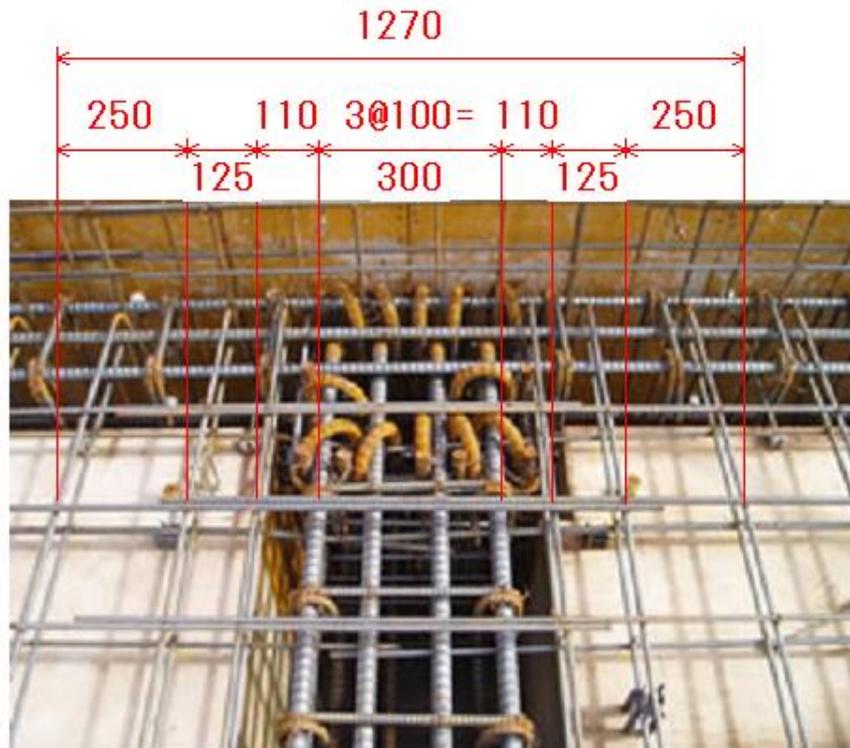
- ③距離寸法・・・寸法線が斜めとなるような寸法。描画角度は、マウスの最初と最後の点の角度で描画。(寸法補助線に斜角を付けることも可能です)



寸法作図例



寸法作図例②



寸法作図例③

## ■ 寸法描画方法

「寸法描画」コマンドを実行すると、下記の寸法作図設定画面が表示されます。寸法タイプ等を設定後、「次へ」ボタンを押して下さい。

すると画面が消えますので、寸法補助線の位置をマウスクリックにて2点以上指示し、指示終了は右クリックします。最後に寸法線の描画位置(高さ)をマウスクリックで指示します。

①まず寸法の種類を、3種類から選択します。

②次に、寸法の段数を選択します。合計寸法が必要な場合は2段、不要の場合は1段寸法とします。

③寸法補助線に斜角を付けたい場合は、その角度を入力します。なお「写真参照」ボタンを押し、写真上でその方向をマウス指示することで間接入力することも可能です。

④寸法線の書式を設定します。設定項目は、色、線種、太さ、端点の種別、大きさ等です。

⑤寸法(距離)値の書式を設定します。設定項目は、色、フォント、サイズ等です。

⑥設定完了後、「次へ」ボタンを押し、寸法描画点をマウスで指示して下さい。

## ■ 寸法補助線の斜角設定

通常、寸法線と寸法補助線は直交させて描画しますが、斜角を付けることも可能です。その場合、前述の「寸法作図」画面内の「補助線の斜角」のチェックをオンにし、斜角(度)を設定します。もし斜角がわからない場合は、「写真参照」ボタンを押し、写真上で補助線の方角をマウス指示することで、間接的に斜角を設定することも可能です。

寸法補助線の方向の任意の2点(下図参照)をマウスにて指示してください。指示点から、間接的に斜角を求めます。

■ 水平寸法

戻る 次へ

寸法補助線の方向の任意の2点(下図参照)をマウスにて指示してください。指示点から、間接的に斜角を求めます。

■ 垂直寸法

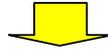
戻る 次へ

寸法線の方向の任意の2点(下図の緑点)と、補助線の方向の任意の2点(下図の赤点)の計4点をマウスにて指示してください。指示点から、間接的に斜角を求めます。

■ 斜め寸法

戻る 次へ

寸法補助線の「斜角」の設定方法(間接指示)



寸法欄には、区間距離(m)と任意文字のいずれかを設定できます。入力情報を選択の上、区間距離を設定して下さい。最後に「作図開始」ボタンを押すと、寸法線が描画されます。

- 寸法欄に「距離」を表示する場合(規定設定)
  - ・ 作図設定方法

■ 寸法に距離を表示する場合

寸法値の作図

寸法値(区間距離)を入力し、最後に「作図開始」ボタンを押す

■ 寸法値(区間距離)

測点(i)	点間距離(m)	千鳥配置
0	--	---
1	8.00	<input type="checkbox"/>
2	3.00	<input type="checkbox"/>
3	5.00	<input type="checkbox"/>

寸法に入力する情報

距離     任意文字

寸法の表示桁数

小数第 2 位まで

■ 付加文字(第1段寸法用)

寸法の頭に文字を付ける  
文字... 復員WL=

寸法の末尾に文字を付ける  
文字... m

■ 付加文字(第2段寸法用)

寸法の頭に文字を付ける  
文字... 復旧延長L=

寸法の末尾に文字を付ける  
文字... ml

2段目:合計 = 16.00m

注)寸法は原則寸法線の上方に表示します。  
下方に表示したい場合は、上表の「千鳥配置」欄をチェックして下さい。

Cancel    戻る    作図開始

⑧ 寸法欄に入力する情報を、「距離」と「文字列」から選択します。(この場合は「距離」を選択)

⑨ 「距離」の場合は寸法(数値)を入力します。寸法を互い違いに表示したい場合は「千鳥配置」にチェックします。

⑩ 距離の小数以下に表示する桁数を設定します。

⑪ 寸法距離の前後に付加する文字列を設定します。付加しない場合はチェックを外して下さい。

⑫ 作図開始で寸法を描画します。

■寸法欄に「文字列」を表示する場合

・作図設定方法

■寸法に文字を表示する場合

寸法の作図

寸法値(区間距離)を入力し、最後に「改行は、Shift + Enter」

測点(i)	点間距離(m)	千鳥配置
0	---	---
1	5.00m	<input type="checkbox"/>
2	(控除区間①)	<input type="checkbox"/>
3	6.00m	<input type="checkbox"/>
4	(控除区間②)	<input type="checkbox"/>

寸法を入力する情報

距離  任意文字

寸法の表示桁数

小数第 2 位まで

■付加文字(第1段寸法用)

寸法の頭に文字を付ける  
文字... L=

寸法の末尾に文字を付ける  
文字... m

■付加文字(第2段寸法用)

寸法の頭に文字を付ける  
文字... 復旧延長 L=

寸法の末尾に文字を付ける

■2段目: 計画延長 W=5.00m、L=11.00m

注)寸法は原則寸法線の上方に表示します。下方に表示したい場合は、上表の「千鳥配置」欄をチェックして下さい。

Cancel 作図開始

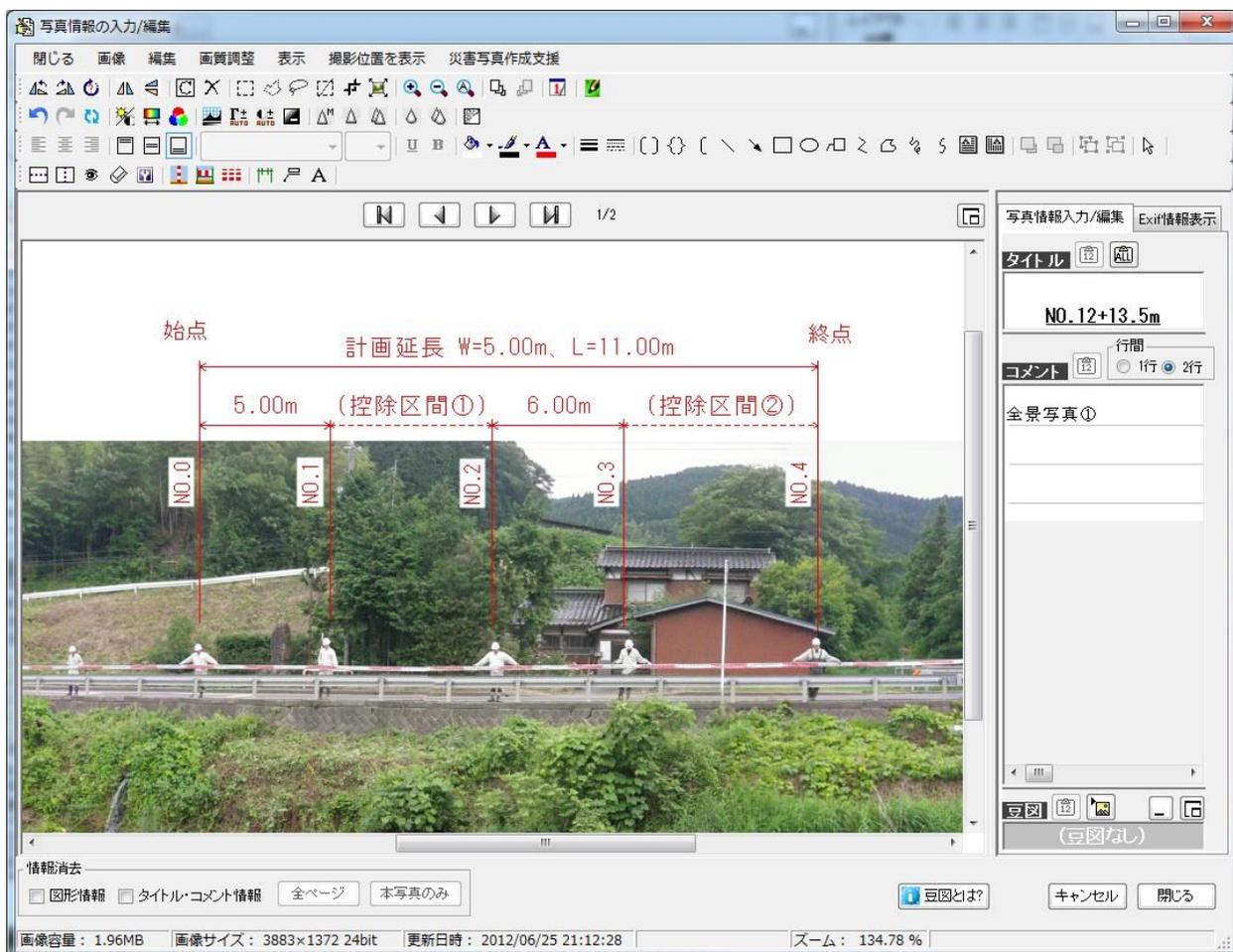
⑨「寸法」に表示する文字列を入力します。文字の途中で改行し、折り返し表示する場合は「Shift」キー+Enterして下さい。また互い違いに表示すね場合は「千鳥配置」にチェック。

⑩寸法欄に入力する情報を、「距離」と「文字列」から選択します。(この場合は「文字列」を選択)

⑪2段寸法を作図する場合は、2段目に表示する文字列も入力します。

⑪作図開始で寸法を描画します。

・寸法描画例



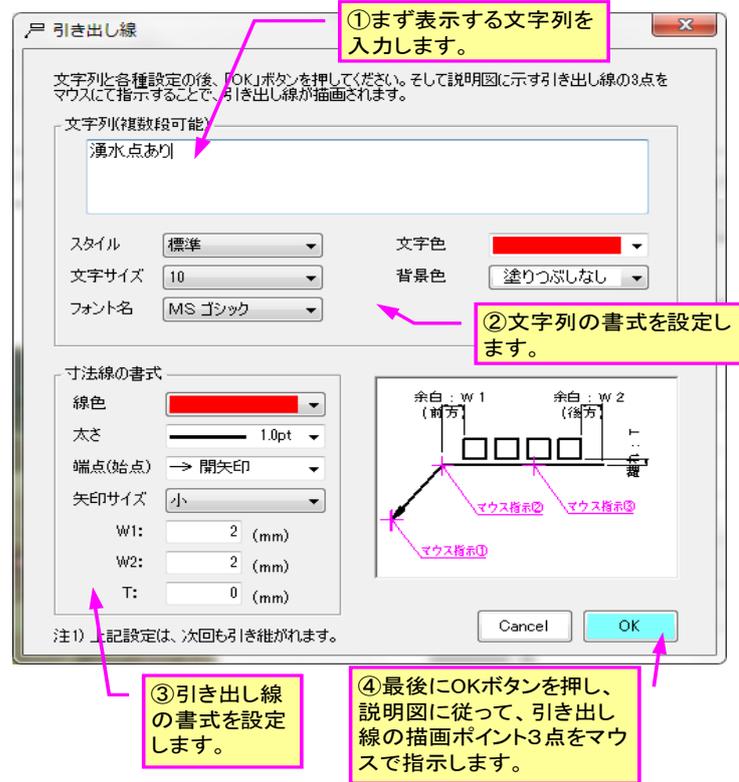
## ■ 寸法線の位置調整

寸法線を描画後に、一部の寸法位置を調整(変更)する場合は、下記手順で行ってください。  
なお寸法値や書式等については、寸法をダブルクリックすると設定画面が表示されますので各設定画面にて変更してください。



### 3) 引き出し線描画機能について

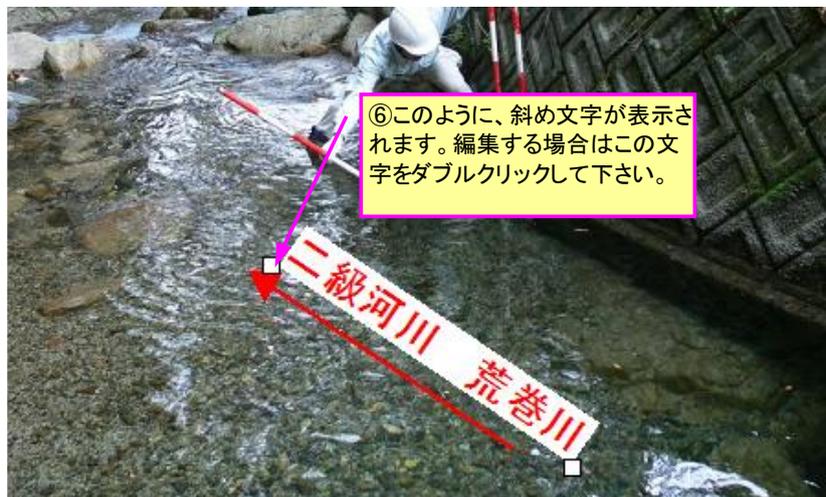
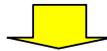
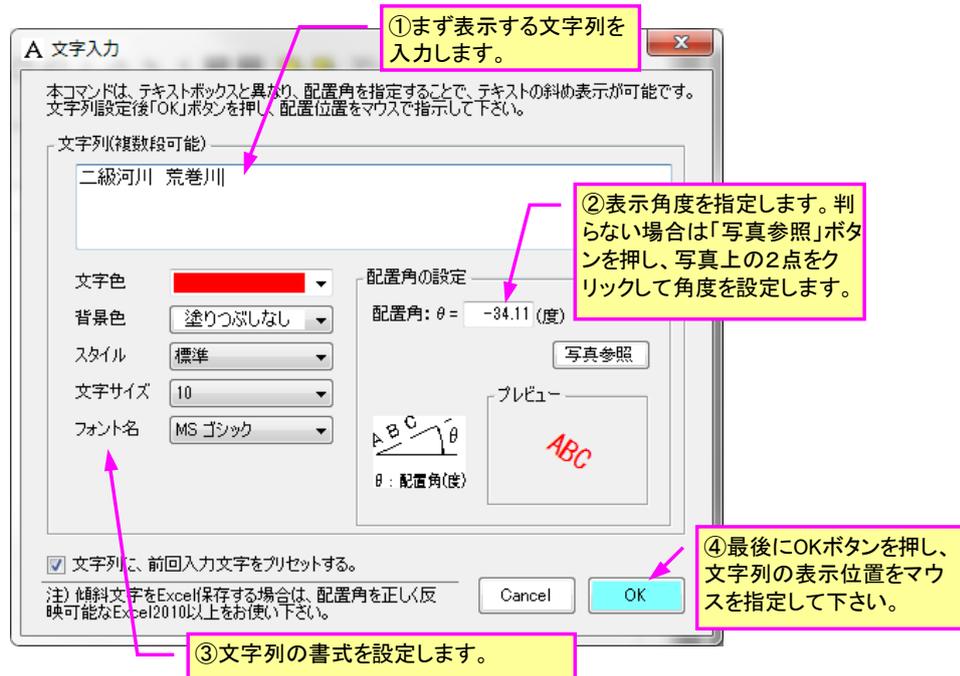
引き出し線を CAD のように写真上に描画します。表示文字列を入力後、文字と引き出し線の書式を設定し、Ok ボタンを押します。続いて引き出し線の先端と途中位置の計 3 カ所をマウスで指示すると、その位置に引き出し線が描画されます。



#### 4) 文字入力(傾斜文字対応)について

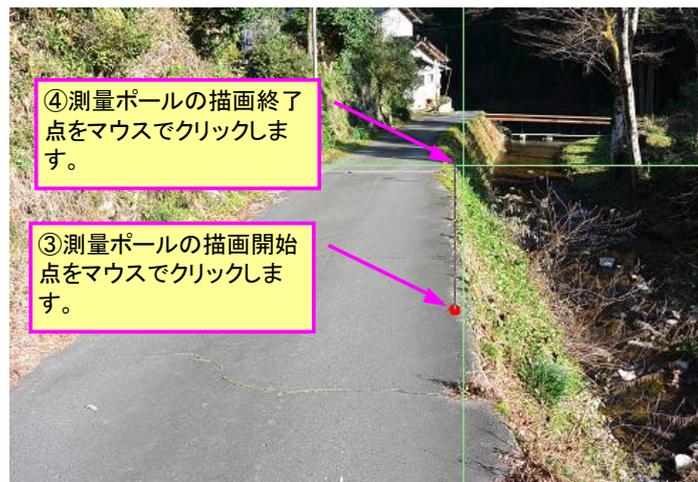
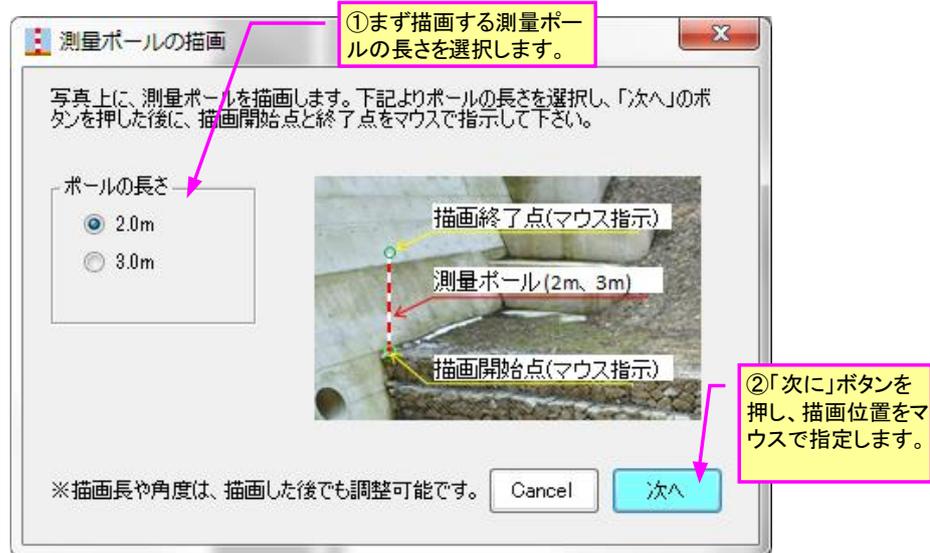
写真上に文字列を描画します。文字列表示はオートシェイプのテキストボックス等でも描画可能ですが、本コマンドは**傾斜文字に対応**している点が異なります。

なおアルバムをExcel保存する場合、**傾斜文字が正しく変換されるのはExcel2010以降のバージョン**となります。古いバージョンでは文字の傾斜が正しく変換されませんのでご注意ください。



## 5) 測量ポール作図機能について

工事や測量に使用する赤白ポールを写真上に簡単に描画することが出来ます。長さは2m/3mのいずれかを選択します。



## 6) 赤白帯(距離スケール)の描画機能について

災害査定用写真の全景写真に赤白の距離スケールを描画することが出来ます。

災害写真の距離スケールは元々、災害現場で赤白の幅広巻尺を用いて距離を明示していました。しかし作業の簡素化と危険防止の観点から、今後は実測図が別途ある場合は、現地で赤白の幅広巻尺を用いなくても、撮影後に写真上に距離スケールを描画する方法で全景写真を作成することができます。

下図は「災害査定添付写真の撮り方(平成 26 年改訂版)」(社)全日本建設技術協会発行に掲載されている全景写真に描画されている赤白帯です。本ツールはこの距離スケールを簡単に描画する機能となります。

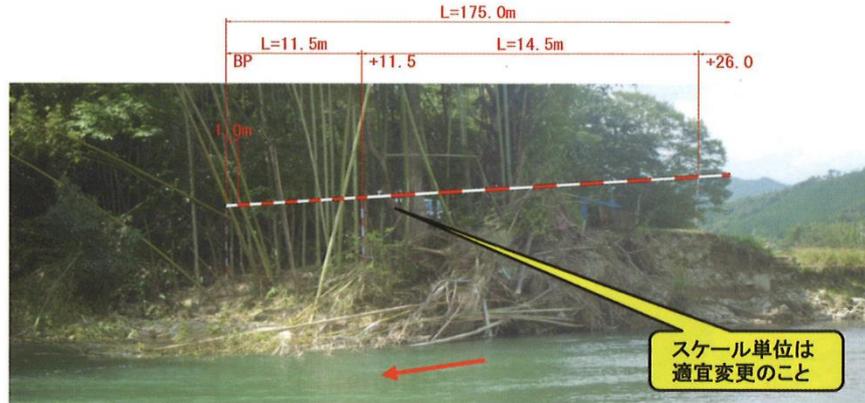


写真-29 河川災 全景写真(延長が大きく組写真とした事例)

①被災延長 L=175.0m (BP ~ +26.0 まで)

### ■赤白帯(距離スケール)の作図手順

赤白帯(距離スケール)の描画

写真上に、距離スケールとなる「赤白帯」を描画します。下記より描画する赤白帯の種類を選択し、「次へ」のボタンを押して描画点をマウスで指示して下さい。

赤白帯の種類

単線

連続線

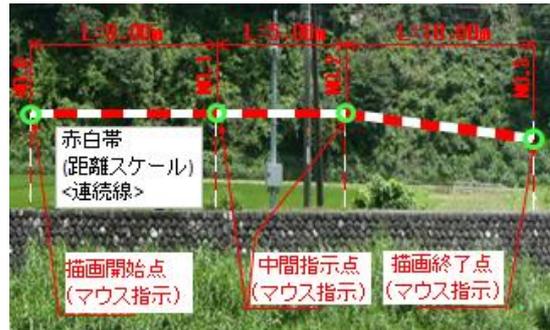
①まず赤白帯の種類を、「単線」と「連続線」から選択します。

②「次へ」ボタンを押した後、「単線」の場合は描画する始点と終点を、「連続線」の場合は描画の始点、中間点、終点をマウスで指示します。「右クリック」にて指示終了。

■単線・・・下図のように、1測線のみ(単線)の距離スケールを描画する場合



■連続線・・・下図のように、3つ以上の測点間に距離スケールを連続して描画する場合(連続線)



■単線の場合

赤白帯(単線)の作図設定

作図設定 位置・サイズ

■距離設定(2点間の実距離を入力)

L = 5.0 (m)

■作図開始条件(始点側)

開始除距離 L0 = 0 (m)

作図開始色 第2色

■作図設定

帯幅 1.5mm

帯色(第1色)

帯色(第2色)

帯間隔 L1= 1.0 (m)

枠線の色

枠線の太さ 0.25p

注) 上記設定は、次回も引き継がれます。

Cancel OK(作図)

④描画点のマウス指示が誌終了すると、この作図設定画面が表示されます。

⑤赤白帯の実距離(測点間距離)をここに入力します。

⑥始点を赤白帯の途中から描画したい場合は、ここに描画しない距離を入力してください。(通常はゼロ)

⑦必要に応じて描画設定を変更して下さい。変更値は次回に反映されます。

⑧OKで作図を開始。

■連続線の場合

赤白帯(連続線)の作図設定

マウスで指示した赤白帯の区間距離(点間距離)を入力し、作ボタンを押して下さい。

■寸法値(区間距離)

測点(i)	点間距離(m)
0	---
1	8.00
2	3.00
3	5.00

■距離合計 = 16m

■作図開始条件(始点側)

開始除距離 L0 = 0 (m)

作図開始色 第2色

■作図設定

帯幅 1.5mm

帯色(第1色)

帯色(第2色)

帯間隔 L1= 1.0 (m)

枠線の色

枠線の太さ 0.25p

注) 上記設定は、次回も引き継がれます。

Cancel OK(作図)

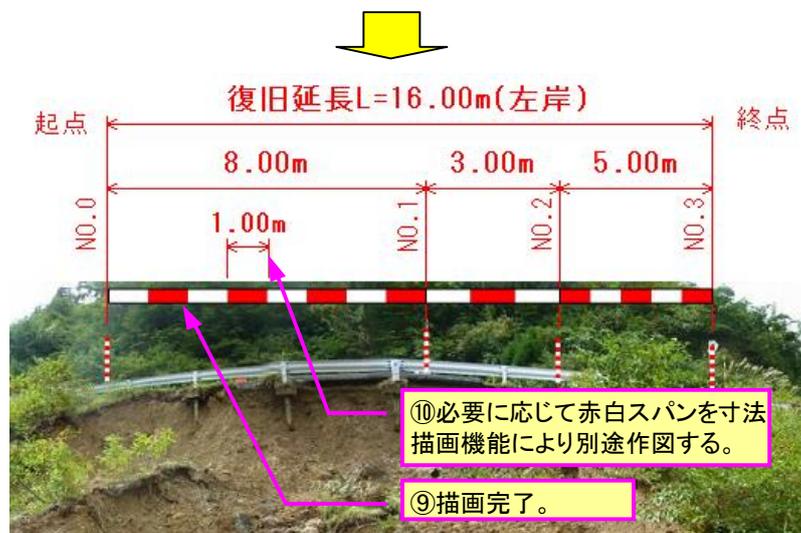
④描画点のマウス指示が誌終了すると、この作図設定画面が表示されます。

⑤赤白帯の実距離(測点間距離)をここに入力します。

⑥始点を赤白帯の途中から描画したい場合は、ここに描画しない距離を入力してください。(通常はゼロ)

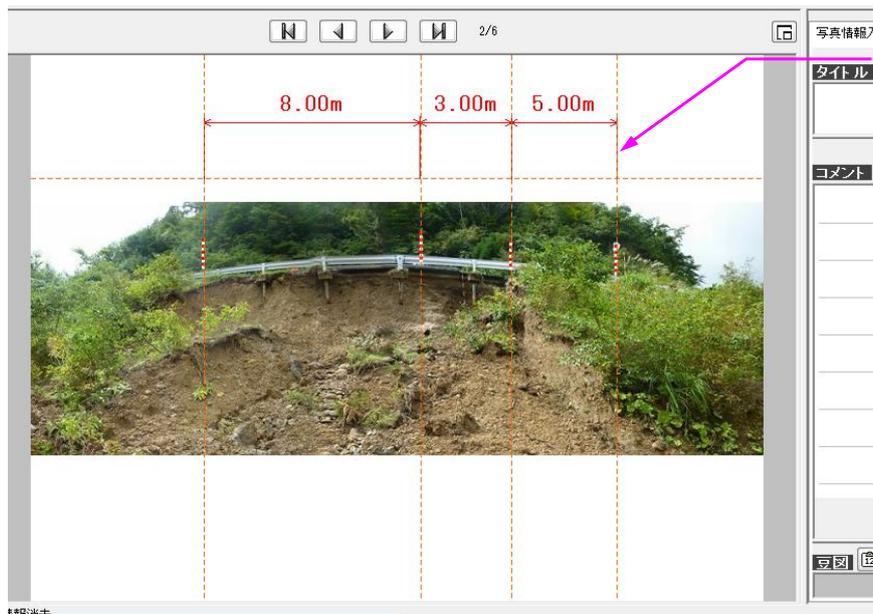
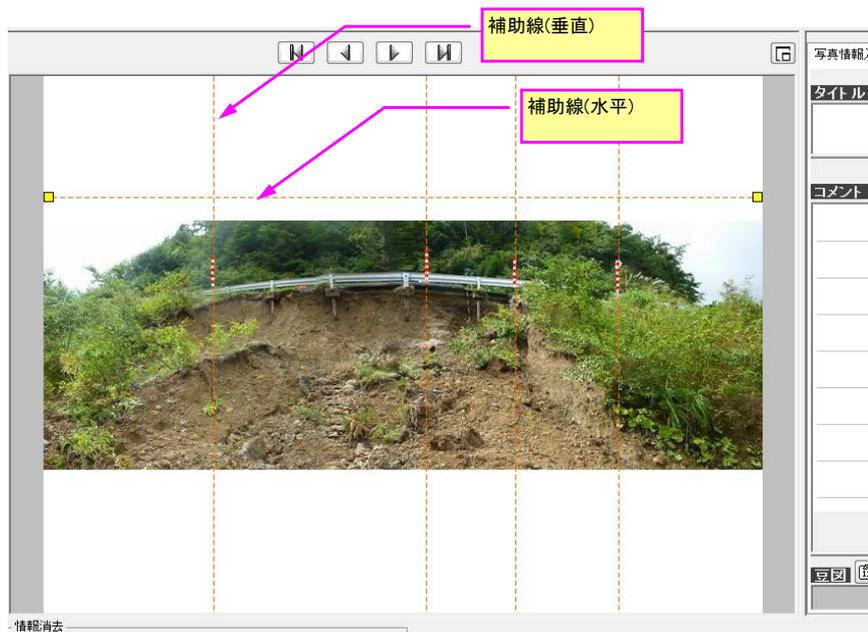
⑦必要に応じて描画設定を変更して下さい。変更値は次回に反映されます。

⑧OKで作図を開始。



## 7) 補助線の描画機能について

寸法や赤白帯などを描画する際の目印として、写真上に補助線(縦、横)を描画することができます。この補助線は、印刷や Excel 保存などの出力対象外となります。



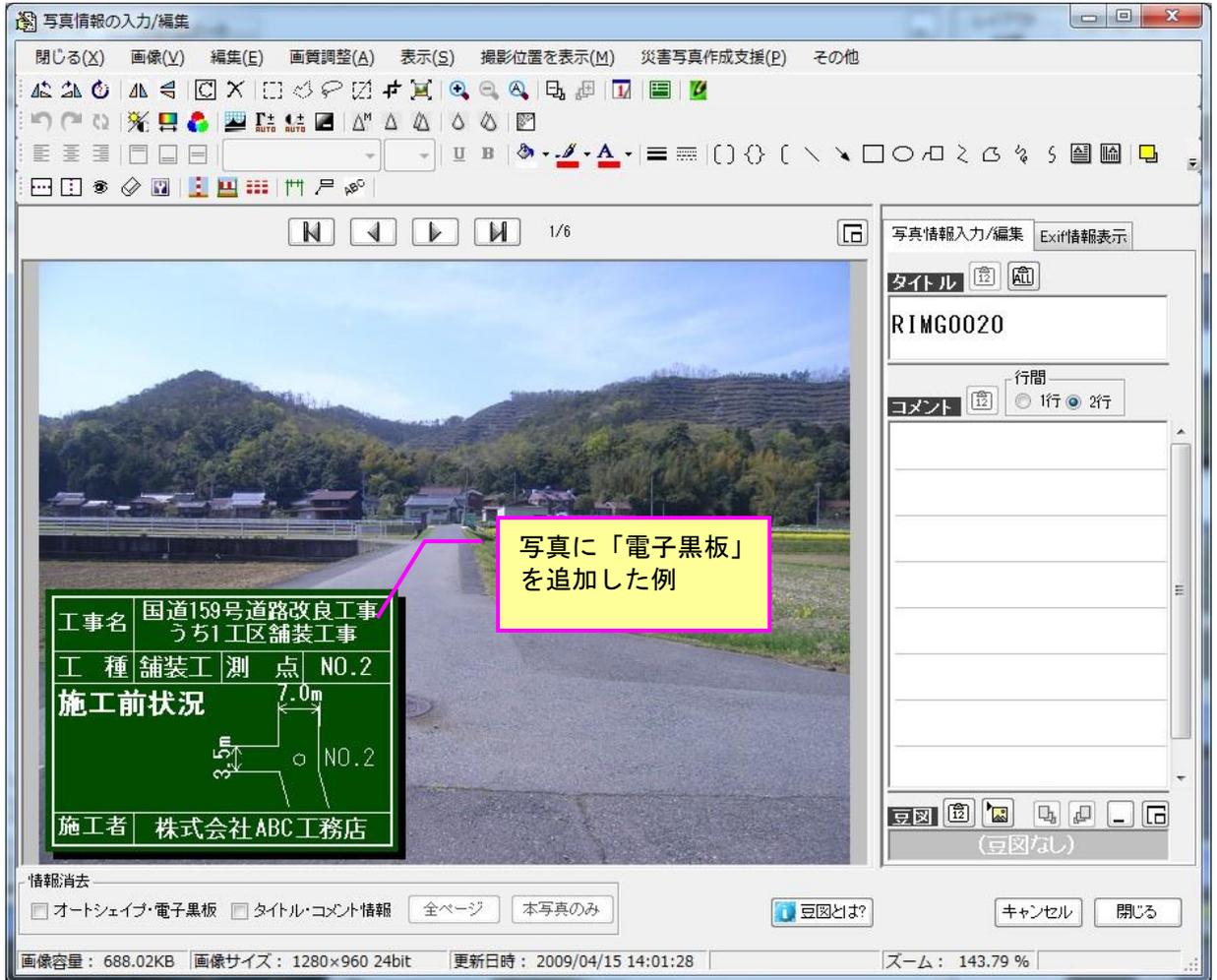
#### 4-4-16. 電子黒板機能(工事用黒板)について

##### 1) 概要

フォトマスターII Pro では、下図のように写真上に「工事用黒板」を「後付け」することが可能です。

建築工事や調査業務などでは、作業内容が書き込まれた黒板とともに、現場の写真を撮影する場面が多いと思います。黒板を「後付け」しても問題ない場合は、本機能を活用することで、簡単かつ効率的に「黒板」を写真上に配置することが出来ます。

また黒板スタイルを一覧表形式に設定することで、調査結果等の一覧表を写真上に貼り付けることも可能です。なおスタイルはユーザー側にてカスタマイズ可能です。



工事名	

W-1

工事名	
工種	

W-2

工事名	
工種	測点
施工者	

W-5

工事名	
工種	工事番号
測点	撮影者

W-6

工事名	
工種	
測点	

W-3

工事名	
工種	測点

W-4

工事名	
工種	測点
撮影月日	
撮影者	
設計寸法	
実測寸法	
施工者	

W-7

工事名	
工種	工事番号
測点	撮影者
位置	撮影月日
設計寸法	
実測寸法	
施工者	

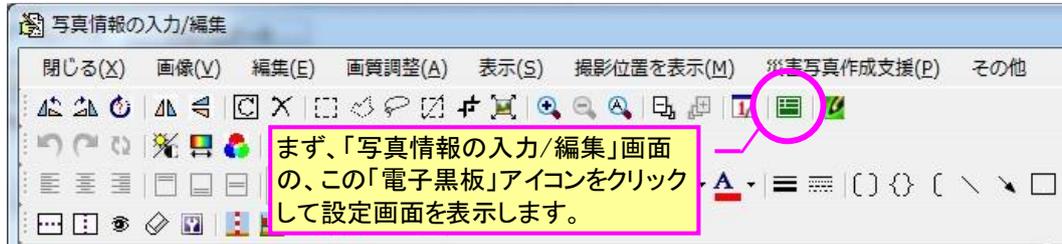
W-8

初期設定の黒板スタイル(全8種類、細部はカスタマイズ可能)

## 2) 使用方法

### ①「電子黒板の設定」画面の表示

「写真情報の入力/編集」画面の「電子黒板」アイコンをクリックして「電子黒板の設定」画面を表示します。



### ②電子黒板の設定方法

「電子黒板の設定」画面が表示されますので、必要に応じて黒板スタイルを変更し、各設定欄に必要な情報を記入した上で最後に「黒板の追加/変更」ボタンを押して黒板を写真上に貼り付けます。また既に追加した黒板の内容を編集する場合もこの画面にて編集し、「黒板の追加/変更」ボタンを押して黒板を更新して下さい。

電子黒板の設定

黒板スタイル W-5

黒板スタイル変更

前写真の黒板複写

黒板の表示サイズと表示位置

タイトル: RIMG0020 (1/6) 黒板削除

黒板状況: 黒板追加済 要更新

黒板表示幅: 50 (mm)

黒板位置: 左下隅 端から 1 (mm)離す

内容欄 入力/編集

項目1	内容1	項目2	内容2
1行目 工事名	国道159号道路改良工事 うち1区舗装工事		
2行目 工種	舗装工	測点	NO.2
3行目			
4行目			
5行目			
6行目			
7行目 施工者	株式会社ABC工務店		

内容全消去

自由記入欄 入力/編集

略図挿入/編集

黒板プレビュー

テキスト入力欄

施工前状況

※テキストのフォント、文字色は「内容1,2」の設定に準拠します。

※移動ボタンにより、写真を切り替えながら、連続的に黒板を追加/編集することができます。

自由記入欄全消去

写真移動...

黒板追加/変更

閉じる

### ③黒板スタイルを変更する方法

フォトマスターIIProでは、8種類の黒板スタイルを登録しています。黒板スタイルを変更したい場合は、下記の黒板スタイル画面を開き、ご希望のスタイル図を選択し「適用」ボタンを押すことで変更することが出来ます。

また、もし8種類の中に希望するスタイルがない場合は、ユーザー側で黒板スタイルを編集してオリジナルの黒板を作ることも可能です。黒板スタイルをカスタマイズするには、画面右上の「スタイル編集」ボタンを押してください。

黒板スタイル

適用する黒板スタイルを選択し、OKボタンを押す

選択中(赤枠)のスタイルの細部設定を変更したい場合は、このボタンを押してください。

このボタンを押すと、現在選択中(赤枠)のスタイルが、次回起動時以降の既定スタイルとなります。

①赤枠は、現在選択されているスタイルを表します。別のスタイルに変更したい場合は、変更したい黒板をマウスで左クリックして選択して下さい。

②「適用」ボタンを押すと、選択しているスタイルが適用されます。

黒板スタイルを保存し、別のユーザー側でその設定ファイルを読み込むことで、スタイルが共有可能です。

スタイル編集

現在の選択スタイルを規定にする

既定に戻す

黒板スタイル(:.sty)

保存

読込

Cancel

適用

W-1

W-2

W-3

W-5

W-6

#### ④黒板スタイル編集(カスタマイズの方法)

黒板は、7つのスタイル部品で組み合わせて作っています。各スタイル部品は全9種類あり、プルダウンメニューから選択する仕組みになっていますので各行毎に設定して下さい。

記号	スタイル部品	説明
A-1		・・・項目なし
A-2		・・・項目1のみ設定可能
A-3		・・・項目1と2の両方設定可能
B-1		・・・項目なし
B-2		・・・項目なし
B-3		・・・項目なし
C-1		・・・項目1のみ設定可能
C-2		・・・項目1のみ設定可能
C-3		・・・項目1のみ設定可能

**黒板スタイル編集**

①スタイル名は自由に付けて下さい。

下記のプルダウンメニューから各行毎に表スタイルを選択し、組み合わせることで、自由に黒板の構成を変えることができます。但し、自由記入欄については必ず上端と下端をペアで使用し、欄が開閉するようにして下さい。

スタイル名: W-5

スタイル設計

スタイル	項目1	項目2	欄幅調整
1行目	工事名		項目1: 0 (%)
2行目	工種	測点	項目2: 0 (%)
3行目			(+)・・・拡大 (-)・・・縮小
4行目			
5行目			
6行目			
7行目	施工者		

②黒板は基本的に7つの行(部品)から構成されています。各行毎に様々な黒板スタイルの部品を組み合わせることで、自由に黒板のレイアウトを変更することができます。但し「自由記入欄」は、欄として閉じる必要があるため、欄上部と欄下部を必ずペアで使用する必要があります。ご注意ください。

③項目欄の幅を拡げたい場合は調整値に+(プラス)の値を設定して下さい。逆に狭くしたい場合は-(マイナス)の値を設定して下さい。

④項目1と項目2のプルダウンメニューに表示する文字列を設定します。最大20語まで登録可能です。

⑤黒板の形状を、横長3種類、縦長1種類から選択可能です。

書式設定

黒板 項目 内容

縦横比: 3:4(標準)

背景色:

枠線色:

線幅(外枠): 1.5pt

線幅(中枠): 0.75pt

影を付ける 右下

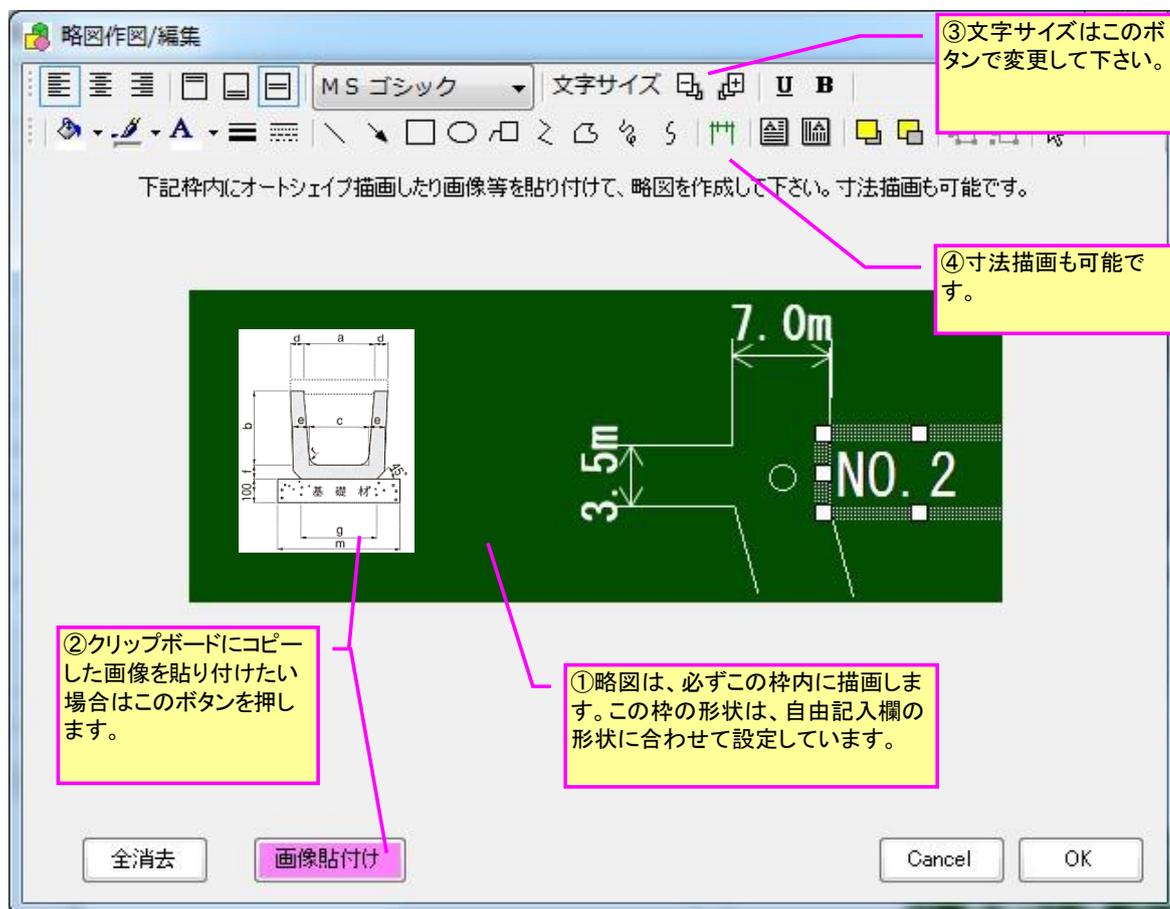
項目リスト

Cancel OK

### ⑤略図の追加/編集

自由記入欄には、オートシェイプを用いて略図の作画も可能です。また他のアプリケーションで作図した画像を貼り付ける場合は、クリップボードにコピーして下記の「画像貼り付け」ボタンを押します。

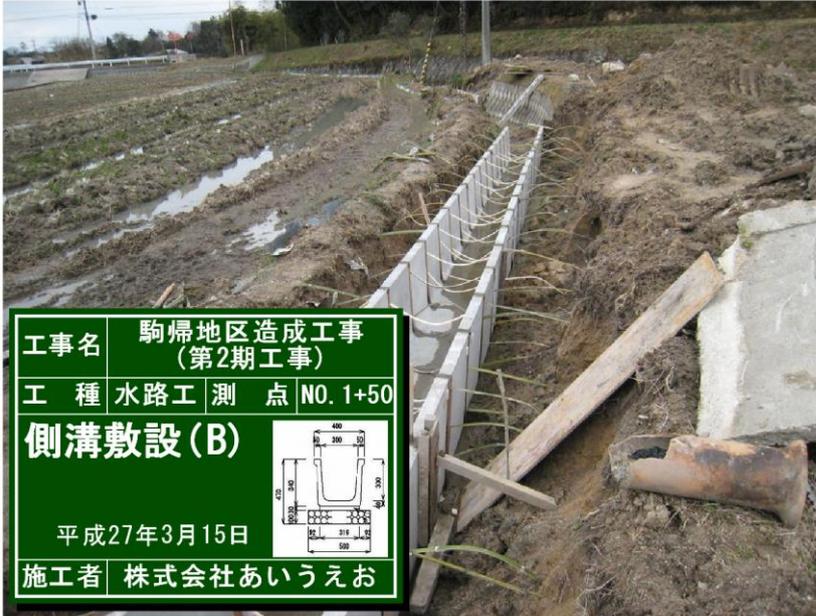
また略図への寸法作画も可能です。



### 3) 電子黒板作成例

次ページは電子黒板の作成例です。

# 電子黒板(工事用黒板)の後付け追加例

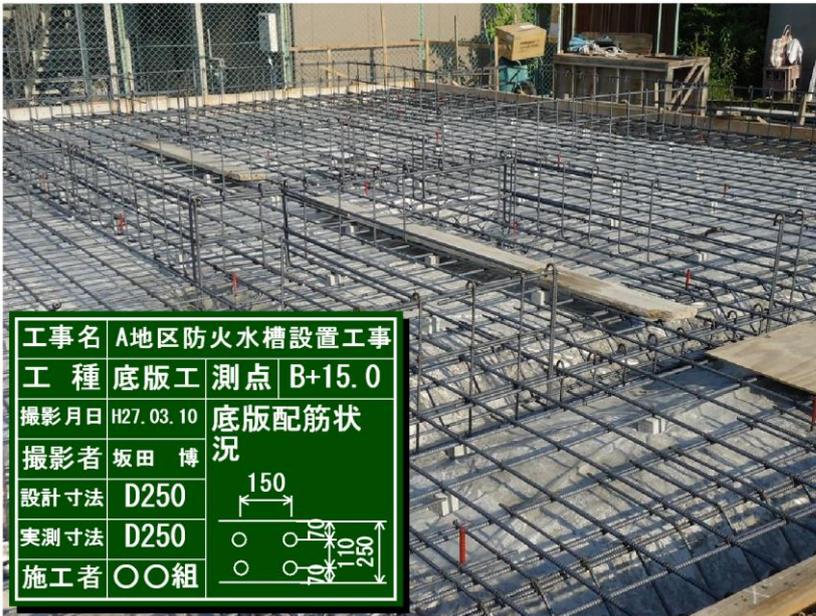


## U型側溝

造成面積 A=12.5ha

U型側溝：U-300-8\*5

L=125.0m-15.3



## 鉄筋工事

貯水槽V=150m3級

GL=125.32m

L=108.12m



## 擁壁工事1

GL=125.9m

L=52.3m

天H=126.8m

## 4-4-17. 付箋/インデックス機能

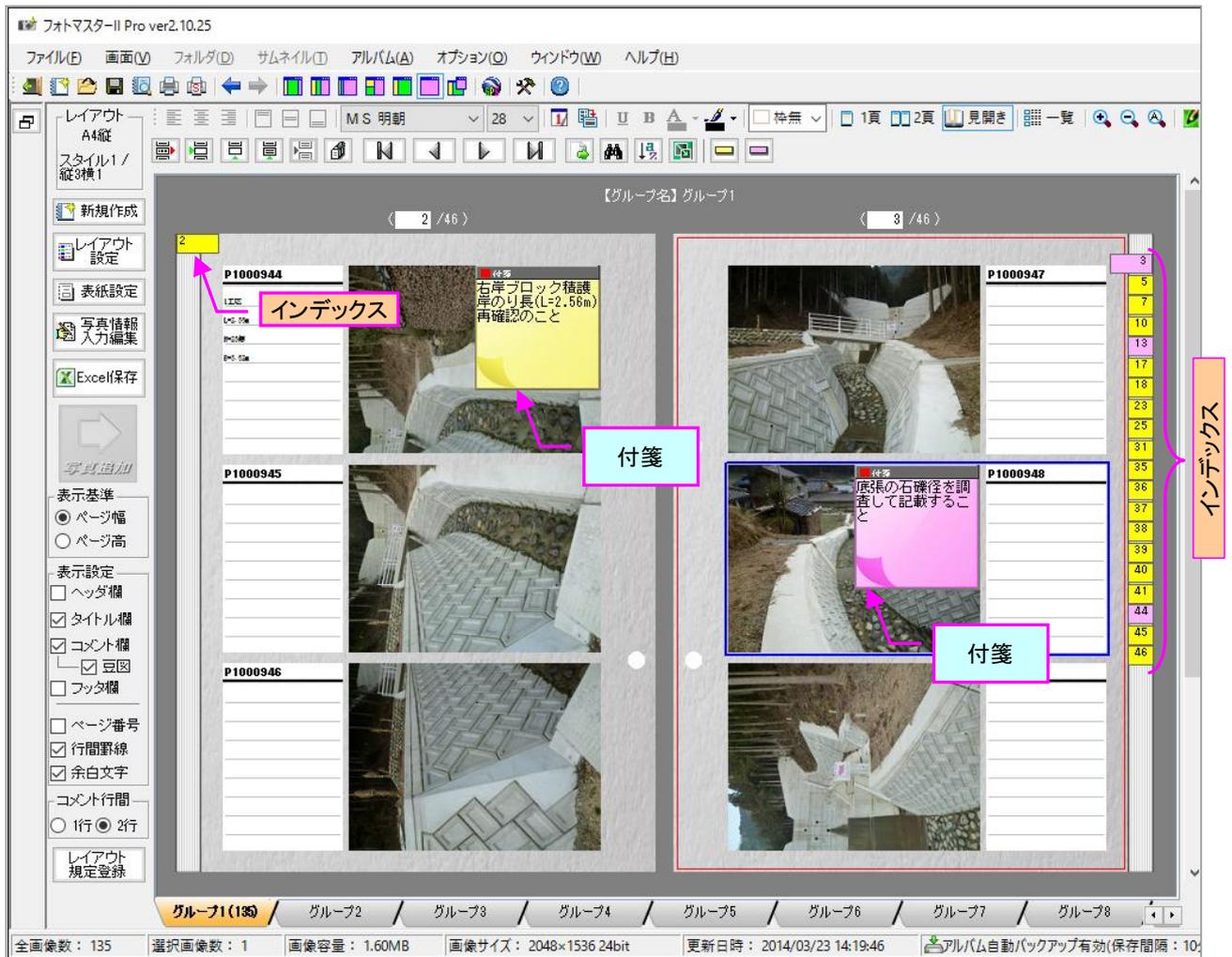
### 1) 概要

ver2.11 より、アルバム写真に「付箋」を貼り付けることが出来るようになりました。

アルバム情報のチェックなどの際に、編集等が必要な写真に付箋を「メモ書き」として貼り付けておくことで、その後の編集作業の効率化やミス防止などに役立つものと思います。

またアルバム写真に付箋を貼り付けると、同時にそのページに「インデックス」が付加されます。付加されたインデックスをクリックすると、どのページからでもその付箋のページに瞬時に移動することができるため、使い方を工夫することで様々な活用方法が考えられる大変便利な機能です。

なお本機能は、アルバム欄を大きく表示できる画面モード6と7のみで使用可能な機能となっています。他の画面モードでは、付箋の追加/編集が出来ませんのでご注意ください(付箋表示のみ可能)。



付箋(インデックス)を写真に追加するには、画面モード6と7のツールバー内の「付箋(インデックス)の追加/編集」ボタンを押します。黄色と赤色から選択します。



付箋を追加する場合は、この付箋(インデックス)の追加/編集ボタンを押します(黄色or赤色)。

## 注)フォトマスターのインデックスの特徴について

通常のインデックスは、ページに対して1つのインデックスが割り当てられますが、フォトマスターのインデックスは通常とは異なりますのでご注意ください。フォトマスターのインデックスは、あくまでアルバム写真に貼り付けられた 1つの「付箋」に対して1つの「インデックス」が割り当てられます。

## 2) 付箋(インデックス)の追加/編集

前頁のツールバー内の「付箋(インデックス)の追加/編集」ボタンを押すと、下図の付箋(インデックス)の追加/編集画面が表示されます。

画面が開きましたら、付箋に表示するメッセージを記入し、付箋(インデックス)の色、サイズ、インデックスに表示する内容を設定します。最後に「OK」ボタンを押すと、付箋が写真上に表示されます。

なお、写真上に貼り付けた付箋(インデックス)の内容を編集するには、付箋をダブルクリックするか、付箋上でショートカットメニューを表示し、メニュー内の「付箋(インデックス)の編集」を選択して下さい。

付箋の追加/編集 (00004P1000944.JPG)

選択写真に「付箋」を貼り付けます。また、付箋を貼り付けたページには目印となる「インデックス」を表示します。インデックスをクリックすると、いつでもそのページを開くことができます。

付箋メッセージ 書式設定

右岸ブロック積護岸のり長(L=2.56m)再確認のこと

付箋に表示するメッセージを書き込みます。

付箋とインデックスの色を2種類から選択します。

付箋のサイズを2段階から選択。「小」サイズでは、付箋上にマウスをかざすとサイズが拡大表示されます。

付箋(インデックス)の色  
 (黄色)  (赤色)

付箋のサイズ  
 標準  小

インデックスのサイズ(共通)  
 標準  大

インデックスの内容(共通)  
 付箋のページ  
 任意文字...

※インデックスの設定は、すべてのインデックスに適用されます。

インデックスのサイズを2段階から選択。設定はすべてのインデックスに反映されます。

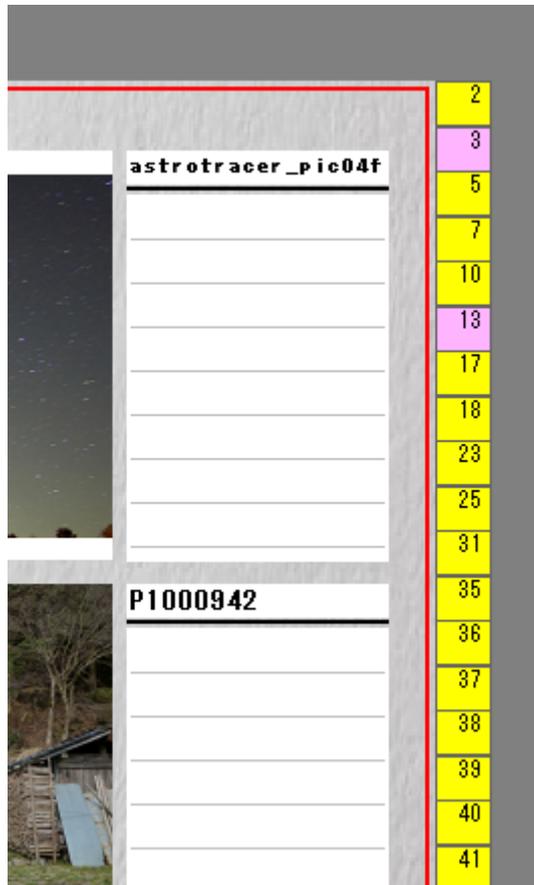
インデックスに表示する内容を選択します。「付箋のページ」を選択すると、付箋が貼り付けられた写真のあるページ(数値)を表示します。一方、「任意文字」を選択すると、入力欄に設定した文字列をインデックスに表示します。

### 3) インデックスの内容について

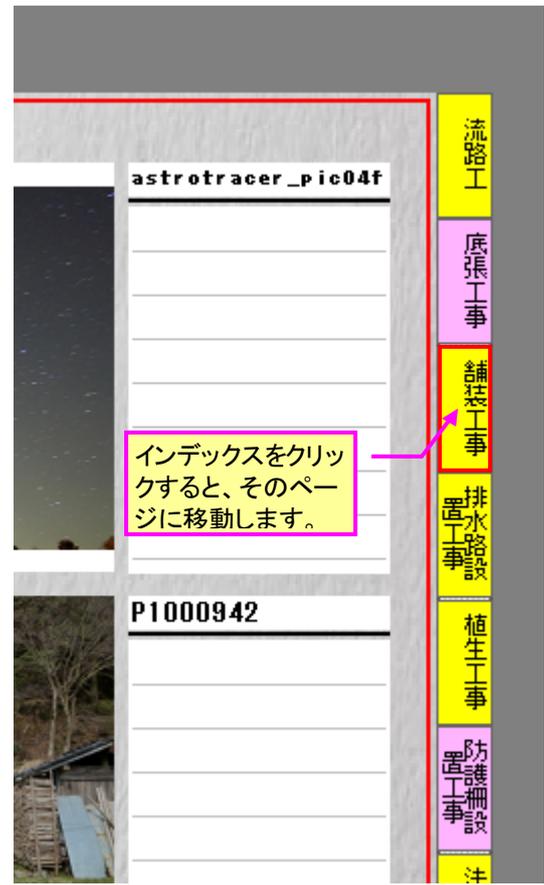
インデックスに表示する内容は、「付箋のページ」もしくは「任意文字」のいずれかから選択できます。

もしアルバム写真がいくつかの異なる種別から構成されている場合は、それぞれのトップの写真に付箋を貼り付け、そのインデックスの任意文字に種別の名称を設定しておくことで、下図(右側)のようにインデックス付きのアルバムを作成することができます。

インデックスをクリックすると、それぞれの種別のトップページを開くことができますので、編集作業等の効率化が図れるものと思います。



付箋のページ



任意文字

## 4-4-18. パノラマ写真の作成機能(2点指示法)

### 1) 概要

フォトマスターII Pro ver.3より、サムネイル欄の複数の写真を1枚の写真に合成する「パノラマ写真作成機能」(簡易機能)を標準装備しました。

フォトマスターでは、写真を自動合成する一般的な方法ではなく、合成する2枚の写真上に照合点(同一点)を2点ずつ手動指示して合成する手法を採用しています(2点指示法)。

この手法は写真を歪めずに合成しますので、画質劣化が殆ど起きないメリットがあります。

### 2) 操作手順

- ① まずサムネイル欄から、合成したい写真を2枚以上選択し、ショートカットメニューから「パノラマ写真の作成」コマンドを実行します。(なお、1度に合成できるのは6枚までです)



- ② 次に下図画面が表示されますので、写真の並びを確認し、「次へ」ボタンを押します。本ツールでは、左から順番に1枚ずつ写真を合成します。写真の並びは、写真を選択してドラッグ移動するか、「並びを左右反転」コマンドにて選択写真すべてを左右反転させてください。



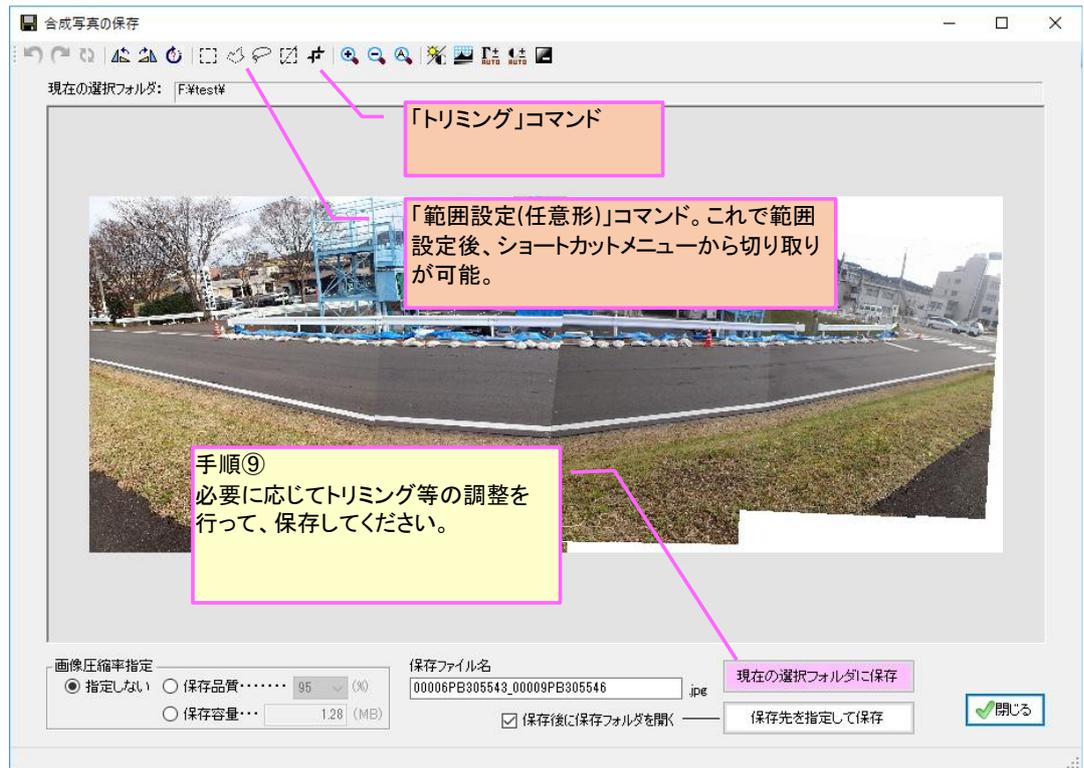
- ③ 下記画面にて写真の合成をおこないます。左右の写真それぞれの同一点(照合点)を **2点ずつ(全4点)マウス指示**して下さい。指示が終わると、2枚の写真は自動的に合成され、右上のプレビュー画面に表示されます。「プレビュー拡大」ボタンを押して合成状況を確認するなどし、問題なければ「次へ」ボタンを押して下さい。



- ④ ③の作業を写真枚数分繰り返して下さい。最後の写真を合成し終わったら、すべての合成作業は完了です。「合成写真保存」ボタンを押して、写真を保存して下さい。



- ⑤ 下記は、合成写真の保存画面です。必要に応じてトリミング等をおこない合成写真を保存してください。



## 4-4-19. 撮影位置の表示機能(簡易版)

### 1) 概要

弊社提供の画像ビューアソフト「Sky-eye」(フリーソフト)の撮影位置表示機能を利用することで、フォトマスターから間接的に、地図上(Google Earth、Google Map)に撮影位置を表示することが可能です(簡易表示)。

従って、フォトマスターⅡpro から撮影位置を表示するためには、予め画像ビューアソフト「Sky-eye」をインストールしておく必要があります。

なお本機能は、あくまで撮影位置を web 地図上に簡易表示する機能です。もし本格的な撮影位置図を作成したい場合は、4-4-20.「撮影位置図の自動作成機能」をご利用ください。

画像ビューアソフト「Sky-eye」(フリーソフト)のダウンロードサイト  
Download→ <http://www.civilworks.jp/freetool/freetool.htm>

注) この簡易表示機能は、外部サービスに依存しているため、外部サービスの内容が変更されたり停止した場合、表示できなくなる可能性があります。何卒ご了承ください。

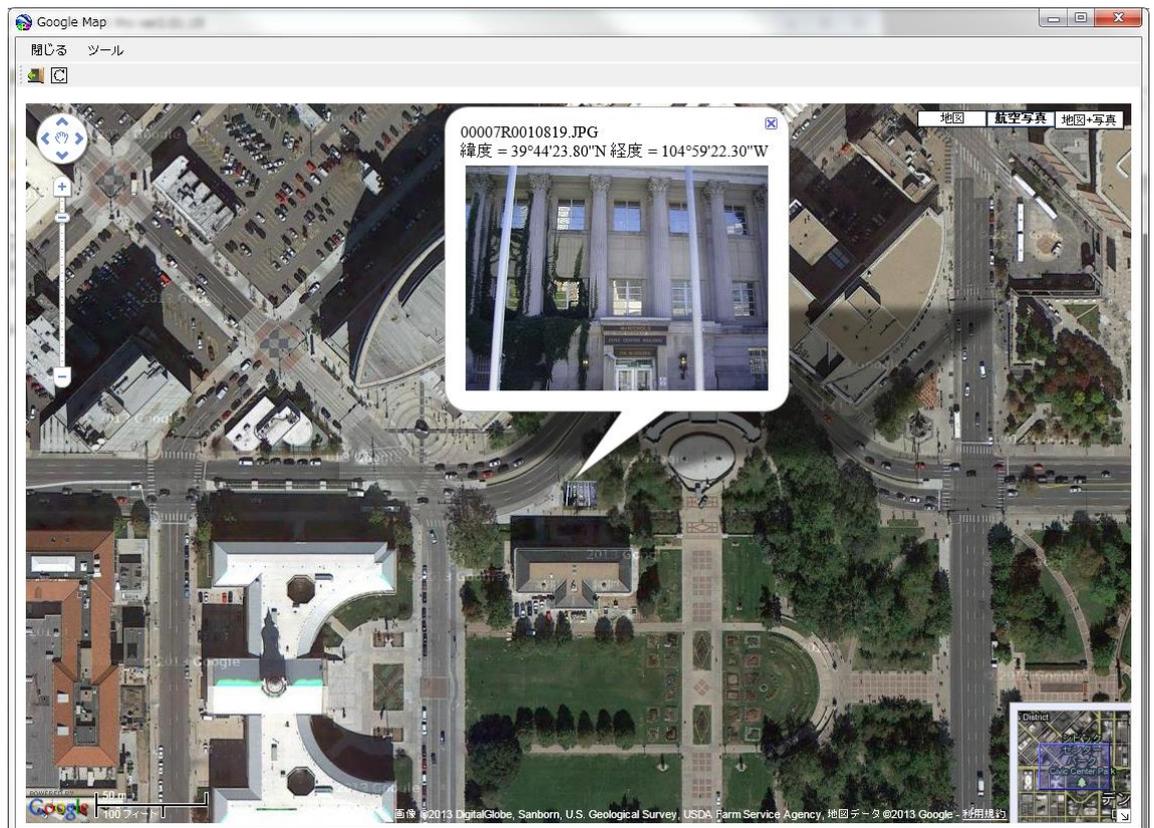
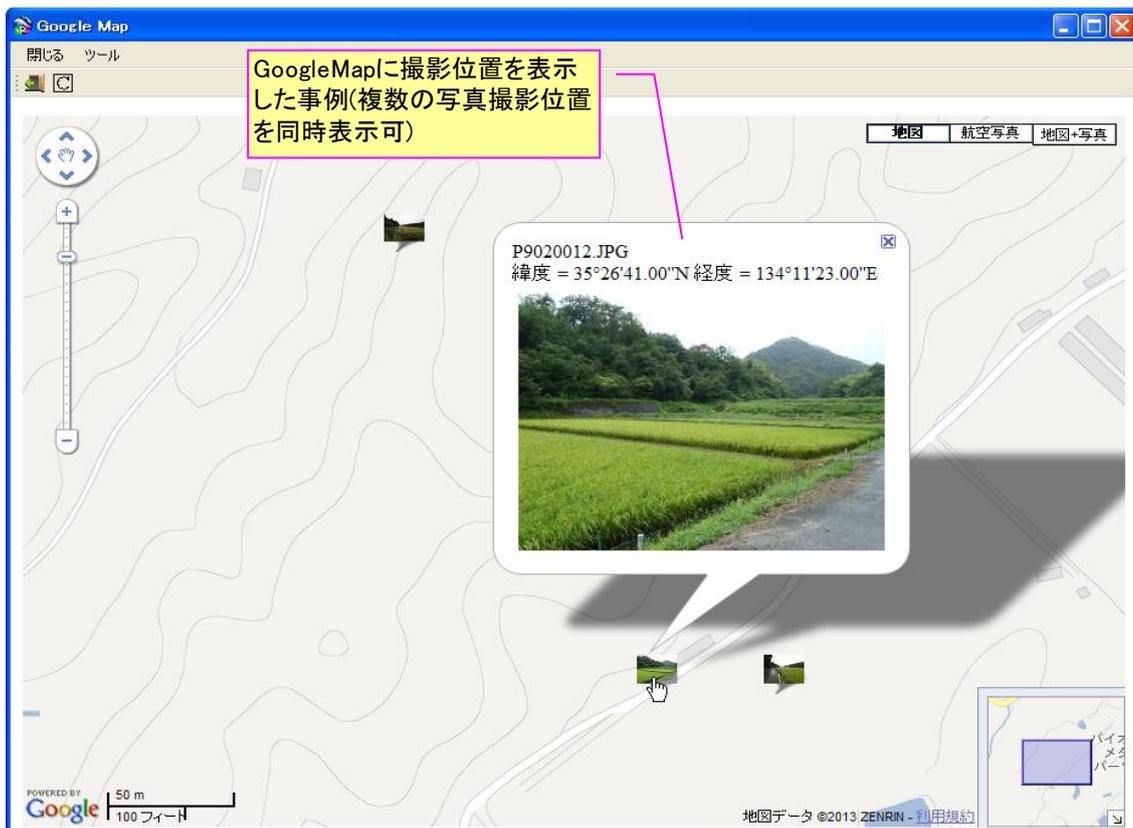


写真 4-3. GPS 情報に基づいて Google Map に撮影位置を表示した例  
(Google Map 等への表示機能は、あくまでフリーソフト「Sky-eye」の機能です)

下図は、国土地理院の電子地図に撮影位置を表示した事例(注：電子地図に同時表示可能な枚数は1枚のみです)。



下図は、Google Map に撮影位置を表示した事例(注：GoogleMap/Earth には、複数の写真撮影位置を同時表示可能です)。



#### 4-4-20. 撮影位置図の自動作成機能(高機能版)

##### 1) 概要

フォトマスターII Pro ver. 3 より、写真の撮影位置情報(GPS 情報)に基づいて、CAD (DXF) 図や地理院地図上に撮影位置マーカー(①)を自動作成して「撮影位置図」を作成することができるようになりました。

本機能により、例えばアルバム写真のタイトル欄等に連番「写真番号(〇〇)」を設定している場合、その写真番号を、撮影位置マーカーの番号として自動作成することが可能です。

本機能を使えば、アルバム写真とその撮影位置図をセットで提供することができるようになります。

但し本機能は、弊社の国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」ver6.00 以降が別途必要となります(有料)。未購入のままでも殆どの機能を体験試用できますので、是非一度お試し下さい。

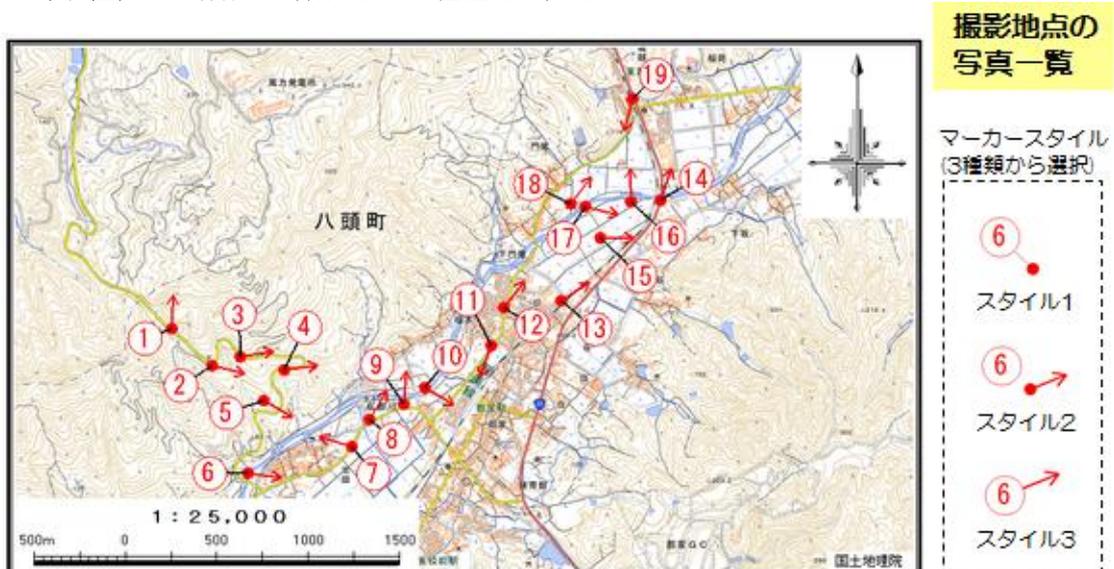
■アルバム欄のサイドメニューの「撮影位置図作成」ボタンから実行



■撮影位置図の作成例(背景地図・・・CAD 図)



■撮影位置図の作成例(背景地図・・・国土地理院地図)



## 2) 作成手順の概要

### a) 共通事項

- ① フォトマスターII Proの「撮影位置図作成」コマンド(前頁参照)を実行すると、下記画面が表示されます。作成する対象写真等を選択し、「次へ」ボタンを押して下さい。

撮影位置図の自動作成

本機能は、アルバム写真のEXIF情報に記録されているGPS(撮影位置)情報を読み取り、CAD(DXF)図面や国土地理院地形図あるいはラスター地図上に撮影マーカー等を表示するものです(下図参照)。

なお、本機能を使用するには、弊社ソフトの国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」(有料ソフト)が別途必要です。但し未購入でも、本画面を進めればMapget Proが自動ダウンロード→自動インストールされ、殆どの機能を体験試用できますので是非お試しください。

背景地図がCAD図の場合    背景地図が国土地理院地図の場合

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

撮影地点の写真一覧

マーカースタイル(3種類)

⑥ スタイル1

⑥ スタイル2

⑥ スタイル3

撮影マーカー

背景地図：(地理院地図、CAD図面等)

撮影位置図の作成例

Mapget Proについて

Mapget Proとは

デモムービー

購入申込

対象写真

サムネイル欄

アルバム欄

グループ1

対象の絞込み

全写真

選択写真

GPS情報のない写真も対象とする

GPS情報付写真枚数

7/7枚

本機能は、GPS写真が1枚以上必要です。

Cancel    次へ

撮影位置図を作成する写真を「サムネイル欄」と「アルバム欄」から選択します。アルバム欄は、グループ指定もしくは全グループから選択して下さい。

対象写真のうち、撮影位置図として作成したい写真を絞ります。なおGPS情報がない写真でも、Mapget Pro側で撮影地点や撮影方向を設定することができます。

本機能を使用するには、GPS情報付き写真が最低1枚以上必要です。

設定が完了したら「次へ」ボタンを押します。

- ② 次に、下記の確認画面が表示されますので、内容確認後、「作成開始」ボタンを押して下さい。すると、Mapget Pro(ver6.0以降)がインストール済の場合は、Mapget Proが起動しますので、以後の作業はすべてMapget Pro側でおこないます。一方、Mapget Pro(ver6.0以降)が未インストールの場合は、最下段のダウンロード画面が表示されます。画面内のボタンを押すとMapget Proが自動ダウンロードされ、インストールが可能となります。インストールが完了すると、自動的にMapget Proが起動しますので、表示される画面の指示に従って操作を進めて下さい(詳細は次ページ以降を参照)。

撮影位置図の自動作成

それでは撮影位置図を作成します。「作成開始」ボタンを押すと、「Mapget Pro」が起動します。(未インストールの場合はインストール画面が表示されます)

Mapget Proが起動すると、背景地図の選択画面が表示されますので、画面の指示に従って作業を進めて下さい。なお、Mapget Pro作業中は、フォトマスターII Proは終了させないでください。(連携できなくなります)

対象写真総数...7枚

うちGPS付写真...7枚

Cancel    作成開始 (Mapget Pro起動)

内容を確認し、「作成開始」ボタンを押して下さい。するとMapget Proが起動しますので、撮影位置図の作成作業を進めて下さい。なおMapget Proが未インストールの場合は、自動ダウンロード→インストールされます。

撮影位置図の作成

本PCには、国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」ver6.0以降がインストールされていません。

撮影位置図を作成するためには、Mapget Proをインストールする必要があります。Mapget Proをダウンロード後、インストールして撮影位置図の作成を続けますか? (※Mapget Proは有料ソフトですが、未購入でも体験試用が可能です)

Mapget Proをダウンロードする(D)

閉じる

Mapget Proが未インストールの場合はこの画面が表示されます。このボタンで弊社HPから自動的にダウンロードを開始します。

Mapget Pro がインストールされますと自動的に起動し、下記の画面が表示されます。

- ③ Mapget Pro が自動起動すると、下記の初期画面が表示されます。「背景地図の選択」から、撮影位置マーキーを作図したい背景地図を、**地理院地図**、**航空写真**、**DXF 図面**、**ラスター地図**の4種類から選択し、「次へ」ボタンを押して下さい。  
(以降はすべて、Mapget Pro の画面となります)

この度は、国土地理院地形図/航空写真取得ソフト「Mapget Pro」をご利用頂き、ありがとうございます。

MapgetProは、国土地理院がweb提供する「地理院地図」等を指定縮尺にて取得し、地図上に情報付加して印刷/Excel保存するソフトです(国土地理院背景図等データ利用許諾番号:2012-017号)  
背景地図には、上記の外にCAD(DXF)図やラスター地図も利用可能です。さらにver6.0より、GPS付写真を読み込み、背景地図上に撮影マーキー等を配置する「撮影位置図作成機能」が追加されました。  
それでは下欄より、ベースとなる背景地図を選択後、「次へ」ボタンを押して作成を開始して下さい。

背景地図の選択 —— (フォトマスター-II Pro連携中)

webより地形図を取得(注1)..... 標準地図

webより航空写真を取得(注2)

CAD図面(DXF)を読み込む

ラスター地図(.jpg.tif.bmp)を読み込む

Mapget Proデータ(.med)を読み込む

写真のGPS情報を読み込んで、地図上に撮影位置①を表示する

撮影位置図作成機能について

ライセンス管理  
 UserName: aa  
 Password: 認証済  
 License Type: デラックス版  
 問合せ先 → <http://www.civilworks.jp/>

注1)国土地理院の [電子国土基本図\(地図情報\)](#) を取得します。  
取得できるのは「標準地図」「淡色地図」「色別標高図」の3種類です。  
 注2)国土地理院の [電子国土基本図\(オルソ画像\)](#) もしくは [国土画像情報\(1974~1990\)](#) を取得します。

開じる 次へ

■背景地図の種類(下記4種類から選択可能)

- web より地形図を取得……国土地理院の[電子国土基本図\(地図情報\)](#)を取得。淡色地図、標準地図、色別標高図の3種類から選択
- web より航空写真を取得……国土地理院の[電子国土基本図\(オルソ画像\)](#)
- CAD 図面……DXF 図面
- ラスター地図……スキャナ等により画像化した地図。BMP、Tiff、Tif、JPG、PNG

電子国土基本図(地図情報)・・・[http://www.gsi.go.jp/kibanjoho/mapinfo\\_what.html](http://www.gsi.go.jp/kibanjoho/mapinfo_what.html)

電子国土基本図(オルソ画像)・・・<http://www.gsi.go.jp/gazochosa/gazochosa40001.html>

b) 背景地図が「web より地形図を取得」もしくは「web より航空写真を取得」の場合

- ④ 前ページの初期画面の「次へ」ボタンを押すと下記画面が表示されますので、撮影位置マーカのスタイルを設定します。写真フォルダの設定は不要です。なお、撮影マーカのスタイル等は、撮影位置図を作成した後でも変更可能です。

- ⑤ 次は、web から背景地図を取得します。国土地理院の背景地図利用に関する利用規約に「同意」していただき「次へ」ボタンを押して下さい。

- ⑥ 次は、地図の取得条件を指定します。地図上のオレンジ色の丸印が撮影地点を表していますので、それを目印に地図をドラッグ移動し取得範囲を調整して下さい。最後に「取得開始」ボタンを押すと、webにアクセスして背景地図の取得が開始されます。条件によって異なりますが、数十秒から数分(2、3分程度)の時間を要しますのでしばらくお待ちください。

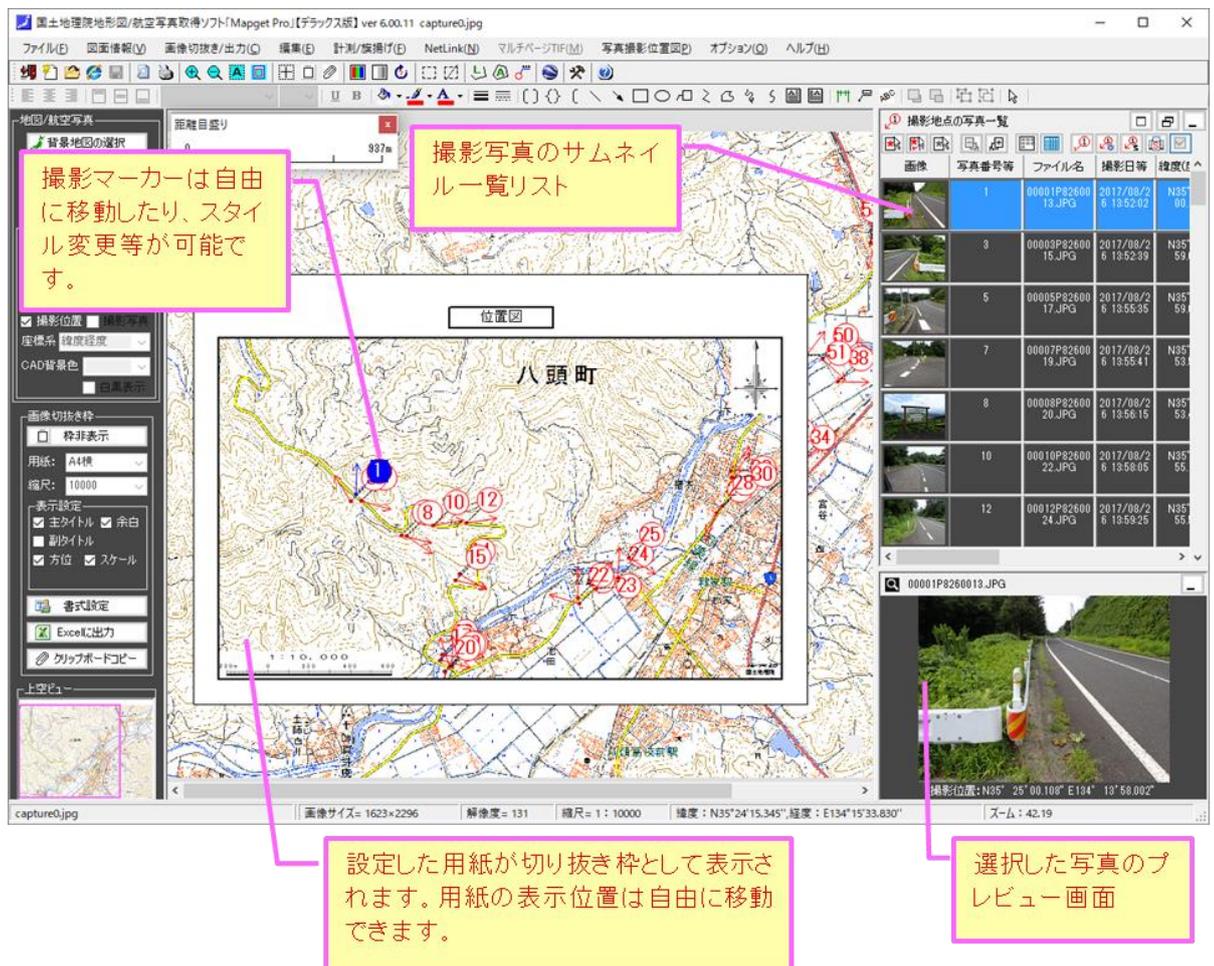
- ⑦ 背景地図が取得されると、次に下図の写真位置マーカ-の情報一覧が表示されますので、必要に応じて表示内容等を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。なお撮影マーカ-の写真番号には、フォトマスター側のタイトル欄の連番が既定値として設定されます。但し、「ファイル名」「ファイル名の一部」「連番」「タイトル欄の情報」のいずれかを写真番号として表示することも可能ですので、必要に応じて変更して下さい。

表示	ファイル名	撮影位置:緯度(N)	撮影位置:経度(E)	撮影方向(度)	撮影日時	表示域内	写真番号(文字)
<input type="checkbox"/>	P8260044.JPG	35° 25' 04.998"	134° 15' 23.298"	55.00	2017/08/26 14:28:41	×	32
<input type="checkbox"/>	P8260045.JPG	35° 25' 04.770"	134° 15' 23.496"	55.00	2017/08/26 14:23:51	×	33
<input type="checkbox"/>	P8260046.JPG	35° 25' 05.424"	134° 15' 23.328"	330.00	2017/08/26 14:24:03	×	34
<input type="checkbox"/>	P8260047.JPG	35° 25' 05.000"	134° 15' 23.000"	326.00	2017/08/26 14:28:49	×	35
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260048.JPG	35° 25' 22.728"	134° 15' 44.082"	324.00	2017/08/26 14:29:17	○	36
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260049.JPG	35° 25' 21.000"	134° 15' 44.000"	74.00	2017/08/26 14:33:38	○	37
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260050.JPG	35° 25' 17.988"	134° 15' 30.648"	91.00	2017/08/26 14:36:56	○	38
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260051.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"	358.00	2017/08/26 14:40:18	○	39
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260052.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"			○	40
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260053.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.622"			○	41
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260054.JPG	35° 25' 22.584"	134° 15' 39.768"			○	42
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260055.JPG	35° 25' 22.476"	134° 15' 39.318"	69.00	2017/08/26 14:42:31	○	43
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260056.JPG	35° 25' 22.554"	134° 15' 39.300"	76.00	2017/08/26 14:42:34	○	44
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260057.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.222"	358.00	2017/08/26 14:43:50	○	45
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260058.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	53.00	2017/08/26 14:43:53	○	46
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260059.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	35.00	2017/08/26 14:43:56	○	47
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260060.JPG	35° 25' 22.368"	134° 15' 39.318"	326.00	2017/08/26 14:46:09	○	48
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260061.JPG	35° 25' 22.000"	134° 15' 39.000"	303.00	2017/08/26 14:48:24	○	49
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260065.JPG	35° 25' 40.000"	134° 15' 37.000"	57.00	2017/08/26 14:52:48	○	53

- ⑧ 最後に、設定データ等を登録する画面が表示されます。必要に応じて登録(保存)して下さい。なおデータ保存は、後からでも可能です。「OK」ボタンを押すと、設定はすべて完了です。



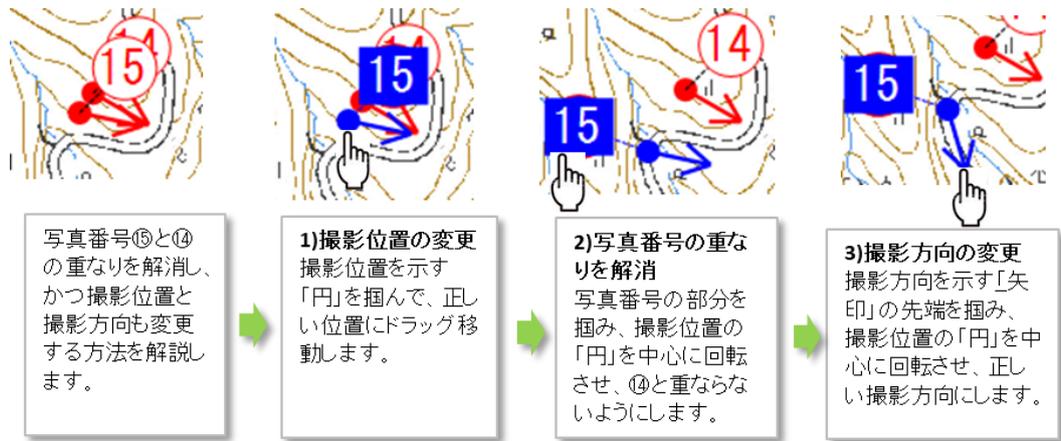
- ⑨ 設定がすべて完了し、Mapget Pro の主画面に撮影位置図等が表示されます。詳しい操作については、Mapget Pro のマニュアルをご覧ください。



- ⑩ 撮影マーカーの位置等の変更について

これまでご説明した方法により、簡単に撮影位置図を作成することができます。しかし、現在の GPS データには、残念ながら数メートル～十数メートル程度以上の誤差があるため、正確な撮影位置図にするためには、どうしても撮影マーカの位置編集が必要となります。

Mapget Pro では、この撮影マーカの位置編集がとても簡単にできることが特長です。

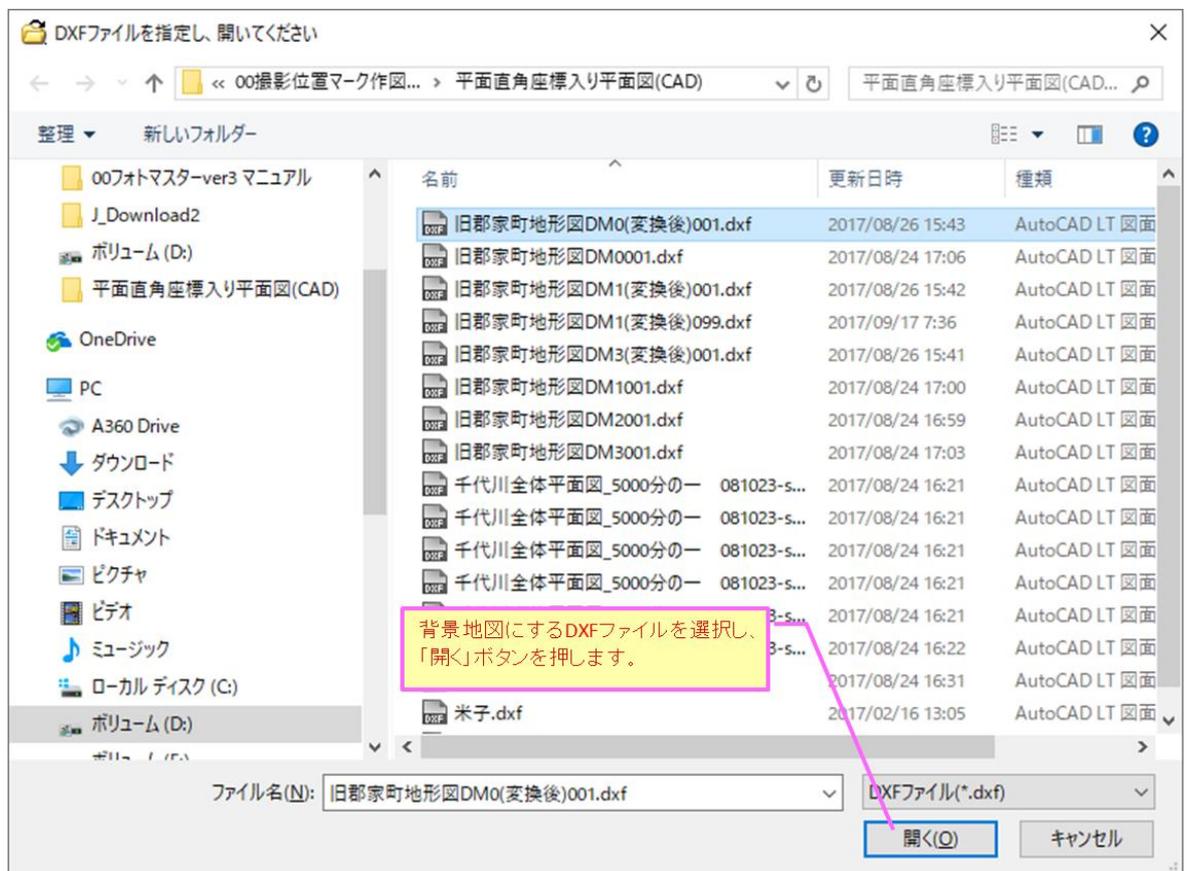


撮影位置マーカの表示位置等の変更方法

注) web から取得した地図では、地図が A3 程度以下と小さいため、地図上に写真一覧を貼り付けることはできません。CAD 図やラスター地図でのみ可能です。

### c) 背景地図が CAD 図(DXF)の場合 前項③からの続きです

④ 続いて、下記画面が表示されますので、背景地図として使用する DXF ファイルを選択し、「開く」ボタンを押します。なお、読み込む DXF ファイルは、図面内に平面直角座標系の座標値が判明している点が 1 点以上必要です(図面の座標系を、緯度経度に変換する必要があるため)。



- ⑤ DXF ファイルを読み込むと、下記の「図面情報設定」画面が開きます。DXF 地図の縮尺をリストから選択し、「次へ」ボタンを押します。なお、もしリストに該当する縮尺がない場合は「指定縮尺」を選択し、縮尺の母数を入力欄に直接入力して下さい。

図面情報設定
×

図面について、以下の情報を設定して下さい。

縮尺

S=1:

注)図面の縮尺をリストから選択して下さい。リストにない場合は「指定縮尺」を選択し直接設定して下さい。

解像度

直接指定 (解像度を直接入力)

間接指定 (画像上の2点と点間距離から、解像度を間接的に求める)

解像度:  (dpi)

プレビュー



種別 : CAD図面(DXF)

ファイル名 : 旧郡家町地形図DM0(変換後)001.dxf

サイズ : 2107948×1537835(mm) 27.27MB

解像度 : ---

更新日時 : 2017/08/26 15:43:31

閉じる
次へ

CAD図の縮尺をリストから選択し、「次へ」ボタンを押します。

縮尺

S=1:  指定縮尺:

注)図面の縮尺をリストから選択して下さい。リストにない場合は「指定縮尺」を選択し直接設定して下さい。

リスト以外の縮尺を設定したい場合は、「指定縮尺」を選択して直接、母数を入力。

- ⑥ 次に「座標系の設定」画面が開きますので、座標系を設定します。DXF 図は web 地図とは異なり、単に読込んだだけでは緯度経度と関連付けができません。そこで DXF 図面内の 1 点 (& 方位指定) もしくは 2 点の平面直角座標の値を読み取り、緯度経度の座標系に変換します。(予め DXF 図内に 1 点もしくは 2 点の平面直角座標の既知点 (座標値がわかっている点) を用意しておいてください。)

座標系の設定
×

■ 図面に座標系(緯度経度含む)を設定してください。

通常は座標系の設定は必須ではありませんが、撮影位置図作成時や、NetLinkを使用する場合は座標系を設定して下さい。

座標系の設定

設定(変更)しない

設定(変更)する

緯度経度の設定方法

1点指示と方位

2点指示

座標系の設定/変更

CAD図上の1点をマウス指示し、その平面直角座標(X,Y)を入力して下さい。また北の方向とCAD図が該当する系番号と測地系を設定して下さい。

CAD図上の2点指示

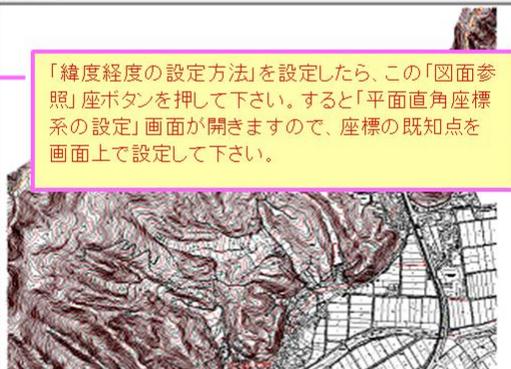
1点目	2点目	
X1= <input type="text"/>	X2= <input type="text"/>	<input type="button" value="図面参照"/>
Y1= <input type="text"/>	Y2= <input type="text"/>	

上記2点の平面直角座標値

1点目	2点目	
X1= <input type="text"/> (m)	X2= <input type="text"/> (m)	
Y1= <input type="text"/> (m)	Y2= <input type="text"/> (m)	

測地系:  系番号:

プレビュー



種別 : ---

ファイル名 : 旧郡家町地形図DM0(変換後)001.dxf

サイズ : 843×615(mm) 27.27MB

解像度 : ---

更新日時 : 2017/08/26 15:43:31

座標系の設定誤差:

操作説明
clear
地図上で位置確認

測地系とは
戻る
次へ

座標の設定が必須です。設定方法を、1点指示もしくは2点指示のどちらかから選択して下さい。

「緯度経度の設定方法」を設定したら、この「図面参照」座ボタンを押して下さい。すると「平面直角座標系の設定」画面が開きますので、座標の既知点を画面上で設定して下さい。

それでは、「座標系の設定」画面において、「2点指示」によって座標系を設定する方法をご説明します。まず、「座標系の設定」画面内の「図面参照」ボタンを押します。すると、下記の「平面直角座標系の設定」画面が開きます。

### ■ 1点目の指示

平面直角座標系の設定

①このように、DXF図内に予め平面直角座標の値とその位置を明記しておく、設定が容易となります。画面を拡大し、この点(1点目)をマウスクリックします。

②1点目をマウスクリックすると、その座標値(画面上の座標)がここに表示されます。

③1点目の平面直角座標値をここに直接入力します。

X=-64117.7400  
Y=-7338.2300

この操作説明に従って下さい。

操作指示 → 「次に、2点目をマウス指示して下さい。」 ※「ESC」キーで再設定

X= 913474 Y= 40663.746 表示倍率: 316%

### ■ 2点目の指示

平面直角座標系の設定

④2点目を指示(マウスクリック)します。

X=-63148.3100  
Y=-6342.2500

⑤2点目の平面直角座標値をここに直接入力します。

⑥最後に「OK」ボタンを押します。

操作指示 → マウス指示完了。最後に、指示点の平面直角座標を直接入力し、「OK」を押す ※「ESC」キーで再設定

X= 1909982.75 Y= 1008619.312 表示倍率: 316%

座標系を設定すると、下図のように座標値がすべて埋まります。座標系の設定誤差が十分小さいことを確認し、もし大きかった場合は再設定して下さい(「1点指示」の場合は誤差は表示されません)。

次に、「測地系」と「系番号」を設定して下さい。「測地系」は、通常「世界測地系」が良いと思います。「系番号」は必ず設定確認して下さい。系番号がわからない場合は、「都道府県から選択」ボタン押し、地図が位置する都道府県を選択することで、間接的に設定可能です。

**座標系の設定**

■図面に座標系(緯度経度含む)を設定してください。  
通常は座標系の設定は必須ではありませんが、撮影位置図作成時や、NetLinkを使用する場合は座標系を設定して下さい。

座標系の設定

設定(変更)しない

設定(変更)する

緯度経度の設定方法

1点指示と方位

2点指示

座標系の設定/変更

CAD図上の1点をマウス指示し、その平面直角座標(X,Y)を入力して下さい。また北の方向とCAD図が該当する系番号と測地系を設定して下さい。

CAD図上の2点指示

1点目		2点目	
X1=	913.4740	X2=	1909.9828
Y1=	40.6637	Y2=	1009.2808

[図面参照](#)

上記2点の平面直角座標値

1点目		2点目	
X1=	-64117.7400 (m)	X2=	-63148.2200 (m)
Y1=	-7338.2300 (m)	Y2=	-6372.2500 (m)

測地系: 世界測地系    系番号: 5    都道府県から選択

座標系の設定誤差: 0.01301% (1kmで0.13007mの誤差)

操作説明   clear   地図上で位置確認
測地系とは   戻る   次へ

プレビュー

系番号を必ず設定して下さい。判らない場合は「都道府県から選択」ボタンを押して間接設定して下さい。

誤差が大きい場合は再設定して下さい。

図面の系番号については、下記の方法で間接的に設定できます。

**系番号の設定**

■CAD図面の場所(都道府県)を下記より選択し、表示された系番号を設定して下さい。

図面の場所(都道府県): 北海道    系番号: 11, 12, 13 (複数)    11

系番号の選択:(複数の場合のみ選択可能)

【1次選択】  
DXF地図の場所の都道府県をリストから選択して下さい。

上記の系番号を設定

【2次選択】  
都道府県を設定後、もし系番号のリストが複数ある場合は、「系番号資料」の設定を「系番号一覧」に変え、リストからDXF地図がどの系番号に該当するかを決定して下さい。

系番号資料

系番号位置図

系番号一覧表

1次、2次選択に基づいて、最終的にDXF地図が該当する系番号をこのリストから選択し、「上記の系番号を設定」ボタンを押して下さい。その系番号が設定されます。

閉じる

- ⑦ 「座標系の設定」で設定した場所が地図に表示されます。場所が正しいことを確認し、「次へ」ボタンを押して下さい。もし場所が異なる場合は「戻る」ボタンを押し、再設定して下さい。

地図上で位置確認

下図は、設定した座標系の場所を表しています。場所が異なる場合は設定に誤りがありますので、「戻る」を押して再設定して下さい。問題ない場合は「次へ」を押して下さい。

地図上で確認する地点… 1点目

平面直角座標  
X=-64117.7400 糸番号: 5  
Y=-7338.2300 世界測地系

緯度経度  
緯度: 35.422037  
経度: 134.252523

変換 →

十字交点の経度: 134.252523 度 緯度: 35.422037 度

「座標系の設定」画面で設定した「1点目」「2点目」の位置が、地理院地図上に表示されます。

DXF地図と同じ場所である場合は、設定が正しいことを示しますので「次へ」ボタンを押して下さい。一方、場所が違ったり、ブルースクリーン(地図なし)の場合は設定に誤りがありますので、「戻る」ボタンを押して、再設定して下さい。

戻る 次へ

- ⑧ 次に、下記画面が表示されますので、撮影位置のマーカースタイルを設定し「次へ」ボタンを押して下さい。写真フォルダは自動設定されますので、設定不要です。

写真フォルダおよび撮影位置マーカーの設定

背景地図の取得/読込の前に、まず撮影位置を表示する写真を読込みます。  
撮影位置図を作成する写真が保存されているフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押して下さい。  
なお、弊社のフォトマスターII Proのアルバムデータフォルダを指定すると、タイトル欄の文字や写真番号に基づいて撮影位置図を作成することができます。

「写真フォルダの指定」はフォトマスター側で自動設定されますので、設定不要です。

■ 写真フォルダの指定 (フォトマスターII Pro連携中につき設定不要)

読込対象…  GPS情報付き写真のみ  
 フォルダ内の全写真

D:\GPS写真(浜城)\* 参照

■ 撮影位置マーカースタイル(撮影地点に表示するマーカースタイルを選択)

スタイル変更  
文字高: 9.0(mm)  
丸径: 12.0(mm)

スタイル1  スタイル2  スタイル3

背景地図上に表示する撮影マーカーのスタイルを3種類から選択します。(色や線種等を変更したい場合は、「スタイル変更」ボタンを押して設定して下さい)

GPS

撮影位置図作成例

凡例  
● …撮影地点  
← …撮影方向  
⑤ …写真番号(丸囲可能)  
(スタイル3では丸囲中心が撮影地点となります)

戻る 次へ

- ⑨ 次に下図の写真位置マーカーの情報一覧が表示されますので、必要に応じて表示内容等を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。なお撮影マーカーの写真番号には、フォトマスター側のタイトル欄に連番が設定されている場合は、連番が既定設定されます。但し、「ファイル名」「ファイル名の一部」「連番」「タイトル欄の情報」のいずれかを写真番号として表示することも可能ですので、必要に応じて変更して下さい。

撮影位置マーカー情報一覧

下表は、写真フォルダ内の写真とその撮影位置情報です。表示チェック有の写真のみ撮影マーカーを作図します。それでは設定内容を確認/変更のうえ、「次へ」ボタンを押して下さい。

全選択
  全解除
  昇順
  降順
 ソート: ファイル名
 昇順
  表示域外の写真は選択しない
  表示域外の写真にも写真番号を付ける(連番)
 全情報リセット
 単位:  度分秒  度

表示	ファイル名	撮影位置: 緯度(N)	撮影位置: 経度(E)	撮影方向(度)	撮影日時	表示域内	写真番号(文字)
<input type="checkbox"/>	P8260044.JPG	35° 25' 04.998"	134° 15' 23.298"	55.00	2017/08/26 14:23:41	×	32
<input type="checkbox"/>	P8260045.JPG	35° 25' 04.770"	134° 15' 23.498"	55.00	2017/08/26 14:23:51	×	33
<input type="checkbox"/>	P8260046.JPG	35° 25' 05.424"	134° 15' 23.328"	330.00	2017/08/26 14:24:03	×	34
<input type="checkbox"/>	P8260047.JPG	35° 25' 05.000"	134° 15' 23.000"	326.00	2017/08/26 14:28:49	×	35
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260048.JPG	35° 25' 22.728"	134° 15' 44.082"	324.00	2017/08/26 14:29:17	○	36
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260049.JPG	35° 25' 21.000"	134° 15' 44.000"	74.00	2017/08/26 14:33:38	○	37
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260050.JPG	35° 25' 17.988"	134° 15' 30.648"	91.00	2017/08/26 14:36:56	○	38
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260051.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"	359.00	2017/08/26 14:40:18	○	39
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260052.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.562"			○	40
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260053.JPG	35° 25' 22.440"	134° 15' 41.622"			○	41
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260054.JPG	35° 25' 22.584"	134° 15' 39.768"			○	42
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260055.JPG	35° 25' 22.476"	134° 15' 39.318"	69.00	2017/08/26 14:42:31	○	43
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260056.JPG	35° 25' 22.554"	134° 15' 39.300"	76.00	2017/08/26 14:42:34	○	44
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260057.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.222"	359.00	2017/08/26 14:43:50	○	45
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260058.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	53.00	2017/08/26 14:43:53	○	46
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260059.JPG	35° 25' 22.524"	134° 15' 39.090"	35.00	2017/08/26 14:43:56	○	47
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260060.JPG	35° 25' 22.368"	134° 15' 39.318"	326.00	2017/08/26 14:46:09	○	48
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260061.JPG	35° 25' 22.000"	134° 15' 39.000"	303.00	2017/08/26 14:48:24	○	49
<input checked="" type="checkbox"/>						○	50
<input checked="" type="checkbox"/>						○	51
<input checked="" type="checkbox"/>						○	52
<input checked="" type="checkbox"/>	P8260065.JPG	35° 25' 40.000"	134° 15' 37.000"	57.00	2017/08/26 14:52:48	○	53

写真情報編集: ファイル名: P8260013.JPG  
 緯度: 35.4166967 (度) 図面参照  
 経度: 134.2327783 (度)  
 撮影方向: 2.00 (度)  
 写真番号(文字): 1

写真番号として表示する内容:  自動設定する  
 連番... 初期番号: 1  
 ファイル名  
 ファイル名のうち 末尾 から 3 文字のみ  
 タイトル欄(フォトマスター)...  数値のみ

撮影マーカー-近接作図回避:  他のマーカーとの距離が、下記の距離以下となる撮影マーカーは表示しない  
 同一地点判定: 50 m以内 更新  
 注)番号更新は「自動設定する」をチェックして下さい。

※赤字のデータは、Exif情報とは異なる値です

- ⑩ 次に「図面上への写真配置」画面が表示されます。配置しない場合は「今は配置しない」にします。配置の細かな設定変更等は後からでも可能ですので、ひとまず「次へ」ボタンを押し、撮影位置図を完成してください。

図面上への写真配置

撮影地点の写真一覧を図面上に配置することができます。配置する場合は、「写真を図面上に配置する」にチェックを入れ、「次へ」ボタンを押して下さい。

今は配置しない(後からでも可能)  
 写真を図面上に配置する

自動設定  
 ユーザー設定... 設定変更

■ 図面サイズ: 横84.3cm×縦61.5cm  
 ■ 写真枚数: 11枚  
 ■ 写真配列: 横11列×縦1行 (横77.0cm×縦6.5cm)  
 ■ 写真サイズ(1枚): 横6.0cm×縦4.5cm  
 ■ 配列方向: 左→右  
 ■ 写真番号/タイトル: 表示する 文字高: 8.0mm 丸径径: 10.0mm

注1) 写真を複数箇所に分散配置したい場合は、サムネイル欄内の写真を選択後、「CAD上への写真配置」コマンドにて小分けに配置して下さい。  
 注2) 写真枚数が多く、図面内に収まらない場合は、「写真一覧のみをDXF保存」を実行して、地図とは別に図面として編集することをお勧めします。

写真一覧のサイズをこのボタンでワンタッチ変更できます。  
 写真一覧の配置位置は、マウスドラッグで変更できます。  
 DXF図とラスタ地図の場合は、地図上に写真一覧を貼り付けることが可能です。最初は、このようにソフト側で自動貼り付けされます。もし配置を変えたい場合は、「ユーザー設定」にして手動設定して下さい。  
 写真一覧が大量の場合は、このボタンを押して「写真一覧」のみをDXF保存し、CADソフト側で編集することをお勧めします。

...写真配置範囲(配置位置はマウスで調整可)  
 写真一覧のみをDXF保存

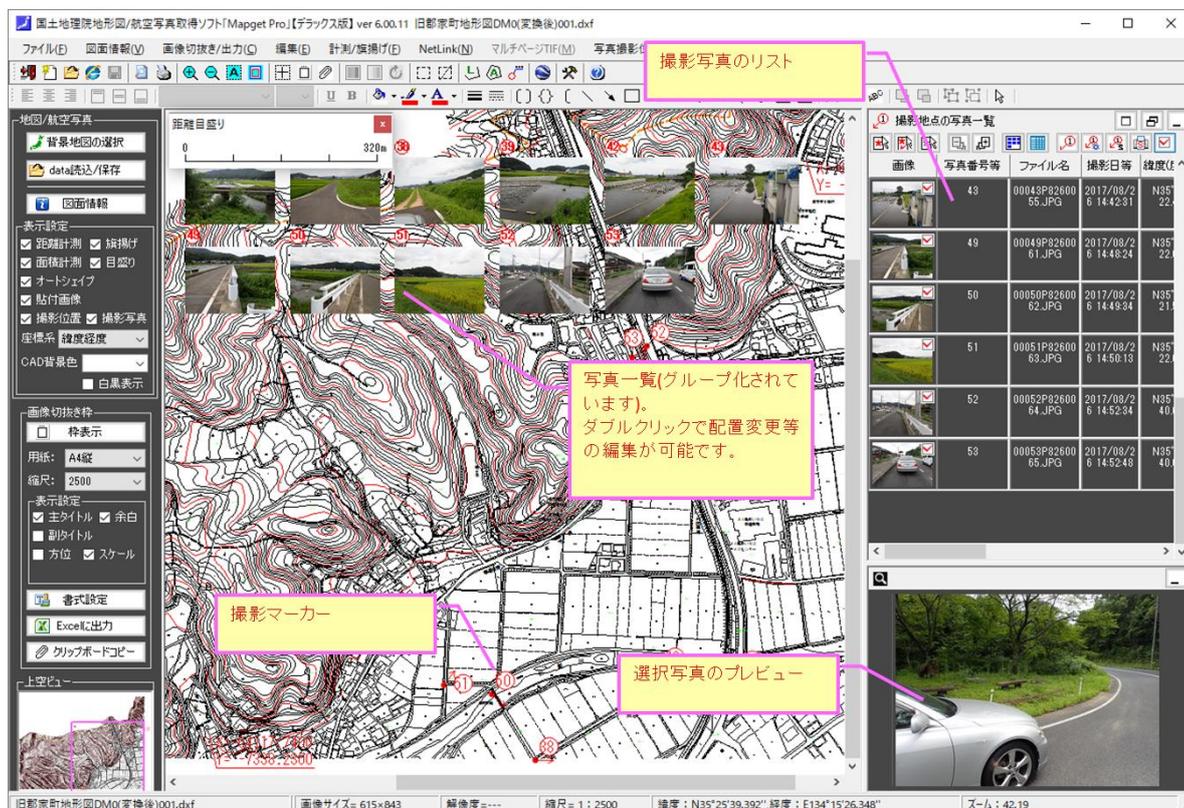
写真幅: 6.0cm

- ⑪ 最後にデータ登録(保存)画面が表示されます。保存は後からでも可能です。「OK」ボ

タンを押すと全ての設定は完了です。



- ⑫ 設定がすべて完了し、Mapget Pro の主画面に撮影位置図等が表示されます。詳しい操作については、Mapget Pro のマニュアルをご覧ください。



⑬ 撮影マーカ―の位置等の変更について

これまでご説明した方法により、簡単に撮影位置図を作成することができます。しかし、現在のGPSデータには、残念ながら数メートル～十数メートル程度以上の誤差があるため、正確な撮影位置図にするためには、どうしても撮影マーカ―の位置編集が必要となります。

Mapget Proでは、この撮影マーカ―の位置編集がとても簡単にできることが特長となっています。



撮影位置マーカ―の表示位置等の変更方法

#### 4-4-2 1. ロゴマーク表示機能

##### a) ロゴマーク表示機能とは

フォトマスターII Proは、Ver3.01よりロゴマーク表示機能を標準装備しました。

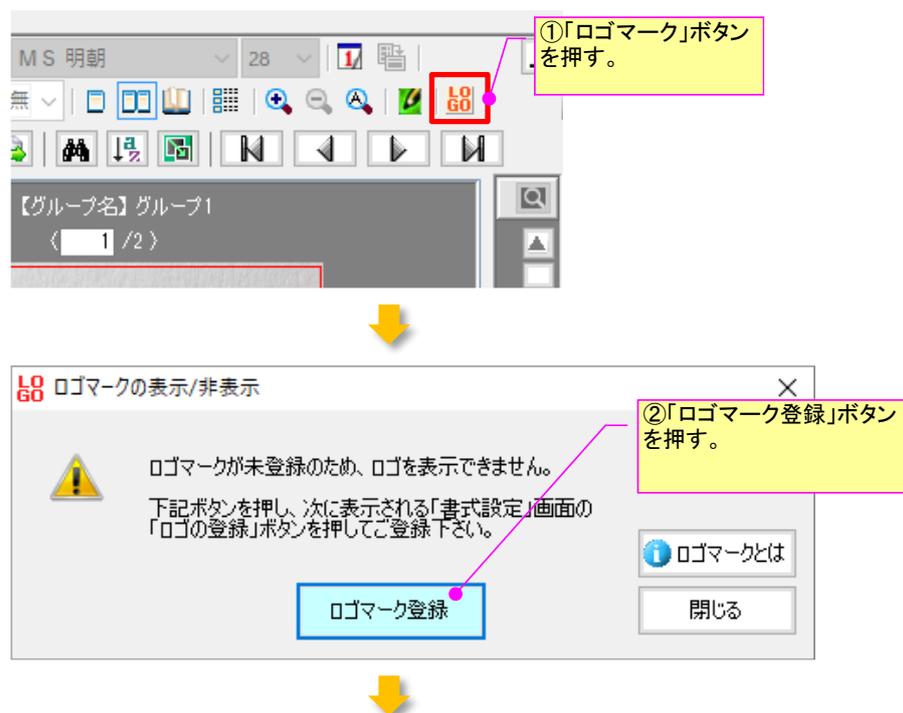
ロゴマーク表示機能とは、ページのヘッダ欄やフッタ欄に、企業ロゴマーク等の画像を表示する機能です(下図参照)。

登録できるロゴ画像は、ヘッダ欄とフッタ欄にそれぞれ1種類。表示位置は、ヘッダ欄(フッタ欄)の左側、中央、右側の3種類から選択可能です。

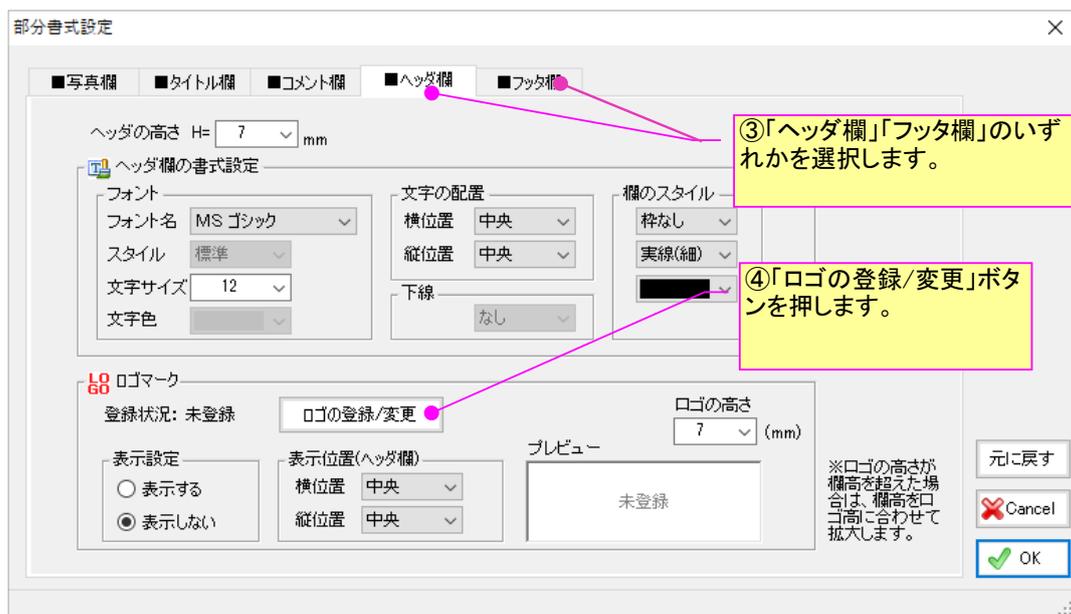


##### b) ロゴマークの登録方法

ロゴマーク表示機能は、まずロゴマークを登録する必要があります。登録にはまず、アルバム欄のツールバー内の「ロゴマーク」ボタンを押します。すると「ロゴマークの登録」画面が表示されますので、「ロゴマーク登録」ボタンを押します。

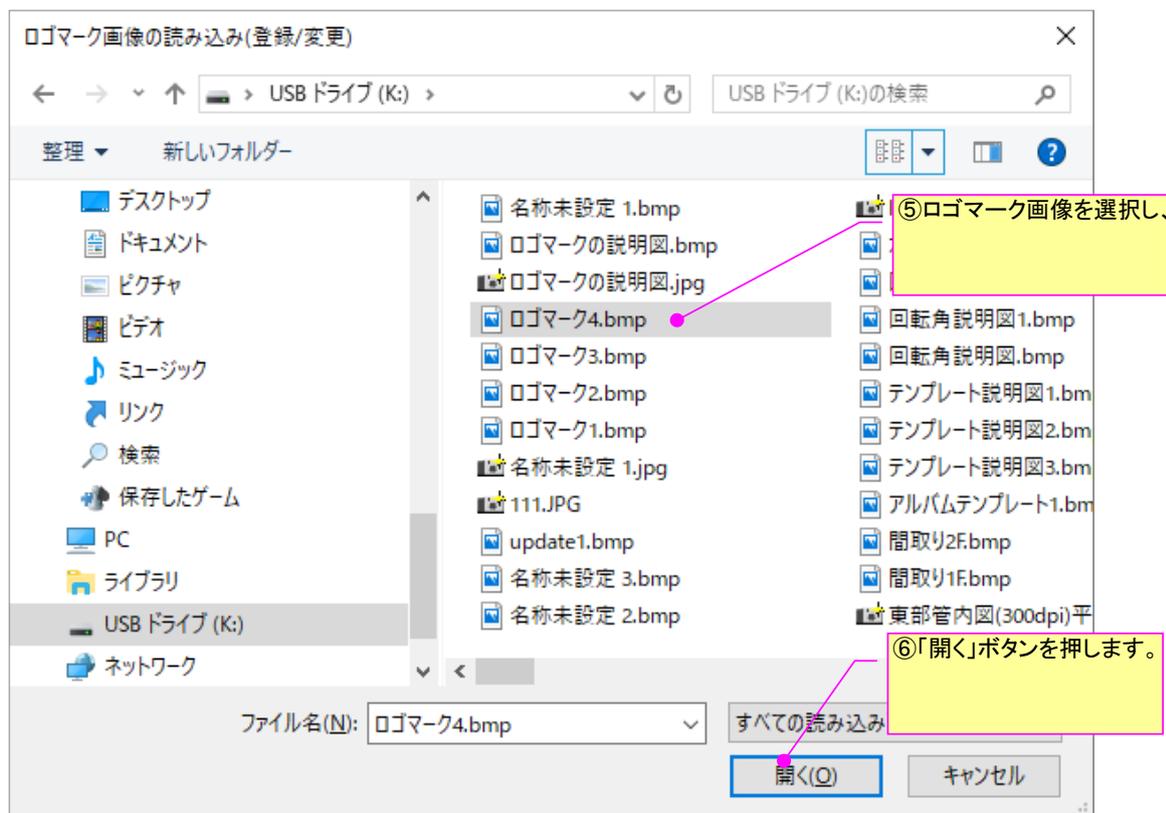


すると下記の「書式設定」画面が表示されますので、ロゴを登録する場所を「ヘッダ欄」「フッタ欄」のいずれかから選択します。そして「ロゴの設定/変更」ボタンを押して下さい。



「ロゴの設定/変更」ボタンを押すと、「ロゴマーク画像の読み込み」画面が表示されますので、登録したい画像を指定し、「開く」ボタンを押します。

読み込み可能な画像形式は、「bmp」「jpg」「png」「tif(tiff)」です。



ロゴの対応画像形式・・・「bmp」「jpg」「png」「tif(tiff)」

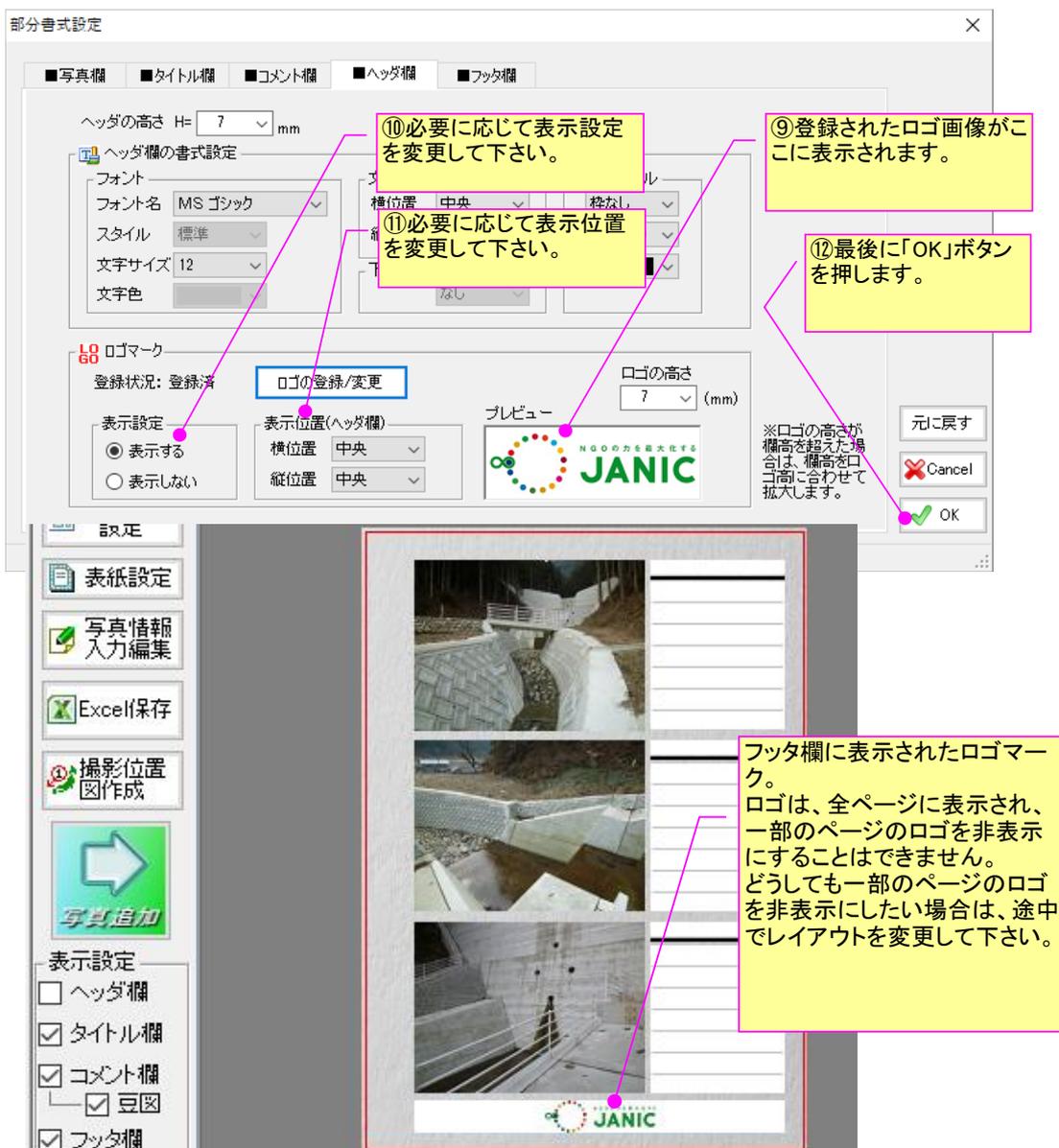
ロゴ画像を読み込むと、下記の「登録ロゴの確認/適用」画面が表示されますので、画像確認のうへ「はい」ボタンを押して下さい。

なお「このロゴマークを直ちにヘッダ欄に適用する」のチェックを付けると(通常 ON)、登録画像が直ちに現在のアルバムに反映(表示)されます。チェックを外すと登録のみおこない、現在のアルバムには反映(表示)しません。



最後に「書式設定」画面に戻りますので、必要に応じて「表示設定」や「表示位置」を変更し「OK」ボタンを押して下さい。これでロゴマークの登録はすべて完了です。

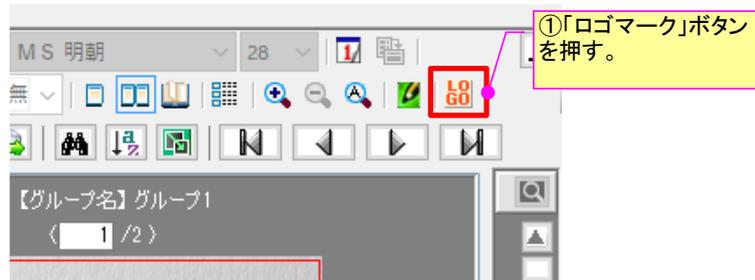
ロゴマークは、一度登録されると次回よりそのロゴマークが既定表示されますので再登録は不要です。



### c) ロゴマークの変更方法

登録したロゴマークを変更したい場合は、アルバム欄のツールバー内の「ロゴマーク」ボタンを押します。すると「ロゴの表示」画面が表示されますので、変更したロゴの「登録/変更」ボタンを押します。すると「書式設定」画面が表示されますので、「ロゴの登録/変更」ボタンを押して、新しいロゴ画像を登録して下さい。

ロゴマークの変更は、登録画像を変更することでのみ可能です。登録画像を変えずにロゴマークを変更することは出きませんのでご注意ください。

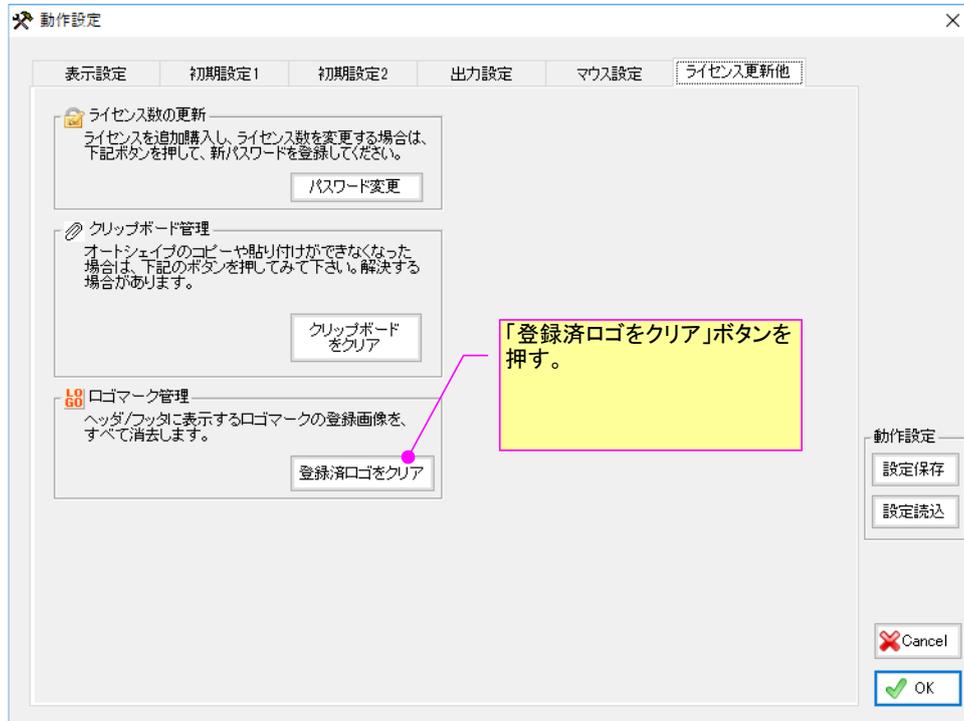


#### d) 登録ロゴマークの削除方法

登録したロゴマークを削除したい場合は、「オプション」-「動作設定」-「ロゴマーク管理」より、「登録済ロゴをクリア」ボタンを押して下さい。

これで登録ロゴは消去されます。

注) 「登録ロゴマークの削除」機能は、作成中のアルバムに追加済みのロゴマークを削除するものではありません。作成中のアルバム内のロゴマークを非表示にするには、ヘッダ欄(フッタ欄)の「書式設定」内の表示設定を「表示しない」に設定して下さい。



## 4-4-2 2. おまかせ自動レベル補正機能

### 1) 概要

フォトマスターII Pro は、ver 3.03 より、多数の写真のレベル補正(明暗補正)を一括処理できる「おまかせ自動レベル補正」機能を追加しました。

本機能は、対象写真の中から下図のような「黒潰れ」や「白とび」写真を自動判定し、補正が必要な写真に対してのみ、レベル補正(明暗補正)をおこなうものです。

写真毎に異なるレベル補正值を自動設定して補正できる点が、本機能の最大の特長です



【補正前】                      【補正後】  
黒潰れ写真の補正例



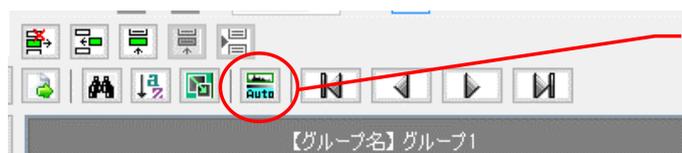
【補正前】                      【補正後】  
白とび写真の補正例

### 2) おまかせ自動レベル補正の実行

「おまかせ自動レベル補正」は、サムネイル欄とアルバム欄の写真に対しておこなうことができます。各欄の上部にあるツールバー(下記)をクリックして実行してください。



サムネイル欄の「おまかせ自動レベル補正」コマンド



アルバム欄の「おまかせ自動レベル補正」コマンド

「おまかせ自動レベル補正」の実行ボタン

### 3) おまかせ自動レベル補正ウィザード

コマンドを実行すると、「おまかせ自動レベル補正ウィザード」画面が表示されます。補正したい写真と補正方法を設定し、「次へ」ボタンを押して下さい。

なお補正方法は通常、「標準補正」を選択し、「簡易補正」は、できるだけ写真の補正をしたくない場合に選択して下さい

①補正対象写真を選択します。

②補正方法を2種類から選択できます。最小限の補正に留めたい場合は「簡易補正」を、幅広く補正したい場合は「標準補正」を選択して下さい。

③設定が完了したら、「次へ」ボタンを押して下さい。対象写真を写真解析して、黒潰れや白とびの有無を調べ、解析結果を表示します。

### 4) 解析結果の表示

#### a) 補正が必要と判定された写真がなかった場合

自動解析の結果、補正が必要な写真がなかった場合は、下図の解析結果が表示されます。この場合は補正が必要ありませんので、「閉じる」ボタンを押し作業を終了して下さい。

写真を解析した結果、補正が必要と判定された写真が無かった場合は、このような画面が表示されます。この場合は、「閉じる」を押して作業を終了して下さい。

a) 補正が必要と判定された写真が1枚以上あった場合

自動解析の結果、補正が必要な写真があった場合は、下図の解析結果が表示されます。画面左側に、補正が必要な写真のリストを、黒潰れの程度が大きい順に表示しています。そしてその右側には、選択した写真の補正前と補正後のプレビュー写真を上下に表示しています。なお、この画面を表示した時点では、まだ写真は補正されていません。画面右下の「補正を実行する」ボタンを押して、初めて補正が開始されます。

解析完了(全90枚)。解析の結果、黒潰れもしくは白とびの補正が必要と判定される写真が見つかりました。  
 下表は、補正が必要と判定した写真のリストです。このまま補正をおこなう場合は「補正を実行する」ボタンを押して下さい。補正効果の確認や調整をおこないたい場合は、「補正効果確認プレビュー」ボタンを押して下さい。

■補正が必要と判定した写真(全37枚)

ファイル名	補正種別	レベル補正 黒潰れ(WP)	レベル補正 白とび(SP)	ガンマ補正 黒潰れ(γh)
PICT0063.JPG	黒潰れ	137	0	23
IMG_5380.JPG	黒潰れ	162	0	33
066.jpg	黒潰れ	163	0	37
0061.jpg	黒潰れ	168	15	0
PA220076.JPG	黒潰れ	169	0	39
00005DSC06324.JPG	白とび	191	54	0
0062.jpg	黒潰れ	192	0	39
サンプル写真(黒潰れと白...	白とび	196	69	0
00086PG261986.JPG	白とび	211	84	0
0046.jpg	黒潰れ	213	0	28
0005.jpg	黒潰れ	214	0	73
00021DSC06308.JPG	白とび	219	46	0
PA040005.JPG	白とび	219	56	0
IMG_5365.JPG	黒潰れ	220	0	37
0059.jpg	白とび	238	46	0

項目説明 「Shift」+クリックで連続選択、{Ctrl}+クリックで追加選択

解析結果【標準補正】

- 1、黒つぶれ補正が必要と判定した写真: 28 枚
- 2、白とび補正が必要と判定した写真: 9 枚
- 3、1と2共に補正が必要と判定した写真: 0 枚

補正が必要と判定した写真計: 37 枚/全90枚

選択写真を補正なしにする  
 補正効果比較プレビュー  
 解析条件の変更

補正を実行する  
 閉じる

写真を解析した結果、補正が必要な写真があった場合は、このような画面が表示されます。(この時点ではまだ補正は実行されていません。)写真毎の補正状況等をご確認いただき、問題なければ「補正を実行する」ボタンを押して補正を開始して下さい。

補正が必要な写真を、黒つぶりの度合いが大きい順にリスト表示します。(ソート順は変更可)

リスト内の選択写真をプレビューを表示します。上方が補正前、下方が補正後の写真です。このように補正前後の状況を確認することができます。

このボタンを押すと、補正が実行されます。

リスト内の選択写真を補正なしにすることができます。

補正種別ごとの写真枚数が表示されます。

選択写真の補正効果の確認と補正値の調整をおこなうための比較プレビュー画面を表示します。

補正写真リストとプレビューから写真毎の補正状況を確認し、問題なければ「補正を実行する」ボタンを押して補正を開始して下さい。

なお「補正を実行する」ボタンを押すと、下記の「オリジナル写真の保存」画面が表示されます。もし、補正前のオリジナル写真を別フォルダに残しておきたい場合は、このチェックをオンにしてください。そして、「格納フォルダ名」を設定したうえで、「補正実行」ボタンを押して下さい。

オリジナル写真の保存

補正した写真は、基本的にすべて元ファイルに上書き保存します。

もし、補正前のオリジナル写真を残しておきたい場合は、下記にチェックを入れて下さい。オリジナルファイルを格納フォルダ内に保存して残します。

オリジナル写真を残しておく

格納フォルダ名: original\_photo

戻る 補正実行

「補正を実行する」ボタンを押すと、この「オリジナル写真の保存」画面が表示されます。

補正した写真は、基本的に上書き保存されますが、もし補正前のオリジナル写真を別フォルダに残しておきたい場合は、このチェックをオンにしてください。そして、「格納フォルダ名」を設定したうえで、「補正実行」ボタンを押して下さい。

## 5) 補正効果比較プレビュー

前頁の「おまかせ自動レベル補正ウィザード(解析結果)」画面にある「補正効果比較プレビュー」ボタンについてご説明致します。

「補正効果比較プレビュー」ボタンを押すと、下記画面が表示されます。この画面では、補正が必要と判定された写真毎に、補正効果を詳しく確認したり、必要に応じて補正値を調整することができます。

補正効果比較プレビュー

解析結果の詳細です。自動設定された補正値は、調整したり、補正を取りやめることができます。また必要に応じて、解析条件を変更することも可能です。

解析結果

- ①黒潰れ補正が必要な写真: 28 枚
- ②白とび補正が必要な写真: 9 枚
- ③①②の両方が必要な写真: 0 枚

補正が必要な写真合計: 37 枚 /全90枚

レベル補正(RGB) ※補正値は変更できません

自動補正値: SP= 0 、 WP= 51

黒つぶれ補正

補正しない

補正前 (元画像の赤枠内を拡大表示) ズーム: 16.92

補正後 ズーム: 16.92

押し下げて元画像確認

Cancel OK

ファイル名: .jpg 画像容量: 1.97MB 画像サイズ: 3200x2400 24bit

自動設定された補正値は、このスライダーを左右に動かすことで、必要に応じて手動調整することができます。

補正種別を表示しています。

補正したくない場合は、この「補正しない」ボタンを押すことで、「補正なし」に変更することが可能です。

マウススクロールで、拡大/縮小表示が可能です。

このボタンを押し下げている間のみ、画像が「補正前」の状態に変わります。比較確認用です。

## 6) 解析条件の変更について

前頁の「おまかせ自動レベル補正ウィザード(解析結果)」画面にある「解析条件の変更」ボタンについてご説明いたします。

この「解析条件の変更」ボタンを押すと、黒潰れ/白とび判定のための解析条件を変更することができます。しかしこの解析条件は、極めて複雑かつ難解であるため、ユーザー様には、この解析条件の変更をご使用いただくことは、基本的にお勧めしておりません。あくまで初期設定のままお使い頂ければと思います。

もしご使用いただく場合は、あくまで自己責任の範囲で試行錯誤を旨としてご利用頂ければと思います。何卒ご了承下さい。

## 7) 「おまかせ自動レベル補正」機能に関する補足説明

「おまかせ自動レベル補正」機能に関する補足説明です。

フォトマスターの「おまかせ自動レベル補正」は原則、レベル補正とガンマ補正の2つの方法を併用して自動補正をおこなっています。異なる手法を併用すると互いの短所をカバーでき、殆どの画像を効果的に自動補正することができるためです。

下記のレベル補正とガンマ補正に関する特徴をお読みいただき、補正方法の設定の際にお役立て下さい。

### 【レベル補正】

■概要・・・ヒストグラムというグラフを使って、主に画像の明暗を調整する高度な画質補正機能です。(本ソフトではヒストグラムを12次多項式で近似したうえで補正値を自動解析しています)

■長所・・・補正してもカラーバランスが損なわれにくく、補正による画質劣化を感じにくいのが特長です。ガンマ補正では全体的に明るく(暗く)なりがちですが、レベル補正では明るい領域もしくは暗い領域のみに絞って補正します。そのため、中間領域の色調に変化を与えず、補正しても全体的にクッキリスッキリとした画像になります。

■短所・・・下図のように、暗部と明部領域が拮抗しているような画像では、明るい領域が白とびしないように補正すると、暗い領域が暗いままとなり易くなります。また、暗い領域が黒潰れしないように補正すると、今度は明るい領域が白とびし易くなる場合があります。



【元写真】  
明部と暗部領域が拮抗している写真例。



【レベル補正後の写真】  
暗部に着目して補正すると、このように明部が白とびしやす場合があります。

### 【ガンマ補正】

■概要・・・画像全体に対して、明るさの偏りを直す補正方法です。

■長所・・・補正度を大きくしても、黒潰れや白とびを起こしにくいのが最大の特長です。

■短所・・・ガンマ補正は画像全体に均等に適用されるため、下図のように、補正度によっては全体が白く(暗く)なって、ボケた印象となる場合があります。そこでフォトマスターでは、ガンマ補正をおこなう場合は必ずコントラスト調整と併せておこなっています。



【元写真】  
明部と暗部領域が拮抗している写真例。



【ガンマ補正後の写真】  
ガンマ補正では、補正度によってはボケ易くなります。

## 5. オプション設定

### 5-1. 動作設定について

#### 5-1-1. 表示設定

##### a) 設定画面

フォトマスターIIProの表示関連の設定画面です。主に、起動時に表示する画面モードや、サムネイルの表示形態等を設定します。

##### b) 表示する画像形式

本プログラムでは、デジカメ写真画像を主としているため、下記の4種類の画像形式にのみ対応しています。チェックを切り替えることで、必要に応じて対応形式を絞ることが可能です。

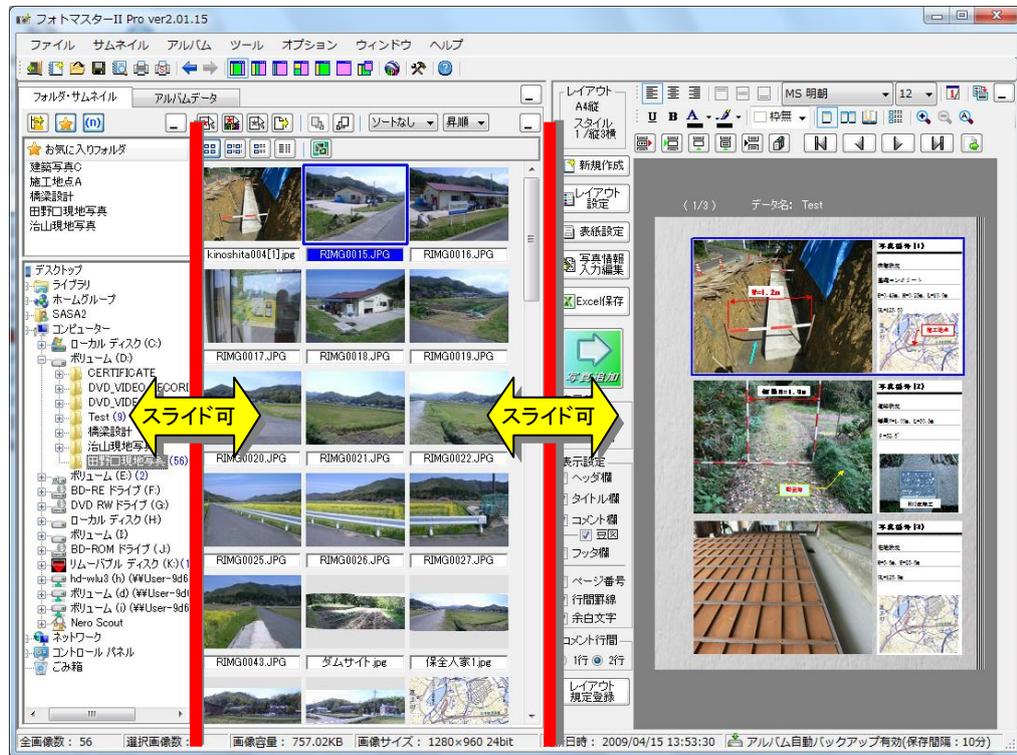
なお、サムネイル欄にフォルダを表示する場合は「フォルダ表示」にチェックを入れます。

##### c) 画面モードの切替機能について

本プログラムの標準画面は、フォルダ欄、サムネイル欄、アルバム欄の3種類で構成されています。ユーザーの使用状況によっては、サムネイル欄の表示幅をより広くしたいケースや、あるいはアルバム欄の表示幅をより広くしたいケースなどが考えられます。

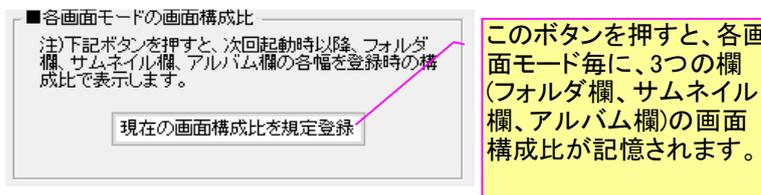
画面モードの切替機能とは、予め各欄の表示幅の状態を各画面モードにプリセット(記憶)させておくことで、使用状況に応じて画面モードボタンを切替え、欄幅の状態(比率)を最適な状態にするためのものです。

例えば、画面モード2にはサムネイル欄の表示幅をより広くした状態を記憶しておき、画面モード3にはアルバム欄の表示幅をより広くした状態を記憶させておきます。そして、例えばサムネイル写真の選択作業を行う場合は「画面モード2」に切替え、あるいはアルバムにコメント等を入力するような場合には「画面モード3」に切り替えるなど、それぞれ最適な画面状態で作業することができるようになります。



・画面構成比の登録機能について

画面各モードのフォルダ欄、サムネイル欄、アルバム欄の3種類の画面構成比を記憶させることが出来ます。下図の「現在の画面構成比を規定登録」ボタンを押すと、次回起動時から、登録時の画面構成比が再現され、登録時と同じ状態の画面が表示されます。



d) 起動時に表示する画面モードについて

フォトマスターIIを起動した直後に表示する画面モードを設定します。画面モード1～画面モード7の全7種類から選択することができます。

e) 起動時に表示するアルバム欄の表示モードについて

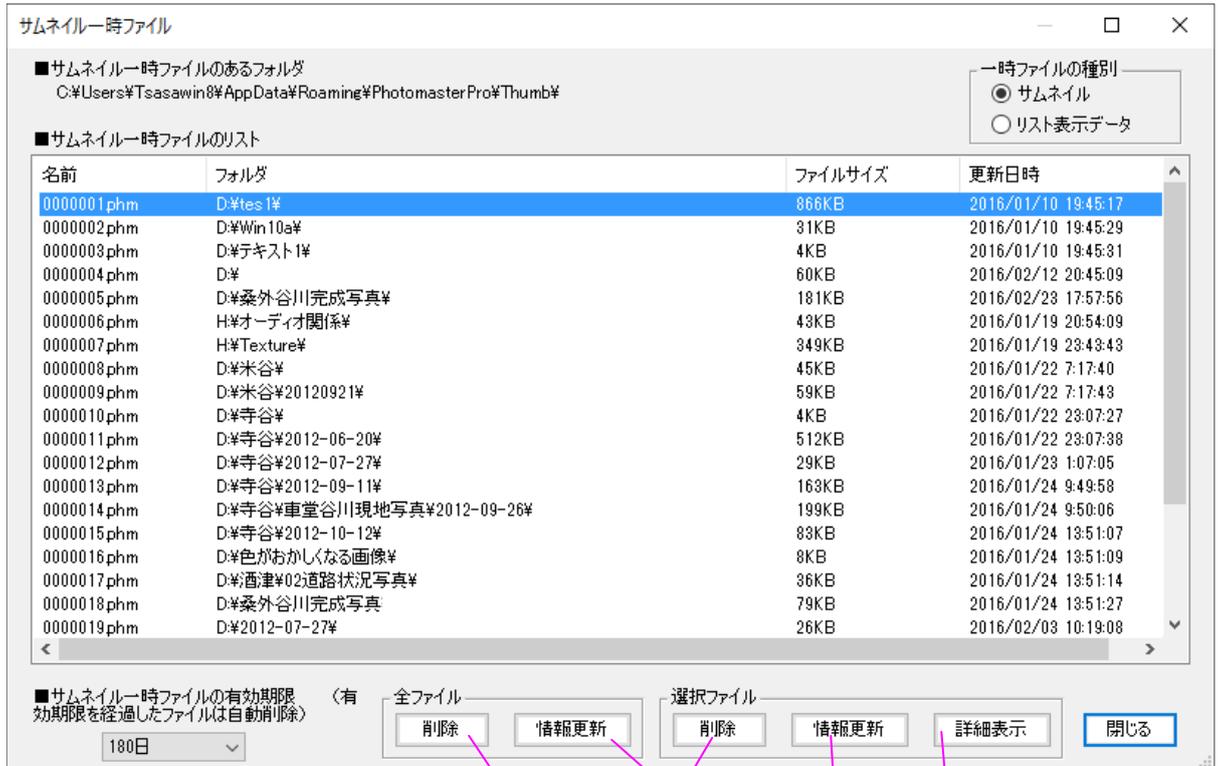
フォトマスターIIを起動した直後に表示する、アルバム欄の表示モードを設定します。初期設定は「2枚表示」としています。必要に応じて、「1枚表示」もしくは「見開き表示」に変えることも可能です。

f) 起動時に表示するフォルダについて

フォトマスターIIを起動した直後に、フォルダ欄に表示するフォルダを設定します。初期設定は「前回終了時のフォルダ」を表示するようになっています。必要に応じて、表示フォルダを指定(固定)することも可能です。

一方、「一時ファイルの表示/設定」画面では、保存されたサムネイル画像ファイルのリストを閲覧することが出来ます。また、情報確認やファイルの削除、あるいは一時ファイルの有効期限等を設定することが出来ます。

一時ファイルの有効期限設定の目的は、作成してから時間の経過と共にあまり使わなくなった一時ファイルを、ある一定期間後に自動的に削除するためのものです。この機能を有効に活用すると、不要な一時ファイルが際限なく増えることを防ぐことが出来るため、容量の節約が可能になります。



この日数を経過した一時ファイルは、自動的に削除されます。(有効日数を設定することで、一時ファイル数の増加を抑制することが出来ます。)

一時ファイルを削除します。

一時ファイルを更新します。

一時ファイルが保存しているサムネイル情報を表示します。

## 5-1-2. 初期設定

### a) 設定画面

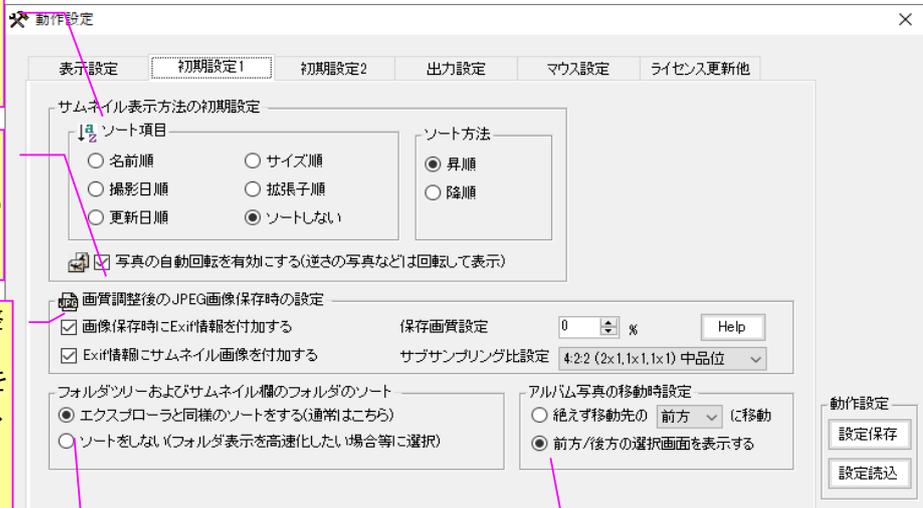
初期設定では、サムネイルの初期設定や一時作業ファイル等の設定をおこないます。設定を変更した場合は、次回起動時より有効となります。

それ以外の設定については下図をご覧ください。

フォトマスター起動時に表示するサムネイル欄のソート方法を設定します。

Exif情報に「画像方向」が記録されている場合に、撮影時の方向を再現するように90°回転して表示します。

アルバム写真を画質調整した場合の設定です。「画像保存時にExif情報を付加」のチェックを外すと、画質変更後の画像には、元画像のExif情報が引き継がれません。また「Exif情報にサムネイル画像を付加」のチェックを入れると、後でエクスプローラ等でサムネイル画像表示する際に高速表示が可能となります。



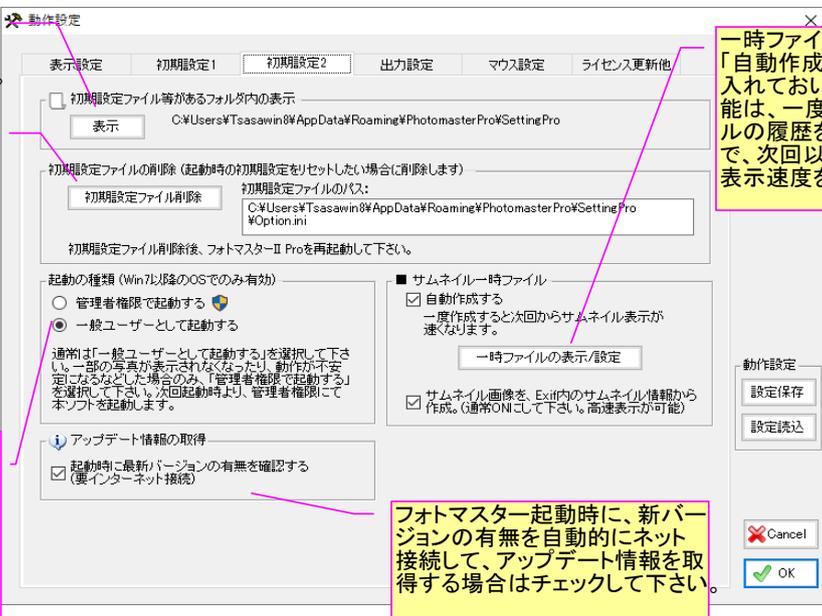
フォルダ欄でのフォルダの表示順に関する設定です。どうしてもフォルダ表示の時間を早めたい場合のみ「ソートしない」を選択して下さい。

アルバム写真を別の場所に移動する場合、移動元の写真を掴み、移動先の写真上でドロップします。その際、移動先の写真の「前方」に移動するか「後方」に移動するかを設定します。通常は「前方/後方の選択画面を表示」

フォトマスター起動時に読み込む初期設定ファイルをエクスプローラにて表示します。

初期設定ファイルを削除します。フォトマスターの起動に時間がかかったり何らかの異常がみられた場合には、この初期設定ファイルを削除してリセットして下さい。状況が改善する場合があります。なお初期設定ファイルは削除しても、自動的に再生成

通常は「一般ユーザーとして起動」を選択して下さい。もしフォトマスターが起動しない、もしくは使用中の異常の頻度が高い場合等は、「管理者権限で起動」を選択し、再起動してみてください。アクセス権限が強化されるため、状況が改善する可能性



一時ファイルは、基本的に「自動作成する」にチェックを入れておいて下さい。この機能は、一度表示したサムネイルの履歴を記録しておくことで、次回以降のサムネイル表示速度を飛躍的に向上す

フォトマスター起動時に、新バージョンの有無を自動的にネット接続して、アップデート情報を取得する場合はチェックして下さい。

## b) 初期設定ファイルについて

初期設定ファイルは、ユーザーが設定した様々な規定値を保存したファイルです。OS の変更や周辺機器の変更などによっては、それまで使用してきた初期設定値では問題が生じる場合があります。その場合は初期設定ファイルを一旦リセット(削除)したうえでフォトマスターを再起動することで問題が解決する場合があります。

またフォトマスターが起動しない場合も、この初期設定ファイルを削除することで問題なく起動する可能性があります。

手動で初期設定ファイルを削除する場合は、エクスプローラー等を使用して下記フォルダ内のすべてのファイルを削除してください。(ファイルは削除しても、後で自動的に再生成されますのでご安心下さい。)

初期設定ファイルの保存先

OS	初期設定ファイルの保存フォルダ
Windows10、8、7	C:\Users¥(ユーザー名)\AppData\Roaming¥PhotomasterPro¥SettingPro
Windows XP	C:\DocumentsandSettings¥User¥Application Data¥PhotomasterPro¥SettingPro

### ■初期設定ファイル一覧(これらのファイルは削除しても、後で自動的に再生成されます)

FavoriteFolderFile.ini  
Option.ini  
PDFPrinter.ini  
Printer.ini  
PrinterStatus.ini  
RayoutSettings.ini  
RegWordFile.tan  
RenameInfoFile.ini  
ShortCutKeys.ini etc

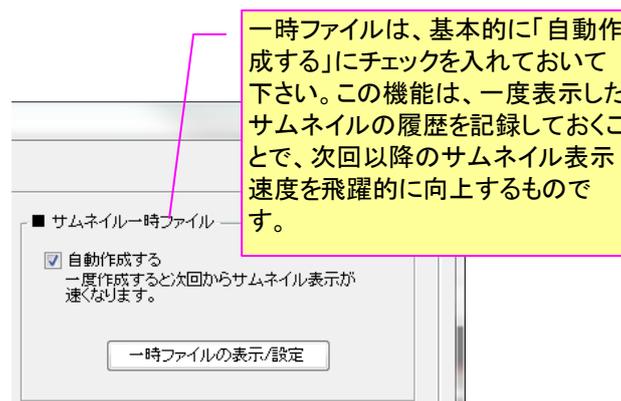
## c) サムネイル一時ファイルの設定

容量の大きな写真が多数ある場合、サムネイルの表示には、かなりの時間を要します。これは、写真をサムネイル用の縮小画像に変換するためかなりの時間を要するためです。

そこで、一度サムネイル用に作成した縮小画像を特定のフォルダに保存しておき、次にサムネイル表示するときには、前回保存されたサムネイル画像を利用するようにすれば、サムネイル表示時間は大幅に短縮されます。これは丁度、インターネットにおけるインターネット一時ファイルに似た機能です。

本ソフトは、上記の方法によりサムネイル表示を大幅に短縮する機能を有しています。本ソフトでは、特定のフォルダに保存されたサムネイル画像データを、「サムネイル一時ファイル」と呼び、サムネイル画像とサムネイル情報を保存したファイルで構成されます。

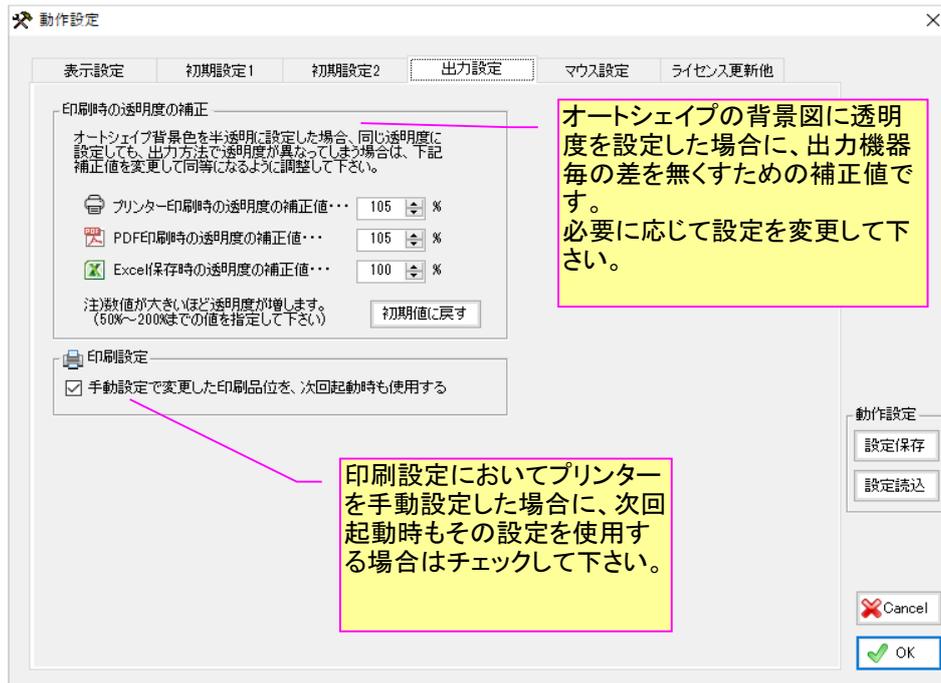
通常はサムネイル一時ファイルを「自動作成する」にチェックを入れて頂き、何らかの不具合等が生じた場合等にものみチェックを外してください。



### 5-1-3. 出力設定

#### a) 設定画面

出力設定では、印刷時における下記に関する設定をおこないます。



### 5-1-4. マウス設定

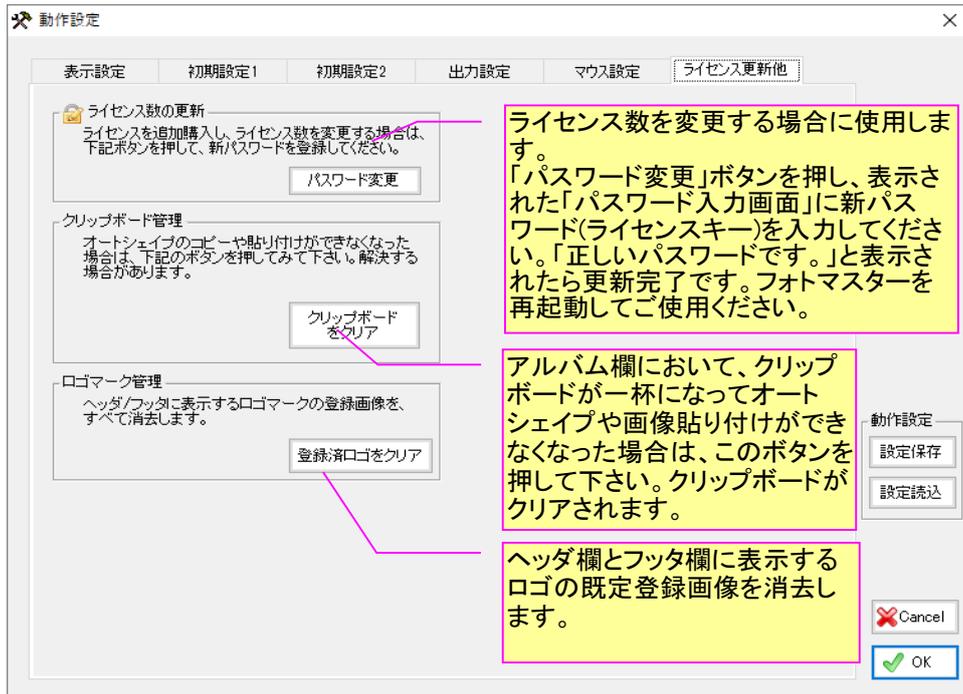
マウスホイールの動作設定画面です。

ホイール回転時の動作を、単独使用の場合、「Ctrl」キーを押しながらの場合、そして「Shift」キーを押しながらの場合、の3種類から設定可能です。



## 5-1-5. ライセンス更新他

ライセンス数を変更したり、その他の各種設定管理をおこないます。

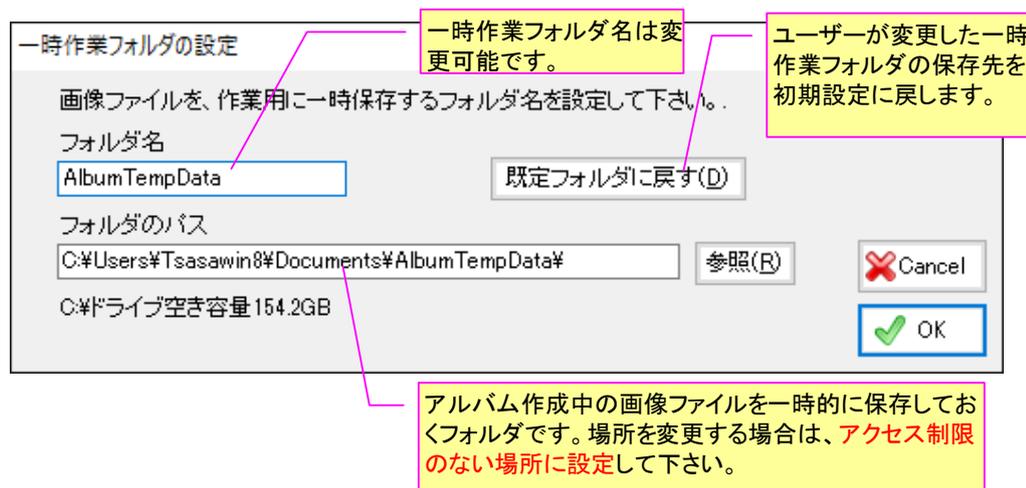


## 5-2. 一時作業フォルダについて

アルバム写真は、画質調整やトリミング等の編集を行う場合があるため、元ファイルに影響を与えないように、一旦、別の場所に保存してから編集します。

その保存場所を「一時作業フォルダ」と呼びます。一時作業フォルダは、アルバム作成中のみ使用され、作成が終わるとファイルはすべてクリアされます。

一時作業フォルダは、ユーザー側で場所を変更できますが、その場合は必ずアクセス制限のない場所を指定して下さい。もしアルバム作成中にアルバム内の写真が表示されなくなったり、何らかの異常が頻発した場合は、一時作業フォルダの場所を変更してみてください。



## 5-3. ショートカットキーの設定について

### 5-3-1. 概要

「オプション」 - 「ショートカットキーの設定」において、キーボード上の各キーとコマンドを関連付けることで、キーを押すだけでコマンドを実行することが出来ます。

下記設定画面内のコマンド群からショートカットキーを割り当てたいコマンドを選択後、下欄の「キー割り当て」欄にてお好みのショートカットキーを設定後、登録ボタンを押して下さい。

①まずメインメニューを選択します。

②メニューに応じたコマンドが表示されますので、ショートカットキーを設定したいコマンドを左クリックで選択して下さい。

各コマンドに割り当てられているショートカットキーはこの列に表示されます。最初は既定設定値が表示されていますが、ユーザー側で自由に変更可能です。

選択コマンドのショートカットキーの登録を解除します。

現在のショートカットキーの設定をすべて削除して初期設定の状態に戻します。

ショートカットキーの登録一覧表を印刷します。用紙はA4縦となります。

「OK」ボタンを押すと、すべての設定が保存され、次回以降も反映されます。

ショートカットキーの設定を保存しておく、他のユーザーとの設定情報の共有が可能となります。

選択したコマンドのショートカットキーを設定し、最後に「登録」ボタンを押すことで登録が完了します。

メニュー	コマンド	ショートカットキー
ファイル	新規アルバムを作成	[Ctrl] + [N]
画面	アルバムを開く	[Ctrl] + [O]
フォルダ	アルバムを上書き保存	[Ctrl] + [S]
サムネイル	アルバムを名前をつけて保存	
アルバム	アルバムを印刷プレビュー	[Ctrl] + [P]
オプション	アルバムを印刷	
ウインドウ	アルバムをExcel保存	
ヘルプ	アルバムの抜き出し保存	

### 5-3-2. キーの割り当て

ショートカットに割り当てられるキーには制限があり、「英字」「数字」「Fキー(ファンクションキー)」「矢印キー」のみとなります。また「Ctrl」「Shift」などの制御キーとの組み合わせにも制約がありますのでご了承下さい。

さらに「数字」キーへの割り当ては、アルファベットキーの上方の「数字」キーとなります。いわゆる「テンキー」には割り当てられませんのでご注意下さい。

#### ■英字キーの登録

②英字キーから一文字選択します。

「元に戻す」ボタンを押すと、登録前のキーを再表示します。

①組み合わせる制御キーを選択します(必須)。

③「登録」を押すとコマンドリストに登録されます。なお、設定が登録済みの場合は登録できません。別の文字を設定するようメッセージが表示されます。

英字キー(A~Z) | 数字キー(0~9) | Fキー(F1~F12) | 矢印キー

対象コマンド: 新規アルバムを作成

制御キー:  Ctrl  Ctrl+Shift

英字キーの設定: N

現在のショートカットキー: [Ctrl] + [N]

登録 | 元に戻す

### ■数字キーの登録

①組み合わせる制御キーを選択します(必須)。

②数字キーから一文字選択します。

「元に戻す」ボタンを押すと、登録前のキーを再表示します。

③「登録」を押すとコマンドリストに登録されます。なお、設定が登録済みの場合は登録できません。別の文字を設定するようメッセージが表示されます。)

注) 「数字」キーへの割り当ては、アルファベットキーの上方の「数字」キーとなります。いわゆる「テンキー」には割り当てられませんのでご注意ください。

### ■Fキーの登録

①組み合わせる制御キーを選択します(必須)。

②Fキーから一つ選択します。

「元に戻す」ボタンを押すと、登録前のキーを再表示します。

③「登録」を押すとコマンドリストに登録されます。なお、設定が登録済みの場合は登録できません。別の文字を設定するようメッセージが表示されます。)

### ■矢印キーの登録

①矢印キーから一文字選択します。

「元に戻す」ボタンを押すと、登録前のキーを再表示します。

②「登録」を押すとコマンドリストに登録されます。なお、設定が登録済みの場合は登録できません。別の文字を設定するようメッセージが表示されます。)

制御キーは [Alt] のみとなります。

### 5-3-3. 設定一覧表

「ショートカットキーの設定」画面内の「一覧表印刷」ボタンを押すことで、その時点で設定されているショートカットキーの全設定を一覧表形式で印刷することが出来ます。ユーザー設定の際などにご利用下さい。次ページは ver2.07 時点のショートカットキーの既定リストです。

■ショートカットキーの既定設定リスト(今後のバージョンで変更の可能性あり)

メニュー	コマンド	既定のショートカットキー (ユーザー側で自由に変更可)
ファイル	新規アルバムを作成	[Ctrl] + [N]
	アルバムを開く	[Ctrl] + [O]
	アルバムを上書き保存	[Ctrl] + [S]
	アルバムを名前をつけて保存	
	アルバムを印刷プレビュー	[Ctrl] + [P]
	アルバムを印刷	
	アルバムをExcel保存	
	アルバムの抜き出し保存	
画面	画面モード - [画面モード1]	[F1]
	画面モード - [画面モード2]	[F2]
	画面モード - [画面モード3]	[F3]
	画面モード - [画面モード4]	[F4]
	画面モード - [画面モード5]	[F5]
	画面モード - [画面モード6]	[F6]
	画面モード - [画面モード7]	[F7]
	フォルダ欄表示/非表示	[Ctrl] + [F]
	サムネイル欄表示/非表示	
	アルバム欄表示/非表示	
フォルダ	お気に入りフォルダ欄表示/非表示	
	お気に入りフォルダに登録	
	登録フォルダの表示移動/削除	
	フォルダ内画像枚数	
	フォルダの名称変更	
	新規フォルダの作成	
	フォルダの削除	
	フォルダの表示更新	
サムネイル	表示モード - [サムネイル表示]	
	表示モード - [カタログ表示1]	
	表示モード - [カタログ表示2]	
	表示モード - [リスト表示]	
	全選択/全解除	[Ctrl] + [A]
	並び替え項目 - [名前順]	
	並び替え項目 - [撮影日順]	
	並び替え項目 - [更新日順]	
	並び替え項目 - [サイズ順]	
	並び替え項目 - [拡張子順]	
	並び替え項目 - [ソートなし]	
	並び替え方法 - [昇順]	
	並び替え方法 - [降順]	
	更新日時表示/非表示	
	拡大	
	縮小	
	サムネイル一覧印刷	
	画像の表示	
	Exif撮影情報表示	
	クリップボードにコピー	
撮影位置の表示		
フォルダ内画像の一括リサイズ		
アルバム	表示モード - [1ページ表示]	[F9]
	表示モード - [2ページ表示]	[F10]
	表示モード - [見開き表示]	[F11]
	アルバム一覧表示	[F12]
	ページビュー表示/非表示	

メニュー	コマンド	既定のショートカットキー (ユーザー側で自由に変更可)
アルバム	ページビュー表示段数 - [3段]	[Ctrl]+[3]
	ページビュー表示段数 - [5段]	[Ctrl]+[5]
	写真追加	
	レイアウト設定	
	写真情報入力/編集	
	現在のレイアウトを規定に設定	
	表示基準 - [ページ幅基準]	
	表示基準 - [ページ高基準]	
	ページ移動 - [次ページ]	
	ページ移動 - [前ページ]	
	ページ移動 - [最初のページ]	
	ページ移動 - [最後のページ]	
	ページ移動 - [ページ指定]	
	改ページ	
	ページの入れ替え	
	ページの切り取り	
	ページの貼り付け - [前方挿入]	
	ページの貼り付け - [後方挿入]	
	検索と置換	
	並び替え項目 - [タイトル欄]	
	並び替え項目 - [写真の撮影日]	
	並び替え項目 - [写真の更新日]	
	並び替え項目 - [写真のファイル名]	
	並び替え方法 - [昇順]	
	並び替え方法 - [降順]	
	ページの挿入	
	ページの削除	
	ページの追加	
	空白欄の追加	
	写真/空白欄の削除	
	Exif撮影情報表示	
	写真の回転/反転 - [左90°回転]	[Ctrl] + [L]
	写真の回転/反転 - [右90°回転]	[Ctrl] + [R]
写真の回転/反転 - [180°回転]		
写真の回転/反転 - [左右反転]		
写真の回転/反転 - [上下反転]		
写真の移動 - [前方に移動]		
写真の移動 - [後方に移動]		
写真欄の形状(縦横比)変更		
画像を写真欄一杯に拡大する		
撮影日等の挿入/削除		
単語登録リスト表示	[Ctrl] + [T]	
オプション	動作設定	
	一時作業フォルダ	
	バックアップ設定	
ウインドウ	ウインドウを分割する	
	ウインドウを1つにする	
ヘルプ	ヘルプ表示	
	バージョン情報	
	ホームページにGO	
	最新バージョンをチェックする	

## 5-4. 各種設定値の一括保存/読込

### a) 概要

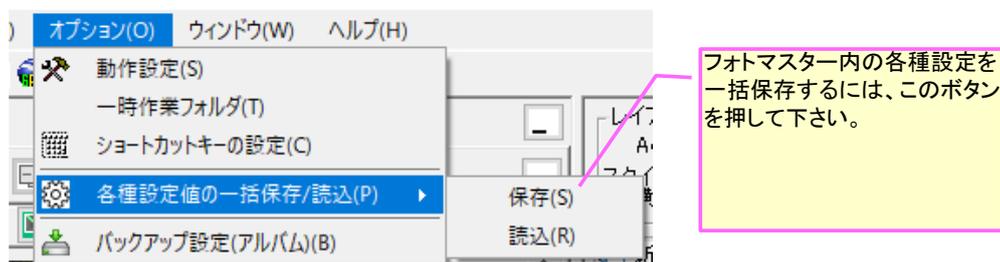
Ver3.01 より、フォトマスターII Pro 内の様々な設定値を、1つのファイルにまとめて保存する機能を追加しました。

複数ライセンスを保有している場合には、保存した設定ファイルを他の PC で読み込むことで、使用者全員が同じ設定でフォトマスターII Pro を使用することができます。

### b) 使用方法

各種設定値の一括ファイル保存は、下図のとおり、メニューの「オプション」-「各種設定値の一括保存/読込」-「保存」コマンドにて実行して下さい。保存する設定値は、チェックボタンによりカスタマイズ可能です。

なお設定ファイルを読み込むには、メニューの「オプション」-「各種設定値の一括保存/読込」-「読込」コマンドを実行し、次に表示されるファイル選択画面にて設定ファイルを選択して下さい。



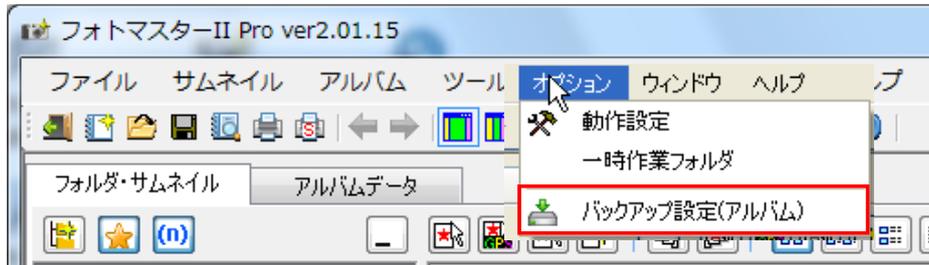
## 5-5. バックアップ機能(アルバムデータ)

### 5-5-1. 概要

フォトマスターII Proには、アルバムデータの自動バックアップ機能があります。

バックアップ機能を有効にしておくと、停電や予期せぬエラーなどで強制終了を余儀なくされたとしても、次回起動時に、終了直前の状態に復元することが可能となります。

バックアップの設定画面は、メインメニューの「オプション」-「バックアップの設定」を選択します。



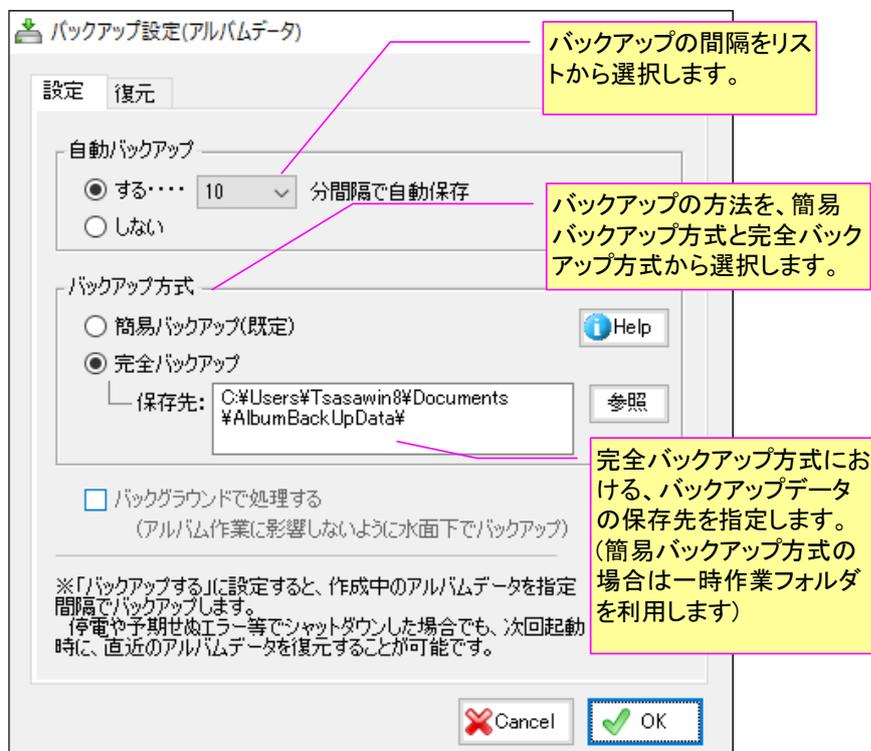
### 5-5-2. 設定画面

バックアップの方法には、「簡易バックアップ」と「完全バックアップ」の2方式があります。

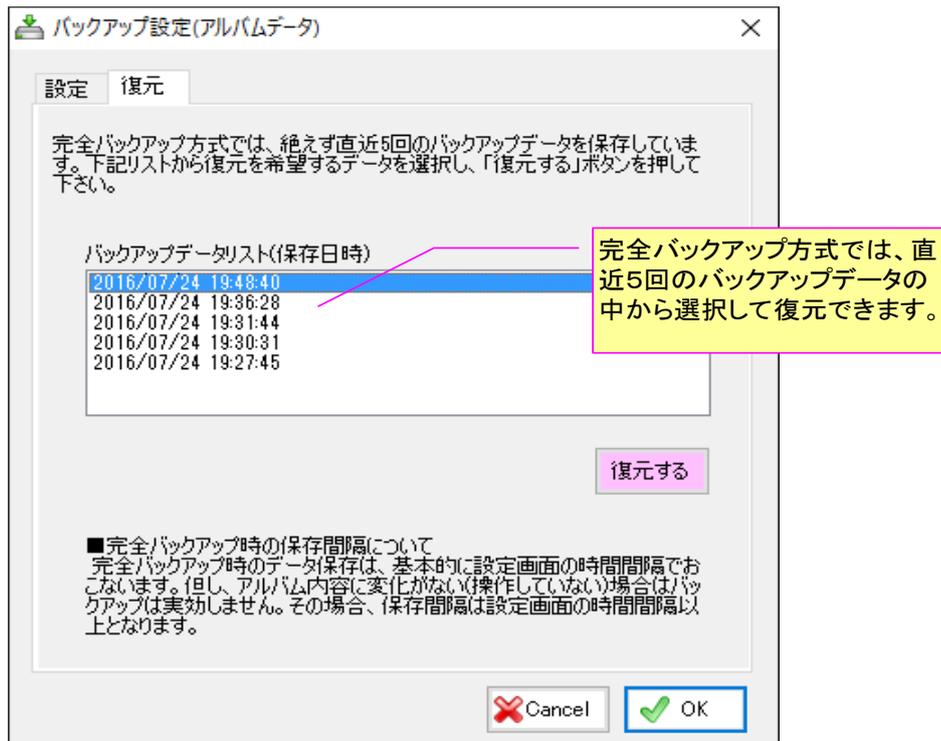
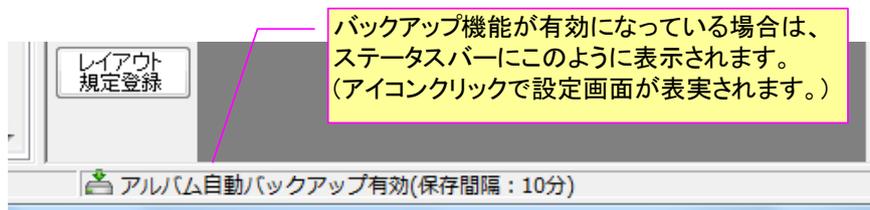
「簡易バックアップ」は、一時作業フォルダ内のデータを利用してバックアップを構築するもので、負荷が小さくバックグラウンドで処理することが可能ですが、復元可能な状態は、エラー直前のみとなります。また復元のタイミングは、エラー直後の起動時のみとなります。

一方「完全バックアップ」は、バックアップ専用フォルダを別途設け、そこに保存時刻の異なる直近5回のアルバムデータをバックアップする方式です。この方式では、バックグラウンドでの保存は出来ませんが、一時作業フォルダと異なるフォルダに時系列的に保存することで、直近5回までのバックアップデータから選択してデータ復元することが可能です。また簡易バックアップと異なり、いつでも過去のバックアップデータを復元できるという自由度の高い方式です。

通常は「簡易バックアップ」で十分ですが、データ復元を重視する場合は「完全バックアップ」を選択して下さい。



バックアップを有効にすると、メイン画面下端のステータスバーに、下図のようにバックアップ機能が有効になっていることが表示されます。またステータスバーのアイコンをクリックすると、バックアップ設定画面が表示されます。保存間隔を変更する場合等にご活用下さい。

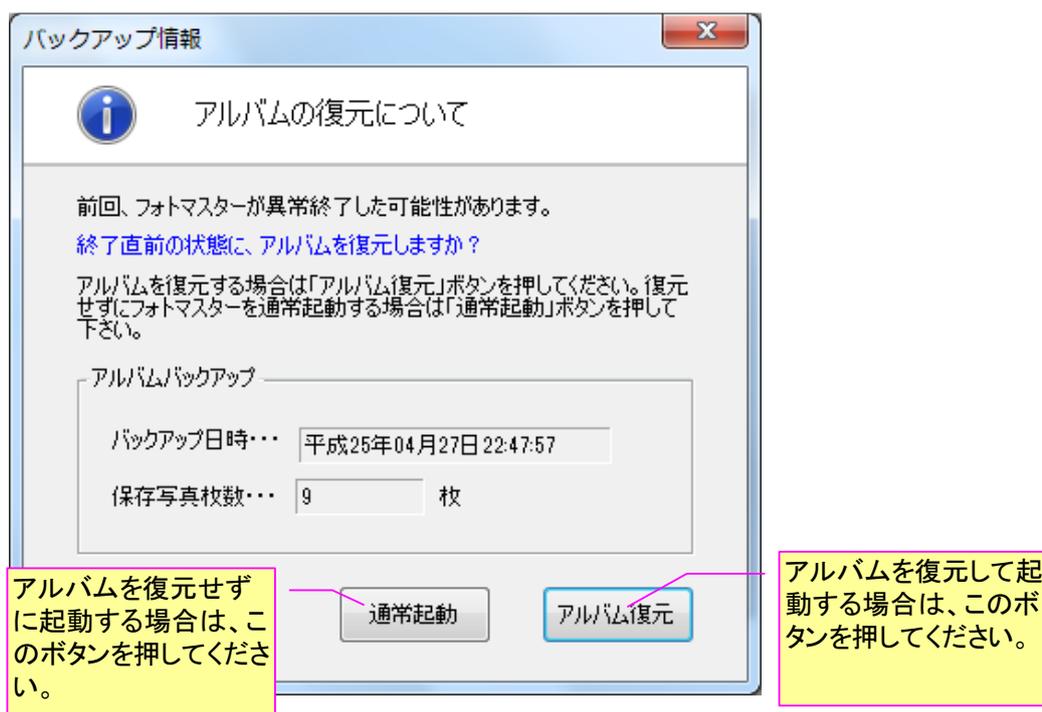


### 5-5-3. 復元方法について

バックアップ機能を有効にした状態で停電や予期せぬエラーなどで強制終了した場合、次にフォトマスターIIProを起動すると、下記画面が表示されます。

失われたアルバムデータを復元する場合は、「アルバム復元」ボタンを押して起動してください。終了直前に保存されたバックアップデータに基づき、アルバムデータが復元されます。

なお「完全バックアップ」を選択している場合で、かつ復元するデータを選択して復元したい場合は、下記画面で「通常起動」した後、「オプション」-「バックアップ設定」-「復元」画面にて、復元したいデータを選択して「復元」ボタンを押して下さい。

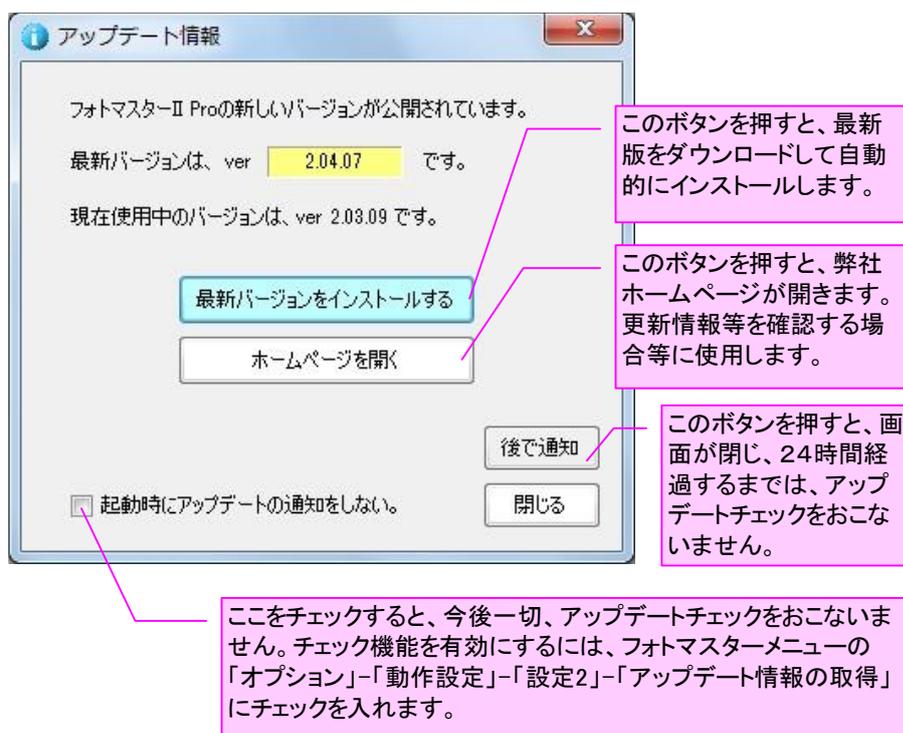


## 5-6. 自動アップデート機能について

フォトマスターII およびフォトマスターII Pro には、起動時に自動的に最新バージョンをチェックし、必要に応じて最新版を自動インストールする機能が標準装備されています。

もし新しいバージョンがリリースされている場合は、最新バージョンがリリースされている旨のお知らせ画面(下記画面)を表示します。

そして画面内の「最新バージョンをインストールする」ボタンを押すと、バージョンアップが開始されます。

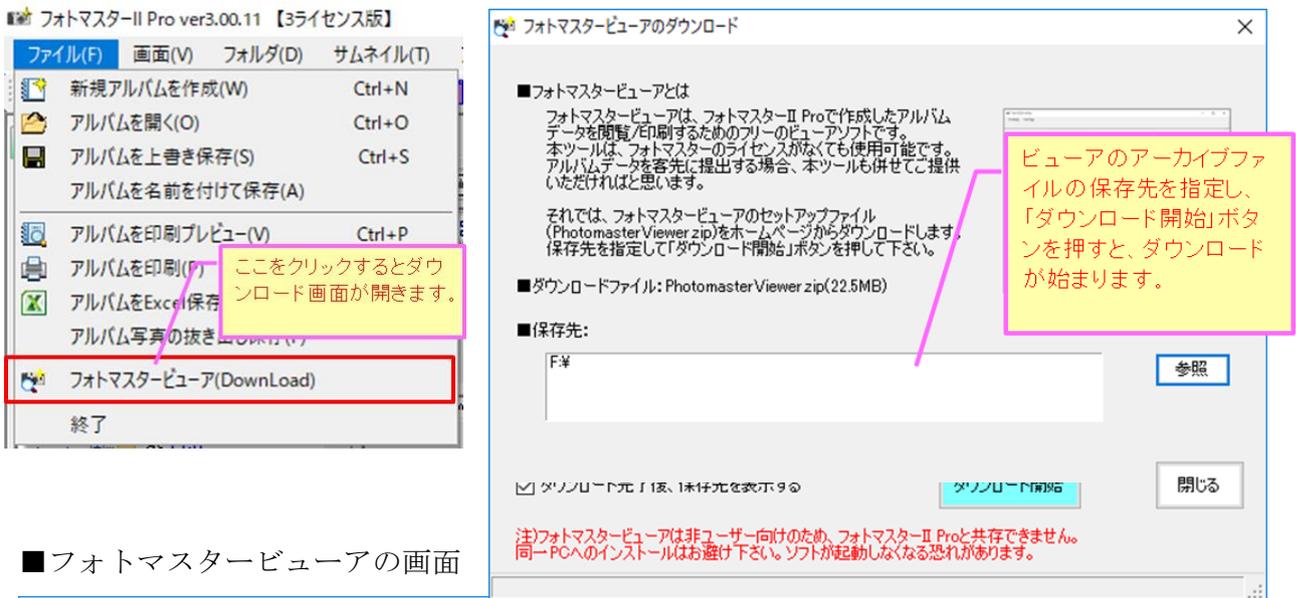


## 6. フォトマスタービューア(フリーソフト)の提供について

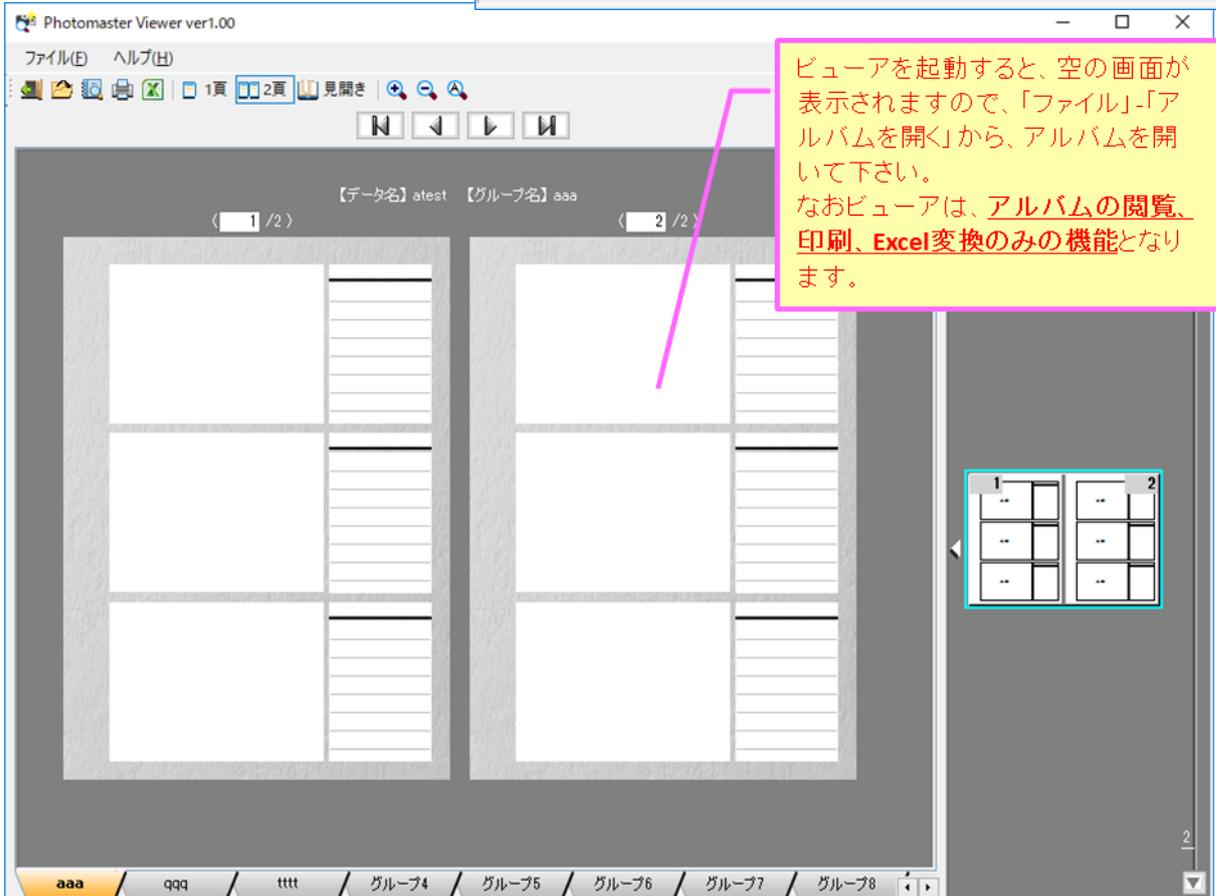
Ver3.0 より、ユーザー様からのご要望が多かった「ビューアソフト(フリー)」をご提供できるようになりました。

本ソフトは、フォトマスターII Pro 専用のビューアソフト(フリー)で、ver3.00 以降のフォトマスターII Pro で作成されたアルバムデータを読み込み、印刷やExcel 保存をおこなうものです。

フォトマスターのライセンスが無くてもご使用頂けますので、必要に応じて、アルバム提出先等にご提供ください。



### ■フォトマスタービューアの画面



## 7. アルバム(写真帖)の作成例

### アルバム(写真帖)の作成例

ここでは、フォトマスターⅡで作成した様々なアルバム(写真帖)のサンプルをご紹介します。

市道〇〇〇線道路改良工事(1工区)



市道幅員状況
W=3.80m(2k125.9)
L=1,256.3km
NO.125+5.3付近
位置図



擁壁基礎施工状況
コンクリート基礎(BCB-1)
NO.135+6.25~NO.136+1.25
L=15.3m

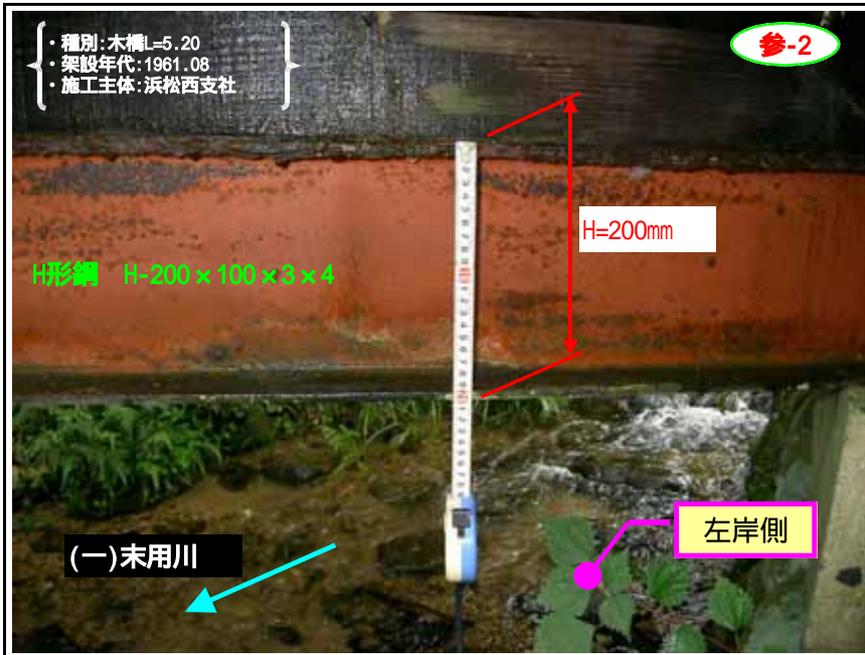


商品外観
プリメインアンプ
LUXMAN(ラックスマン)
L-509u
"A部"詳細図

5 - 1 .A4縦(スタイル1)のサンプル (縦3×横1配置の場合)



石礫状況
玄武岩
B0.16 × H0.15 × L0.26
N=200.36m
RL



既設橋梁
主桁状況
H形鋼 H-200 × 100 × 3 × 4
L=5.2m、W=2.0m



石礫状況
鳥取花崗岩
B0.16 × H0.15 × L0.26
N=200.10m

現地道路(路線1)状況

	<p>NO. 2+5.6付近</p> <p>現道幅員1.95m 舗装構造-Co舗装</p> <p>(起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)</p>		<p>NO. 12+6.23</p> <p>下水マンホール位置(300、EL=263.12)</p>
	<p>NO. 3+5.2</p> <p>現道幅員1.80m 舗装構造-Co舗装</p> <p>(道路右側に300×300の現場打ち水路あり)</p>		<p>NO. 19+9.5</p> <p>山道の状況 神社の参拝道(幅員W=1.5m) 片側に素掘り水路あり。</p>
	<p>管渠工 250</p> <p>道NO. 6+5.2付近の道路横断工</p> <p>ヒューム管 250 呑口標高EL=256.35 吐口標高EL=255.88 L=5.3m</p>		<p>NO. 22+6.0</p> <p>モノレールの軌道延長L=0.125km、標高差H=0.05km</p>
	<p>NO. 2+5.6付近</p> <p>現道幅員1.95m 舗装構造-Co舗装</p> <p>(起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)</p>		<p>NO. 31+5.3</p> <p>現況水路断面 H=0.22m B=0.32m L=15.2m</p>
	<p>NO. 3+5.2</p> <p>道路の両サイドに空石積み(H=1.6m)あり。 道路幅員W=2.00m</p>		<p>NO. 38+9.5</p> <p>山腹状況 竹林が主体を成す</p>
	<p>NO. 10+2.3</p> <p>道路幅員W=2.00m</p>		<p>NO. 44+5.3</p> <p>素掘り水路断面 H=0.22m B=0.32m L=15.2m</p>

### 現地道路(路線1)状況

NO.2+5.6付近



NO.19+9.5



画像\_022\_2008/01/18



余白

NO.3+5.2



NO.22+6.0



画像\_023\_2008/01/18



余白

管渠工 250



NO.31+5.3



画像\_024\_2008/01/18



余白

NO.2+5.6付近



NO.38+9.5



余白

余白

NO.3+5.2



NO.44+5.3



余白

余白

NO.10+2.3



画像\_020\_2008/01/18



余白

余白

NO.12+6.23



画像\_021\_2008/01/18



余白

余白

### 現地道路(路線1)状況

**NO.2+5.6付近**



現道幅員1.95m  
舗装構造-Co舗装

(起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)

**NO.2+5.6付近**



現道幅員1.95m  
舗装構造-Co舗装

(起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)

**NO.3+5.2**



現道幅員1.80m  
舗装構造-Co舗装

(道路右側に300×300の現場打ち水路あり)

**NO.3+5.2**



道路の両サイドに空石積み(H=1.6m)あり。  
道路幅員W=2.00m

**管渠工 250**



道NO.6+5.2付近の道路横断工

ヒューム管 250  
呑口標高EL=256.35  
吐口標高EL=255.88

**NO.10+2.3**



道路幅員W=2.00m

5 - 5 .A4縦(スタイル4)のサンプル (縦4×横3)

現地道路(路線1)状況

		
<p><b>NO.2+5.6付近</b>                  現道幅員1.95m                  舗装構造-Co舗装                  (起点より35.6m地点に当たり、幅員</p>	<p><b>NO.3+5.2</b>                  道路の両サイドに空石積み(H=1.6m)あり。                  道路幅員W=2.00m</p>	<p><b>NO.22+6.0</b>                  モノレールの軌道延長L=0.125km、標高差H=0.05km</p>
		
<p><b>NO.3+5.2</b>                  現道幅員1.80m                  舗装構造-Co舗装                  (道路右側に300×300の現場打ち水路あ</p>	<p><b>NO.10+2.3</b>                  道路幅員W=2.00m</p>	<p><b>NO.31+5.3</b>                  現況水路断面                  H=0.22m                  B=0.32m                  L=15.2m</p>
		
<p><b>管渠工 250</b>                  道NO.6+5.2付近の道路横断工                  ヒューム管 250                  呑口標高EL=256.35</p>	<p><b>NO.12+6.23</b>                  下水マンホール位置( 300、EL=263.12)</p>	<p><b>NO.38+9.5</b>                  山腹状況                  竹林が主体を成す</p>
		
<p><b>NO.2+5.6付近</b>                  現道幅員1.95m                  舗装構造-Co舗装                  (起点より35.6m地点に当たり、幅員</p>	<p><b>NO.19+9.5</b>                  山道の状況                  神社の参拝道(幅員W=1.5m)                  片側に素掘り水路あり。</p>	<p><b>NO.44+5.3</b>                  素掘り水路断面                  H=0.22m                  B=0.32m                  L=15.2m</p>

**NO. 125+6付近集落状況**



豆図や地図画像の挿入も可能です



石積高H=2.10m  
(L=32.6m)

至 OO市

コンクリート側溝  
(Pu-B300-H300)

N=136.5m (B=62.3m, H=126.3m)

町道ABC-1線供用区間(B工区) 【集落数125戸】

W=4.00m L=253.24m

NO.2+5.6付近



現道幅員1.95m  
舗装構造-Co舗装

(起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)

管渠工 250



道NO.6+5.2付近の道路横断工

ヒューム管 250

呑口標高EL=256.35

吐口標高EL=255.88

L=5.3m

5-7. A4横(スタイル2)のサンプル (縦2×横2)

管渠工 250



道NO.6+5.2付近の道路横断工  
 ヒューム管 250  
 香口標高EL=256.35  
 吐口標高EL=255.88  
 L=5.3m

NO.2+5.6付近



現道幅員1.95m  
 舗装構造-Co舗装  
 (起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)

NO.2+5.6付近



現道幅員1.95m  
 舗装構造-Co舗装  
 (起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)

NO.3+5.2



現道幅員1.80m  
 舗装構造-Co舗装  
 (道路右側に300×300の現場打ち水路あり)

5-8.A4横(スタイル3)のサンプル (サムネイル一覧、縦5×横7)

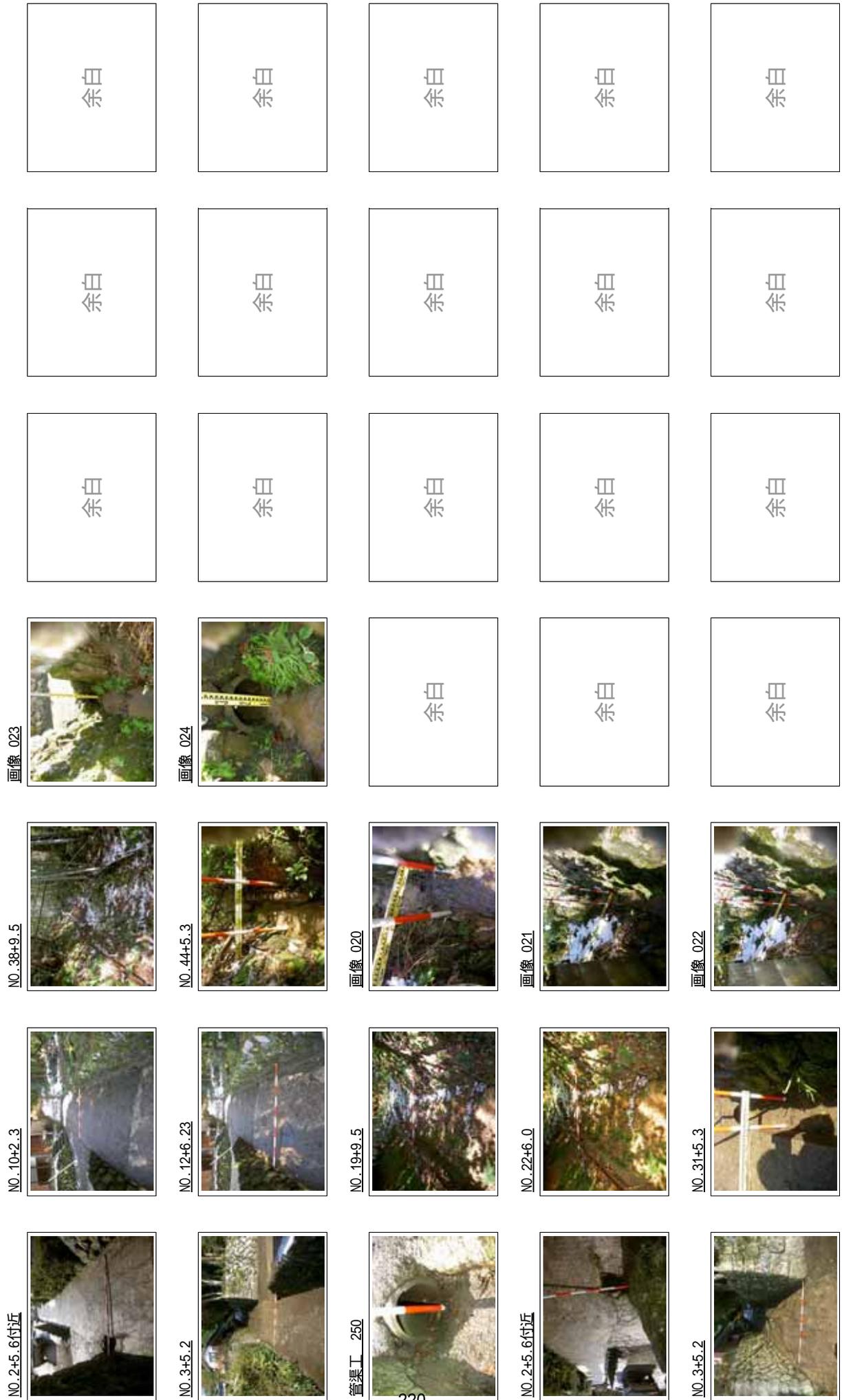
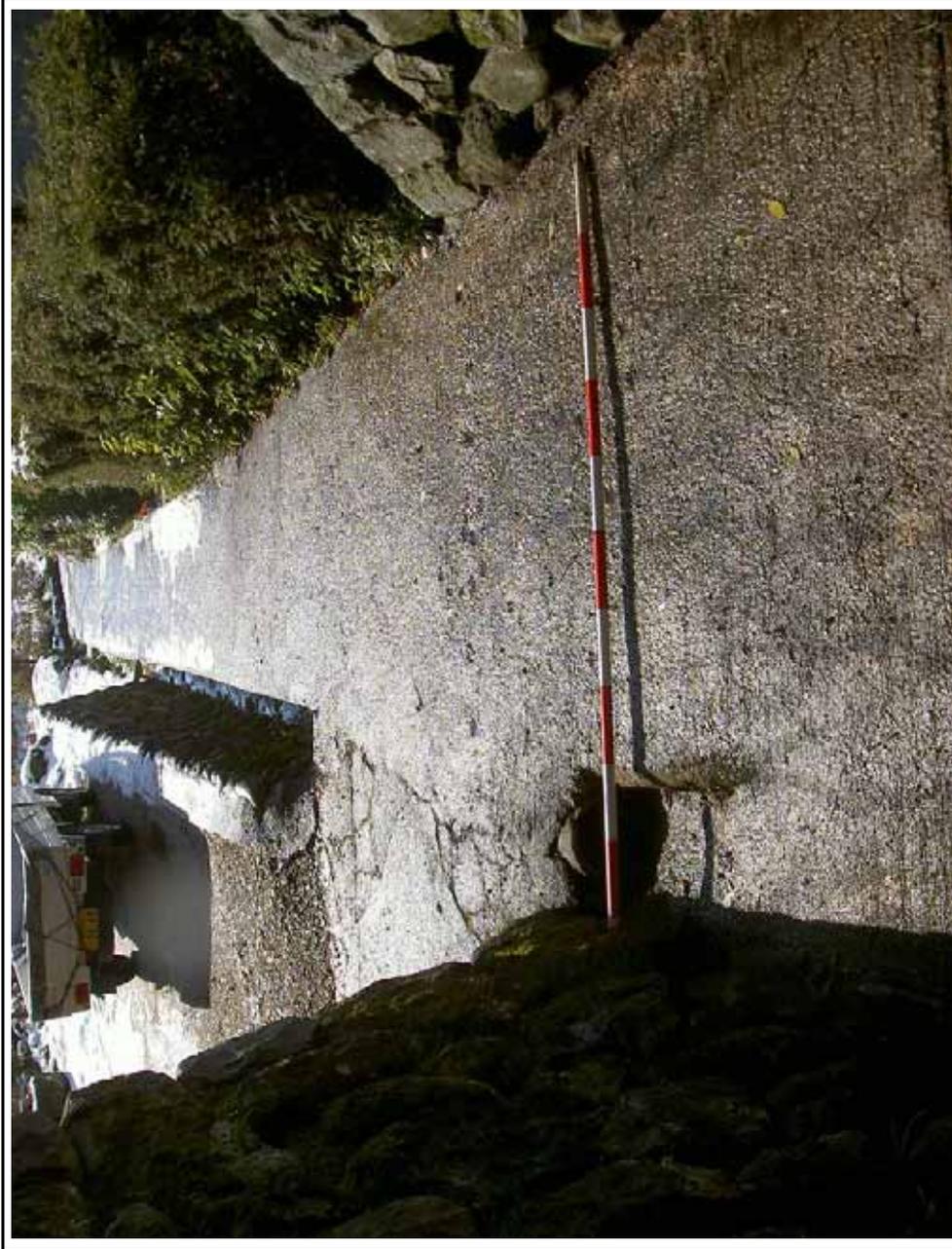


図-1 現地道路(路線1)状況写真

NO.2+5.6付近



現道幅員1.95m  
舗装構造-Co舗装

(起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)

5-10.A4横(スタイル2)のサンプル (縦3×横3)

NO. 2+5.6付近



現道幅員1.95m  
舗装構造-Co舗装  
(起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)

NO. 2+5.6付近



現道幅員1.95m  
舗装構造-Co舗装  
(起点より35.6m地点に当たり、幅員1.5mの左枝線を視認する。道路左側に200×300の側溝あり)

NO. 12+6.23



下水マンホール位置(300、EL=263.12)

NO. 3+5.2



NO. 3+5.2



道路の両サイドに空石積み(H=1.6m)あり。  
道路幅員W=2.00m

NO. 19+9.5



山道の状況  
神社の参拜道(幅員W=1.5m)  
片側に素掘り水路あり。

管渠工 250



道NO. 6+5.2付近の道路横断工  
ヒューム管 250  
吞口標高EL=256.35  
吐口標高EL=255.88  
L=5.3m

NO. 10+2.3



道路幅員W=2.00m

NO. 22+6.0



モノレールの軌道  
延長L=0.125km、標高差H=0.05km

橋梁状況写真(0k126付近)

主桁(右岸側)



主桁の劣化が著しい  
主桁H-200\*200  
L=5.6m  
B=2.0m

主桁全体状況



右岸方向を望む  
主桁H-200\*200  
W=2.2m  
B=2.0m

主桁腐食状況



主桁近景  
H=200  
フランジ幅100mm

右岸護岸状況



右岸橋台部の状況  
下流より撮影

幅員状況近景



農道幅員  
W=1.9m  
L=12.6m(0k200)

本線正面写真



県道取合地点  
0k250付近

本線終点付近



県道交差点部  
の状況

本線起点付近



農道幅員  
W=1.9m  
L=12.6m(0k200)

橋梁全景1



県道取合地点  
0k250付近

橋梁全景2



県道交差点部  
の状況

画像\_013



県道交差点部  
の状況

画像\_014



橋梁幅員  
W=2.0m  
L=5.6m

画像\_015



橋梁幅員  
W=2.0m  
L=5.6m  
近景

画像\_016



左岸近景  
練石積み護岸  
H=1.5m  
L=5.2m(0k200)

画像\_017



橋梁幅員  
W=2.0m  
L=5.6m

画像\_018



橋梁幅員  
W=2.0m  
L=5.6m  
近景

画像\_019



左岸近景  
練石積み護岸  
H=1.5m  
L=5.2m(0k200)

画像\_020



左岸近景  
練石積み護岸  
H=1.5m  
L=5.2m(0k200)

画像\_021



左岸近景  
練石積み護岸  
H=1.5m  
L=5.2m(0k200)

画像\_022



画像\_023



画像\_024



画像\_025



画像\_026



画像\_027



画像\_028



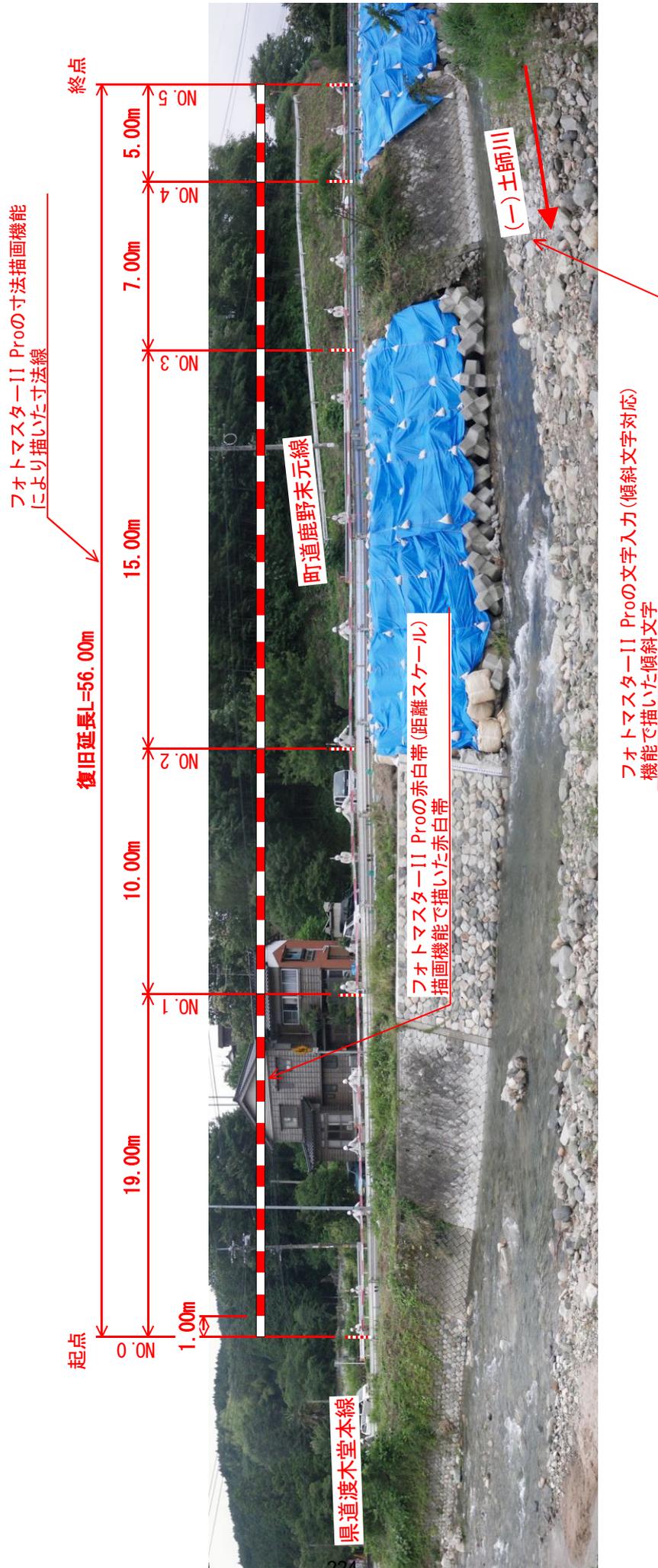
画像\_029



画像\_030



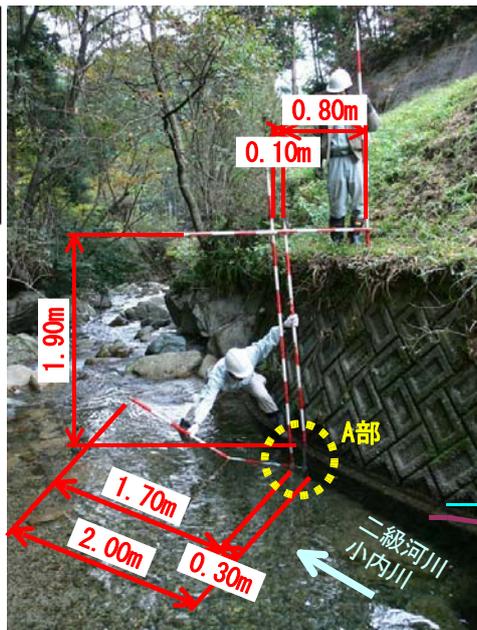
全景写真



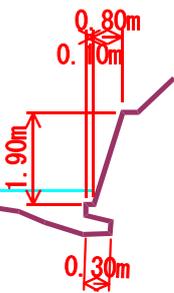
用紙：A4横  
レイアウト：基本スタイル3/縦1横1  
(コメント欄非表示)

5-14. 災害写真作成例② A4縦(スタイル3、縦3×1)

寸法はすべて、フォトマスターの「寸法作図機能」により作図したものです。



A部



基礎部洗掘状況

ブロック積護岸基礎部

L=0.3m、H=0.4m

位置・・・NO.2+6.2m



山腹崩壊状況

地質：鳥取花崗岩

斜面勾配： $\theta = 52^\circ$

崩壊高：H=24.5m



山腹崩壊状況

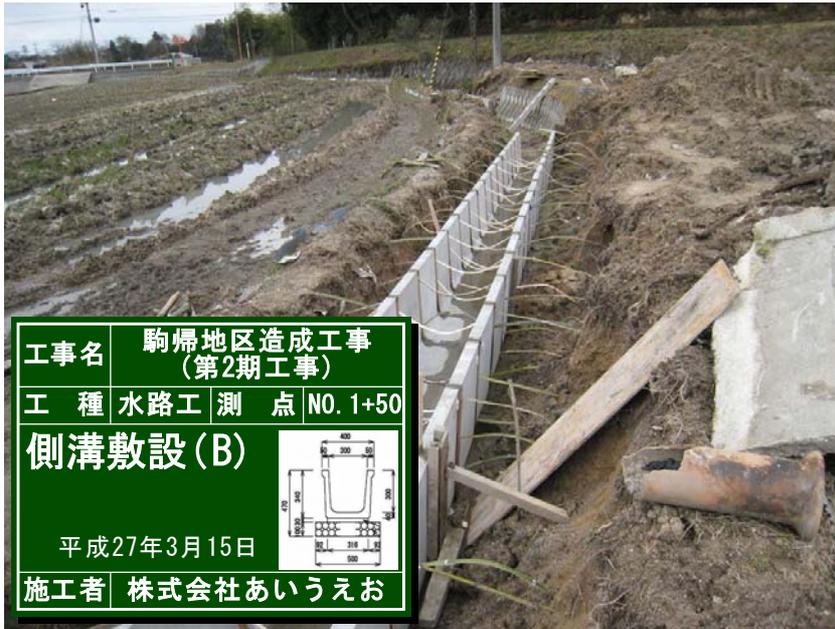
地質：鳥取花崗岩

斜面勾配： $\theta = 45^\circ$

崩壊高：H=18.2m



## 電子黒板(工事用黒板)の後付け追加例



### U型側溝

造成面積 A=12.5ha

U型側溝 : U-300-8\*5

L=125.0m-15.3



### 鉄筋工事

貯水槽V=150m<sup>3</sup>級

GL=125.32m

L=108.12m



### 擁壁工事1

GL=125.9m

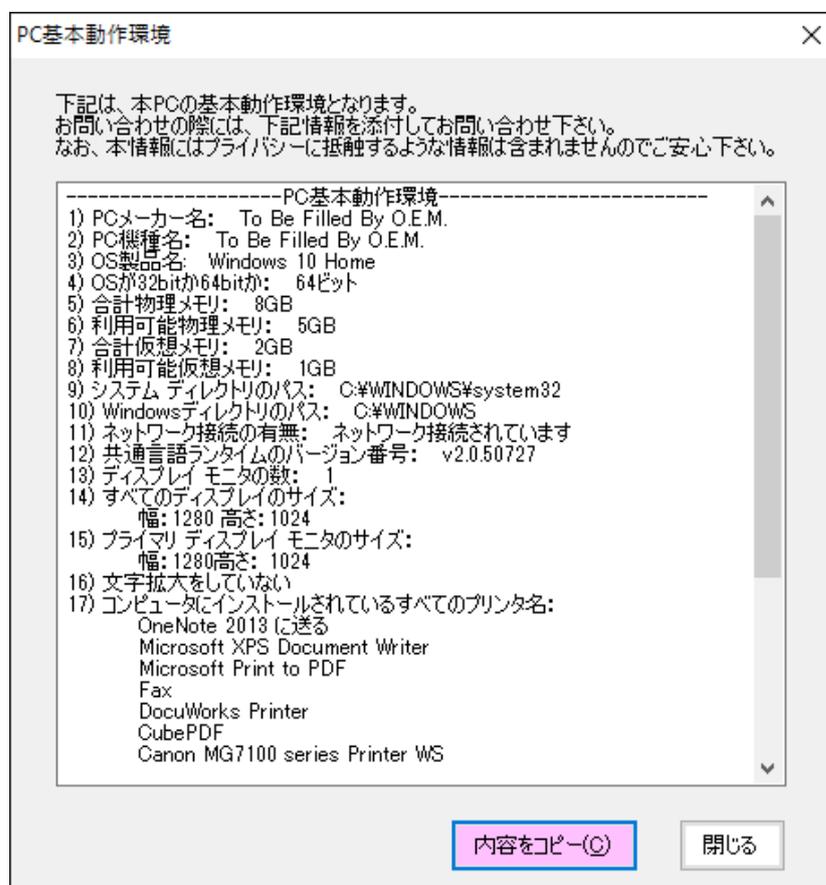
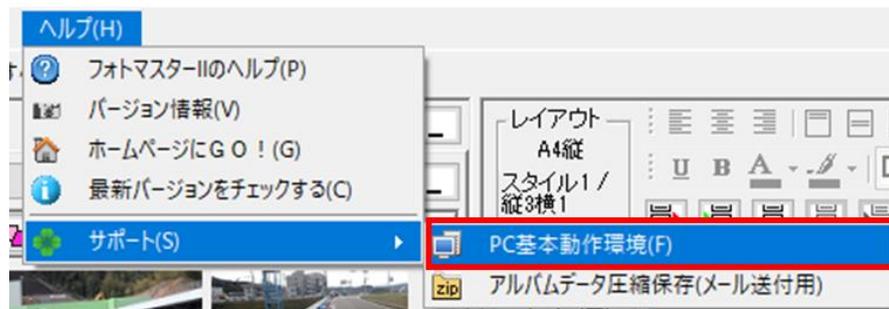
L=52.3m

天H=126.8m

## 8. ヘルプ

### 8-1. PC 基本動作環境の取得方法

お客様がお使いの PC の基本動作環境は、メニューの「ヘルプ」-「PC 基本動作環境」から簡単に取得可能です。画面が開くと PC 基本環境が表示されますので、「内容をコピー」ボタンを押してグラフィックボードに内容をコピーしてご利用下さい。

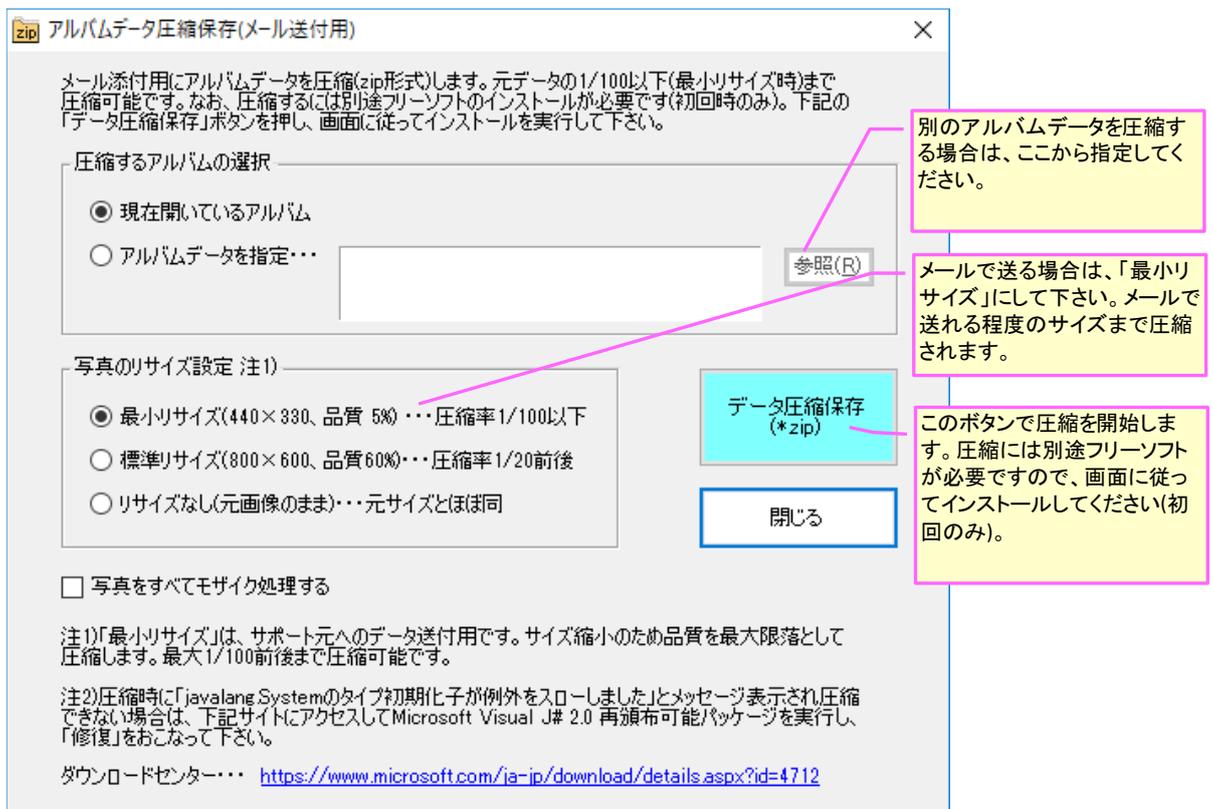
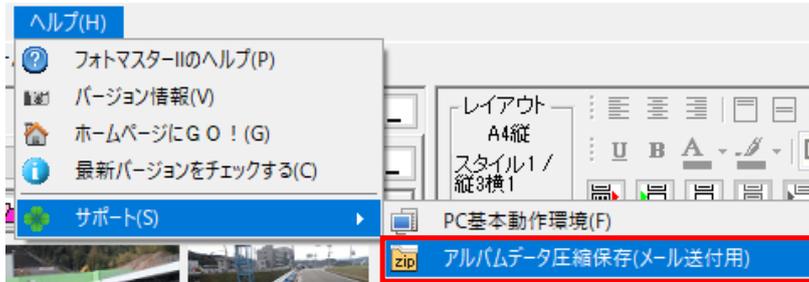


## 8-2. アルバムデータ圧縮保存(メール送付用)

メンテナンス等でアルバムデータをお送りいただく際、データサイズが大きくてメール送付できない場合があります。そのような場合は、下記の「アルバムデータ圧縮保存」コマンドによりアルバムデータを最小化して頂き、メールに添付していただければと思います。

本コマンドの「最小リサイズ」で圧縮すると、通常の 1/100 以下のサイズまで圧縮することができます(例：200MB の場合は 1M~2MB 程度に圧縮できます)。

ご活用ください。



注1) 本コマンドによるデータ圧縮は、エクスプローラー等による通常のファイル圧縮とは異なり、写真をリサイズしたうえで圧縮するため、圧縮率がとて大きくなります。

注2) 圧縮保存を実行した際、エラーが表示される場合は、画面下方にあるダウンロードセンターにアクセスしてJ#2.0を修復してみてください。

## 9. サポート

サポートは、基本的にメールにておこなっております。お問い合わせ時には、必要に応じてお客様がお使いの PC の基本動作環境(下記参照)を添付した上でお問い合わせ下さい。

ソフトの最新版につきましては、ホームページにて随時掲載いたしますので定期的にご確認ください。  
なお、本プログラムのご使用によるいかなる損害にも応じられませんことを予めご了承ください。

連絡先	シビルワークス(civilworks)
メールアドレス	Civilworks_hp@yahoo.co.jp
ホームページ	<a href="http://www.civilworks.jp/">http://www.civilworks.jp/</a>